

男女共同参画社会づくりのための  
市民意識調査報告書

平成28年度

武雄市

## はじめに

今回の「男女共同参画社会づくりのための武雄市民意識調査」は、武雄市内に住む 16 歳以上の男女を対象とした市民意識調査、武雄市内中学 3 年生を対象とした意識調査、武雄市内の従業員 20 名以上の企業を対象としたアンケート調査、各行政区を対象とした地域での男女共同参画実態調査によって構成されている。

本調査は、武雄市の男女共同参画の推進状況と市民の意識を明らかにし、「武雄市男女共同参画推進計画」に基づいた意識や状況の変化と現状・課題を把握することを目的として実施した。平成 29 年度に策定される「武雄市男女共同参画推進計画」等、今後の男女共同参画施策に示すべき必要な取り組みを検討していくための資料として、調査結果をもとに総合的な分析を行っている。

なお、本調査の実施と分析については佐賀大学大学院教授の上野景三氏にご指導を賜った。ここに記し感謝したい。

## 武雄市における男女共同参画推進にむけて

—平成 28 年度の市民意識調査及び中学 3 年生意識調査結果から—

佐賀大学 上野 景三

### はじめに

武雄市における男女共同参画の歩みは、平成 12（2000）年の旧武雄市の動きから始まる。その時点から数えると、すでに 18 年の歳月が過ぎている。行政としても市民意識としても定着するには十分な時間が経過したといえよう。しかし、今回の調査結果をみると、必ずしもそうとはいえない傾向が示されている。昔からの古典的な性別役割分業意識は解消に向かっているとはいえ、まだ生活の断片では残っている部分もある。一方では、家族の形態が大きく変わり、高齢者の単身世帯や一人親世帯など、性別役割分業じたいが成り立たなくなっており、新たな課題もみえてきている。これからの武雄市における男女共同参画の推進にむけて、新しい時代や家族の有り様に即した施策の展開が求められている。

### 武雄市における男女共同参画の歩み

武雄市における男女共同参画の歩みについては、『男女共同参画社会づくりのための市民意識調査』（平成 24 年 3 月）に述べておいた。武雄市の到達点、及び新しい問題状況を理解するためには、まず歴史的経緯の理解が必要であろう。前回と重複するがお許しいただき、再掲しておきたい。

武雄市における男女共同参画の歩みを振り返ると、大まかに次の三期に分けられるように思われる。

まず第一期は、旧武雄市における取り組みである。平成 12 年から合併に至までの期間である。旧武雄市では、国際的、国内的動向と連動しながら、平成 12 年に男女共同参画計画策定懇話会を設置し、平成 13 年 3 月に市民意識調査と中学生意識調査を実施し、平成 14 年 3 月「武雄市男女共同参画計画」策定をした。この時期には、行政の各種の審議会や委員会への女性の登用が進み、武雄市内における男女共同参画のための市民グループが活躍し、佐賀県央における男女共同参画のモデルを形成した時期であった。一方、旧北方町と旧山内町では、行政内部に男女共同参画を専門的に担当する部署はなく、市に比べて推進体制は弱かった。だが、地域婦人会はもとより市民レベルでの活動は活発であった。山内町では「佐賀県女性ネットワークづくり事業」を受け、平成 8 年に山内女性ネットワークが結成されていた。北方町では、地域婦人会を基盤としながら平成 15 年に北方町女性ネットワークが結成されている。すでに合併前に、それぞれの市町において市民的な活動基盤の形成がみられていたといってい

いだろう。

続く第二期は、合併前後から平成 22 年度までの時期である。この時期は、新市計画に男女共同参画の条例制定について議論が交わされるなど、合併を契機にさらなる発展が期待される時期であった。合併にむけた新市計画は、

男女共同参画の推進を積極的に進める考えを持っていた。だが、合併交渉の難しさや、自治体間の男女共同参画行政推進の進捗状況に違いがあり、簡単には発展を望める状況にはなかったとあってよい。しかし、一方で市民グループ間の交流は時間をかけて継続的に深められる時期であり、新武雄市における男女共同参画推進の市民的基盤を作る努力が重ねられたとあってよいであろう。

第三期が、平成 23 年度からの現在の時期である。慌ただしかった合併の時期を乗り越え、新武雄市になって男女共同参画の課題を冷静に探り、新しい時代と社会の要請に応えることのできる男女共同参画推進のための飛躍の時期を迎えたとあってよい。これまでの蓄積と市民的基盤を基礎として、いわば第Ⅲステージとでもいうべき武雄市の特色をもった男女共同参画計画の策定が待たれるところである。

現在は、上で述べた第三期の後半の時期にある。二期から三期への大きな特徴は、DV 防止計画を策定したことにある。平成 16 年の DV 防止法の成立は、都道府県に DV 防止計画の策定を求め、市町村には平成 20 年から策定の努力義務が課せられた。武雄市ではこの時点では、すでに第一次の男女共同参画推進計画を策定済み（平成 19 年）であったため、平成 24 年の第二次男女共同参画推進計画に DV 防止がはじめて位置づけられることになった。配偶者間やデート DV 防止への取り組みに着手されることになった。

## 男女共同参画の今日的課題

前回の調査結果の分析では、次の二点を新しい全体的な課題として指摘しておいた。再確認しておきたい。

一つは、「格差社会」の到来である。1990 年代の「失われた 10 年」以降、女性の不安定就労は顕著になっていたが、「ワーキングプア」と言われるようになったのは 2000 年代に入ってからのことである。周知の事実をあえてここで指摘するのは、「格差社会」の問題は、経済的な問題にとどまらず、その背後に家庭の有り様、つまり家族形成とその維持の困難が生じたからであり、働き方やセーフティネットの在り方と大きく関連しているからである。さらには、不安定な就労形態は、女性に限られたことではなく、男性にもみられるようになっている。

二つには、男女共同の意識である。男女共同参画社会基本法は、男女ともに個人の尊厳と人権を尊重することによって、個人の能力の発揮と活力ある社会の実現を期待したものである。ところが、急速な情報ツールの発展と情報化社会の到来によって、男女の尊厳と人権の尊重がないがしろにされる時代状況が現出していないかということである。「性の商品化」がすすみ、その情報が都市地方関係なく流出し、児童や生徒への影響を防ぐことができにくくなっている。

以上の指摘は、いまでは新しい問題でもなく、より深刻な状況を生み出しているといえよう。とくに二点目の指摘は、子どもたちの世界でスマホ等の情報ツールの使用が一般化していることを鑑みれば、

教育の領域での取り組みは重要性を増している。

さらに今日的な問題として、以上の二点に加えて次の三点を加えておきたい。

三つには、人口減少と女性の問題である。平成 25 年のいわゆる増田レポートは、若年女性人口の減少は自治体の消滅につながることを指摘した。批判も多々ある指摘ではあるが、自治体の施策として、女性が安心して働け、住み続けることのできる環境をつくるといった女性へのアプローチが不可欠であることを示している。

四つには、生活のスタイルも含めて家族の形態の変容である。武雄市内においても共働き世帯は増加している。子どもをもつ年代は、共働きが多数派を占めている。家庭内における性別役割分業は成立し難くなっている一方で、妻・母の側に過重な負担がかかっていることが予測される。また一点目と関連するが、一人親世帯の増加は、とくに母子家庭の場合、経済的な困難を抱え、子どもの貧困問題を発生させている。

五つには、ダイバーシティという考え方の登場である。ダイバーシティとは、女性やマイノリティの差別のない採用や処遇を意味する用語であったが、今日では、女性の活躍を推進するための多様な働き方として受け止められている。男女共同参画とダイバーシティとの区別と関連が問題となる。

## 市民意識調査にみる問題と課題

市民意識調査と中学生意識調査の結果は、報告書に紹介されているので、ここでは調査結果から読み取ることのできるいくつかの問題点と課題について述べておきたい。

まず、今回の調査は回収率が 53.9%と高く、市民の関心が高いと言ってよい。回答者の属性で注目されるのは、「共働き」世帯が 59.2%多いこと、2 世代世帯の割合が 40.4%と高いことである。2 世代世帯には、「老親」と「未婚の子ども」も含まれている。

次に問題点としては、まず個人の男女平等や男女共同に関する意識が後退していることである。前回調査と比べてみると、すべての面での意識面の後退がみられる。とくに女性が「男性優遇」と感じている割合が高くなっている。学校教育は、平等意識が高い領域であったが、学校においてさえも後退をしていることは憂慮すべき点である。

二つには、結婚・家庭生活や教育・子育て、地域生活については、注意して読み解くことが求められる。というのは、結婚・家庭生活に対する期待が低くなっていること、家庭生活が従来 of 尺度では判断しづらくなっていることである。女性の 5 人に 1 人、男性の 10 人に 1 人が「結婚しなくてもよい」「結婚しないほうがよい」と回答しており、結婚・家庭生活に対する期待が低くなっている。これは、「結婚しなくてもよい」という意味だけでなく、「結婚したくてもできない」状況があると読み取ることもできる。すでに「皆婚社会」ではなくなっていることを意味している。また、家庭内における性別役割分業意識については、先述したとおり、高齢者のみ世帯や一人親世帯が増加していることを考えると、

家庭生活における性別役割分業じたいが成り立たなくなっているとみることもできる。さらに「結婚してうまくいかなければ、離婚してやり直す方がよい」と離婚に対する抵抗感の減少傾向も前回調査に引き続きみられる。

三つには、働き方の問題である。女性の就労のいわゆる M 字カーブはみられない。このことは、女性が就労しやすいという側面と、女性も働かざるをえない状況があるという両面があるのではないかと。

「共働き」世帯の増加は、働きやすくなったのか、生活の困窮が進んできたのか、その両面からの検討が必要であろう。また男性の育児休業取得については、理解が進んでいるものの、「職場環境を考えるととりにくい」との回答が増加しており、前回調査よりも後退している。引き続き、労働環境の整備に取り組む必要がある。

四つには、地域活動への参加状況をみると、減少傾向にあることがわかる。とくに前回調査と比べて女性の参加割合が低下している。とくに若い世代の女性の参加率が低下している。これは、さきほどの「共働き」世帯の増加と関連していると考えられる。かわって 60 代男性の参加率が高くなっており、団塊世代・ポスト団塊世代の地域活動への参加がみられるようになってきている。また新規項目として「地域に女性リーダーが少ない理由」を聞いているが、「これまでの習慣でリーダーには男性が就任してきたから」「男性中心の組織運営になっている」という回答が多く、地域社会における男女共同参画の定着は、今後の課題として残されたままになっている。

五つには、健康・福祉への取り組みである。質問では高齢期に関する質問になっているが、老後の生活に対する不安が高く、その内容は「生活費の不安」「年金制度への不安」がほとんどである。逆に健康不安や医療・福祉に関する不安は、前回調査に比べて減少している。

六つには、人権とくに DV に関する問題である。男女共同参画計画は、その一部に DV 防止計画を含むことになっている。したがって、DV 防止は男女共同参画推進の大きな柱である。調査結果をみると、男女ともになんらかの暴力を受けた経験が一定数あることがわかる。さらに、暴力を受けたときに相談をしていないケースも少なくないことである。その理由としては、家庭内のことであることから「相談するほどのことではないと思った」「自分ががまんすれば何とかやっつけていけるといった」と考える傾向が強くでている。これらの点に関しては、即効性のある施策はないため、普段からの啓発活動の取り組みが重要であるとともに、相談窓口の整備と関係機関とのネットワーク構築がなによりも重要である。

七つには、行政の取り組みの認知度である。男女共同参画行政の取り組みの成果として、一定の定着がみられると評価してよいであろう。しかし、前回調査と比べてみると後退しており、市民の認知度は十分とはいえ、継続した情報の公開、学習機会の提供、行政サービスへのアクセスの改善、市民活動への支援といった取り組むべき課題は多いように思われる。男女共同参画推進にむけた行政の市民とのパートナーシップのさらなる進展への期待も大きいように思われる。

## 中学生意識調査にみる問題と課題

中学生の意識調査は、中学生たちは将来の武雄市を担い手であることから、中学生の男女共同参画に

対する意識は、そのまま10～20年後の武雄市市民の意識につながっていく。今回の調査で読み取れるのは、次の点である。

一つは、「男らしく・女らしく」といわれた経験についてである。性別役割分業意識は、少なくなってきたおり改善していることがわかる。しかし、「女・男「らしく・なのに・くせに」といわれたことがあるか」という質問にたいしては、「ある」と答える割合が高く、「嫌だ」と思っている割合も一定数を占めている。ただ、女子は、「嫌」だと思った割合が、前回調査より減少しており、「何とも思わなかった」という割合が増加している。この点は、改善しているとみるのか、鈍感になっているのかとみるのかはわかれるところである。

二つには、学校教育は、男女平等教育が進んでいる領域である。しかし、「学校の中での男女間の扱いに差別を感じたことがありますか」という質問に対して「ある」と答えた割合が20%を越している。前回調査よりも減少しているものの、一定の割合を占めていることは問題である。さらに、「ある」の理由は「先生の指導」と65%の生徒が回答しており、高い割合を占めている。これだけでは、どういう「指導」なのかは不明であるが、生徒がこのように感じていることを学校現場は受け止める必要がある。

三つには、「将来、働く理由」の質問に対しては、「社会のために役立ちたいから」という回答がトップとなっており、前回調査の「生計の維持」「経済的自立」よりも高くなっていることは注目される。

四つには、調査結果から計ることはできないが、思春期特有のアイデンティティの獲得過程と情報ツールの普及の影響とが同一線上にあることから、氾濫する情報社会の文化、例えば男らしさ、女らしさを強調する「恋愛ゲーム」等の影響から免れることは難しい面がある。男女共同参画について学ぶ機会の設定が重要となる。

## Ⅱ．調査結果

### 第1部 武雄市内に住む16歳以上男女の意識調査

---

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査目的

本調査は、男女共同参画社会の実現を目指して、武雄市の男女共同参画の推進状況と市民の意識を明らかにし、平成23年度に策定した「第2次武雄市男女共同参画推進計画」に基づいた意識や状況の変化と現状を把握することで、今後の施策に反映させていくためのものである。

### 2. 調査対象

住民基本台帳より無作為に抽出した武雄市内に住む16歳以上の男女1,000人  
(男女割合各50%)

○ 有効回収数 539人 (男性224人、女性310人、その他2人、無回答3人)

※調査結果の集計における「その他」には、「無回答」と回答された方を含む

○ 有効回収率 53.9%

### 3. 調査内容

(1)男女平等意識について (2)結婚・家庭生活について (3)教育・子育てについて  
(4)仕事について (5)地域活動について (6)健康・福祉について  
(7)人権について (8)男女共同参画社会について

### 4. 調査方法

郵送による配付・回収

### 5. 調査期間

平成28年8月3日～平成28年8月19日

### 6. 調査結果利用上の注意事項

- (1) 調査結果は、原則として標本数(図表ではNと表示)に対する百分率(%)で表示している。それ以外の時はそのつど単位で表記している。
- (2) 本文中の回答の表示については小数点第2位を四捨五入しているため、それぞれの回収率の合計は100%にならない。
- (3) 複数回答の場合もパーセントの合計は原則として100%を超える。
- (4) 表中の空白はゼロを意味している。

### 7. 調査結果の分析監修

佐賀大学大学院 教授 上野景三

## 第2章 回答者の基本属性

### (1) 性別

男性が41.6%、女性が57.5%となっている。男女同数で対象者を抽出したが、前回平成23年度調査と同様に女性の回答割合が高い。

平成28年度調査

区分	男性	女性	その他	合計
人数	224	310	5	539
%	41.6%	57.5%	0.9%	100.0%

平成23年度調査

区分	性別		属性なし	合計
	男性	女性		
人数	326	420	75	821
%	39.7%	51.2%	9.1%	100.0%

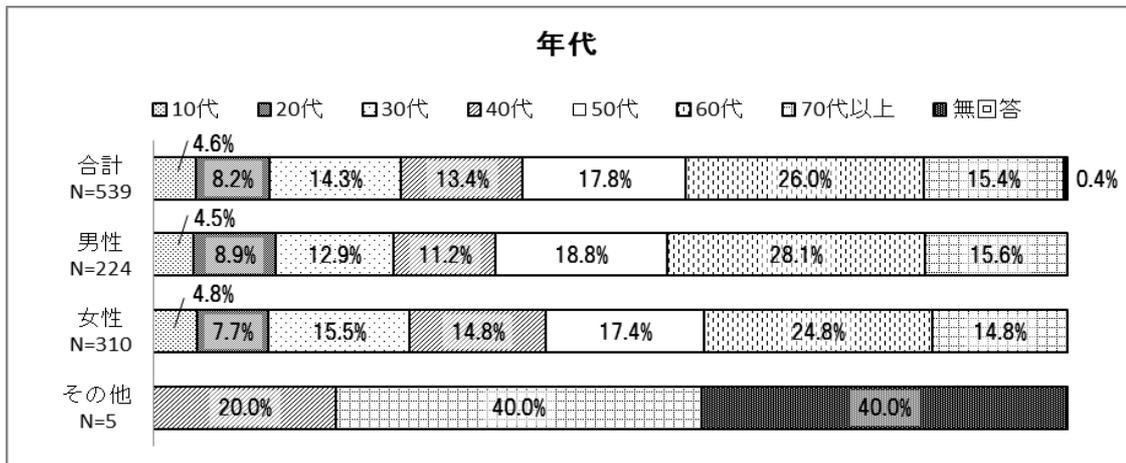
※平成23年度の調査対象は2,000人である

### (2) 年代

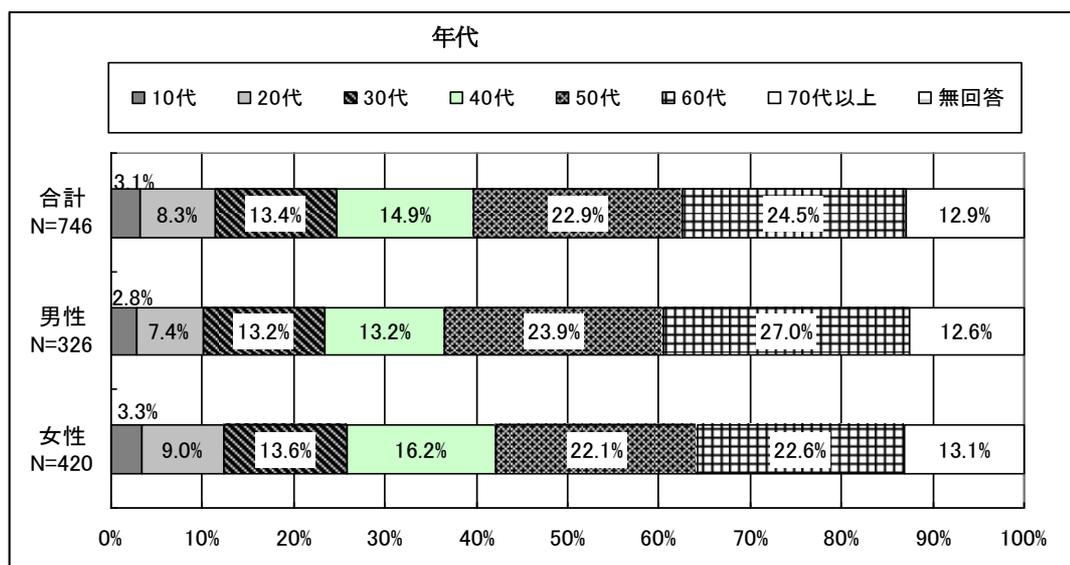
【全体】「60代」が26.0%と最も多く、次いで「50代」17.8%、「30代」14.3%と続く。

【性別】男性では「60代」が28.1%と最も高く、「50代」と併せると半数近くが50～60代となる。女性も同様に「50代」「60代」を併せると42.2%となる。

平成28年度調査



平成23年度調査

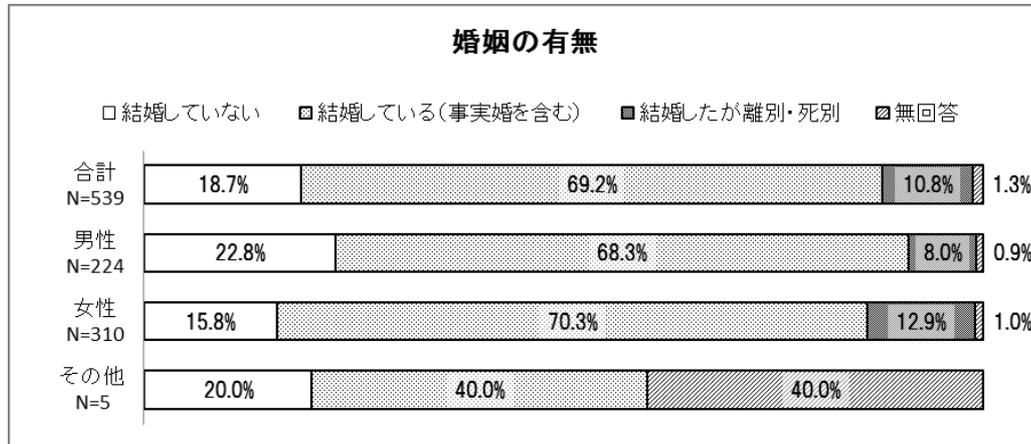


(3) 配偶関係

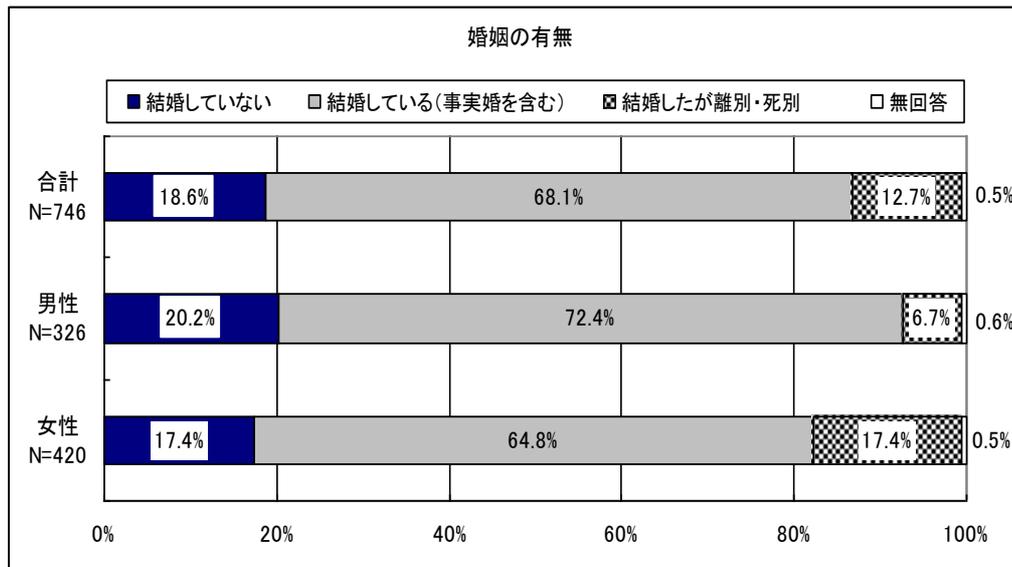
【全体】「結婚している（事実婚を含む）」が69.2%、「結婚していない」が18.7%、「結婚したが離別・死別」10.8%となっている。

【前回調査との比較】全体で未婚率が0.1ポイント上昇している。内、男性は2.6ポイント増加、女性は1.6ポイント減少している。

平成28年度調査



平成23年度調査



(4) 共働きの状況

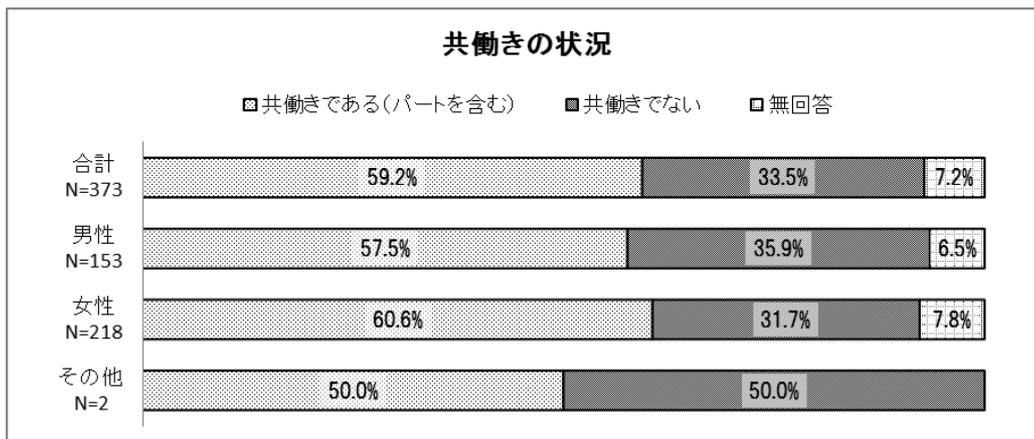
【全体】有効回答数の中から配偶者がいると回答した 373 名 (69.2%) の内、「共働きである (パートを含む)」は 59.2%、「共働きでない」は 33.5%。

5 人に 3 人が「共働き」である。

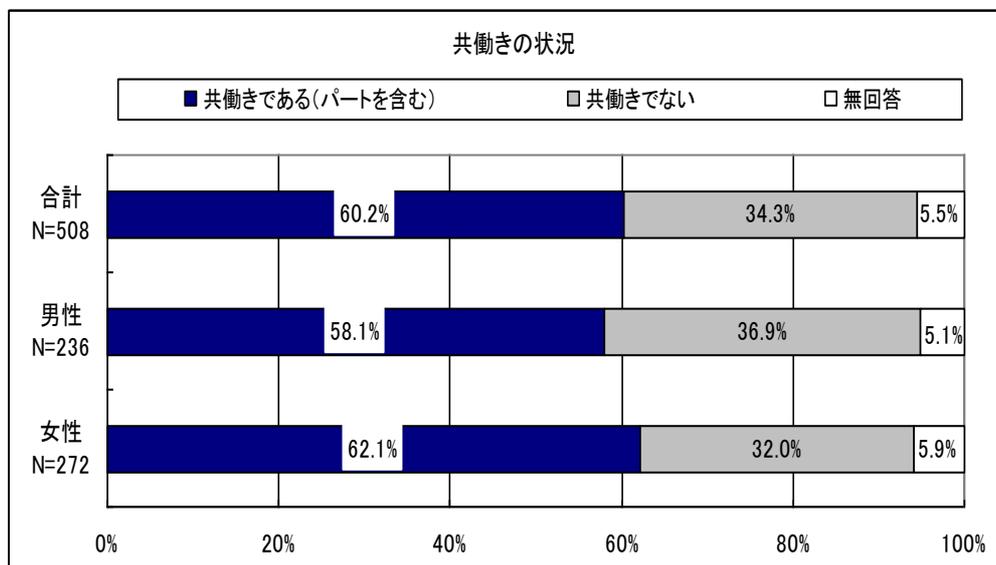
【年代別】「20 代」から「50 代」で「共働きである」と回答した率をみると、「20 代」76.9%、「30 代」75.9%、「40 代」86.8%、「50 代」81.6%となっている。

【前回調査との比較】全体で「共働きである」との回答は 1.0 ポイント減少しており、あまり変化は見られない。

平成 28 年度調査



平成 23 年度調査

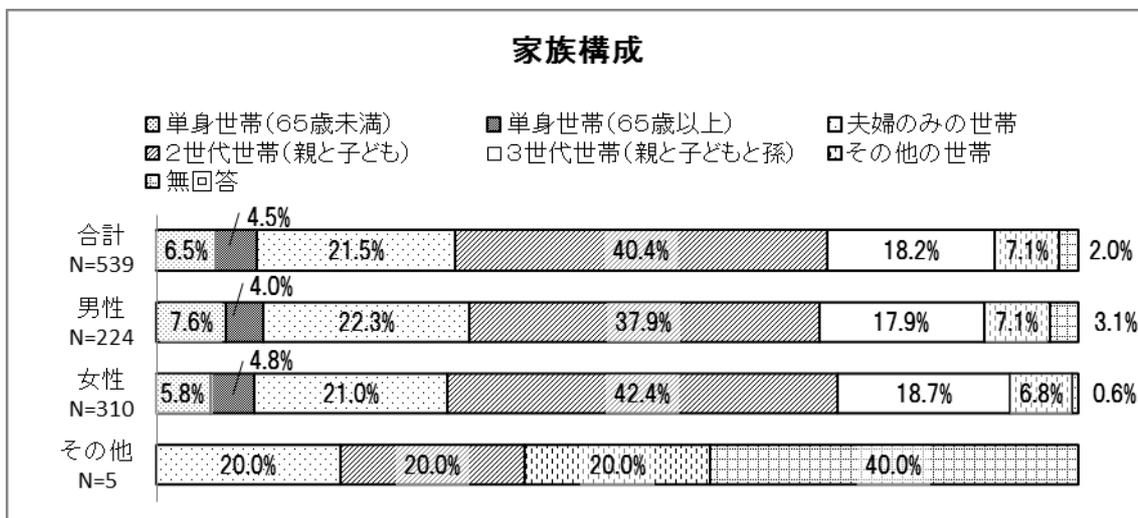


(5) 家族構成

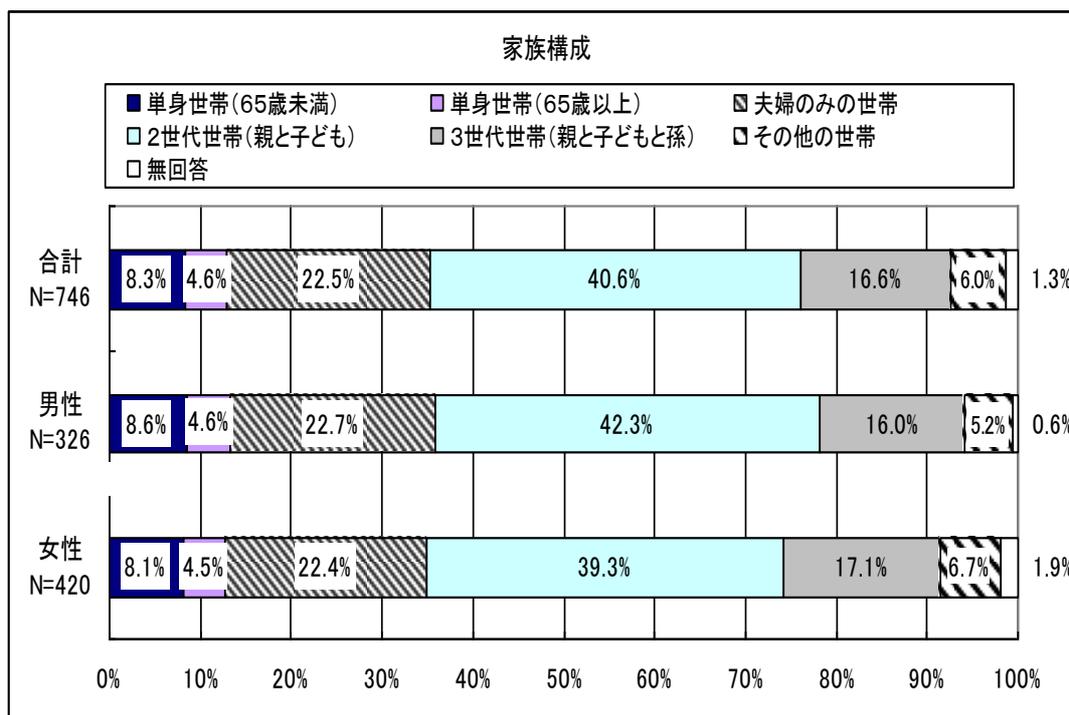
【全体】「2 世代世帯（親と子ども）」が 40.4%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」21.5%、「3 世代世帯（親と子どもと孫）」18.2%、「単身世帯」（65 歳未満・65 歳以上併せて）11.0%となっている。

【前回調査との比較】3 世代世帯が 1.6 ポイント上昇。単身世帯が 1.9 ポイント減少しているが、あまり変化は見られない。

平成 28 年度調査



平成 23 年度調査



【市民会議の声】

・家族構成の多様化が進み、より個別の対応が必要とされている。

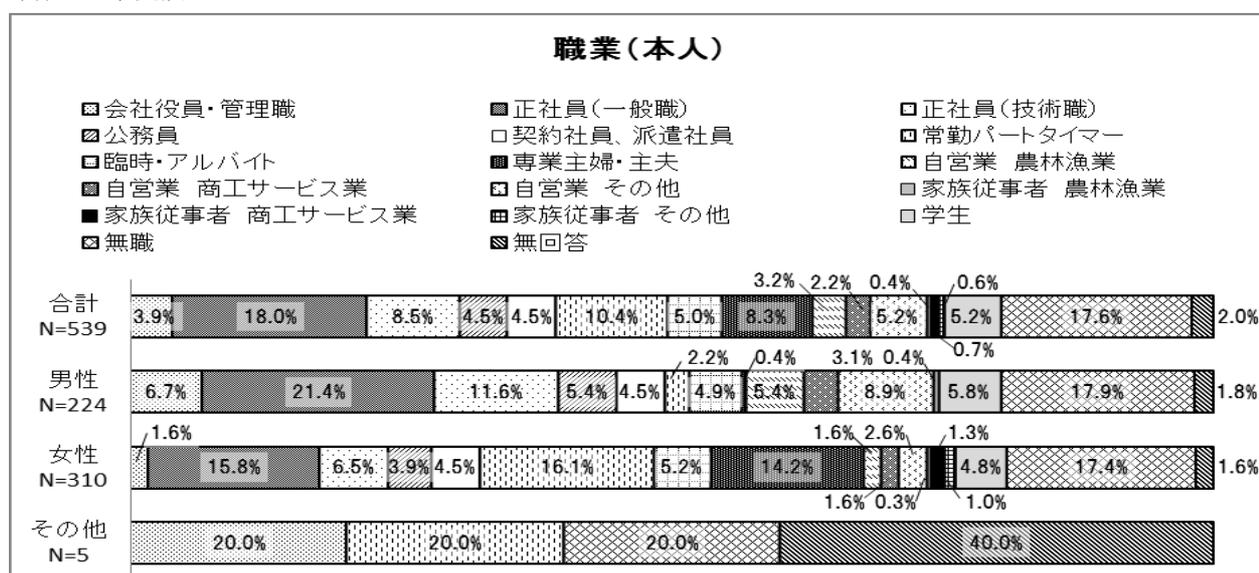
(6) 本人の職業

【全体】会社役員 3.9%、正規職員（「正社員（一般職・技術職）」「公務員」）31.0%、非正規職員（「契約社員・派遣社員」「常勤パート」「臨時アルバイト」）19.9%、「専業主婦・専業主夫」は 8.3%、「自営業（農林・商工・その他）」10.6%、「家族従事者（農林・商工・その他）」1.7%となっている。

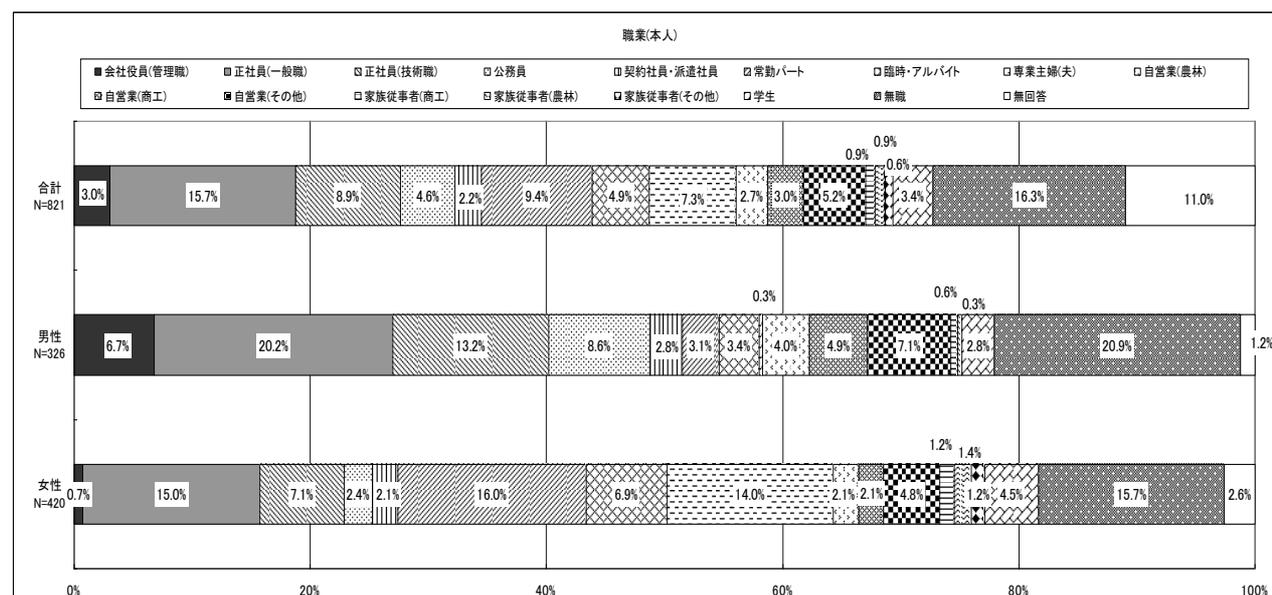
【性別】男性の正規職員は 38.4%、非正規職員も 11.6%と 10 人に 1 人を上回る割合である。女性の正規職員は 26.2%と男性を 12.2 ポイント下回り、女性の非正規職員は 25.8%と男性の非正規職員の 2 倍以上となっている。女性の正規職員、非正規職員はそれぞれ女性の 4 人に 1 人という割合である。

【前回調査との比較】全体の非正規職員は 3.4 ポイント上昇（男性 2.3 ポイント、女性 0.8 ポイント）上昇している。

平成 28 年度調査



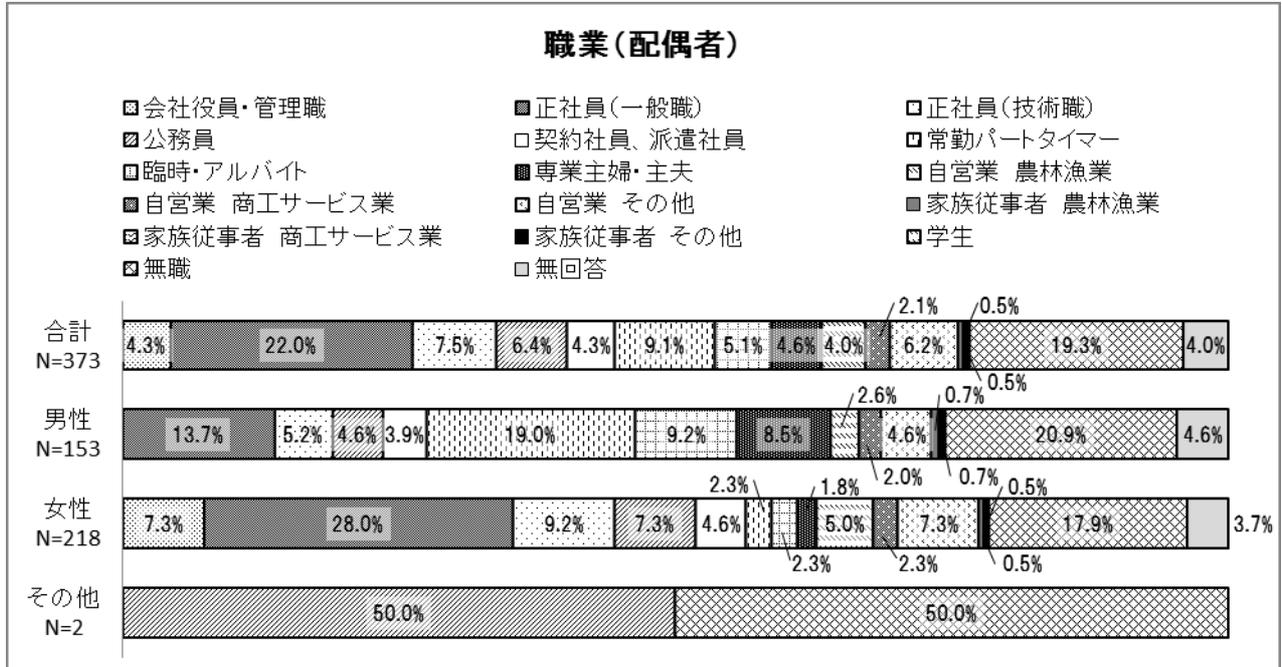
平成 23 年度調査



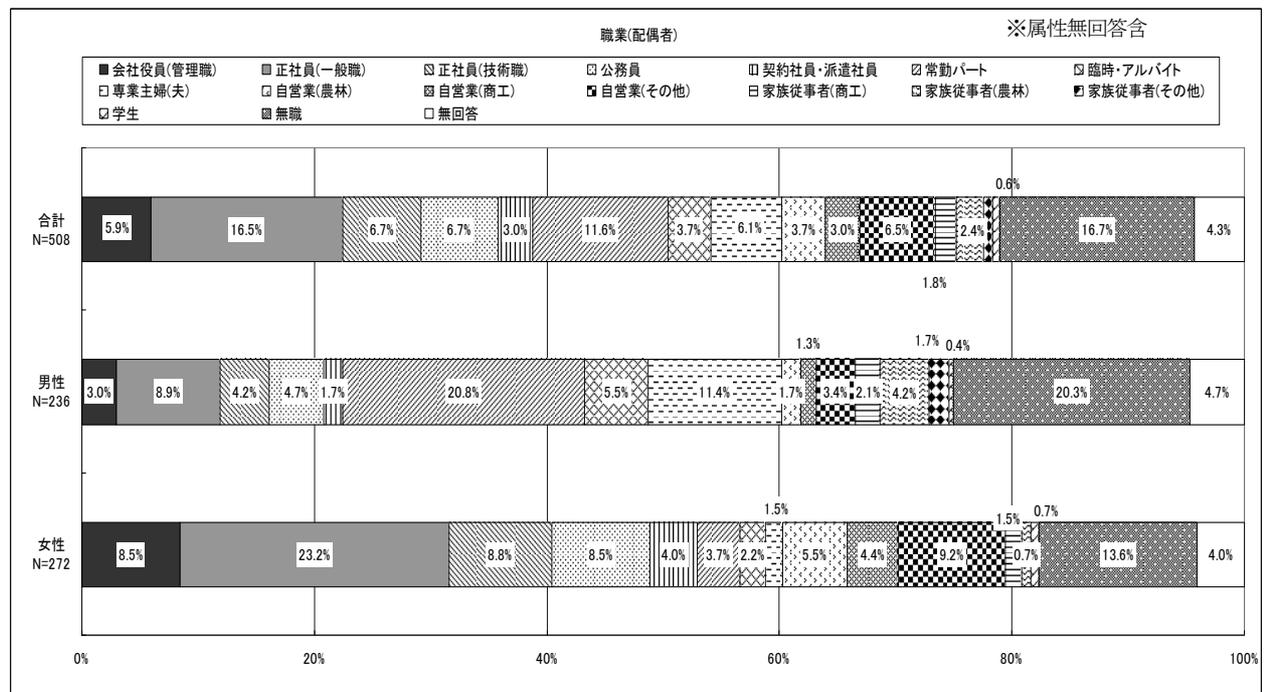
(7) 配偶者の職業

【全体】正規職員（「正社員（一般職・技術職）」「公務員」）35.9%、非正規職員（「契約社員・派遣社員」「常勤パート」「臨時アルバイト」）18.5%、「専業主婦・専業主夫」は4.6%、「自営業（農林・商工・その他）」12.3%、「家族従事者（農林・商工・その他）」1.0%となっている。

平成 28 年度調査



平成 23 年度調査



### 第3章 調査結果

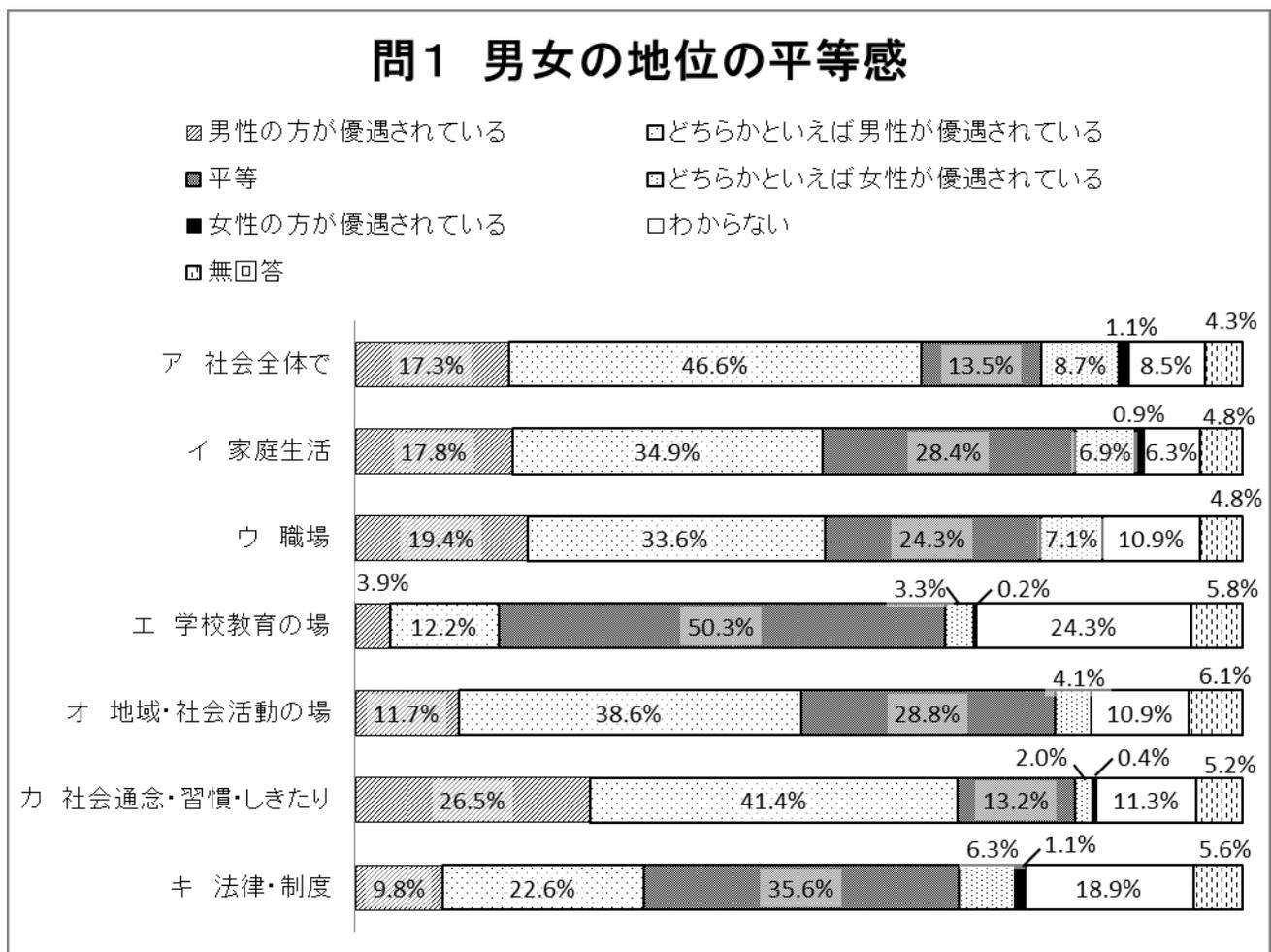
#### 1. 男女平等意識について

##### 問1. 男女の地位の平等感について

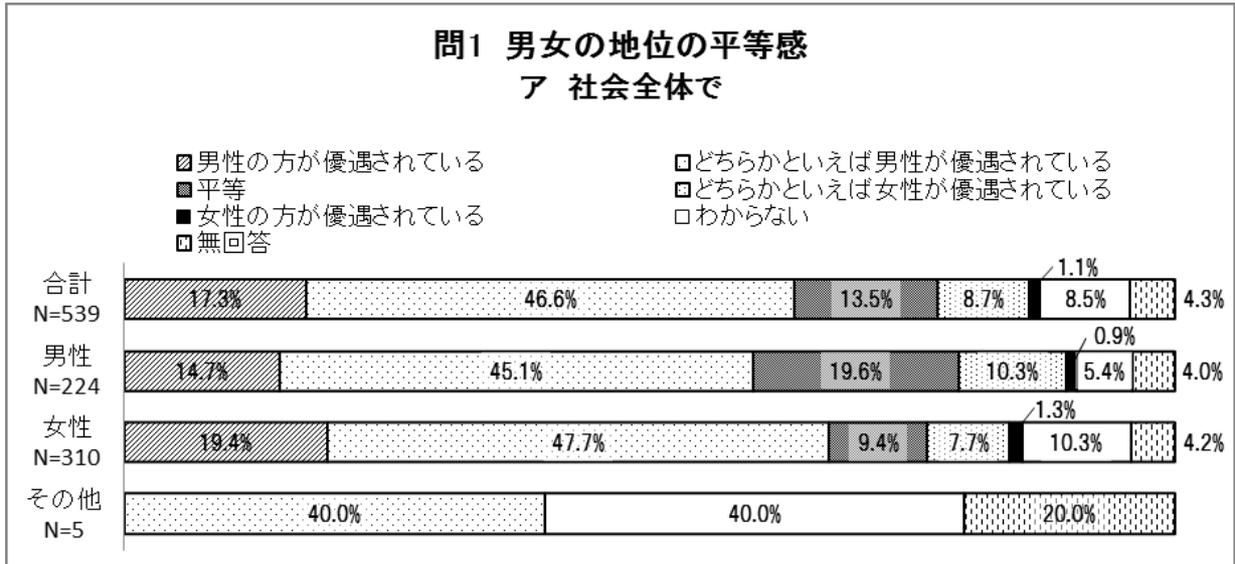
「社会全体」で全体で63.9%が「男性優遇」「どちらかといえば男性優遇」と回答しており、女性は7割、男性は6割ちかくにのぼる。

- ・社会全体と6つの分野で男女の地位は平等になっていると思うか聞いたところ、「平等」と回答した割合が高いほうから、「学校教育の場」で50.3%、「法律・制度の上」で35.6%、「地域・社会活動の場」で28.8%、「家庭生活」で28.4%、「職場」で24.3%、「社会通念・慣習・しきたり」で13.2%となっている。
- ・「家庭生活」「地域・社会生活の場」「法律・制度」での平等感には男性と女性の感じ方の差が大きい。
- ・男女とも「社会通念・慣習・しきたり」での平等感が一番低い結果となり、長い歴史の中で社会的につくられた男女差(不平等感)が根強いことがうかがえる。
- ・「家庭生活」で「男性優遇」「どちらかといえば男性優遇」と回答している男性の割合は、前回調査と比較するとあまり変化が見られないが、女性の割合は56.1%となり9.4ポイント減少している。
- ・「学校教育の場」で「平等」と回答しているのは、全体で50.3%となり前回調査より9.1%減少している。

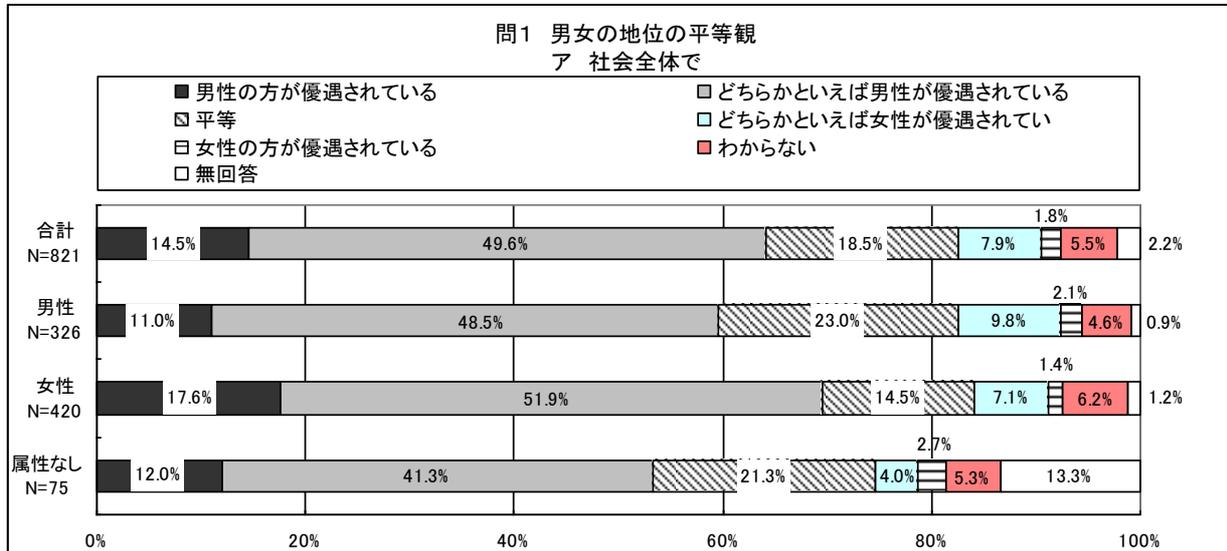
#### 平成 28 年度調査【各項目とりまとめ】



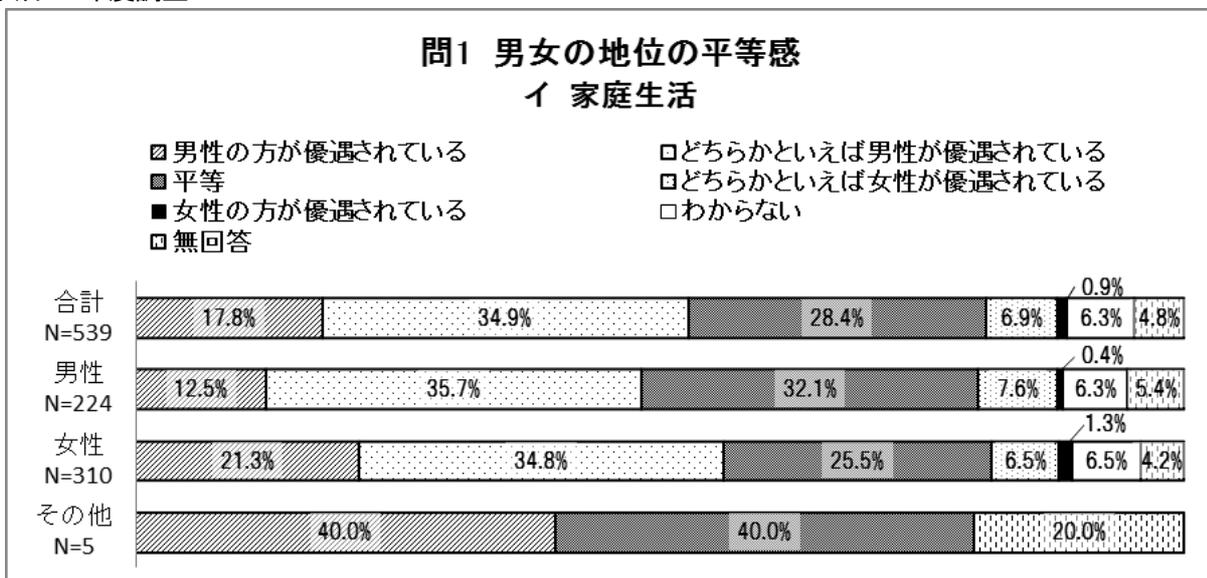
平成 28 年度調査



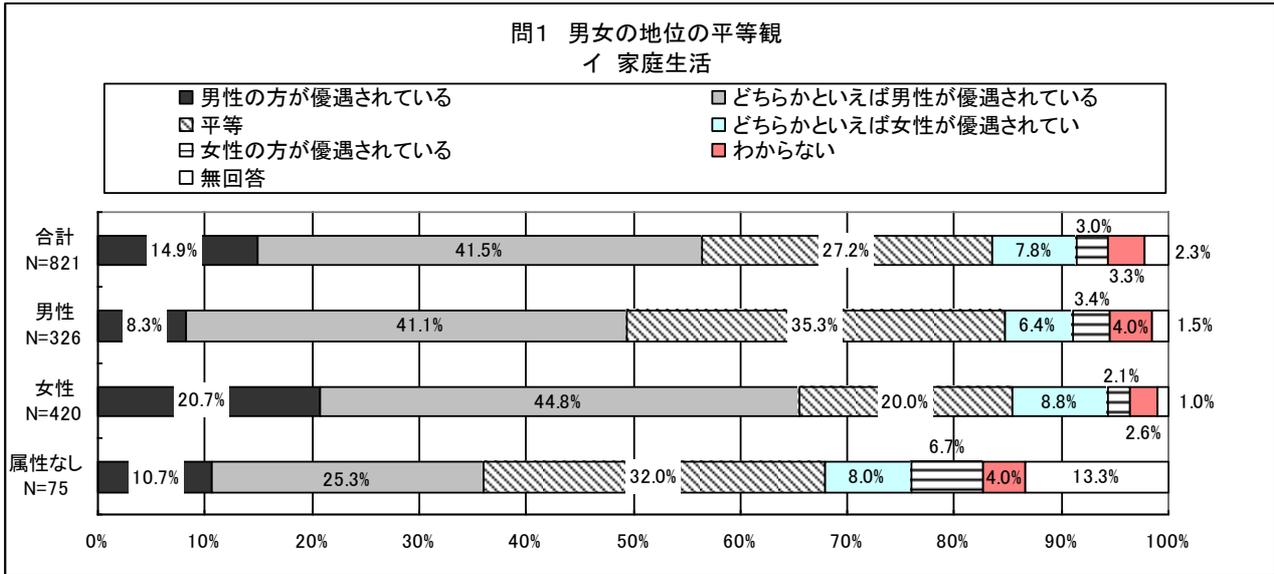
平成 23 年度調査



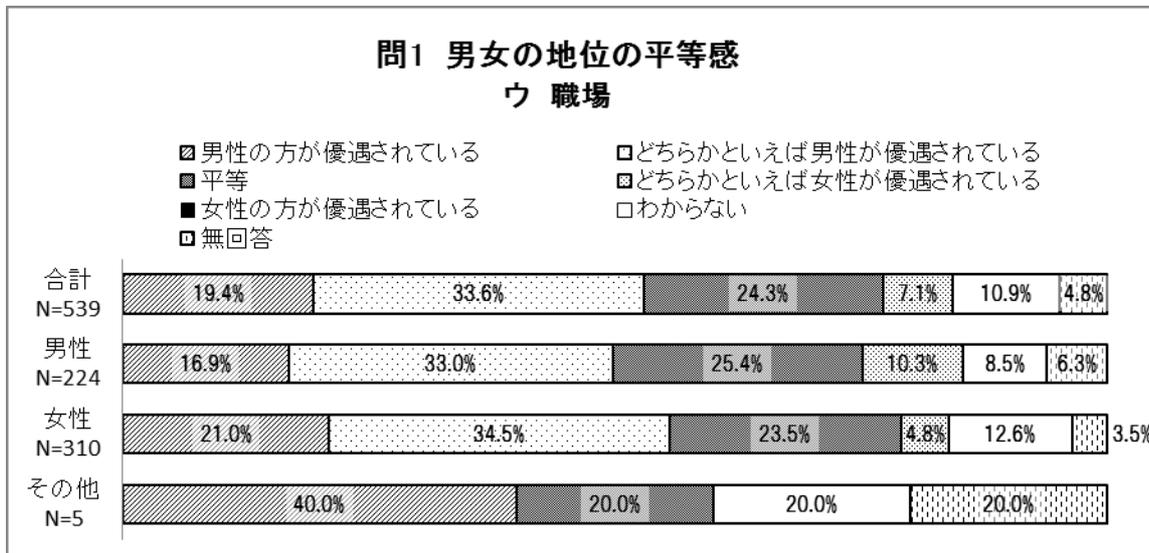
平成 28 年度調査



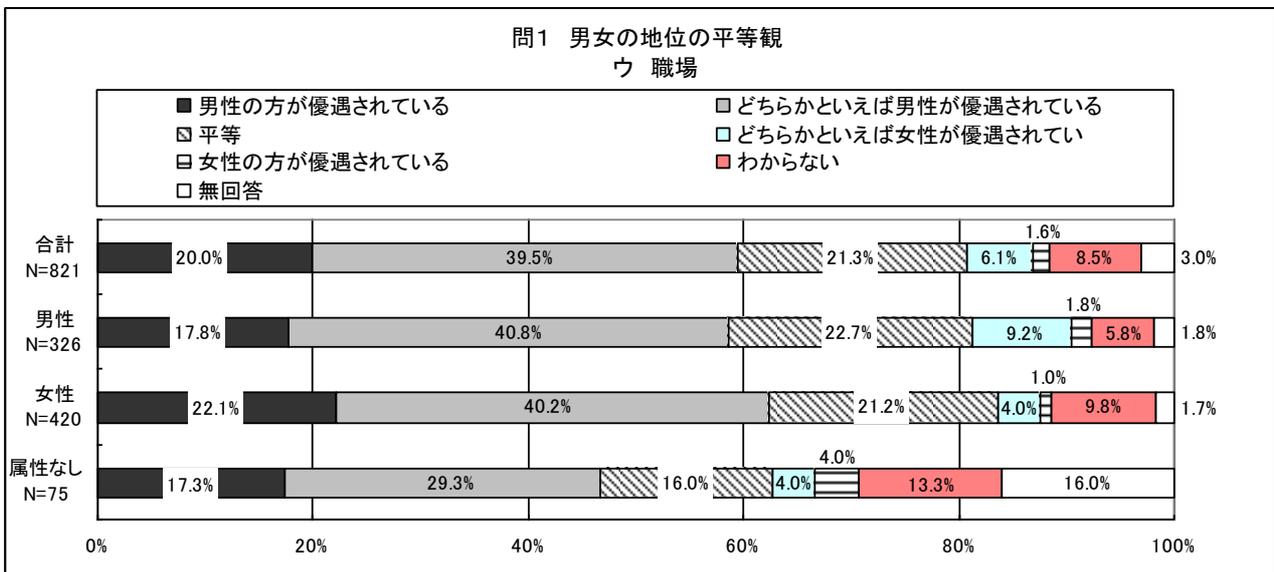
平成 23 年度調査



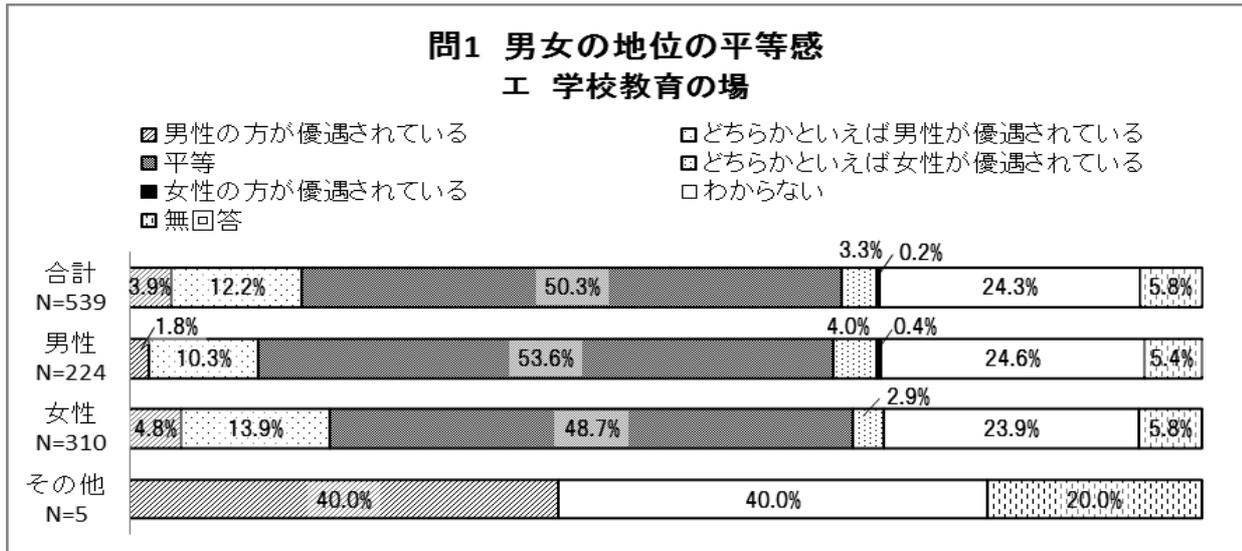
平成 28 年度調査



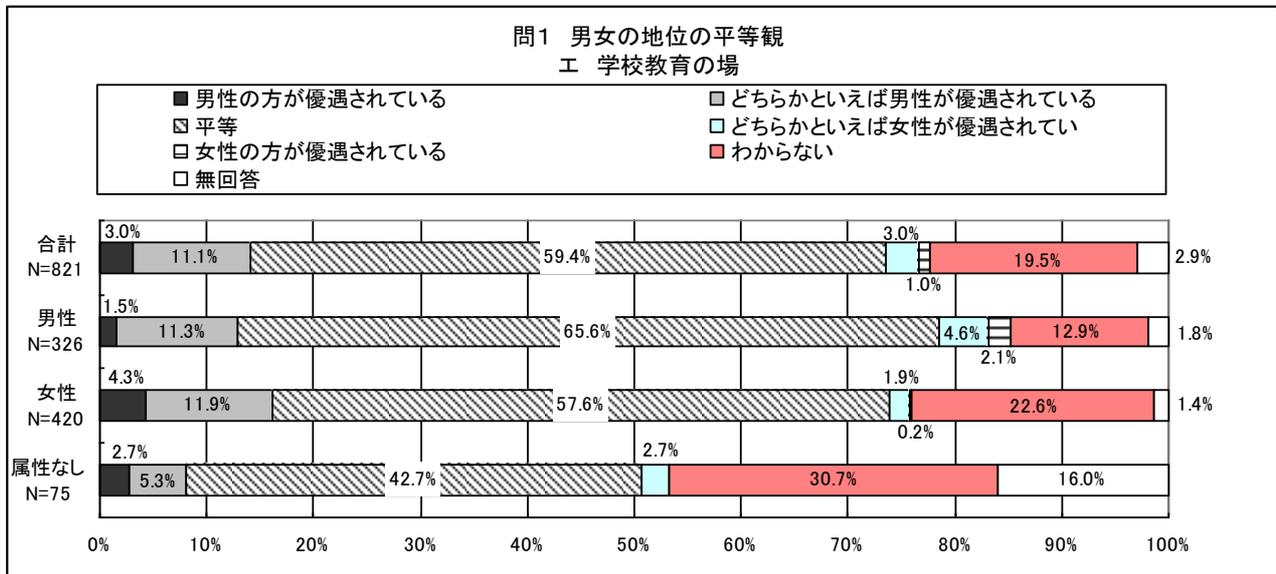
平成 23 年度調査



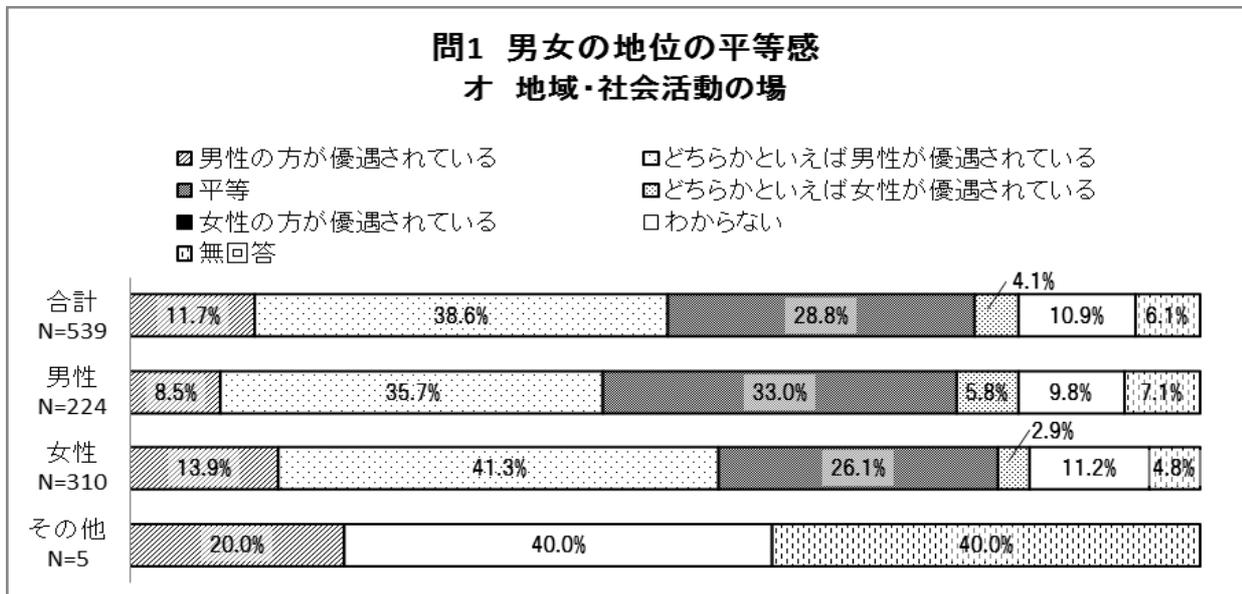
平成 28 年度調査



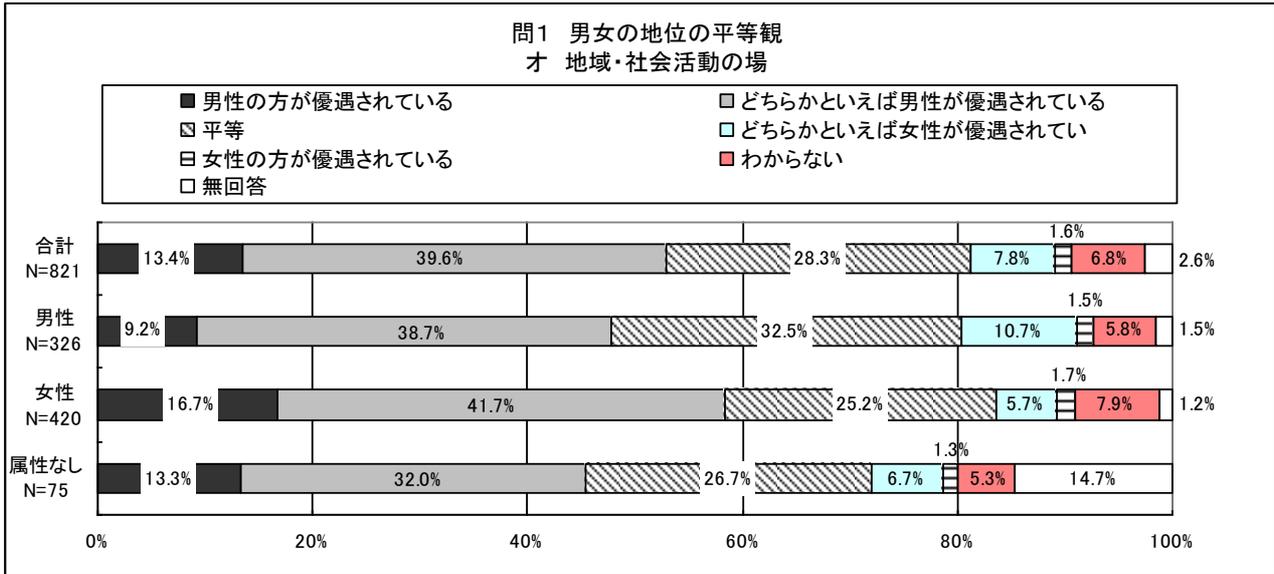
平成 23 年度調査



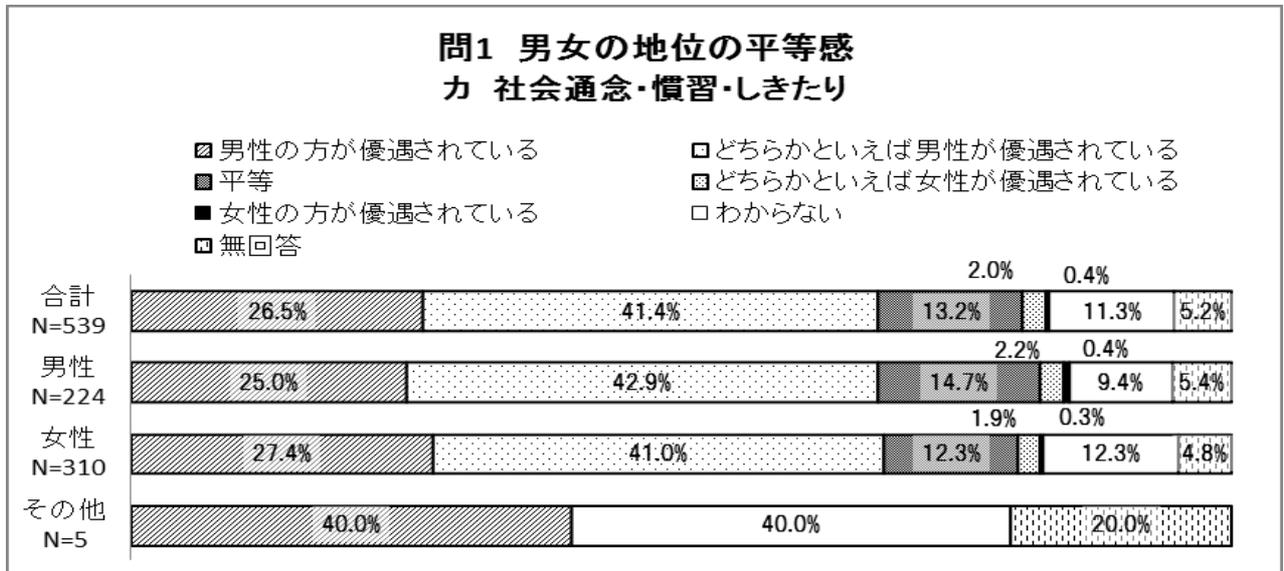
平成 28 年度調査



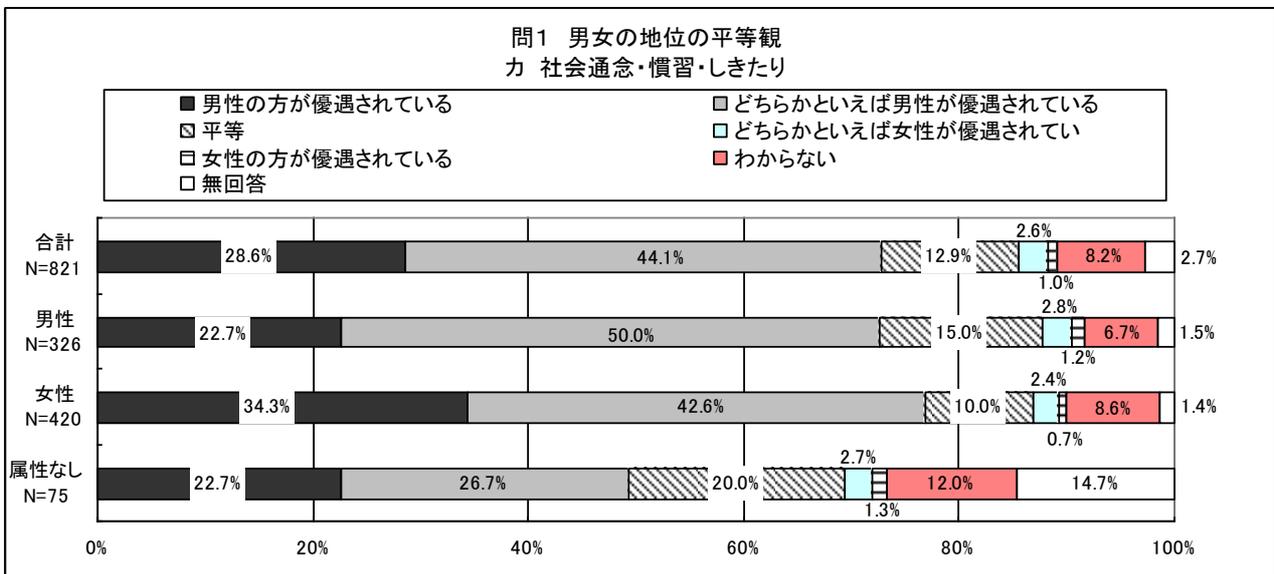
平成 23 年度調査



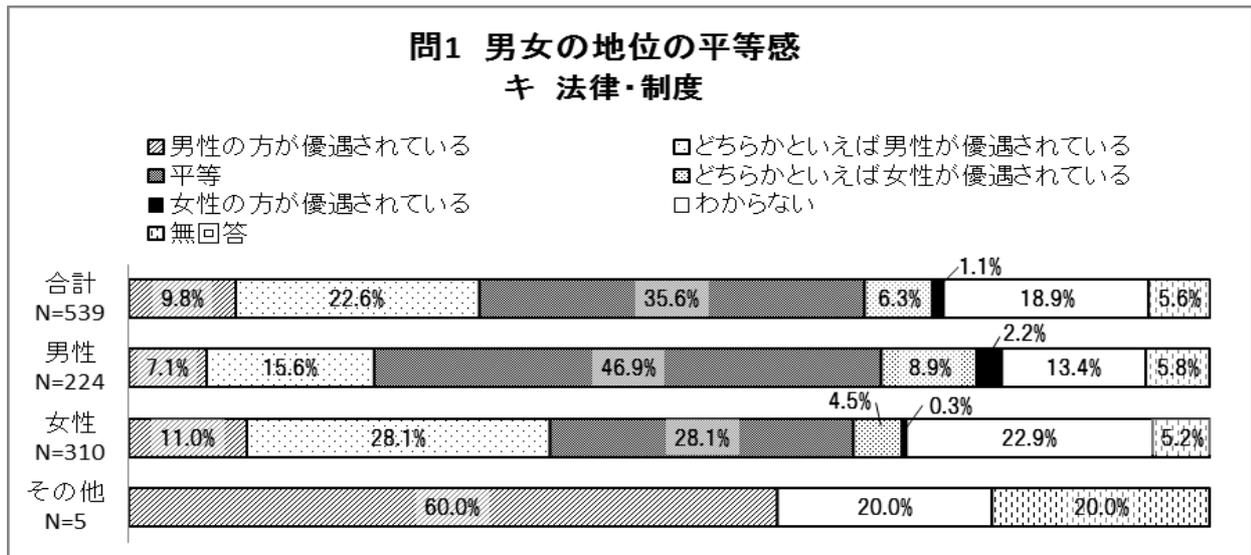
平成 28 年度調査



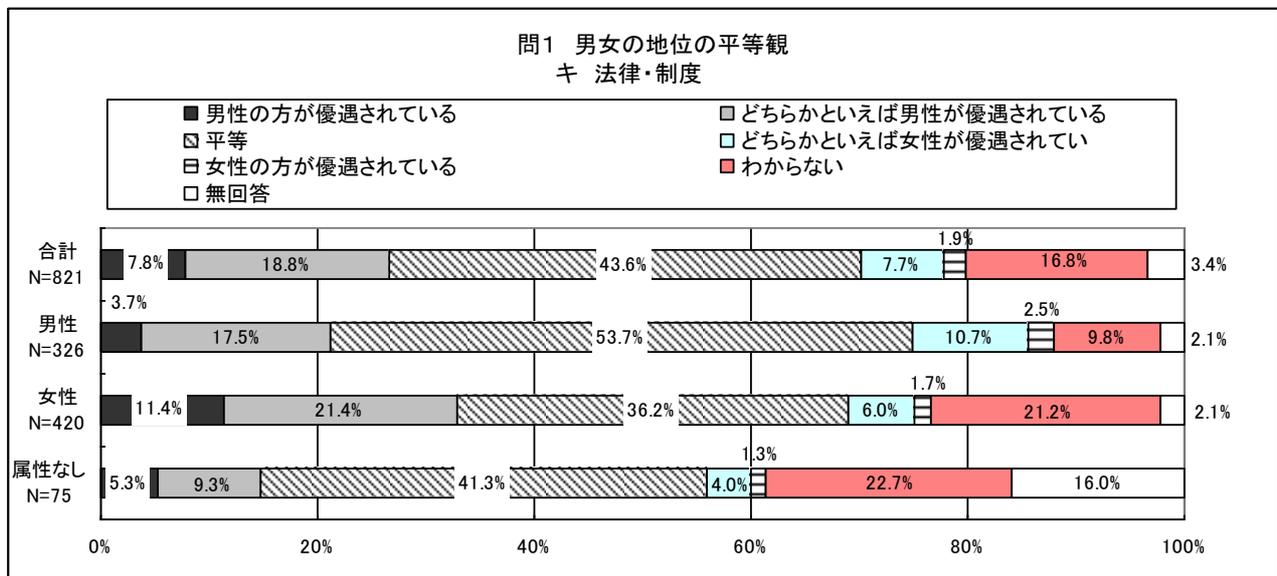
平成 23 年度調査



平成 28 年度調査



平成 23 年度調査

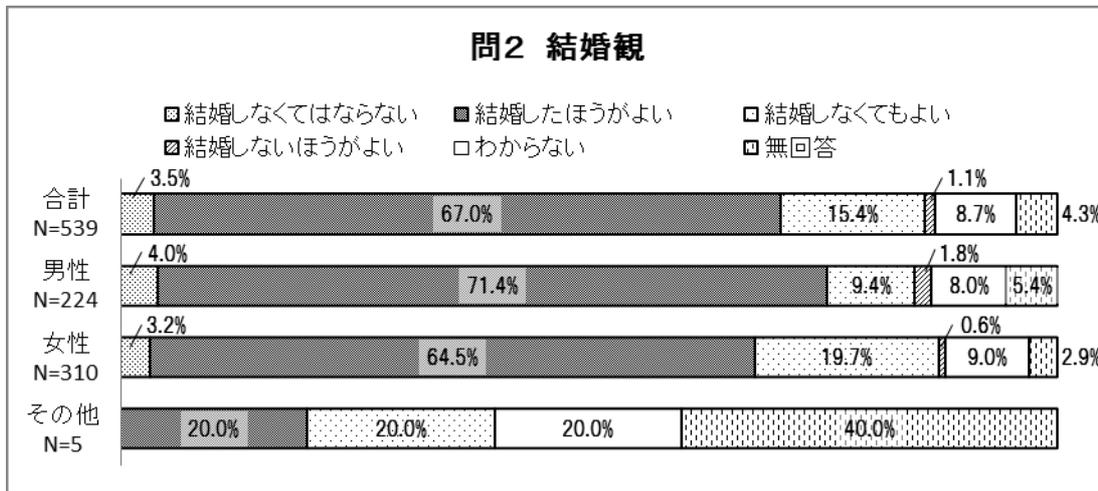


## 2. 結婚・家庭生活について

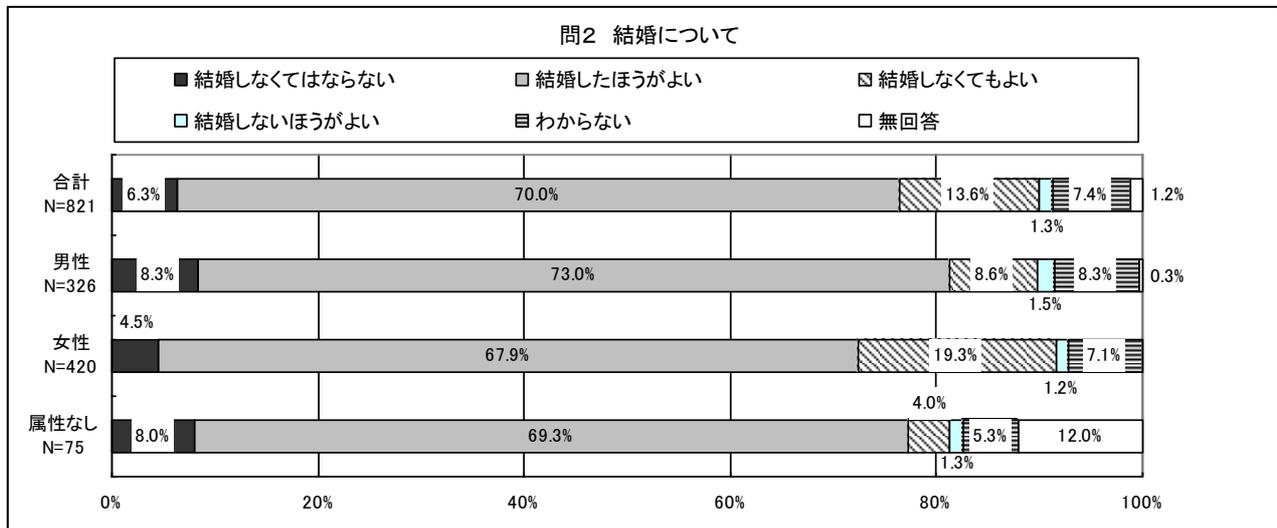
### 問2. 結婚観について

- ・女性の5人に1人、男性の10人に1人が「結婚しなくてもよい」「結婚しないほうがよい」と考えており、そう回答した女性の割合は男性の2倍となっている。
- ・前回調査では「結婚しなくてはならない」、「結婚したほうがよい」は合わせて76.3%だったが、今回調査では70.5%と割合が減っている。特に男性の「結婚しなくてはならない」と回答した割合が半減している。

#### 平成28年度調査



#### 平成23年度調査



### 【市民会議の声】

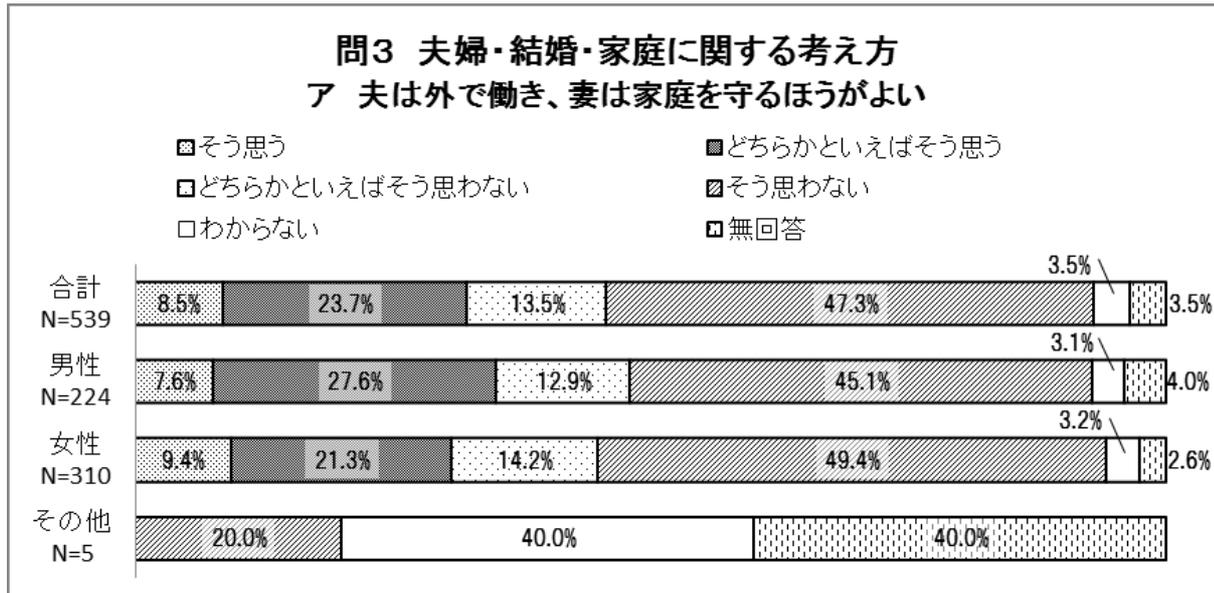
結婚することが自由になっている背景に人間関係の希薄さを感じた。地域コミュニティの存続も心配。

### 問3. 夫婦・結婚・家庭について

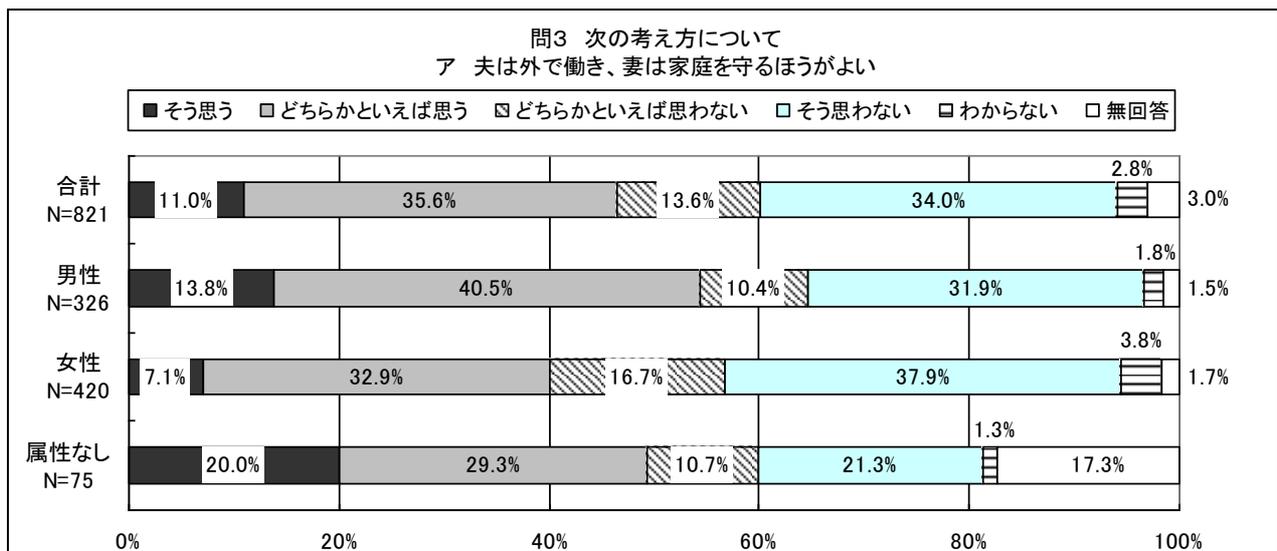
#### ア「夫は外で働き、妻は家庭を守るほうがよい」という考え方について

- ・前回調査は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が 46.6%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が 47.6%となり、ほぼ同数となったが、今回は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が 32.2%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が 60.8%となり、性別役割分担という考え方については変化がみられている。女性の社会進出への抵抗感が弱まっている。
- ・年代別にみると、男女ともに 10～60 代は否定派が肯定派を上回り、70 代は肯定派が否定派を上回る。

#### 平成 28 年度調査



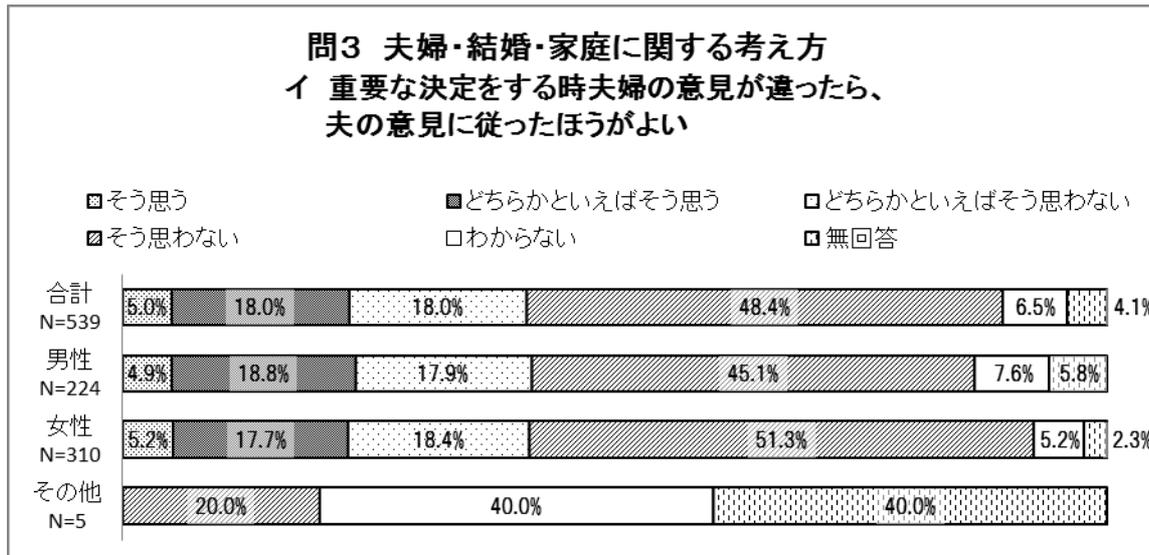
#### 平成 23 年度調査



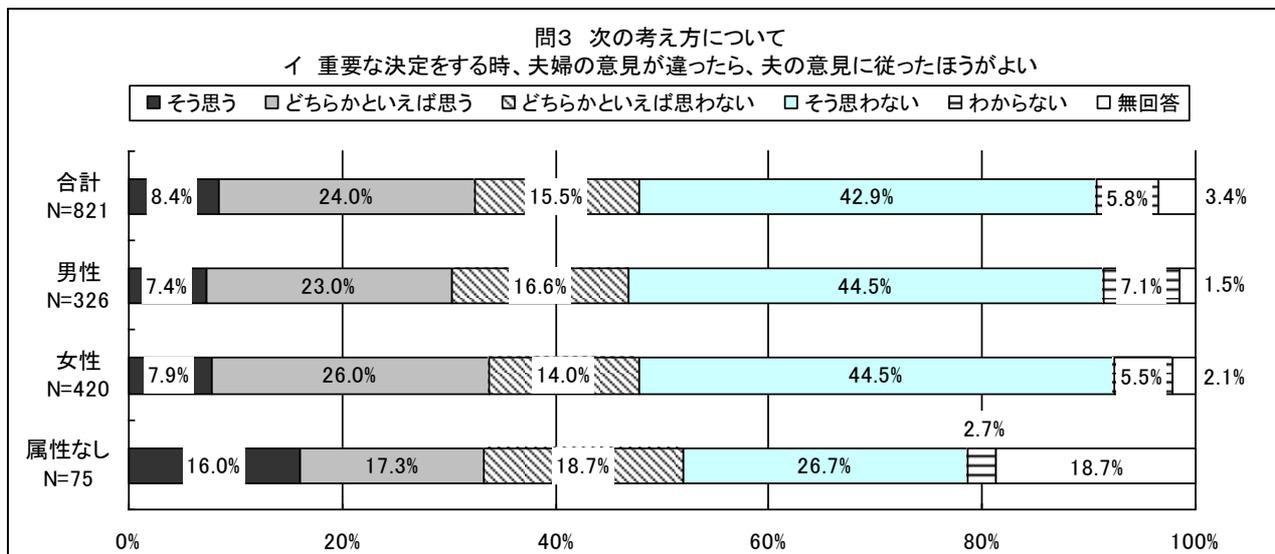
イ 重要な決定をする時夫婦の意見が違ったら、夫の意見に従ったほうがよい

- ・「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が 66.4%となり、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」23.0%より 43.4 ポイント上回った。
- ・女性の「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が 69.7%となり、男性の 63.0%を上回った。
- ・前回の調査と比較すると、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した割合が増加しているが、特に女性は 69.7%となり、11.2%増加している。

平成 28 年度調査



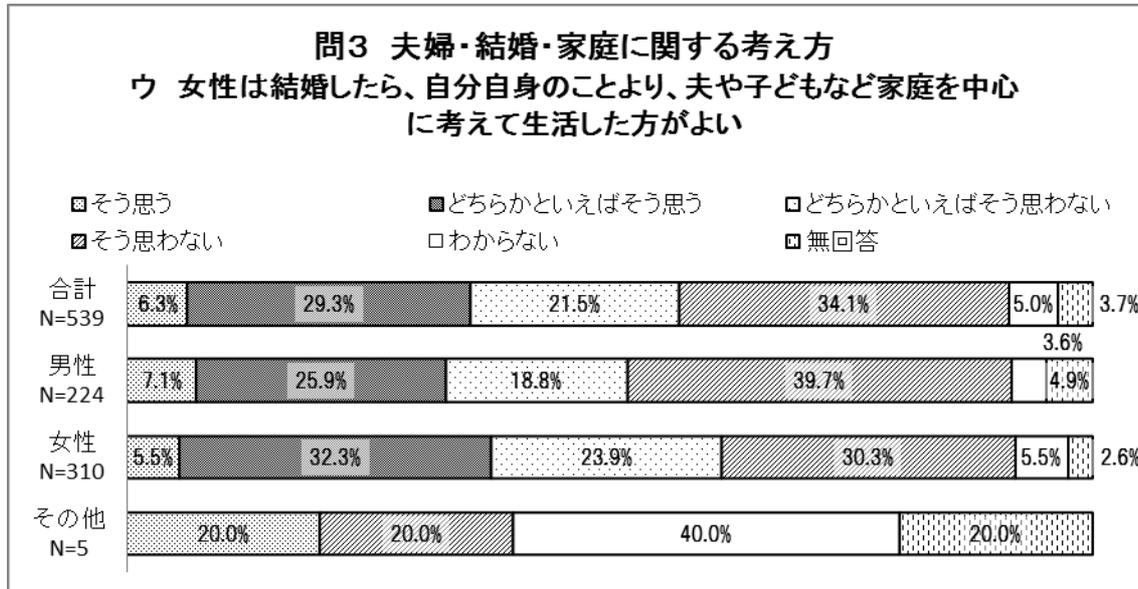
平成 23 年度調査



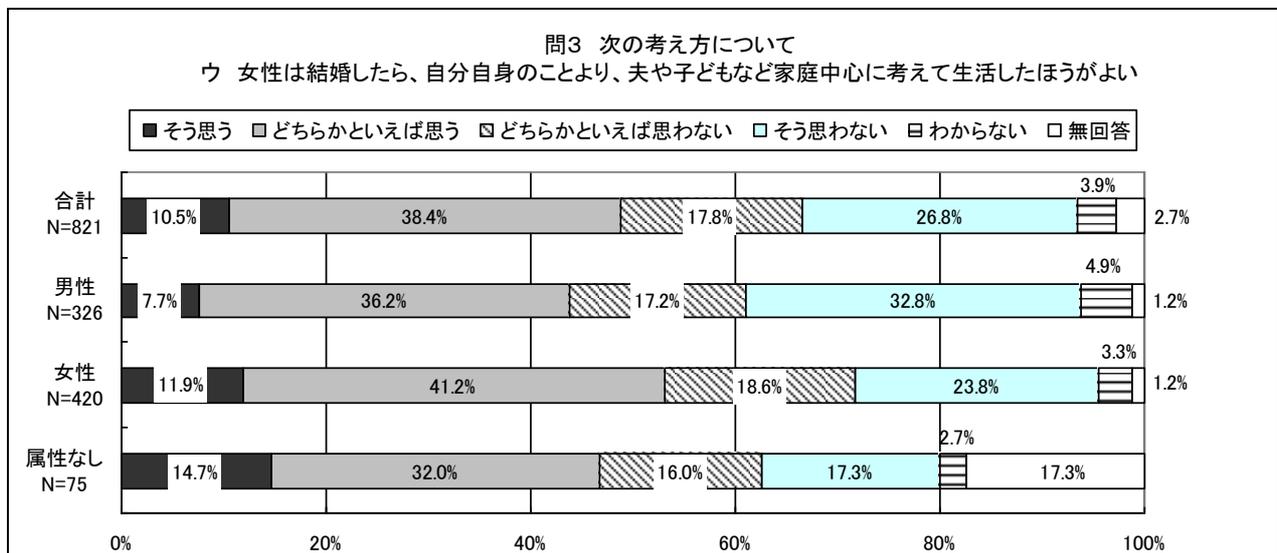
ウ 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活した方がよい

- ・「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の 55.6%となり、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」35.6%より 20.0 ポイント上回った。
- ・女性の「どちらかといえばそう思う」「そう思う」が 37.8%となり、男性の 33.0%を上回った。
- ・前回調査と比べると、男女ともに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が10ポイント以上減少している。

平成 28 年度調査



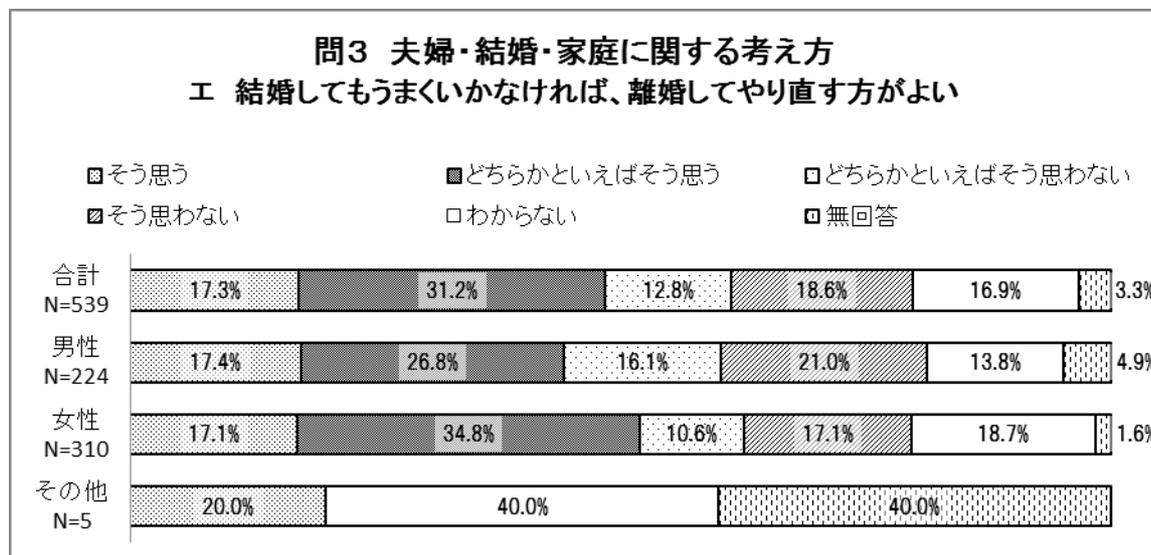
平成 23 年度調査



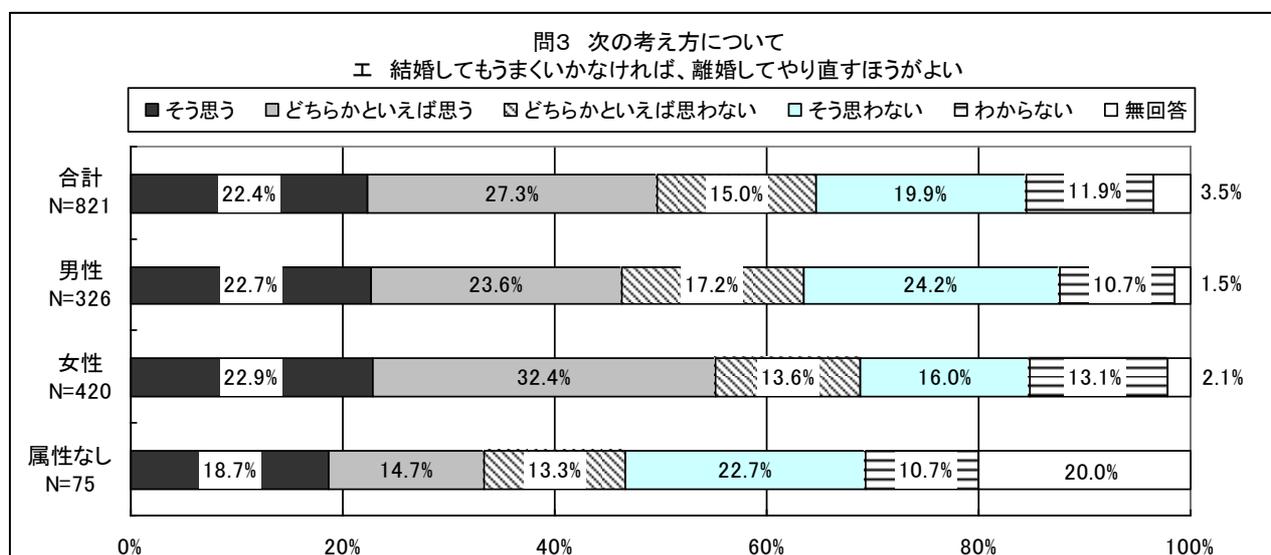
エ 結婚してもうまくいかなければ、離婚してやり直す方がよい

- ・「そう思う」「どちらかといえばそう思う」48.5%となり、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の 31.4%より17.1ポイント上回った。
- ・女性の「どちらかといえばそう思う」「そう思う」が51.9%と高率となった。

平成 28 年度調査



平成 23 年度調査

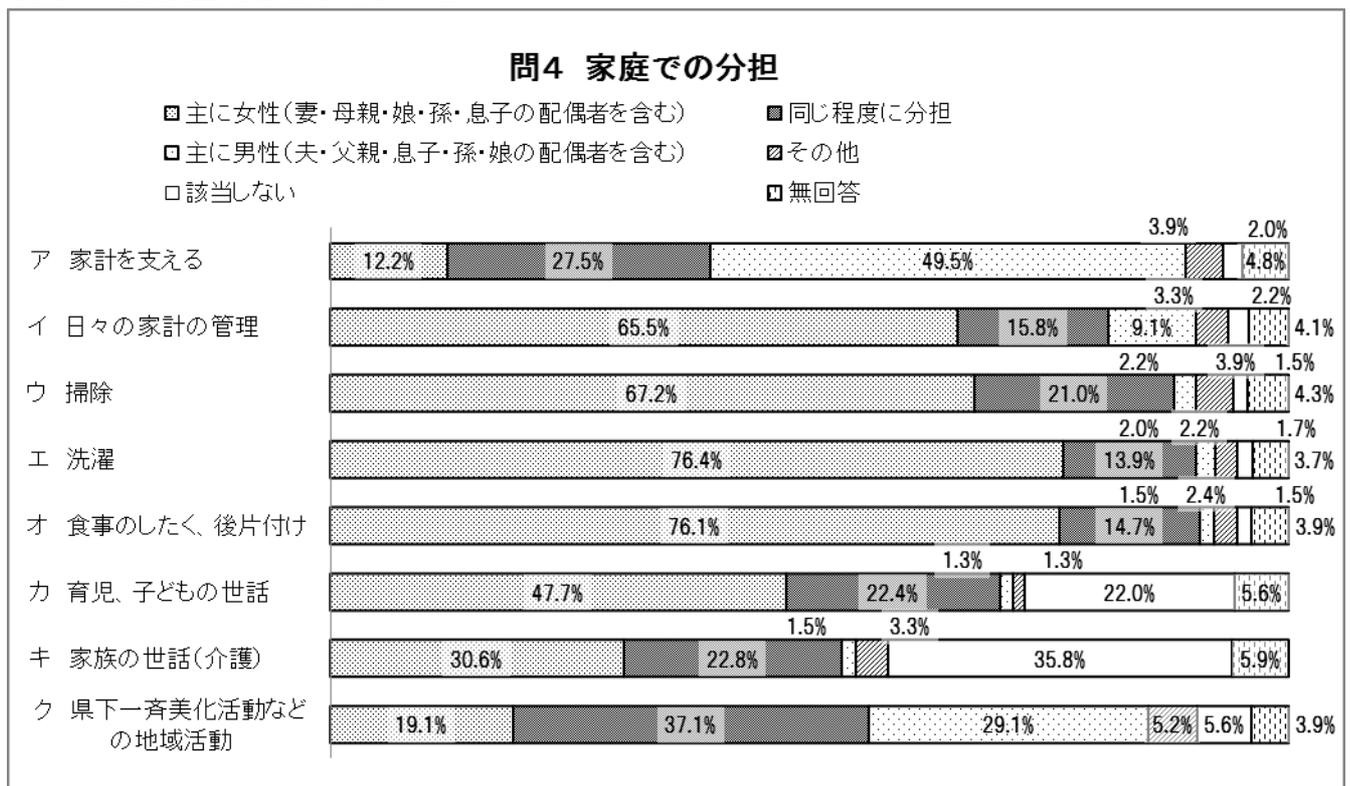


#### 問4. 家事の分担について

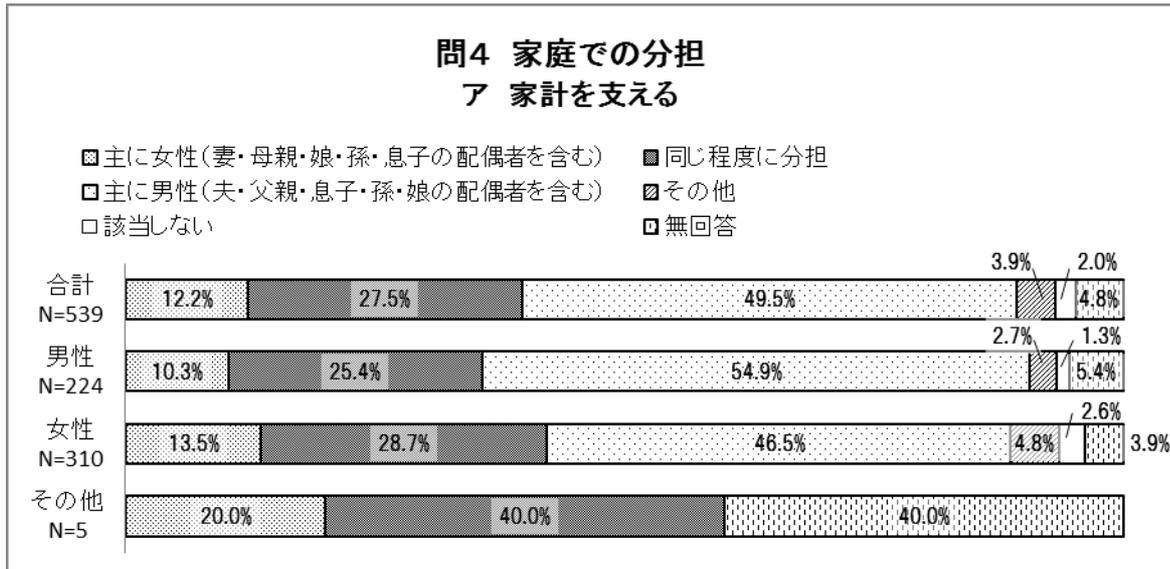
「日々の家計の管理」「掃除」は6割以上、「洗濯」「食事のしたく」は7割以上を主に女性が占める。

- ・「家計を支える(生活費を稼ぐ)」は男女が共に家計を支える「同じ程度に分担」が4世帯に1世帯だが、「主に男性」が49.5%と半数近くを占める。
- ・「掃除」「洗濯」「食事のしたく、後片付け」「育児、子どもの世話」「家族の世話(介護)」については、「主に女性」との回答は女性が男性の回答を上回り、「同じ程度に分担」との回答は男性が女性の回答を上回り、認識の差が見られた。
- ・「食事のしたく、後片付け」で「主に女性」と答えた割合は、男性は68.8%となり前回調査より12.5%減少、女性は81.6%で2.9%減少している。ここでも男女の認識の差が見られる。
- ・介護の該当者(58.3%)では「主に女性」52.5%、「同じ程度」39.2%で育児の該当者(72.4%)では「主に女性」65.9%、「同じ程度」30.9%となっており、育児よりも介護の方が「主に女性」の割合が低く、「同じ程度」の割合が高い。
- ・「県下一斉美化活動などの地域活動」については、「主に女性」19.1%、「主に男性」29.1%、「同じ程度に分担」37.1%と調査項目中、最も男性の参画が進んでいると回答した率が高かった。

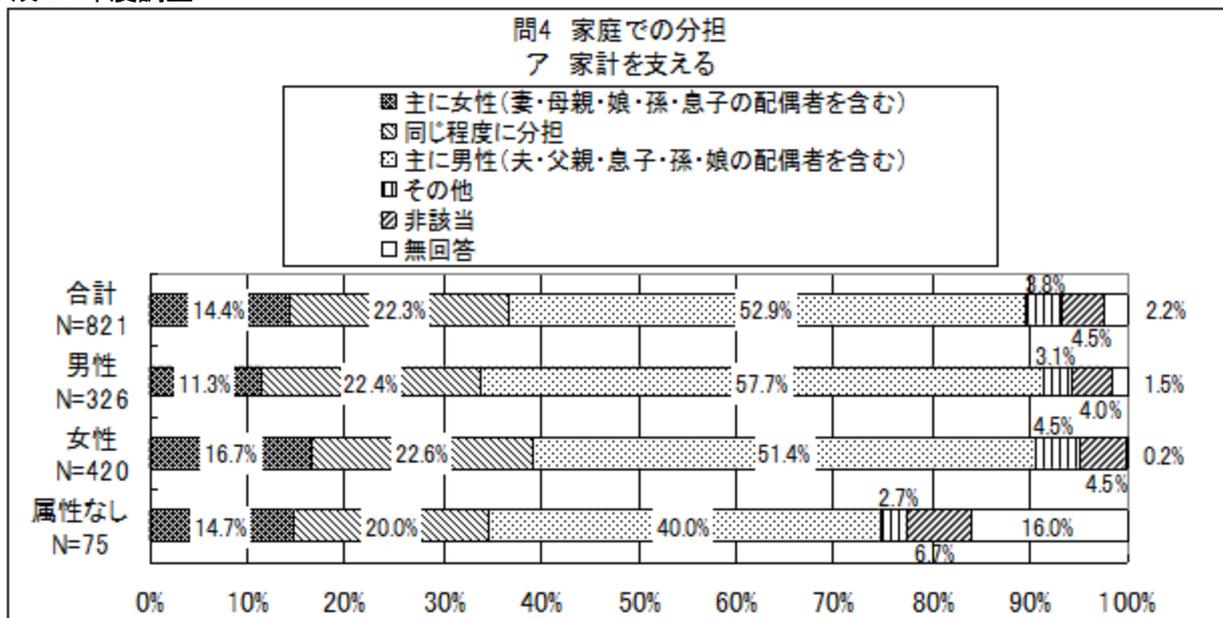
#### 平成 28 年度調査 【各項目とりまとめ】



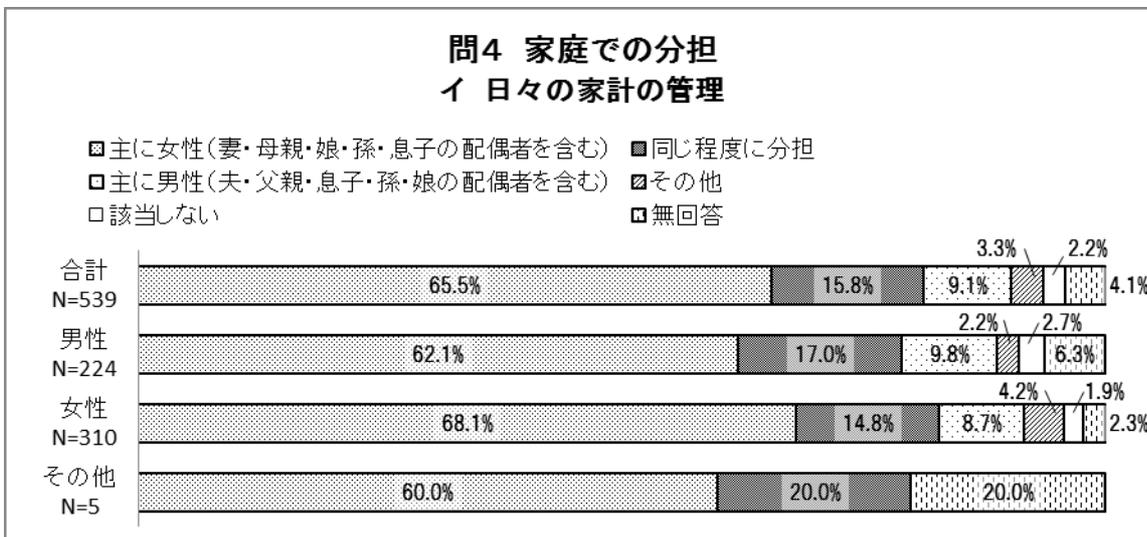
平成 28 年度調査



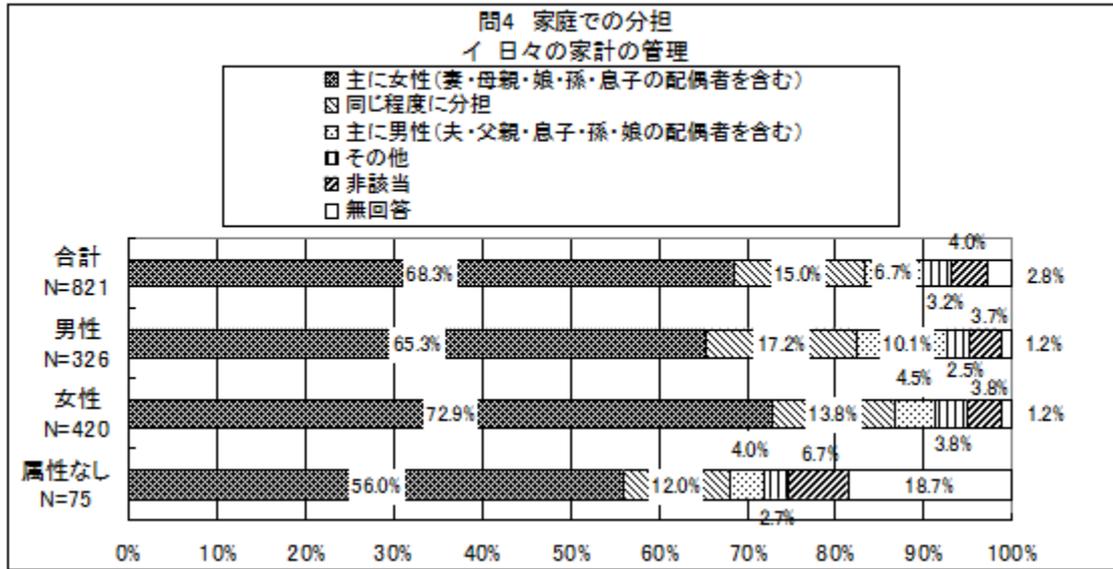
平成 23 年度調査



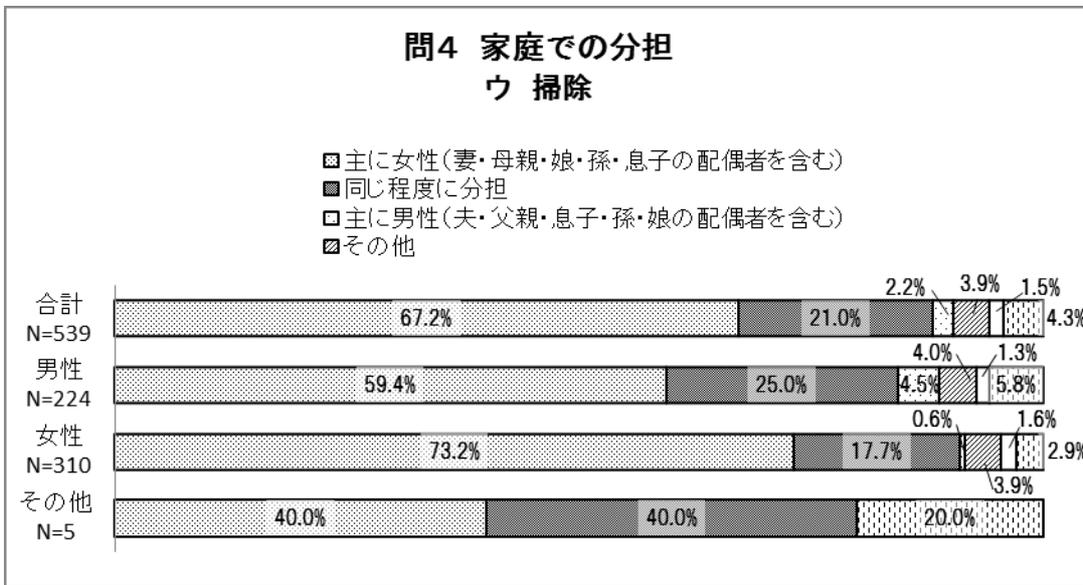
平成 28 年度調査



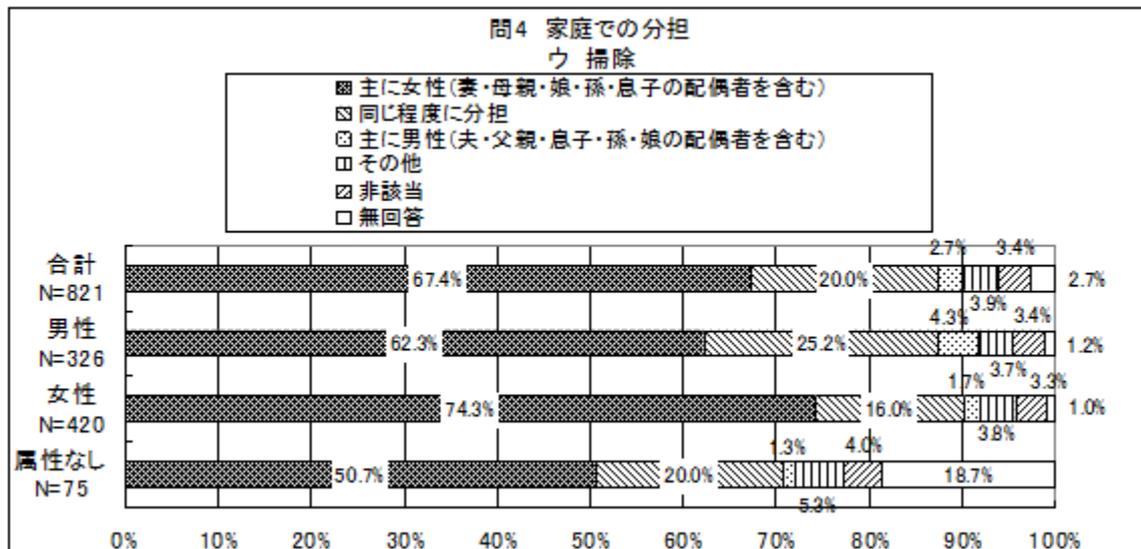
平成 23 年度調査



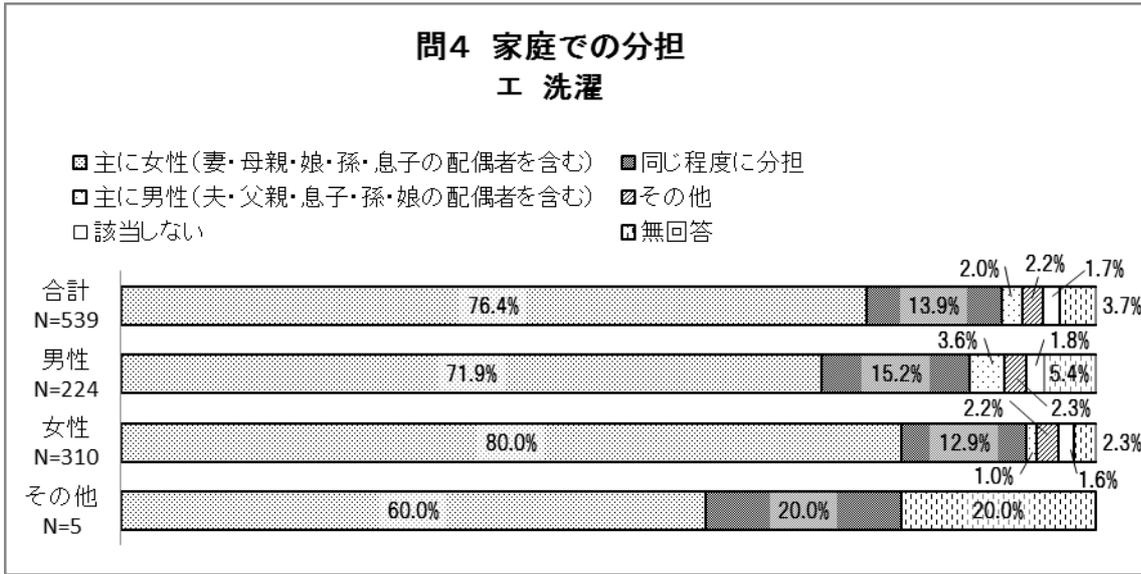
平成 28 年度調査



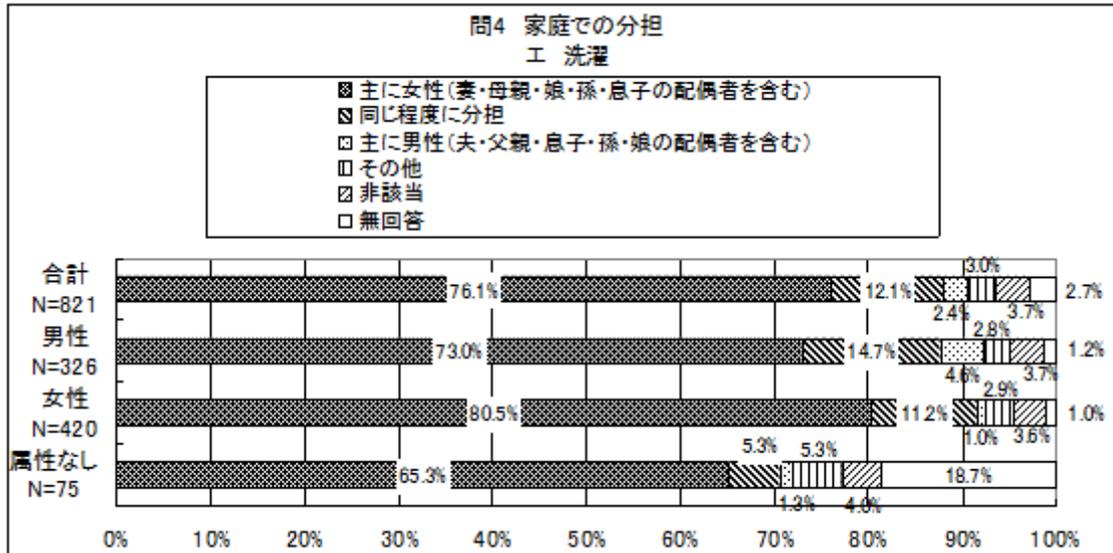
平成 23 年度調査



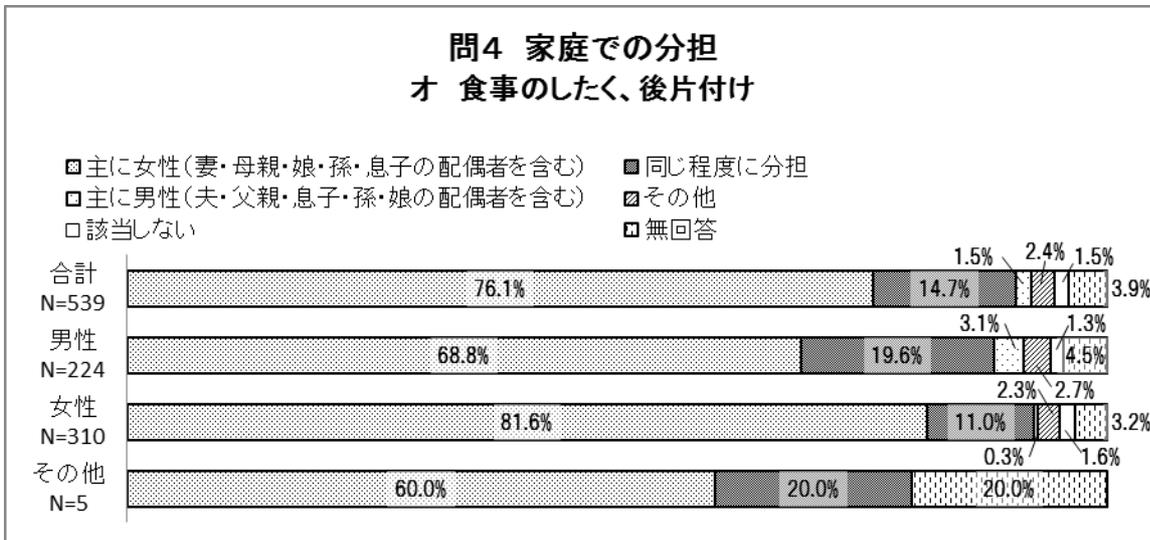
平成 28 年度調査



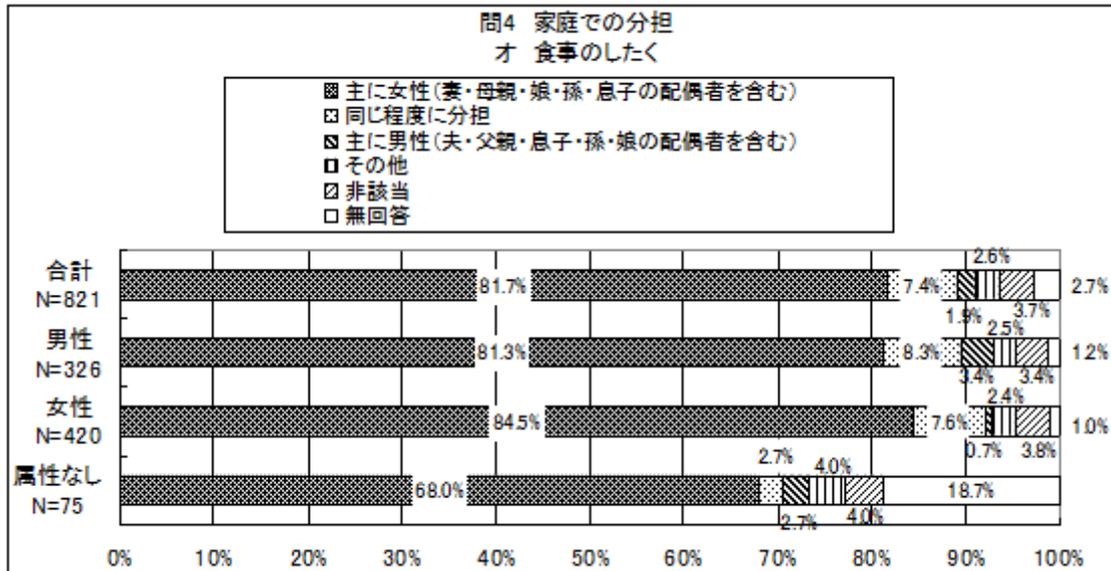
平成 23 年度調査



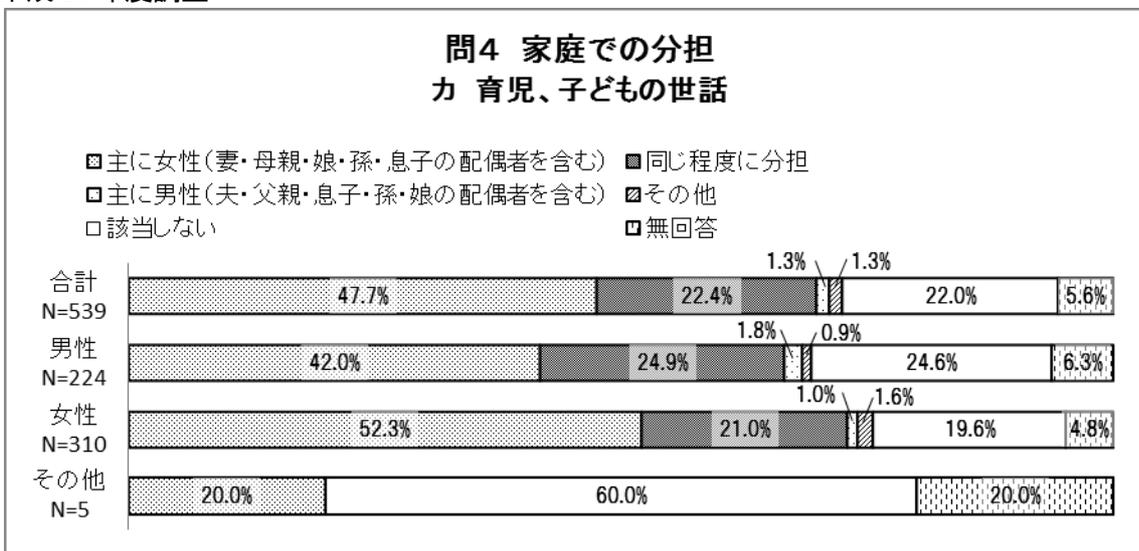
平成 28 年度調査



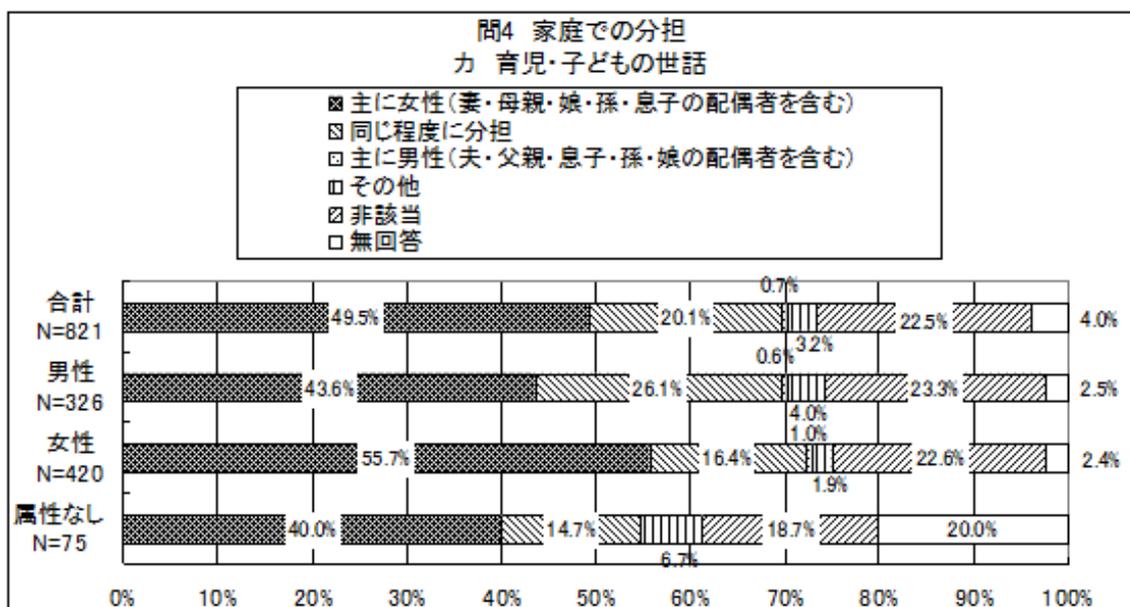
平成 23 年度調査



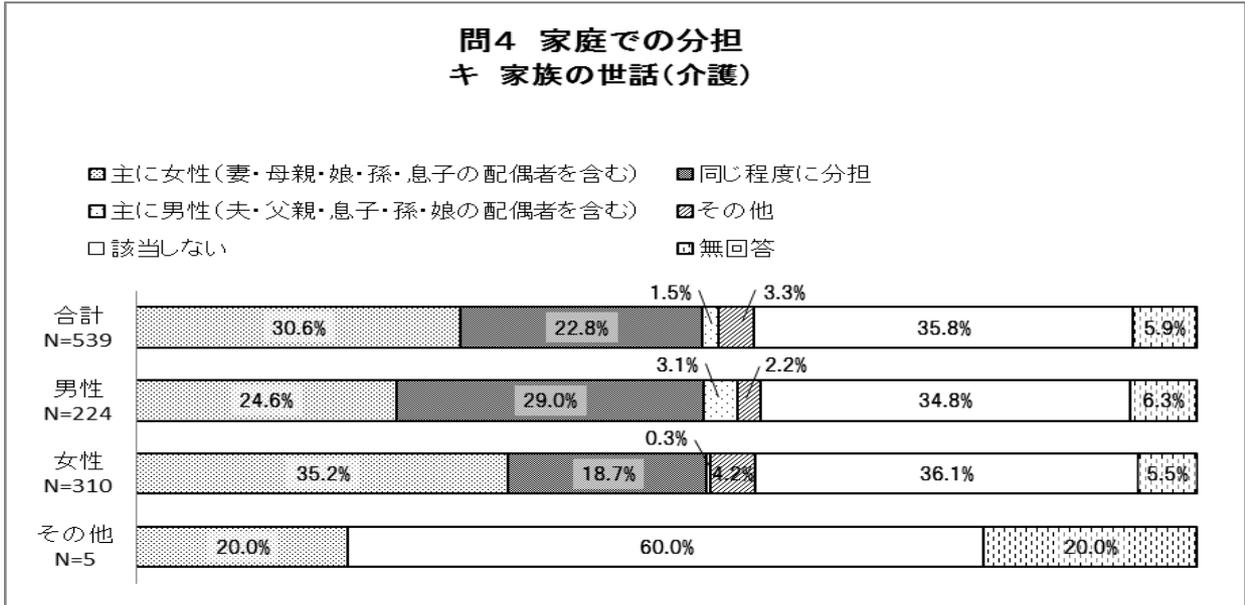
平成 28 年度調査



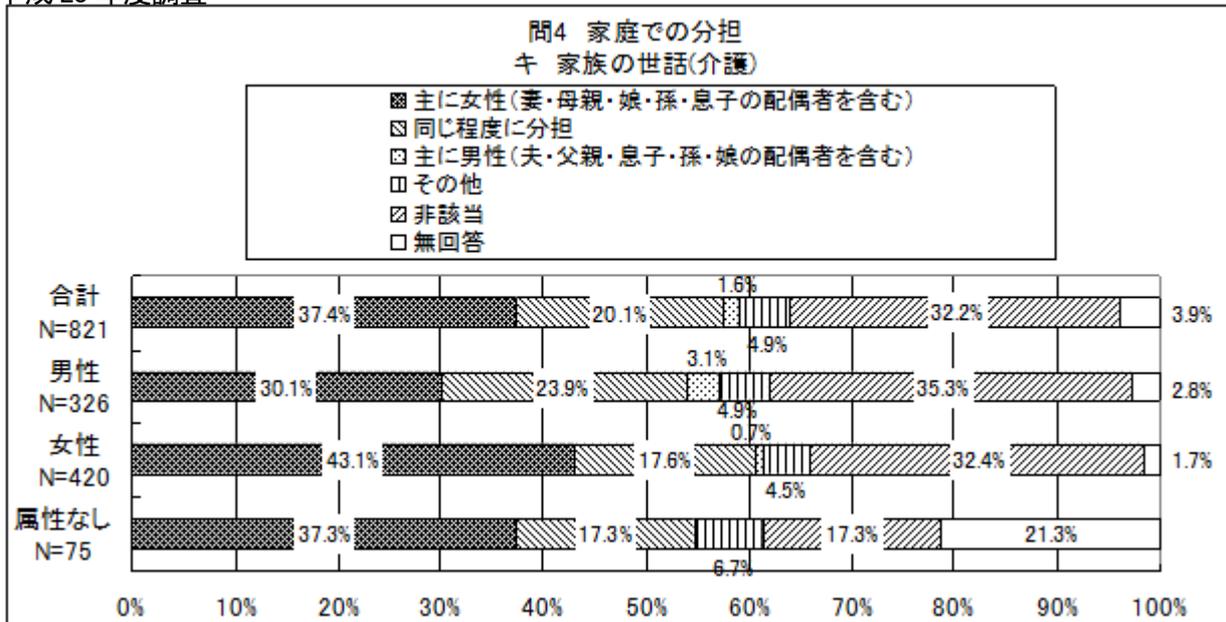
平成 23 年度調査



平成 28 年度調査



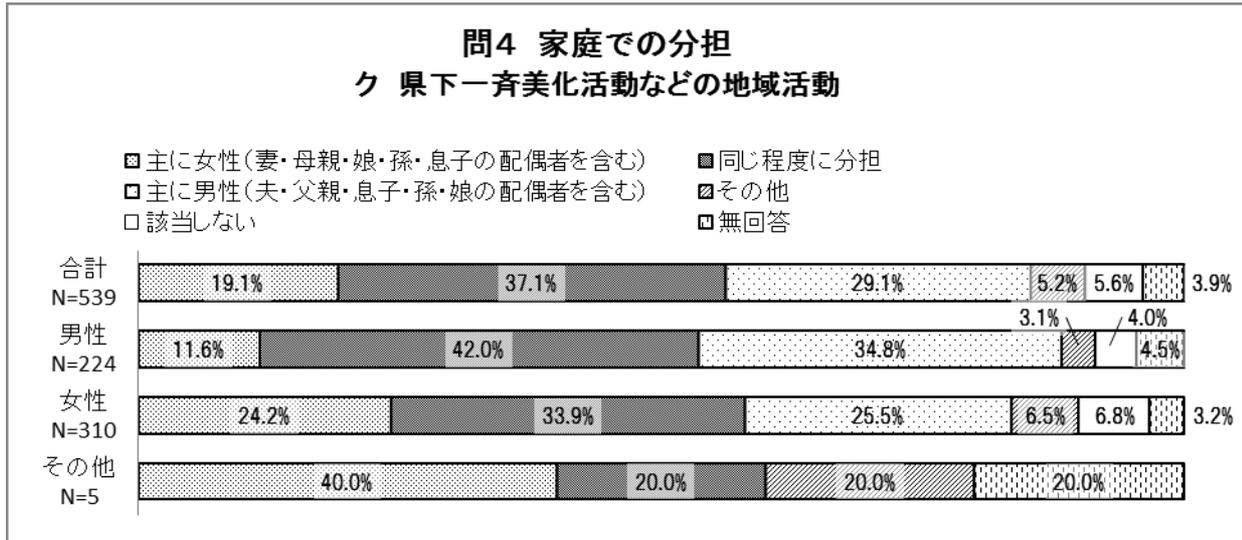
平成 23 年度調査



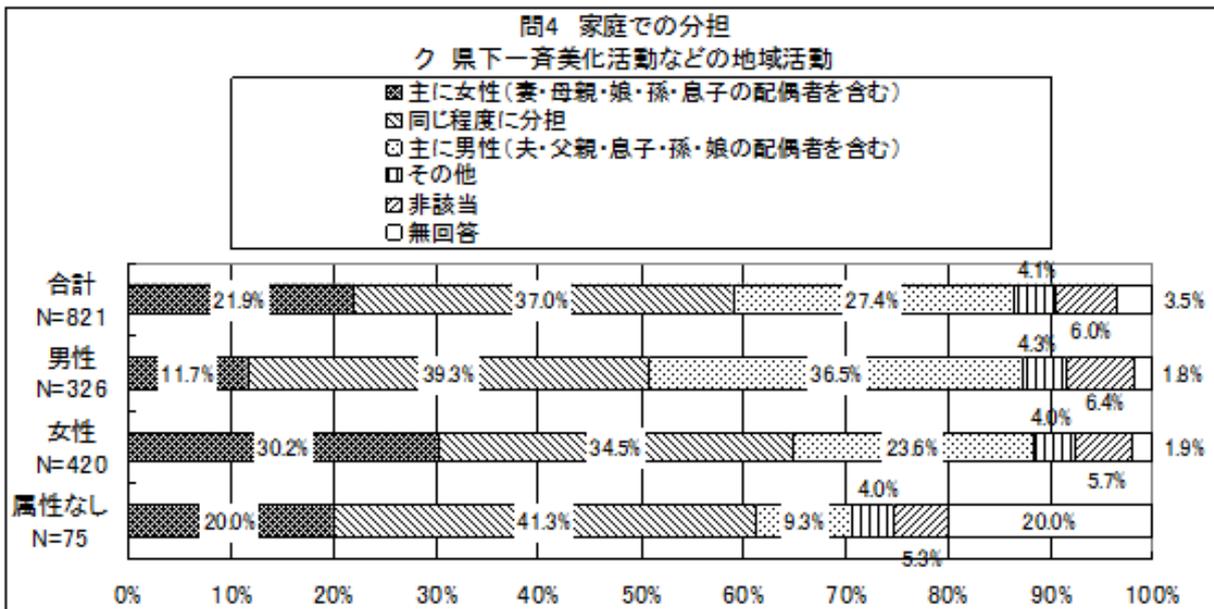
【市民会議の声】

共働きの現実について実感している点:同じ時間に出社・退社しても、家事はやはり女性(自分)に重く比重あり。専業主婦だったころのまま。

平成 28 年度調査



平成 23 年度調査



【市民会議の声】

- ・班の方達の高齢化が進み、働き盛りの私達が中心にならないといけないのが現実だと分かっているが、子育て・介護で班活動に手が回らないこともある。
- ・働く女性が増えたことで、地域活動での女性の参画が物理的に難しくなっているので意識も薄らいでいるのではないか。

### 3. 教育・子育てについて

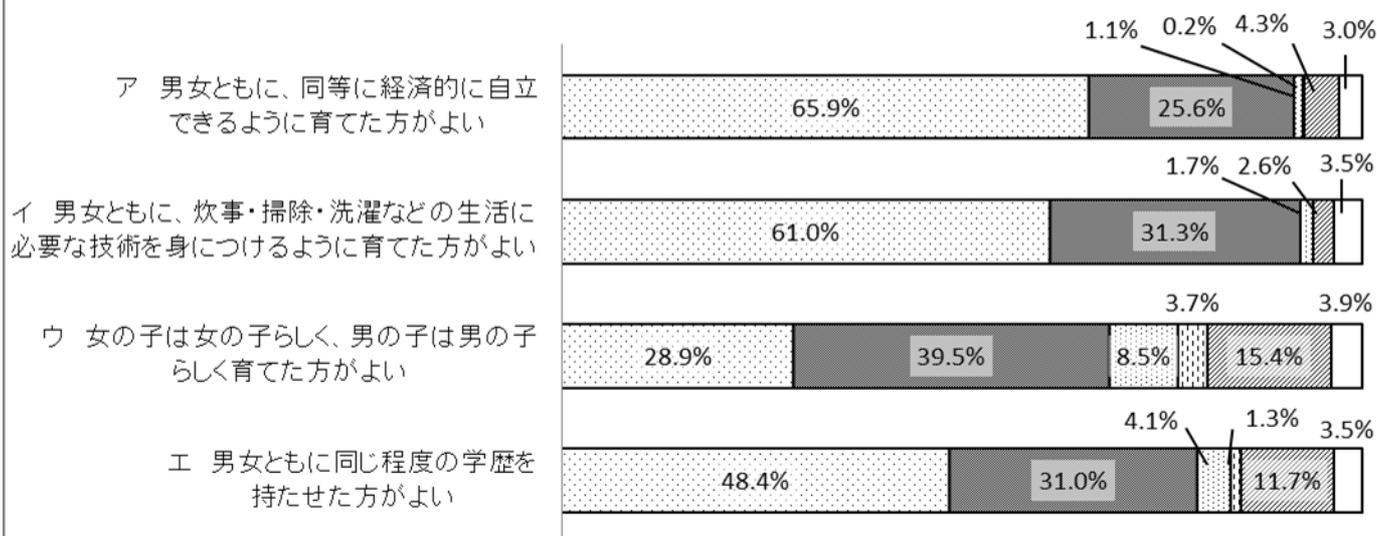
#### 問5. 子どもの教育について

「男女ともに、経済的自立をすること」「生活に必要な技術を習得すること」について9割以上、男女同等の学歴をもつことに対しては約8割が「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答しており、「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい」については「賛成」「どちらかといえば賛成」68.4%になっており、前回調査より8.7ポイント減少している。

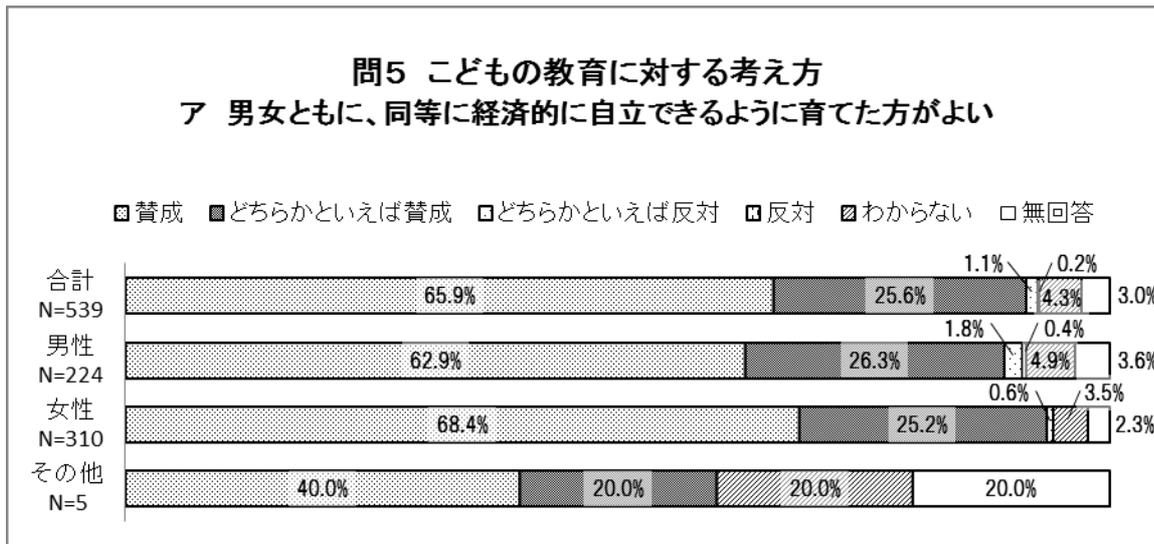
平成 28 年度調査 【各項目とりまとめ】

### 問5 こどもの教育に対する考え方

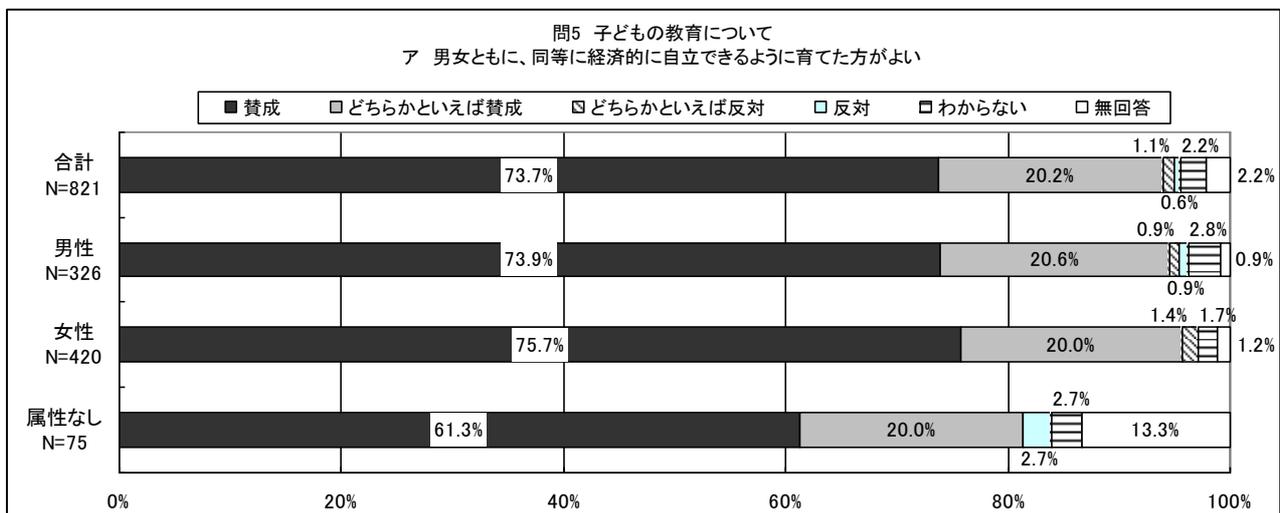
□ 賛成 ■ どちらかといえば賛成 ▨ どちらかといえば反対 ▩ 反対 ▪ わからない □ 無回答



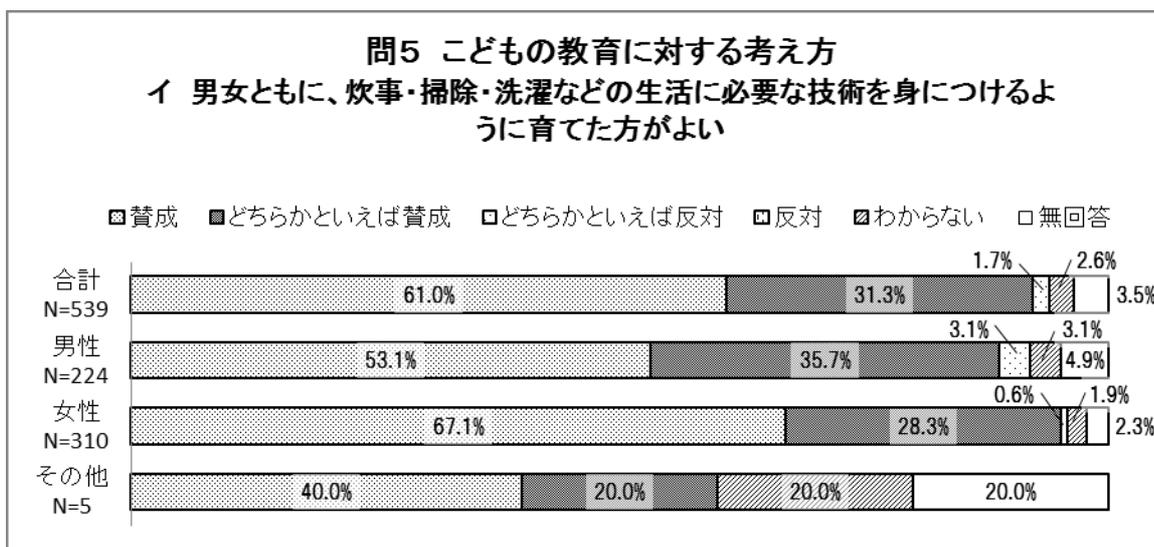
平成 28 年度調査



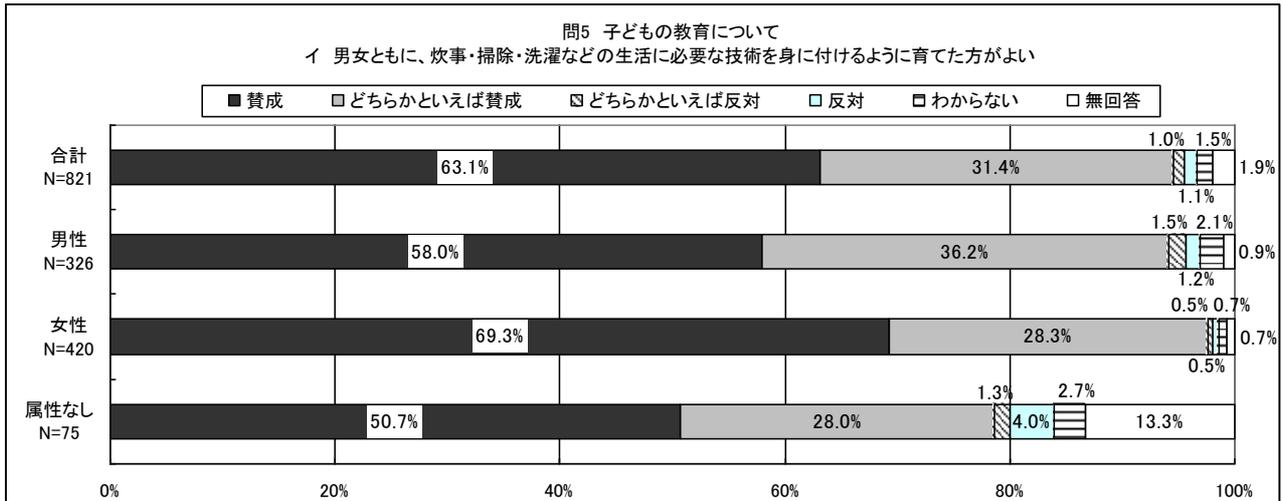
平成 23 年度調査



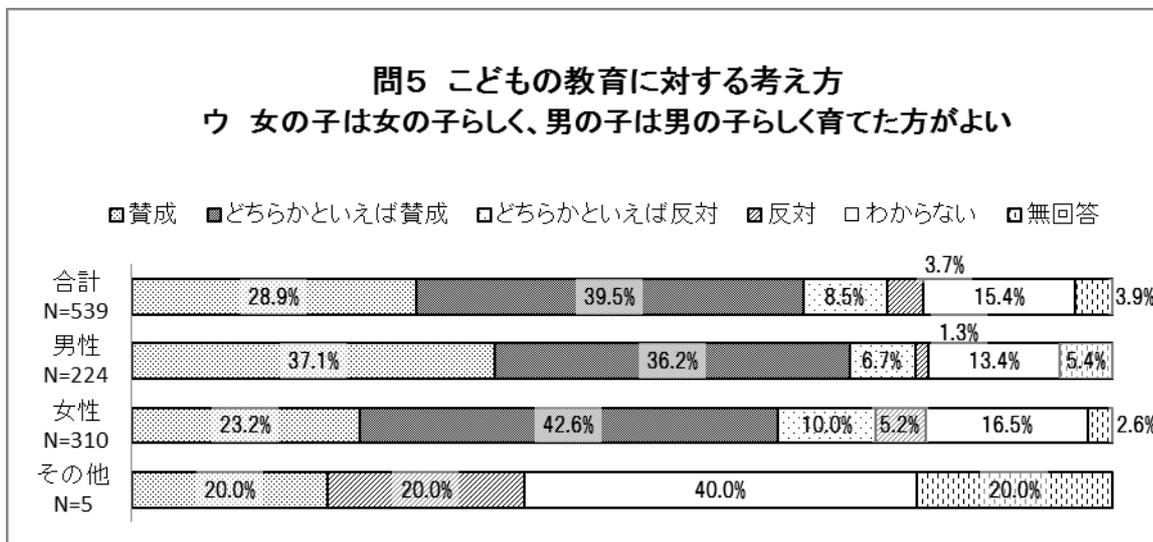
平成 28 年度調査



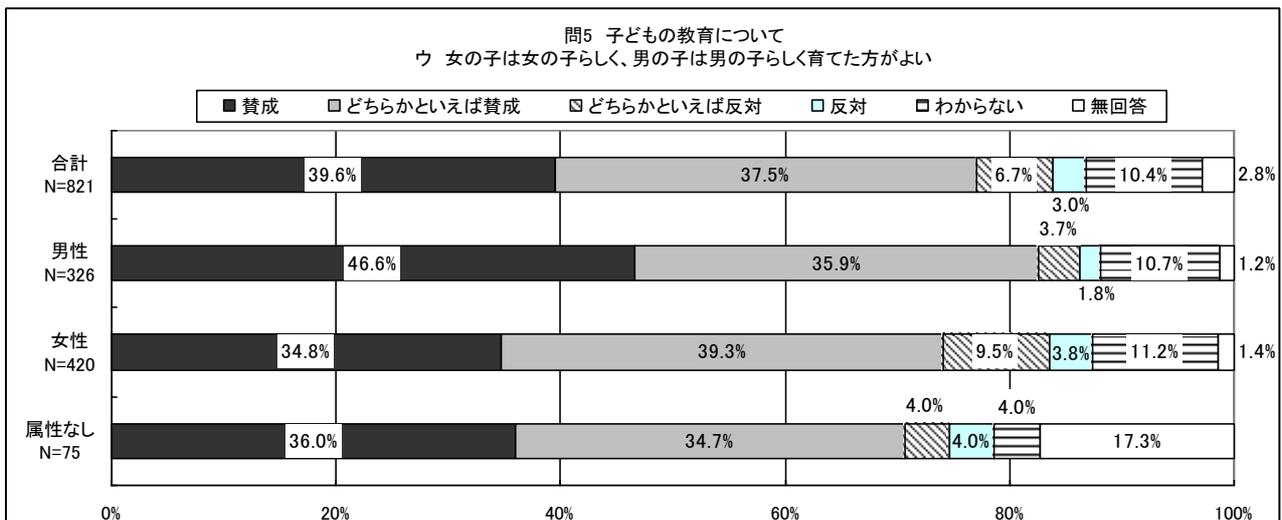
平成 23 年度調査



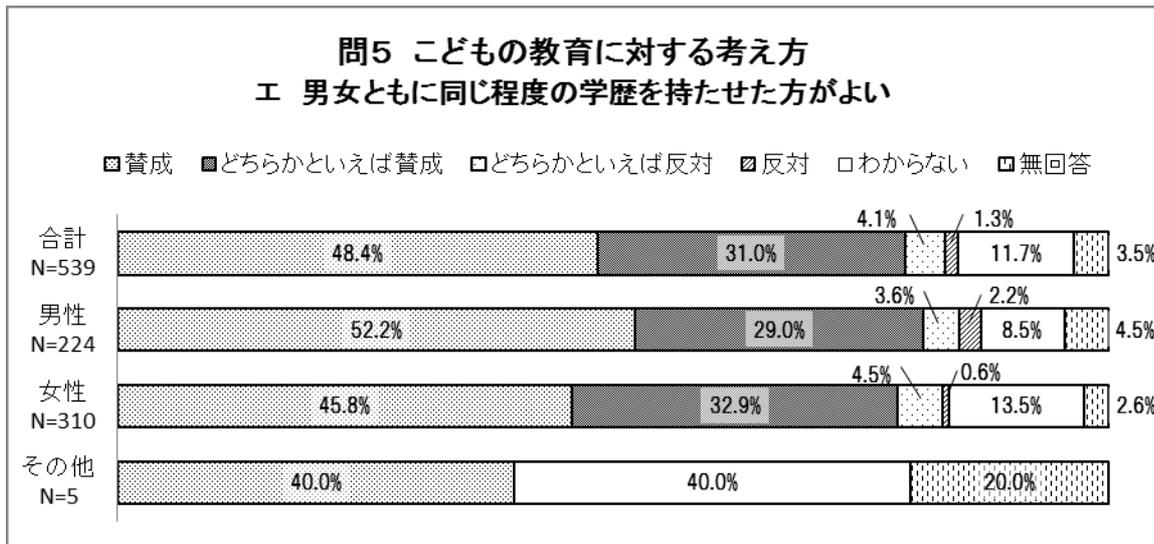
平成 28 年度調査



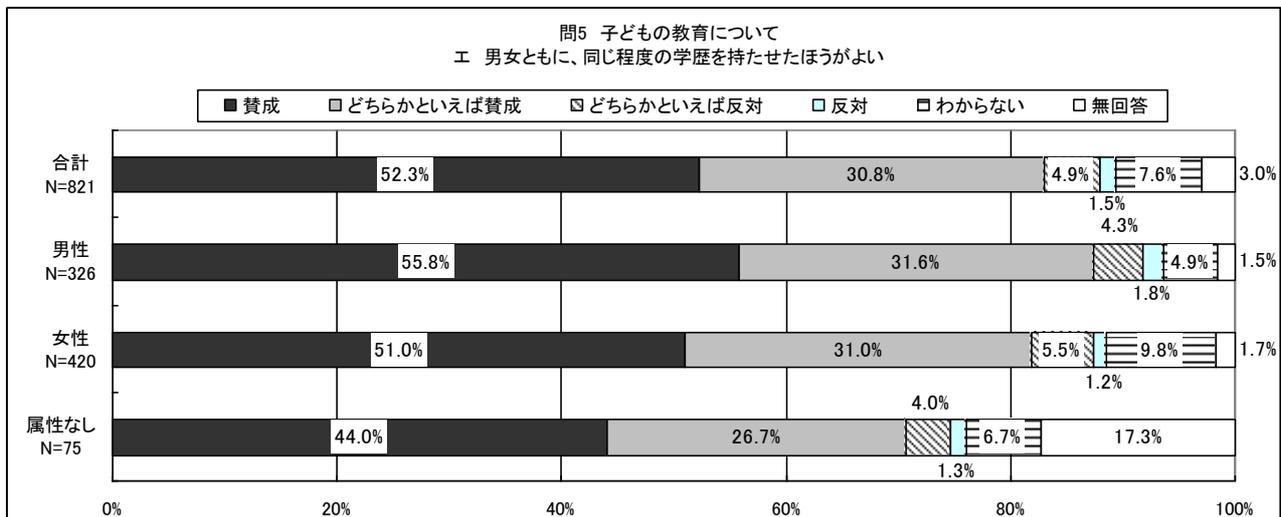
平成 23 年度調査



平成 28 年度調査



平成 23 年度調査



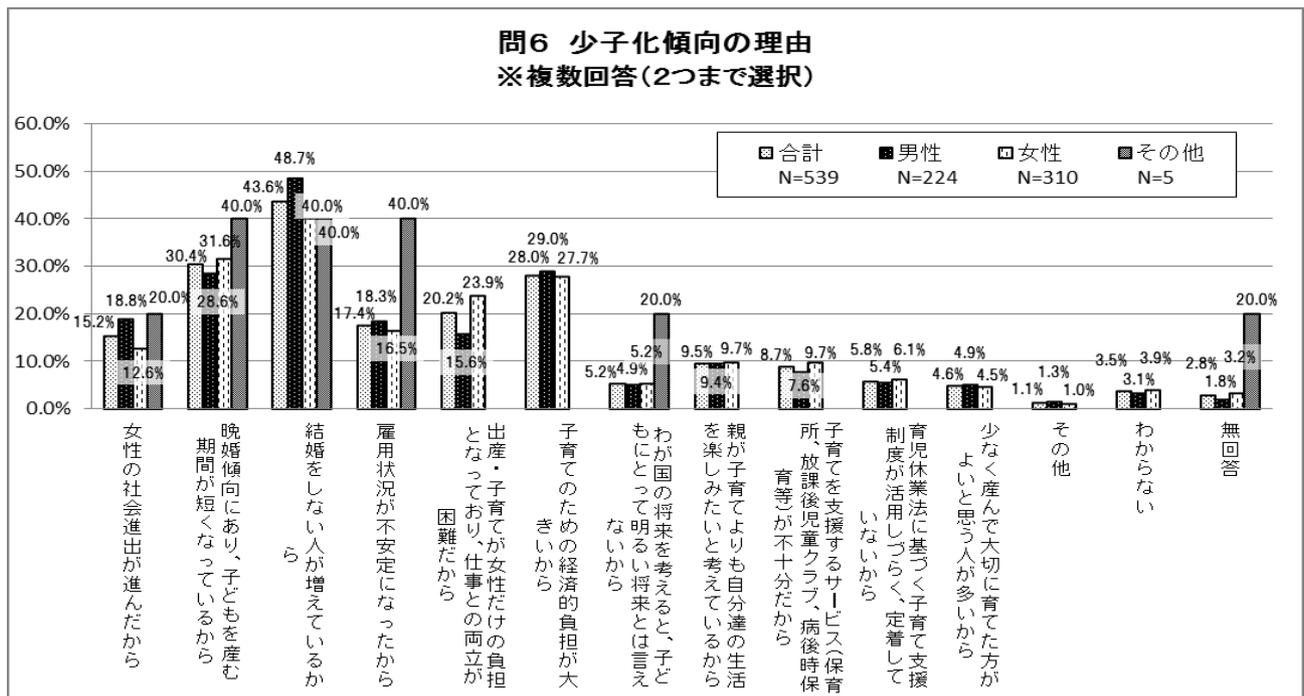
## 問6. 少子化傾向の理由

・「結婚をしない人が増えているから」43.6%と最も高く、「晩婚傾向にあり、子どもを産む期間が短くなっているから」が 30.4%、「子育てのための経済的負担が大きいから」が 28.0%、「出産・子育てが女性だけの負担となっており、仕事との両立が困難だから」が 20.2%と続く。

・前回調査で3番目であった「女性の社会進出が進んだから」は9.2ポイント減少しており、6番目となった。

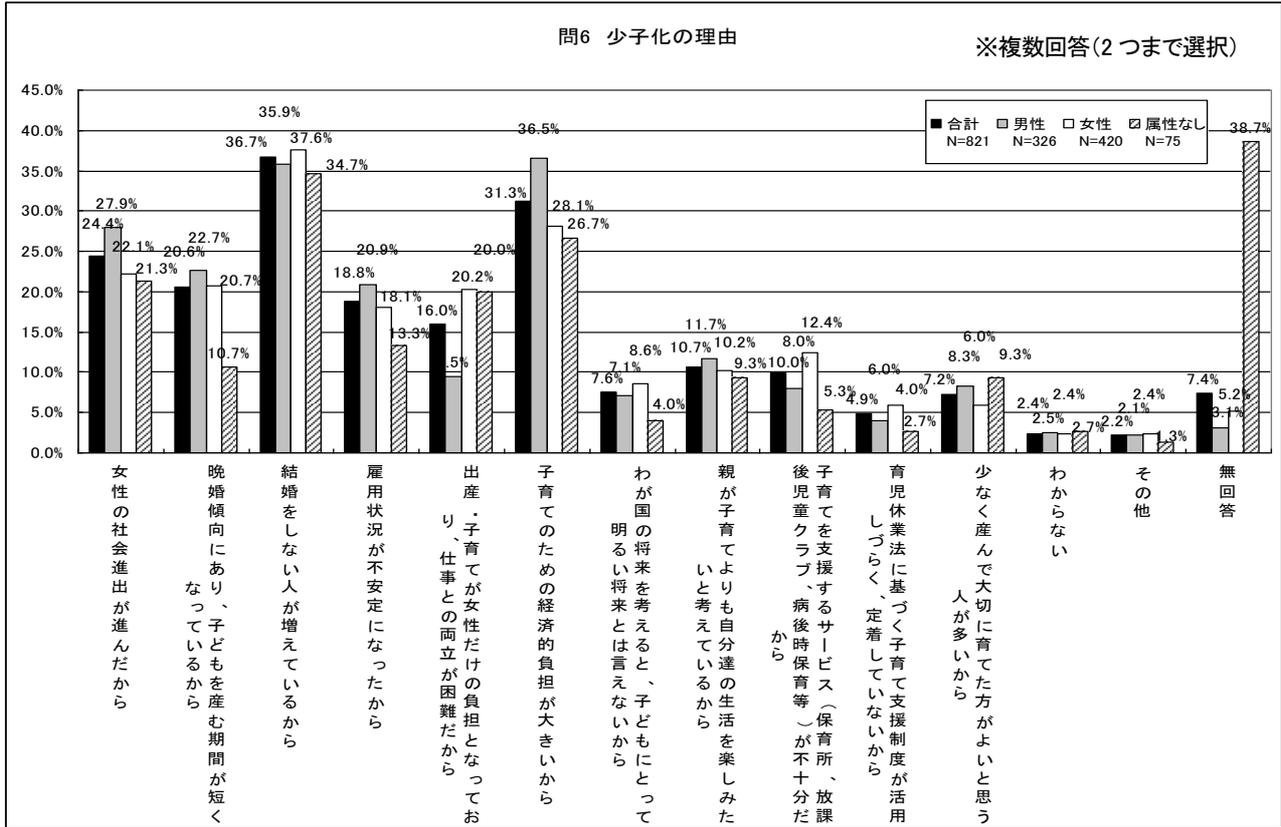
・「子育てを支援するサービス(保育所、児童クラブ等)が不十分だから」8.7%、「育児休業法に基づく子育て制度が活用しづらく、定着していないから」5.8%と制度や支援サービスを理由とする回答は10%以下であった。

## 平成 28 年度調査



### 【その他 記載欄】

- ・失業率の高止まりと食料自給率の低下
- ・子供にやさしくない社会の風潮が広がっているから
- ・一人目を生んで子育ての大変さが身にしみて分かったから(経済的負担が大きい含む)
- ・昔としたり今は充分すぎる位だと思う
- ・若年層の所得
- ・正社員とそうでないかの差別がある。正社員でないと結婚できない。



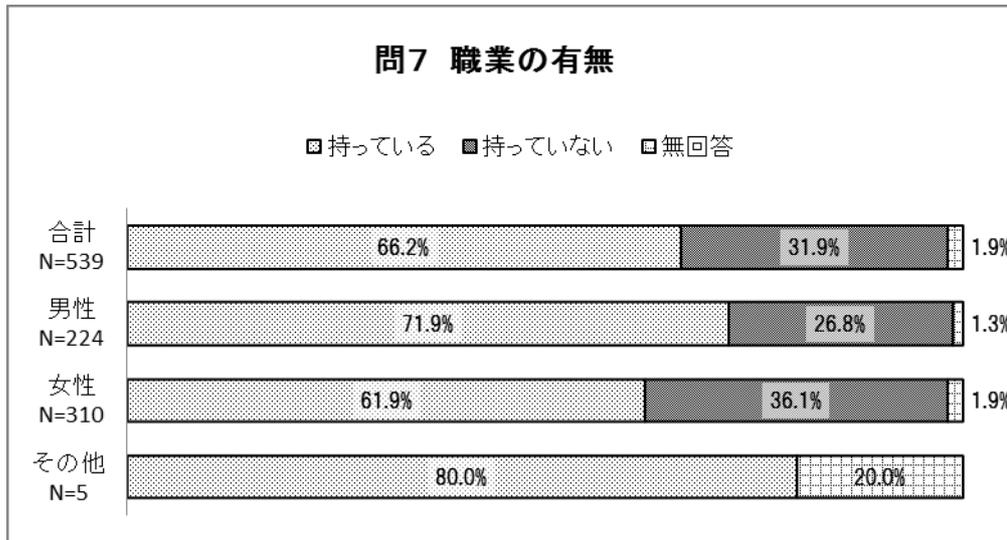
#### 4. 仕事について

##### 問7. 職業の有無

・女性の年代別の就業率は10代40.0%、20代83.3%、30代83.3%、40代82.6%、50代83.3%、60代51.9%  
70代6.5%となっている

※女性のM字カーブは武雄市内においてはみられなかった。

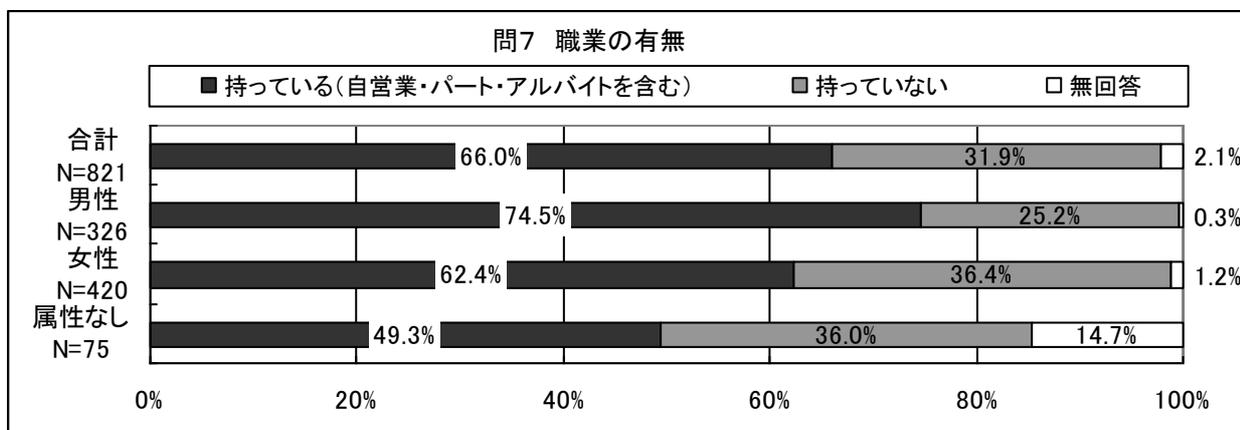
##### 平成 28 年度調査



##### 女性の職業の有無

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
持っている	40.0%	83.3%	83.3%	82.6%	83.3%	51.9%	6.5%
持っていない	60.0%	16.7%	16.7%	13.0%	16.7%	48.1%	84.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

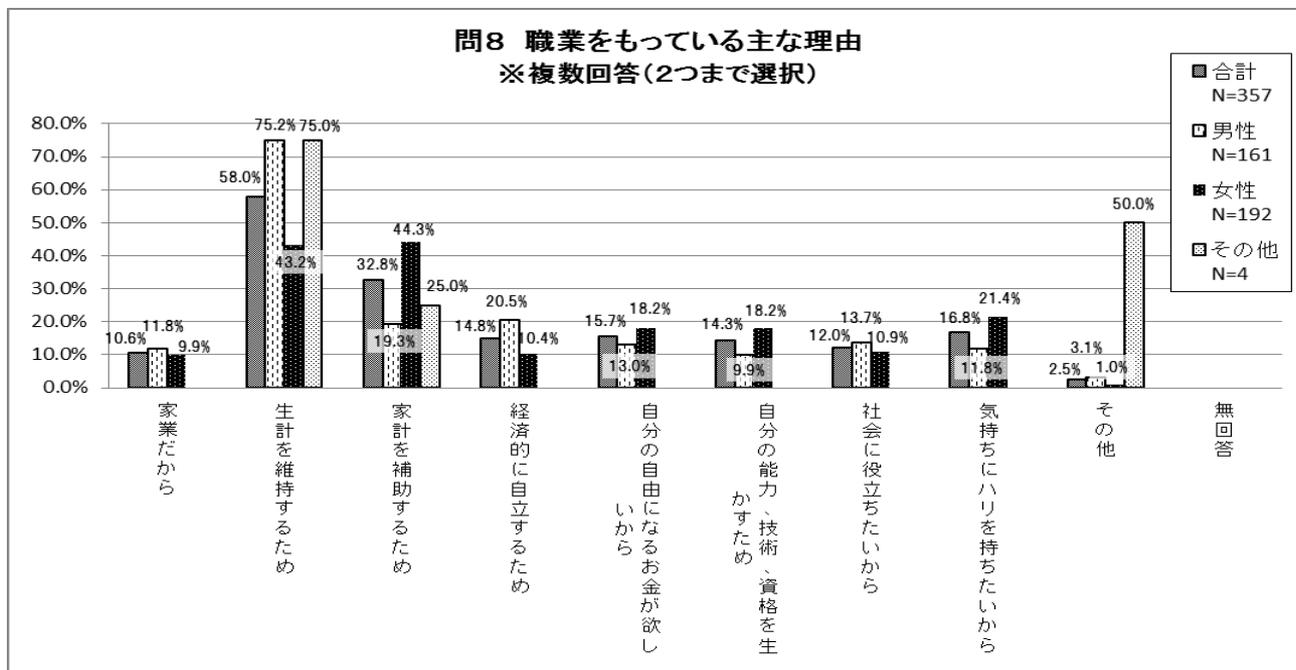
##### 平成 23 年度調査



### 問8. 職業を持っている主な理由

- ・「生計を維持するため」が 58.0%と 6 割近くになっている。次に「家計を補助するため」32.8%となった。
- ・「生計を維持するため」と回答した男性は 75.2%と、女性の 43.2%を 30 ポイント以上上回っており、「家計を補助するため」と回答した男性は 19.3%となっており、女性 44.3%の半数以下となっている。
- ・一家の大黒柱といった性別役割分担意識がまだ残っていることが伺える。

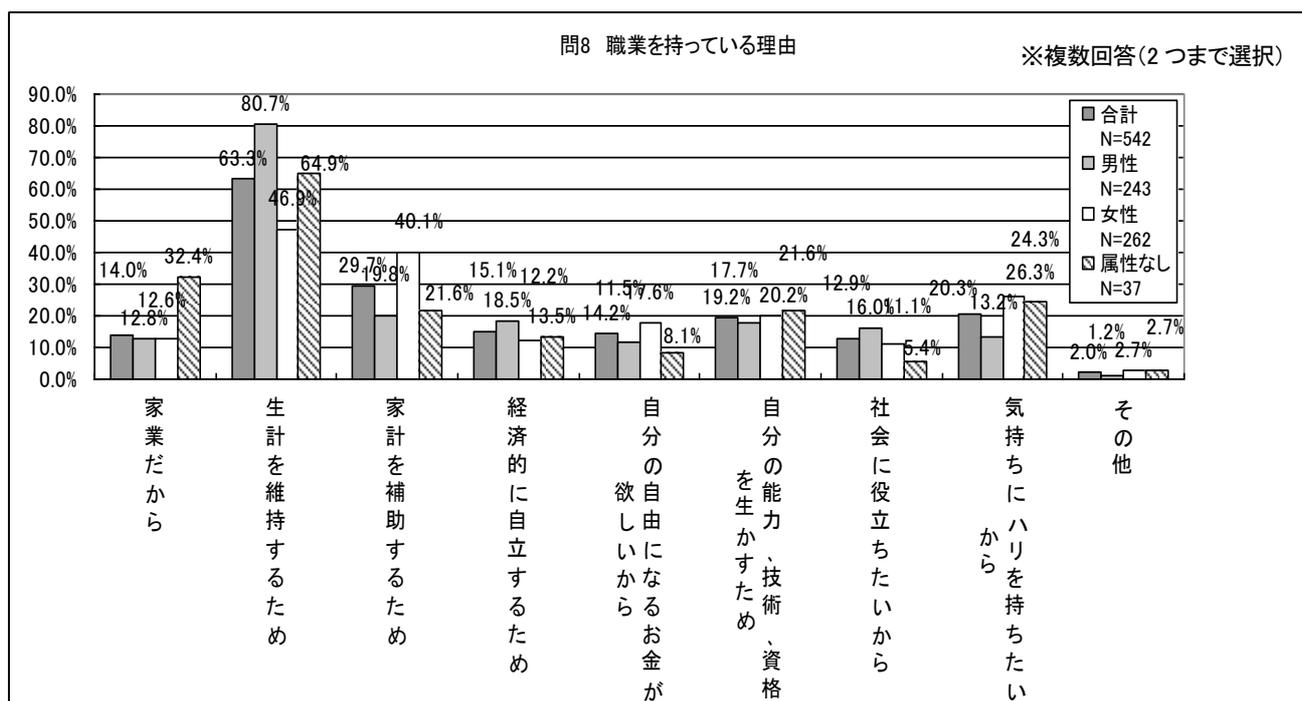
#### 平成 28 年度調査



#### 【その他 記載欄】

- ・目標達成の為
- ・実家の自営業の手助け
- ・年金の年数がたらないから
- ・健康の為
- ・親族より依頼され
- ・アルバイトを通して社会勉強をするため
- ・社会人として仕事をするのは義務だから⇒納税も義務

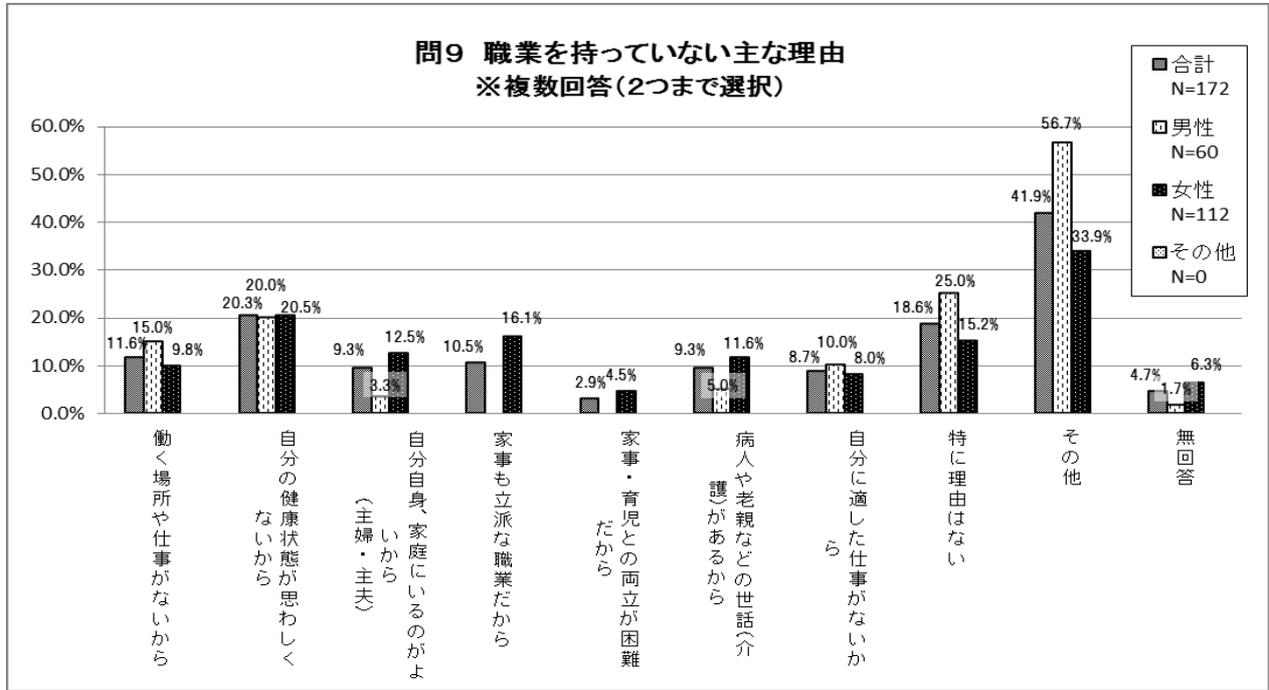
#### 平成 23 年度調査



問9. 職業を持っていない主な理由

最も回答率が高かったのは「自分の健康状態が思わしくないから」20.3%、「働く場所や仕事がないから」11.6%と続く。

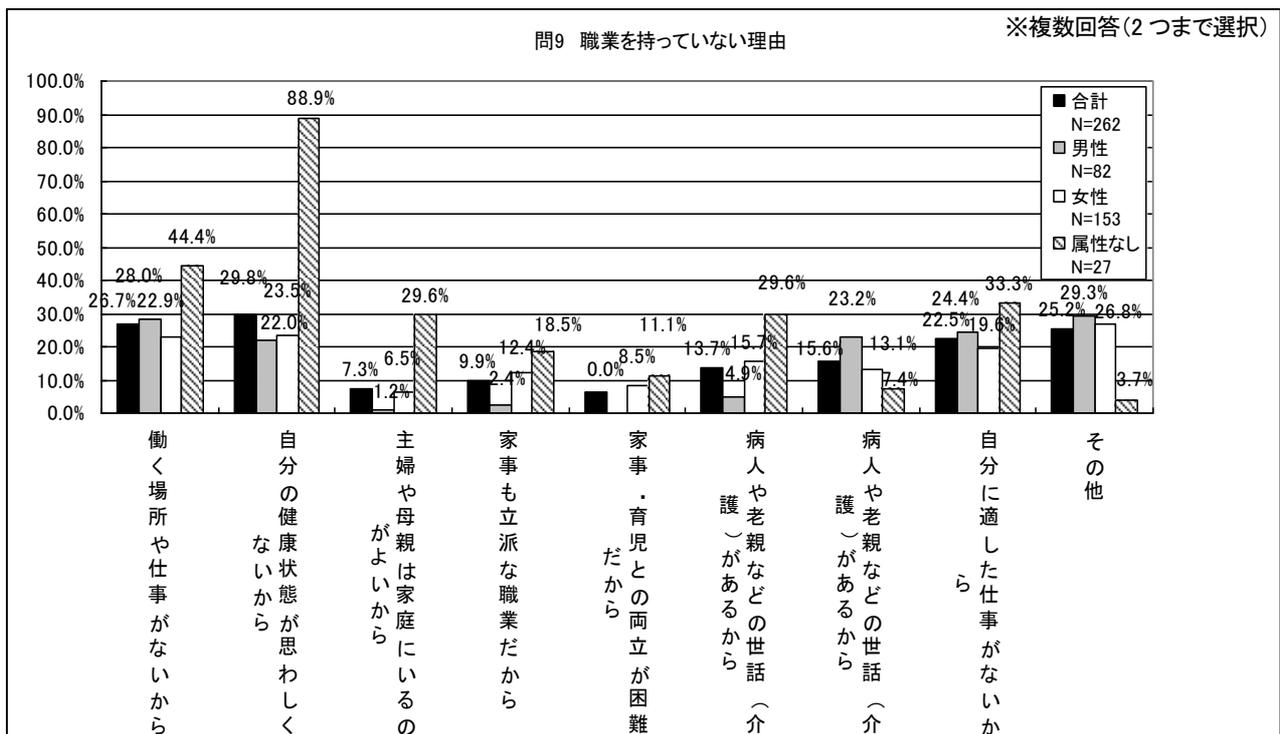
平成 28 年度調査



【その他 記載欄】

- ・いろいろ役職があり忙しい ・高齢のため ・年金生活で残された人生を趣味等で過ごしている ・学生だから
- ・二人の親の介護をする為仕事を辞めた。こんどは自分が 60 歳を過ぎてしまったから ・現在就職活動中の為
- ・年齢的制約で健全ではあるが採用されない ・3 歳までは自分で子供を見たほうがよいと思うため

平成 23 年度調査

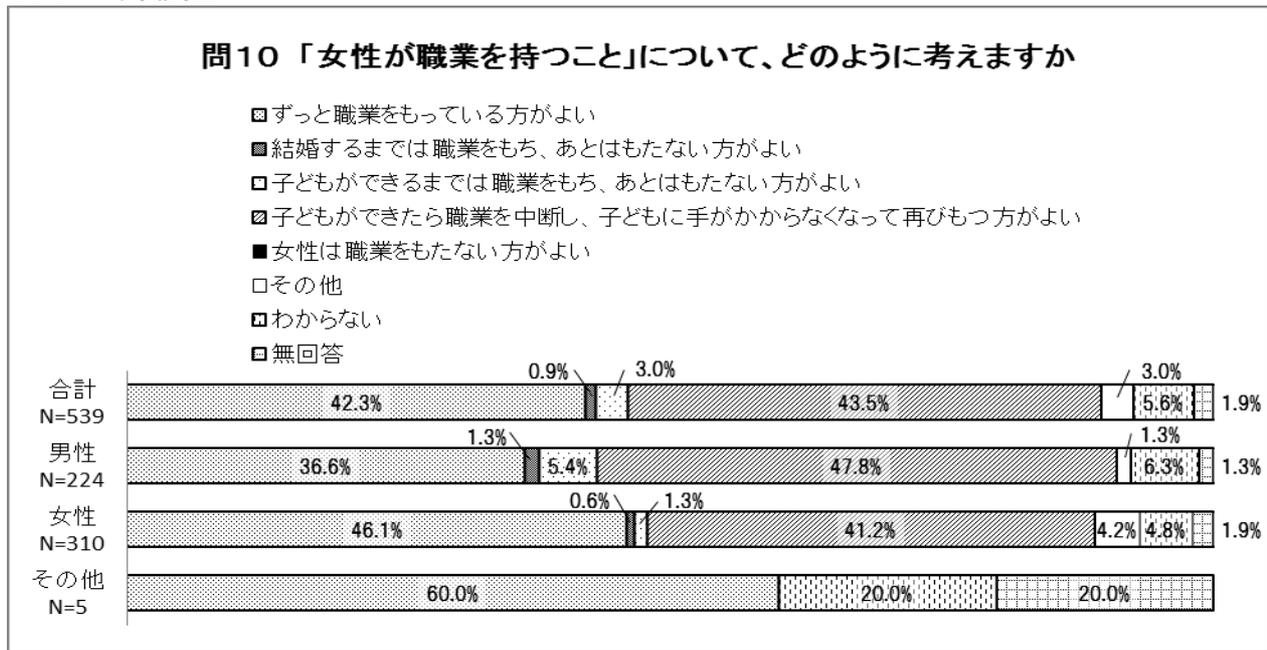


### 問10. 「女性が職業を持つこと」について

・「子どもができたなら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再びもつ方がよい」が43.5%と最も多く、次いで「ずっと職業をもっている方がよい」42.3%。

・女性の中で、「子どもができたなら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再びもつ方がよい」の回答が41.2%だが、問7の「職業の有無」では女性は女性の就業率は20代から50代まで年代による変化は見られない

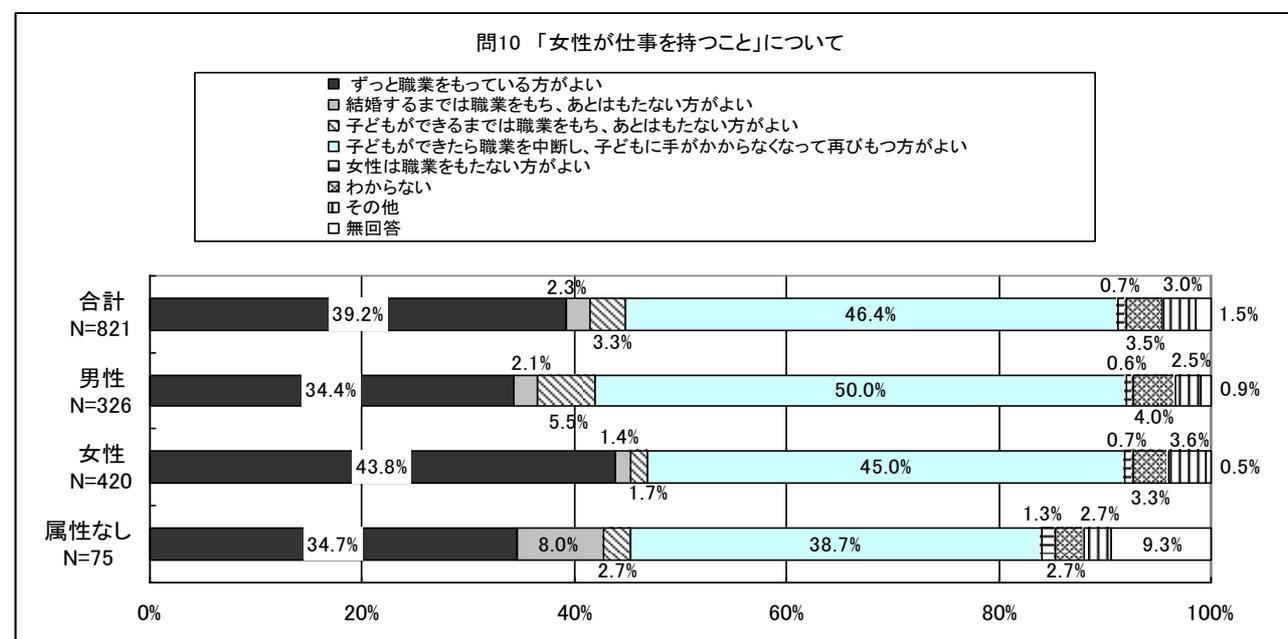
### 平成 28 年度調査



### 【その他 記載欄】

- ・職業を持てる環境であればもっていい ・一人一人の生活状況に合わせてその家庭に合うやりかたで働けたらいい
- ・保育料が高くて生活困難な為沢山子供はほしいがきらめている ・子供が自立したら仕事をやめる選択をしたい
- ・休職をして一定期子育てに専念し、再び働くようにする ・自分が満足できる選択をすればよいと思う
- ・子育ては大事なことであり、愛情を持って育てられる環境が整っていたら職業をもってもいいと思う

### 平成 23 年度調査

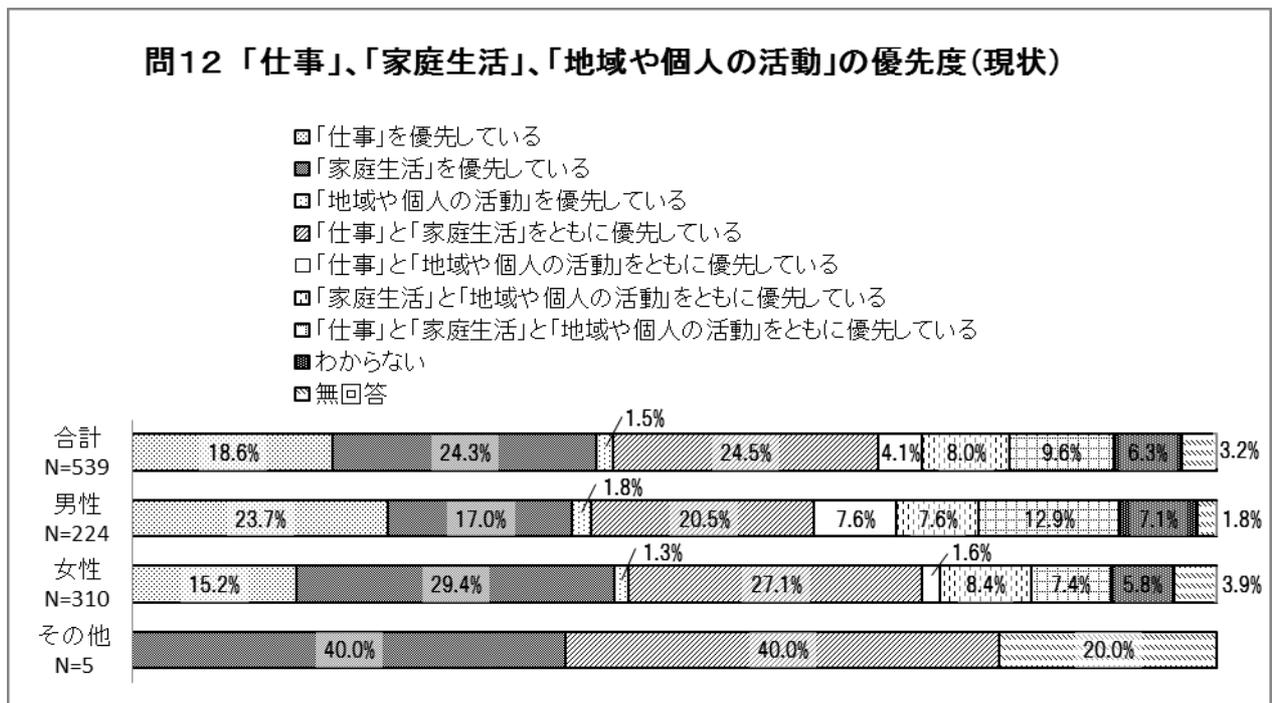
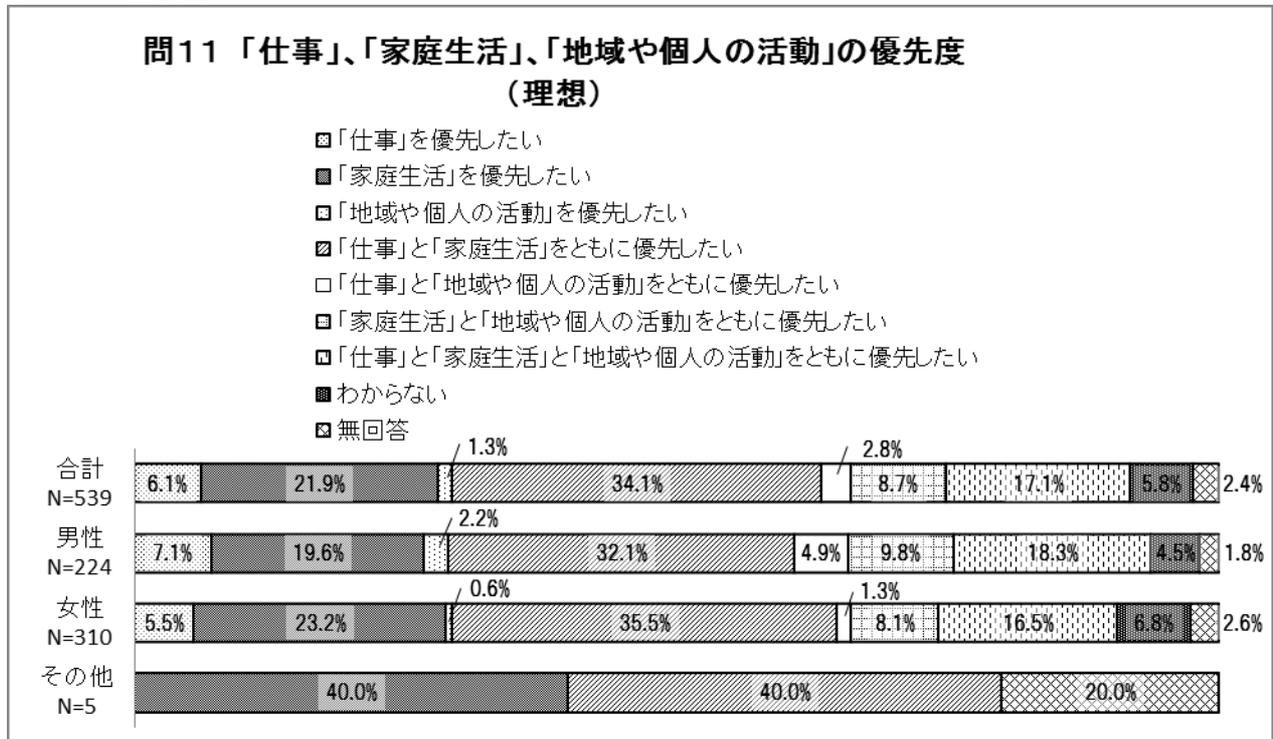


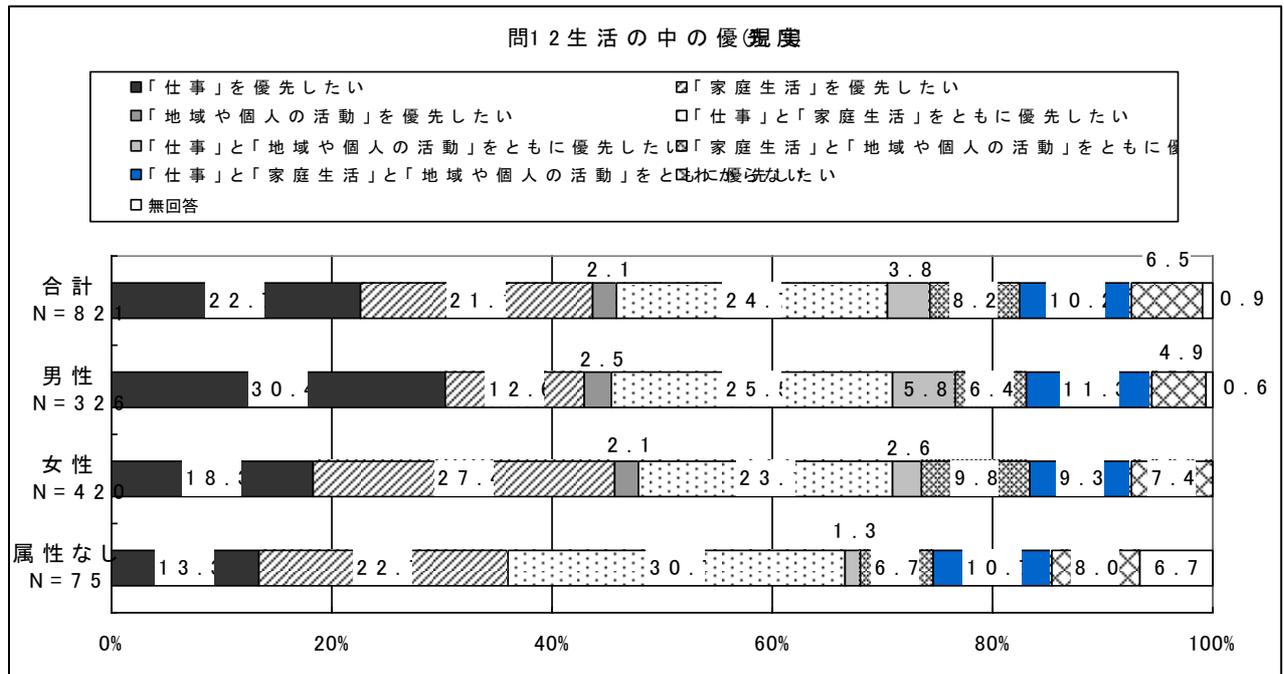
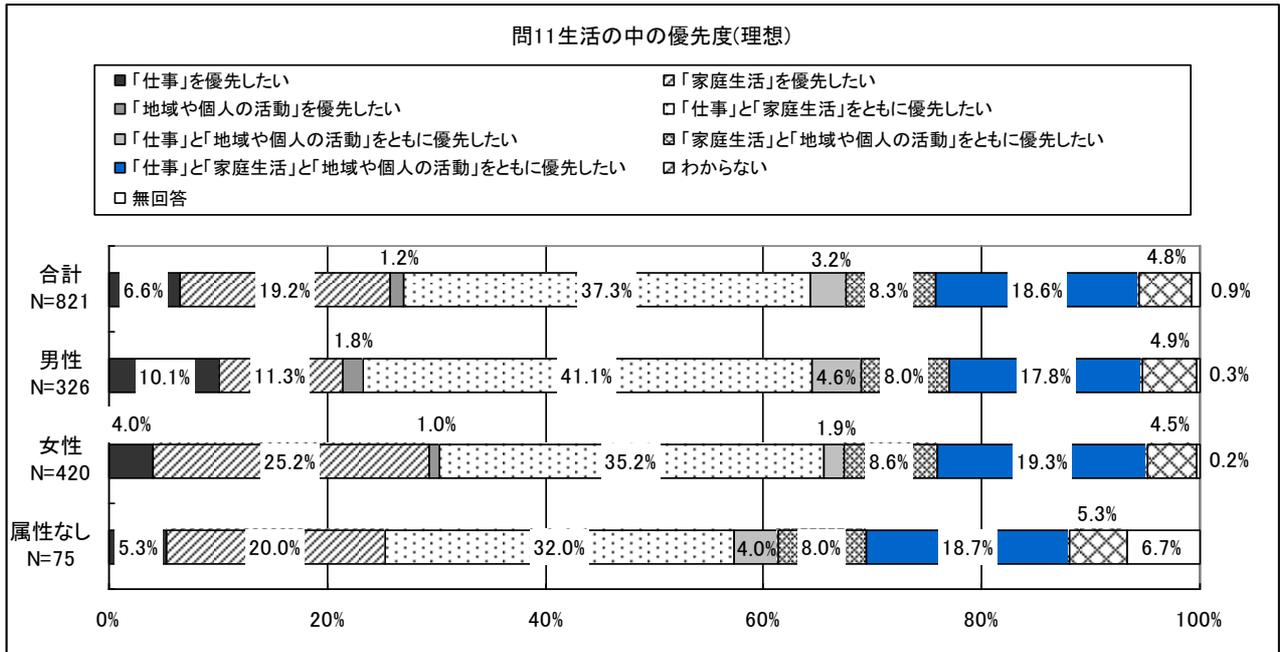
問11. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の活動」の優先度について(理想)

問12. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の活動」の優先度について(現状)

- ・理想は、男女ともに『仕事と家庭生活』を共に優先したいが、ほぼどの世代においても高率を占めている
- ・現実には男性の40代・50代は「仕事を優先している」が最も多く、女性の50代・60代・70代は「家庭生活を優先している」が最も多い。理想と現実には差があることが分かる。

平成28年度調査

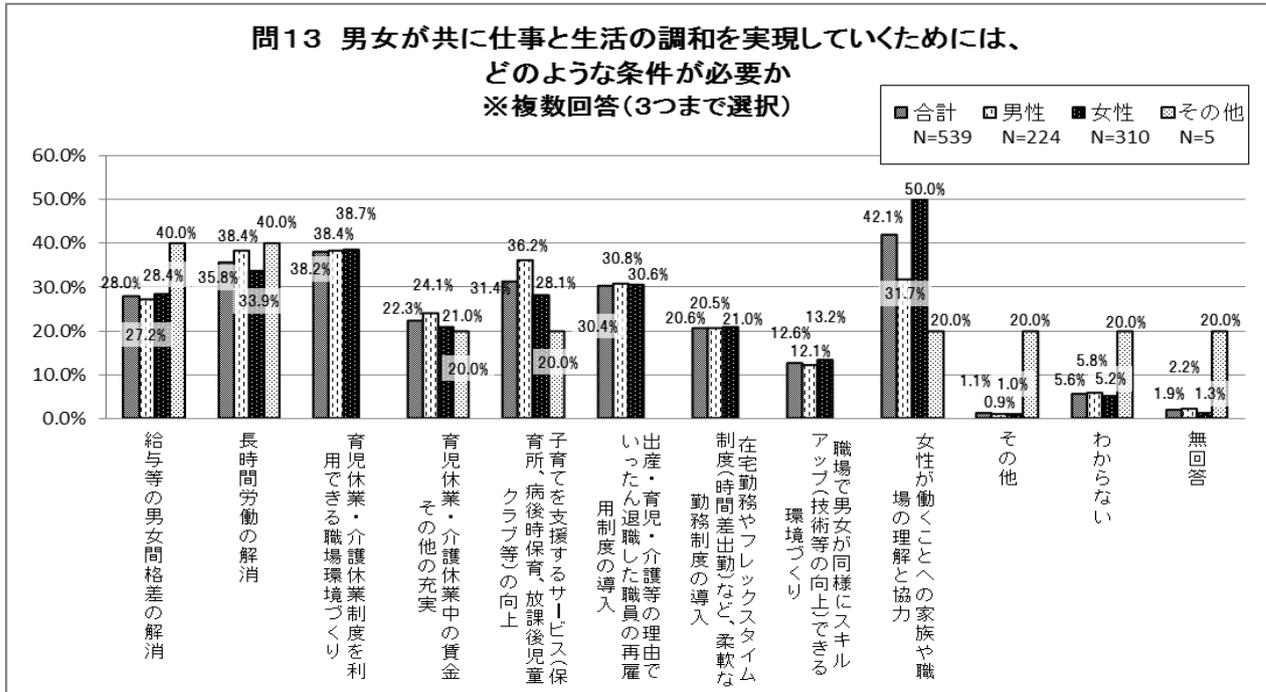




問13. 男女が共に仕事と生活の調和を実現していくために必要な条件

- ・「女性が働くことへの家族や職場の理解と協力」42.1%、「育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境づくり」38.2%、「長時間労働の解消」が 35.8%と続く。
- ・女性では「女性が働くことへの家族や職場の理解と協力」が最も高く、男性では職場の制度の改善を求める「長時間労働の解消」「育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境づくり」が最も高かった。

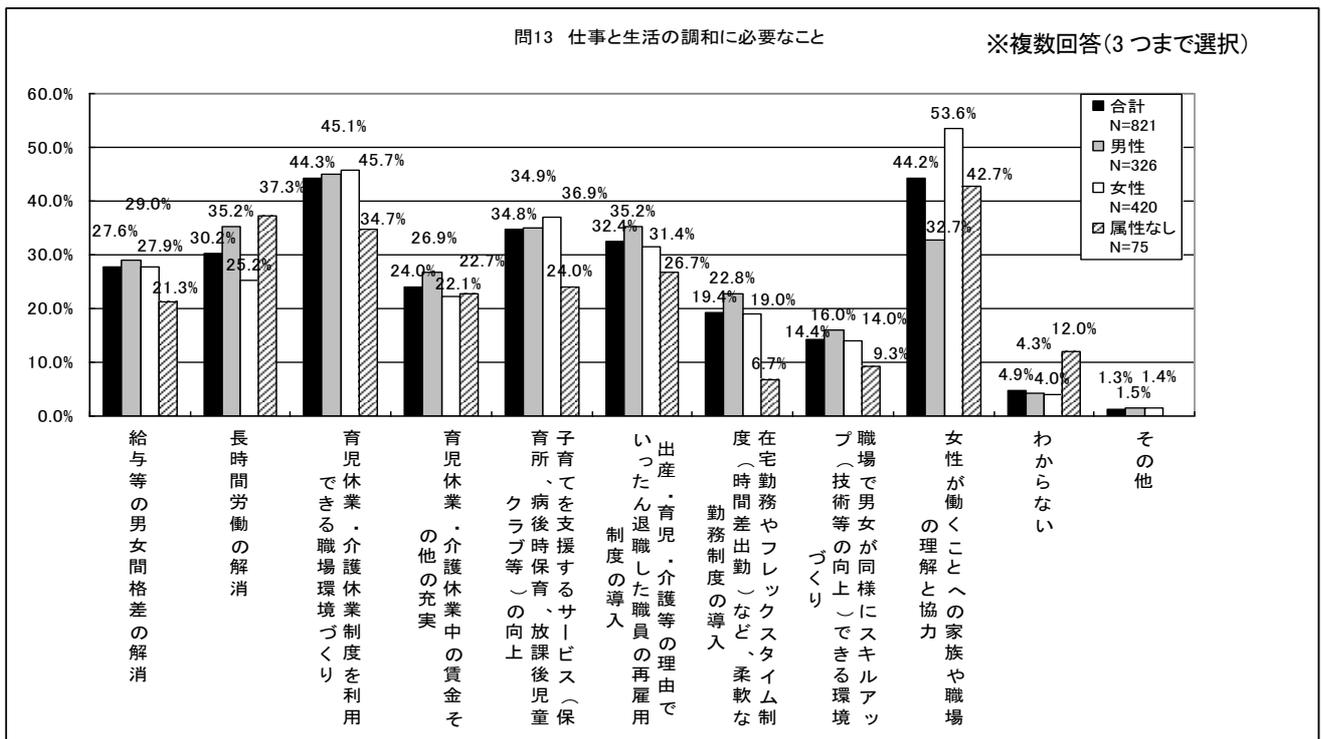
平成 28 年度調査



【その他 記載欄】

- ・仕事家事ともにお互い助け合って補い合う
- ・お互いさまよという感じ、時に応じて職につくことにより人との交わりが生まれ家庭以外でも生きがいがあります
- ・制度を向上させると共に、自分にできることで相手にかみ合わせていく工夫は常に必要だと思う

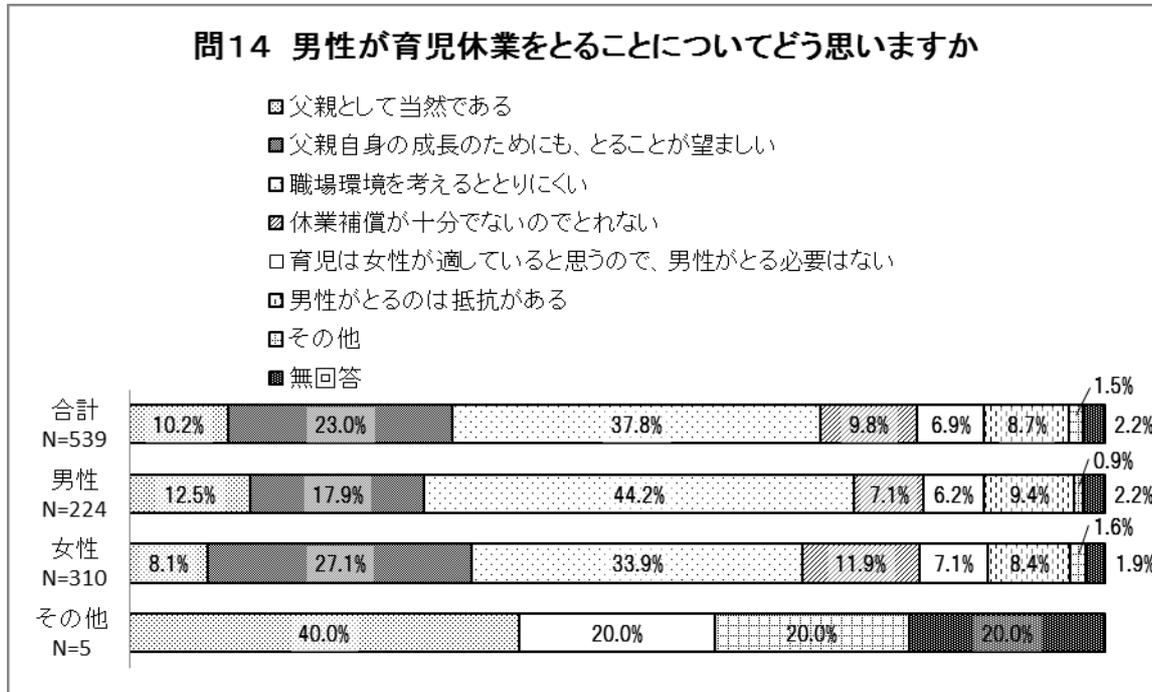
平成 23 年度調査



### 問14. 男性が育児休業をとることについて

- ・「職場環境を考えるととりにくい」37.8%が最も高く、男女ともに割合が増えている。
- ・次いで「父親自身の成長のためにも、とることが望ましい」23.0%となった。
- ・男性の育児休業取得に否定的な意見「育児は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない」6.9%、「男性がとるのは抵抗がある」8.7%となり若干減少している。

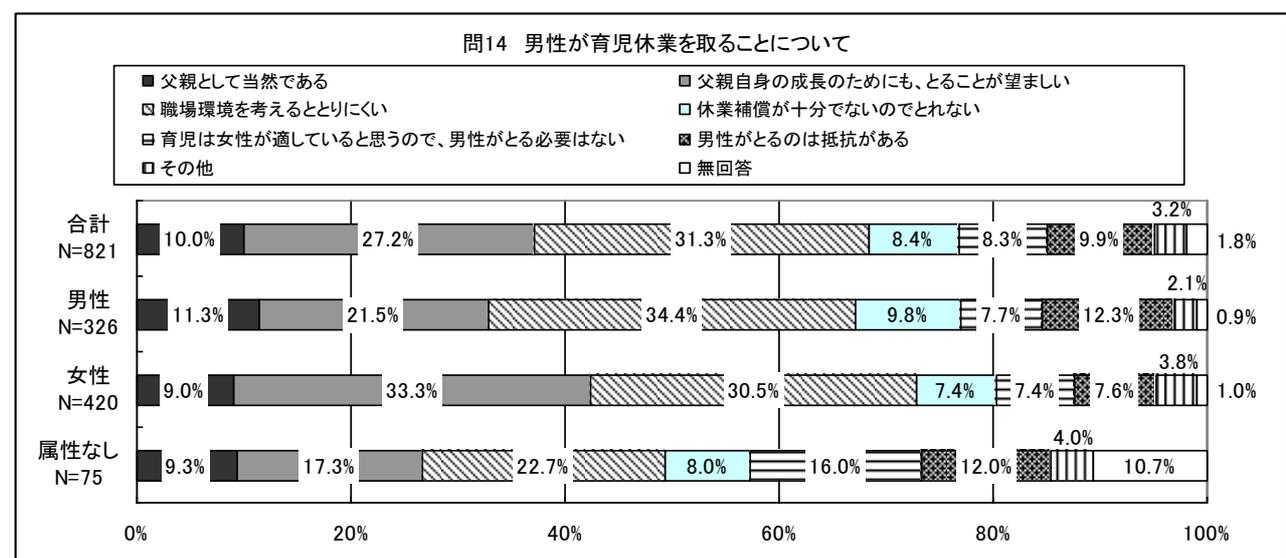
### 平成 28 年度調査



### 【その他 記載欄】

- ・家族で話し合った上で育児休業をとりたい人がとればいい
- ・家庭事情により男性が必要であれば休業もやむをえない
- ・社会の理解が得られにくいためとりにくい
- ・週に2、3日を何か月間とれば、仕事の支障も少なくなると思う。

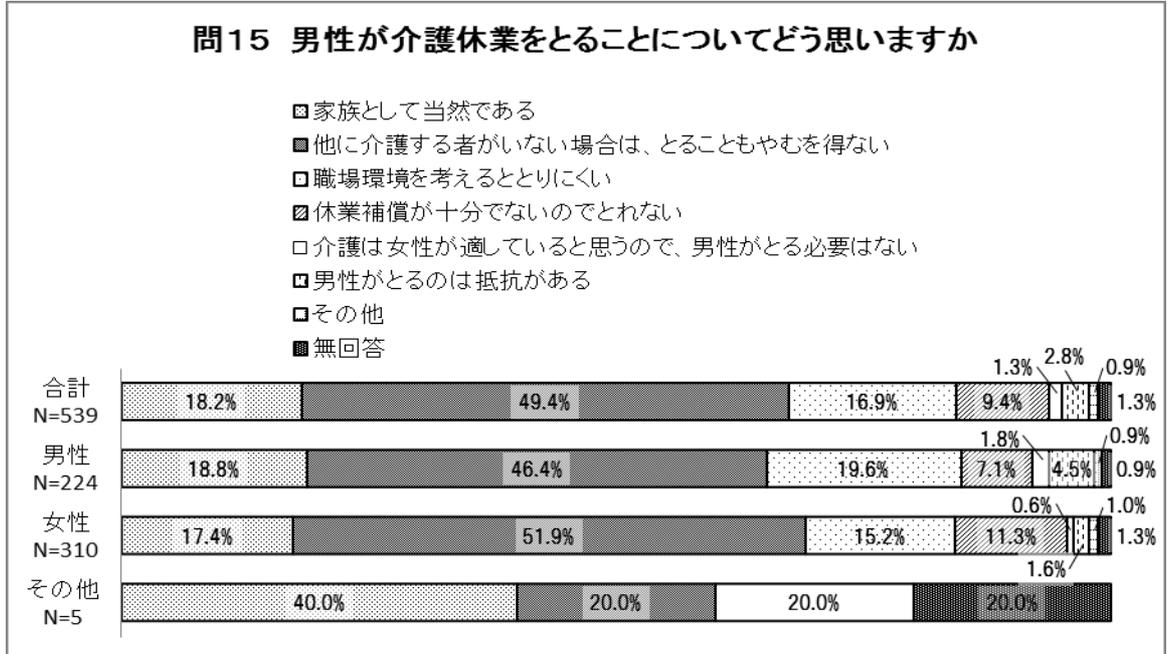
### 平成 23 年度調査



問15. 男性が介護休業をとることについて

- ・「他に介護する者がいない場合は、とることもやむを得ない」49.4%と2人に1人と高率となった。次いで「家族として当然である」18.2%、「職場環境を考えるととりにくい」16.9%となった。
- ・男女で大きい差は見られない。

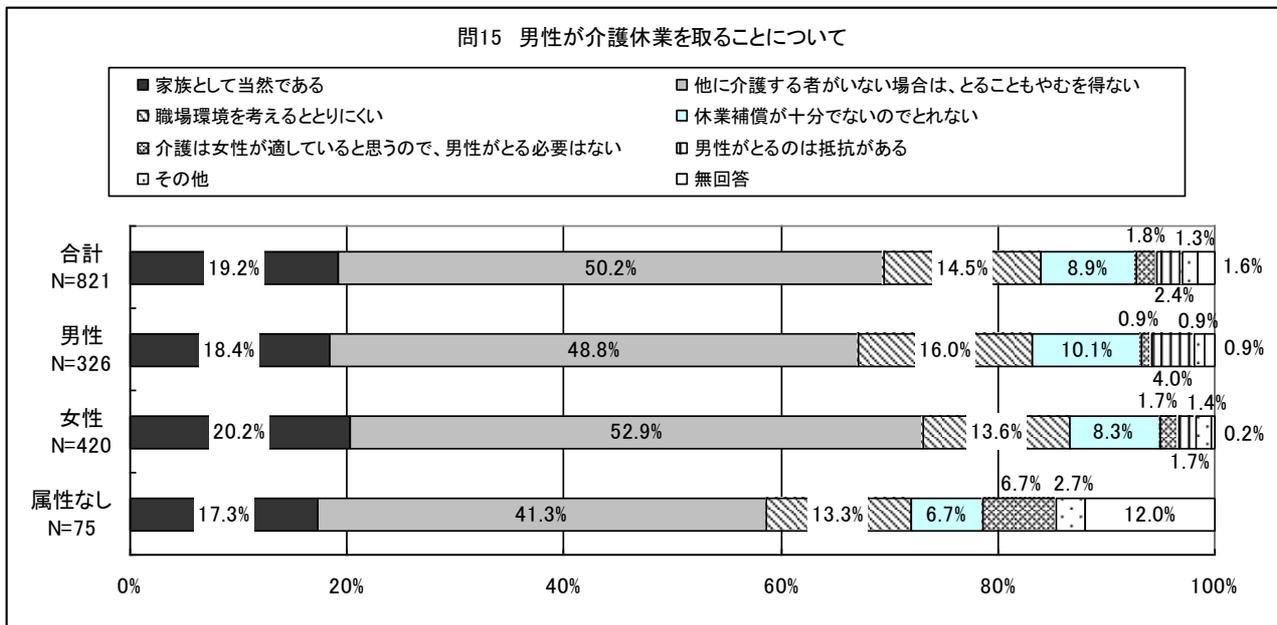
平成 28 年度調査



【その他 記載欄】

- ・会社の理解がないと介護休業制度があっても退職させる方向に進められるのでは
- ・介護は力がある男性にとってほしいが収入を考えると妻がしなければとってしまう
- ・介護休業が必要な人がとればいい
- ・介護事業所が少なすぎる

平成 23 年度調査

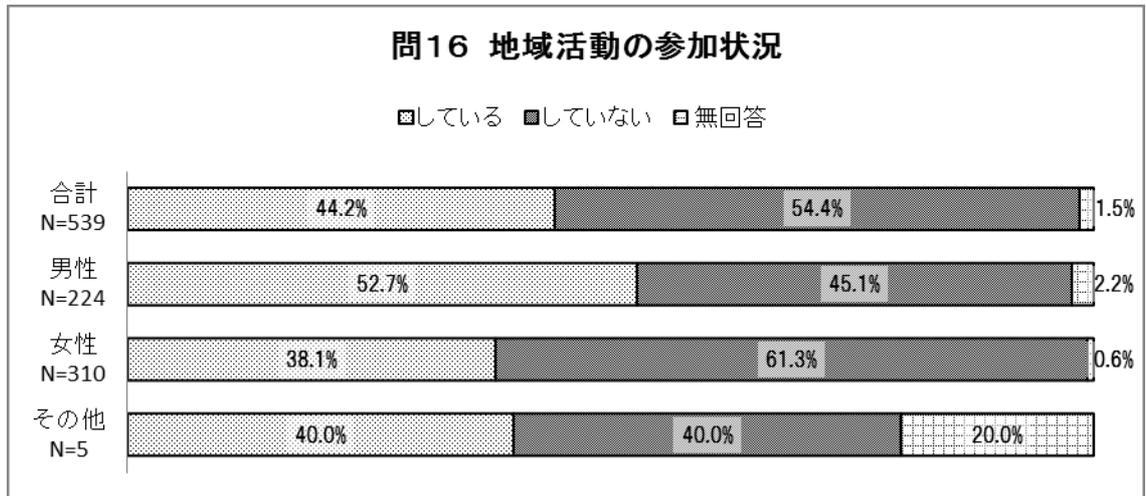


5. 地域活動について

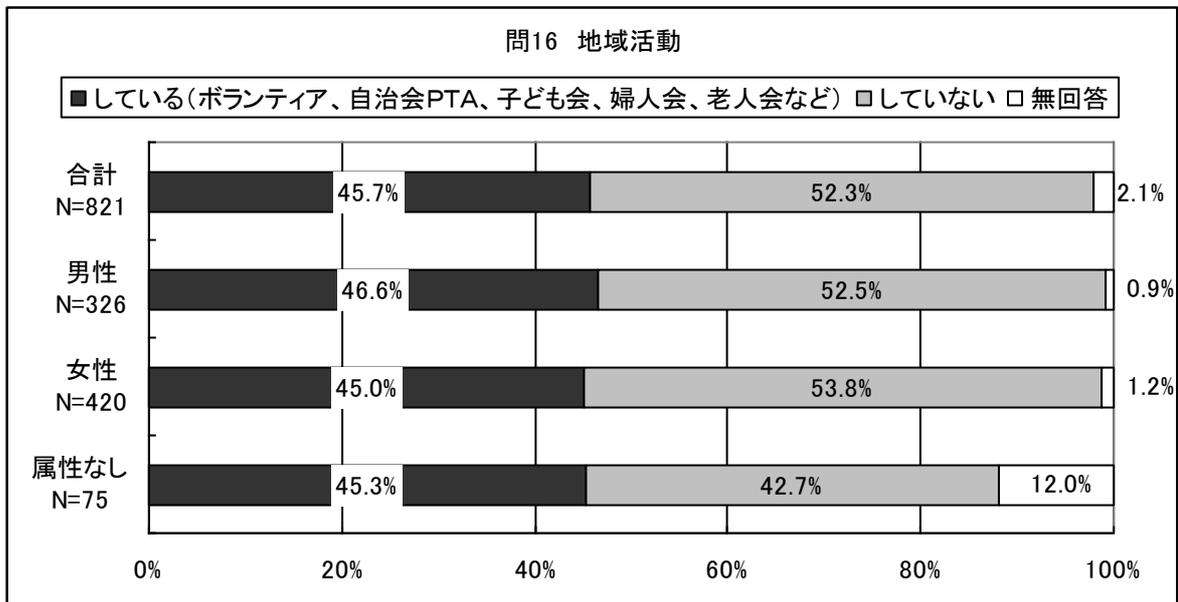
問16. 地域活動の参加状況

- ・「参加していない」54.4%が「参加している」44.2%を10.2ポイント上回った。（「参加していない」男性は45.1%、女性は61.3%）
- ・60代男性の「参加している」割合が最も高い。若い世代の女性の「参加している」割合は低い。

平成28年度調査



平成23年度調査

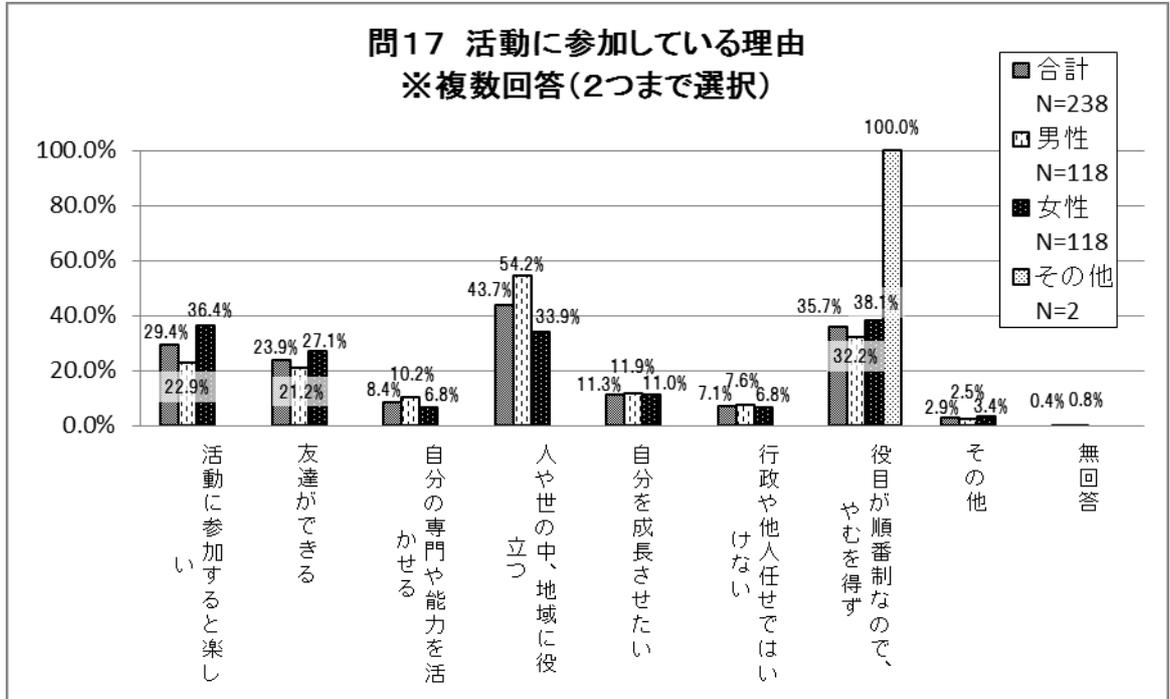


問17. 活動に参加している理由

・全体としては「人や世の中、地域に役立つ」の回答割合が 43.7%と最も高く、「役目が順番制だから」が 35.7%と続く。

・男性では「人や世の中、地域に役立つ」(54.2%)、女性では「役目が順番性だから」(38.1%)が高い。

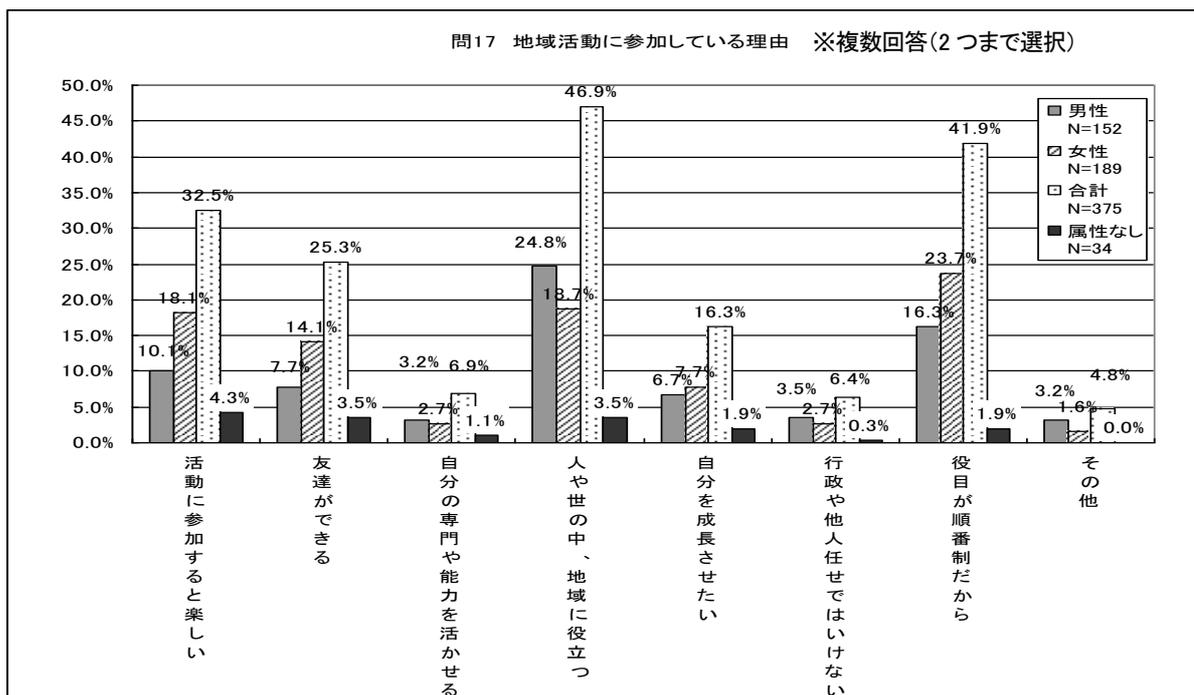
平成 28 年度調査



【その他 記載欄】

- ・してあたりまえ ・有無を言わず義母と交代勝手に入らされて ・やめられない ・なんとなく
- ・子供会:子供のことを考えて ・半強制でいやになる。若い人は住みにくいと思う ・地域の行事が多いと思う

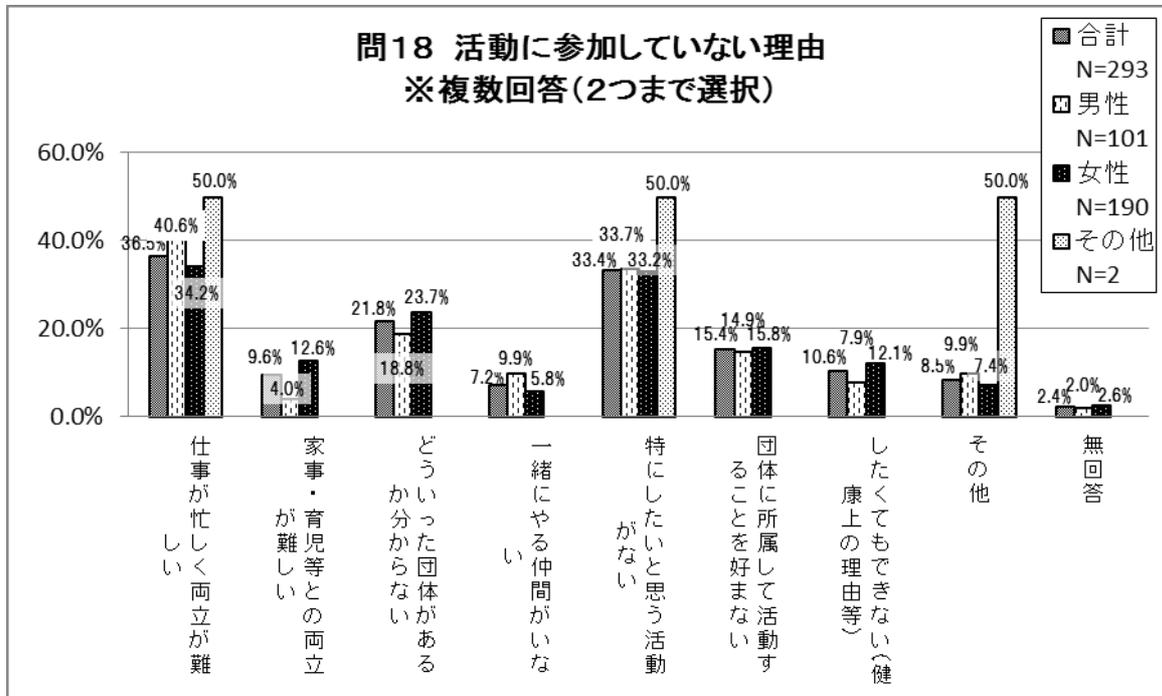
平成 23 年度調査



### 問18. 活動に参加していない理由

- ・全体の36.5%が「仕事が忙しく両立が難しい」と回答している。
- ・女性の30代の50%以上が「仕事が忙しく両立が難しい」「家庭と育児等との両立が難しい」を理由に挙げている。

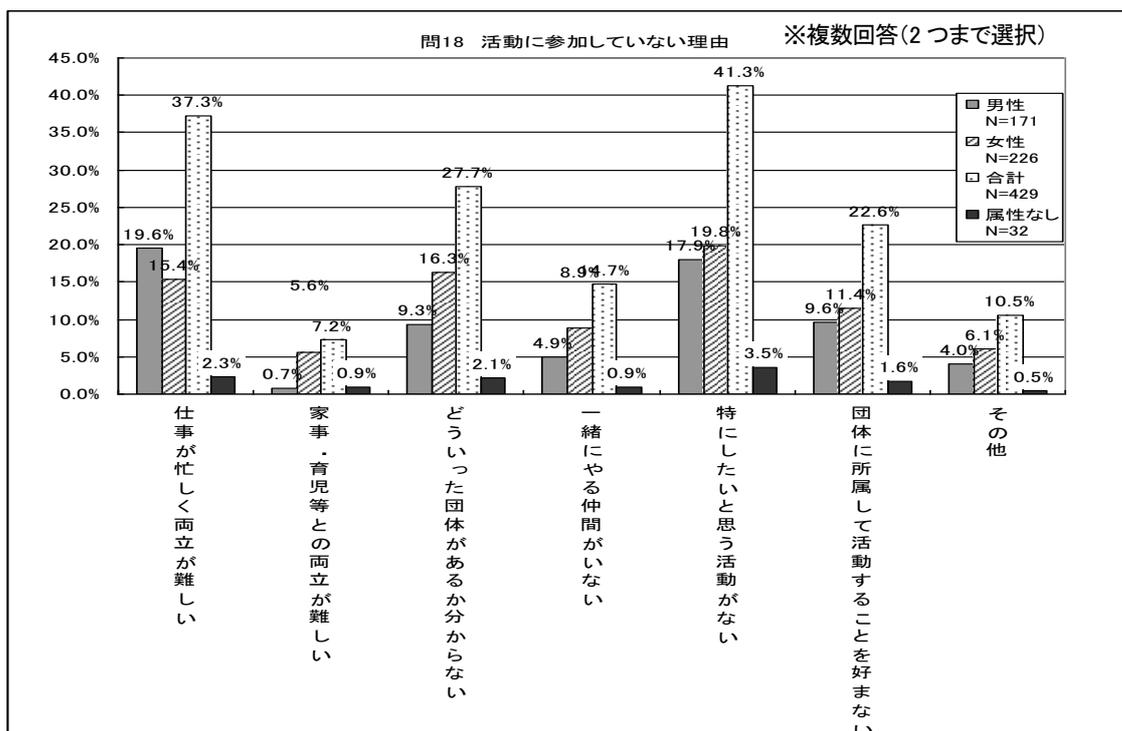
### 平成 28 年度調査



### 【その他 記載欄】

- ・時間がない、アパートに住んでいて区費を支払うばかりで活動に呼ばれたことがない
- ・転居してきた者への声掛けがなくどう動いて良いのかわからない ・めんどくさい ・学業が忙しい
- ・妻が参加してくれているから ・沢山の人の中に行ってするのがおっくうになった

### 平成 23 年度調査

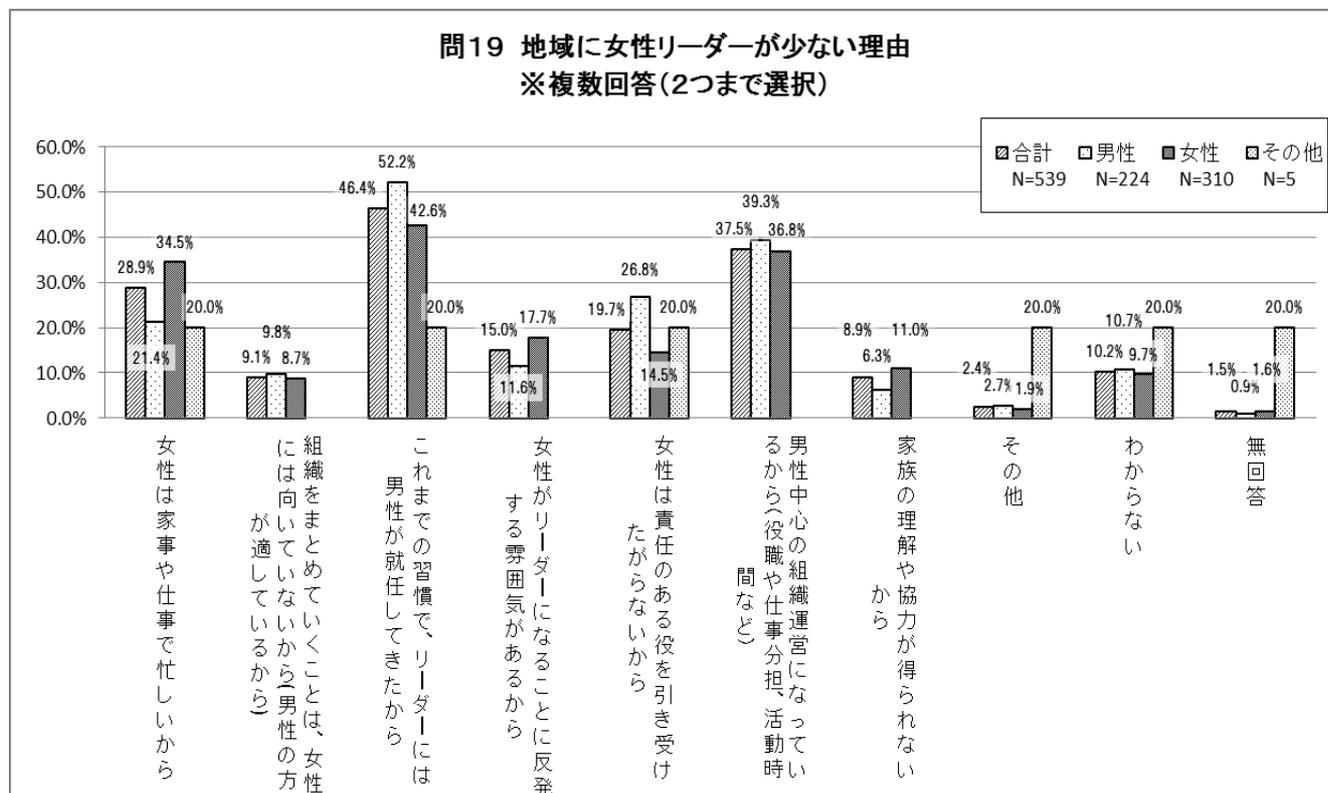


### 問19. 地域に女性リーダーが少ない理由(新項目)

・「これまでの習慣で、リーダーには男性が就任してきたから」46.4%、「男性中心の組織運営になっているから」37.5%、「女性は家事や仕事で忙しいから」28.9%と続いている。

・女性の34.5%が「女性は家事や仕事で忙しいから」と回答しており、男性を13.1ポイント上回り、男性の26.8%が「女性は責任ある役を引き受けたくないから」と回答しており、女性を12.3ポイント上回っている。

### 平成28年度調査



### 【その他 記載欄】

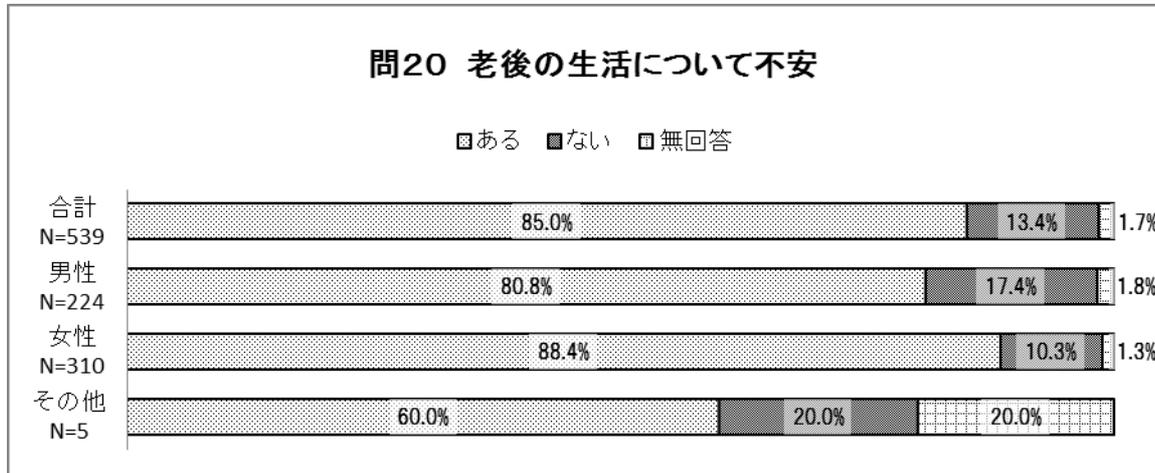
- ・男の方が話があっさりして事が運ぶこともあるから女性は気遣いができる分、事が複雑になりやすい
- ・今後女性の方については区の後取をして頂きたい
- ・すでに女性リーダである地域もある
- ・やる気があればいいのでは
- ・自分より年上の方が多すぎる中で女の人が区長をするのは人間関係の上でよほどみんなが仲良くないと難しいかと思う
- ・そもそも立候補しない
- ・個人の資質の問題
- ・人がいない

## 6. 健康・福祉について

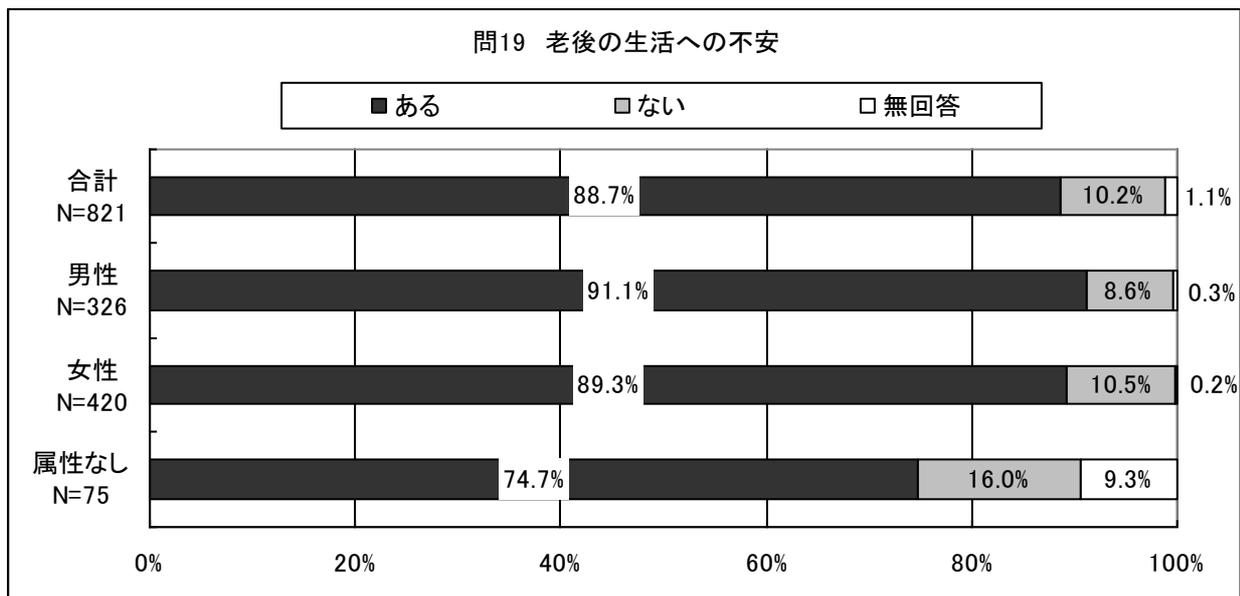
### 問 20. 老後の生活についての不安

- ・ 約 10 人に 8 人が老後の生活に不安を抱えている。
- ・ 10 代男性を除く男女の各世代で7割以上が老後の生活に不安を抱えている。

#### 平成 28 年度調査



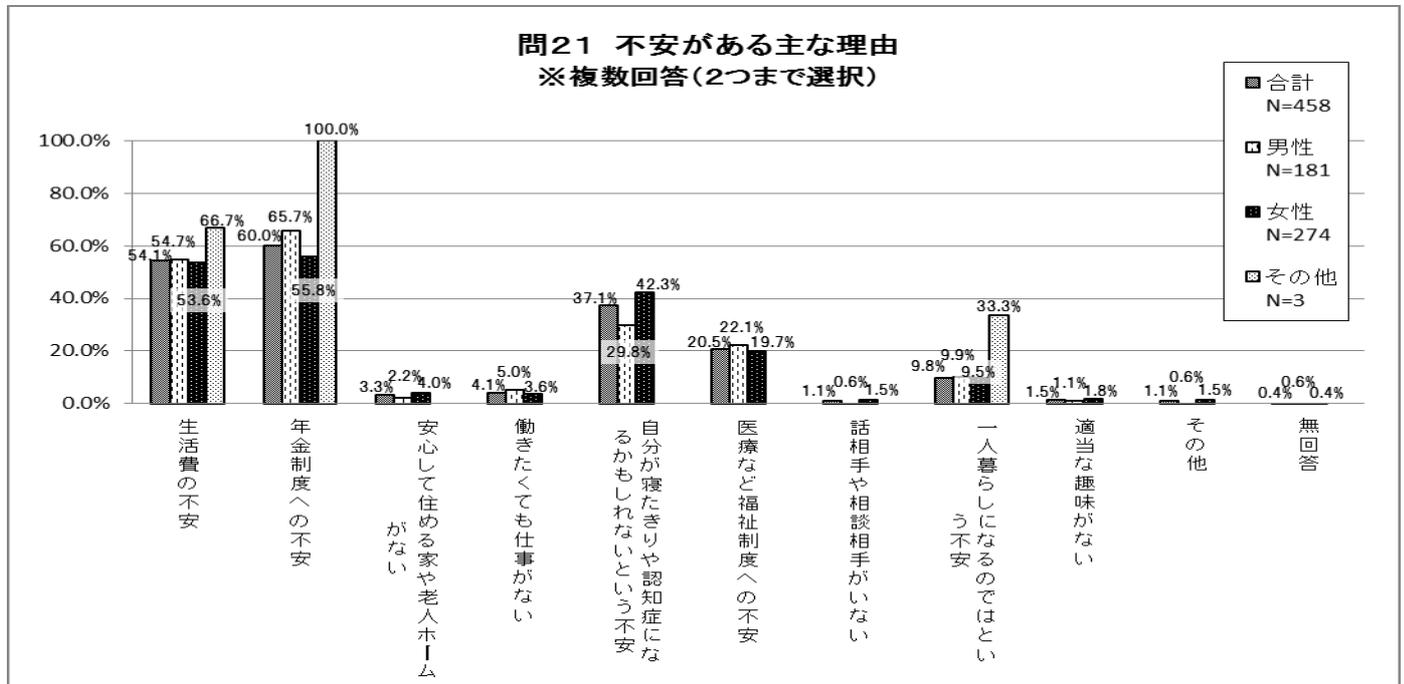
#### 平成 23 年度調査



## 問21. 不安の主な理由

- ・「年金制度への不安」60.0%が最も高く、次いで「生活費の不安」54.1%と経済的な不安が高い。
- ・男女の傾向もほぼ同様であった。

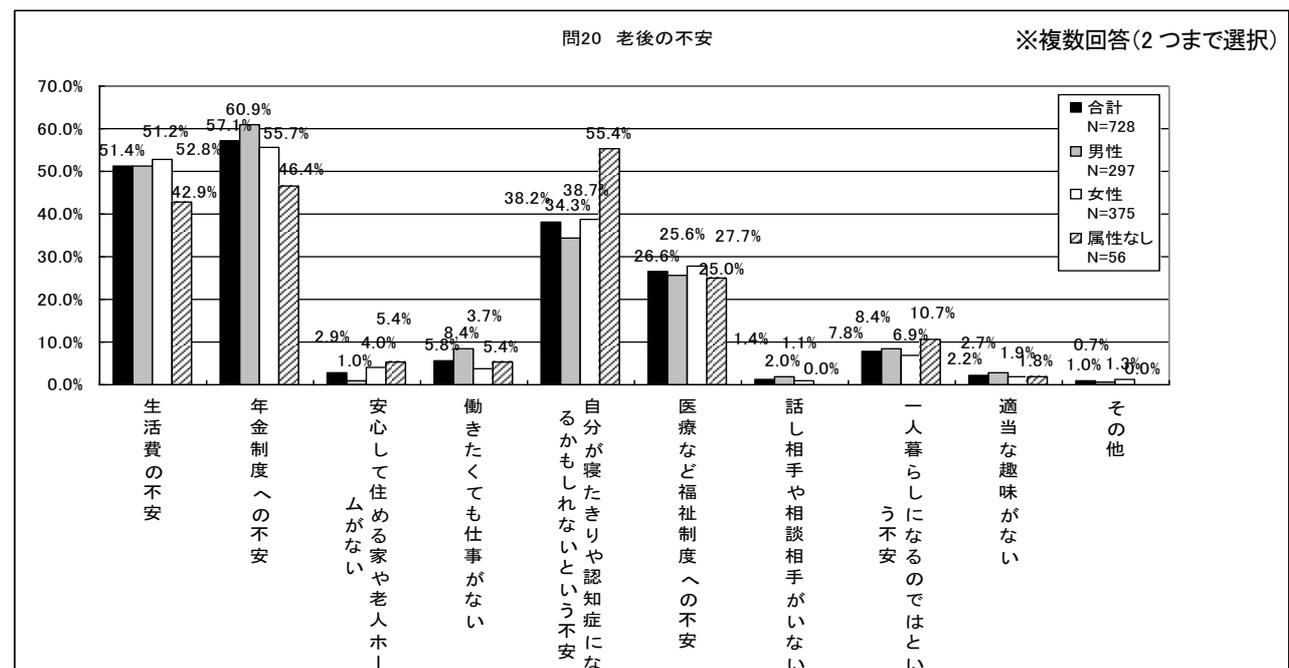
## 平成 28 年度調査



### 【その他 記載欄】

- ・子供が遠くにいて帰ってくるだろうかと心配
- ・政治が安定しているか
- ・車の運転ができないとなると、買物、病院等に行けないのではないかと心配
- ・家を継ぐ者がいない

## 平成 23 年度調査



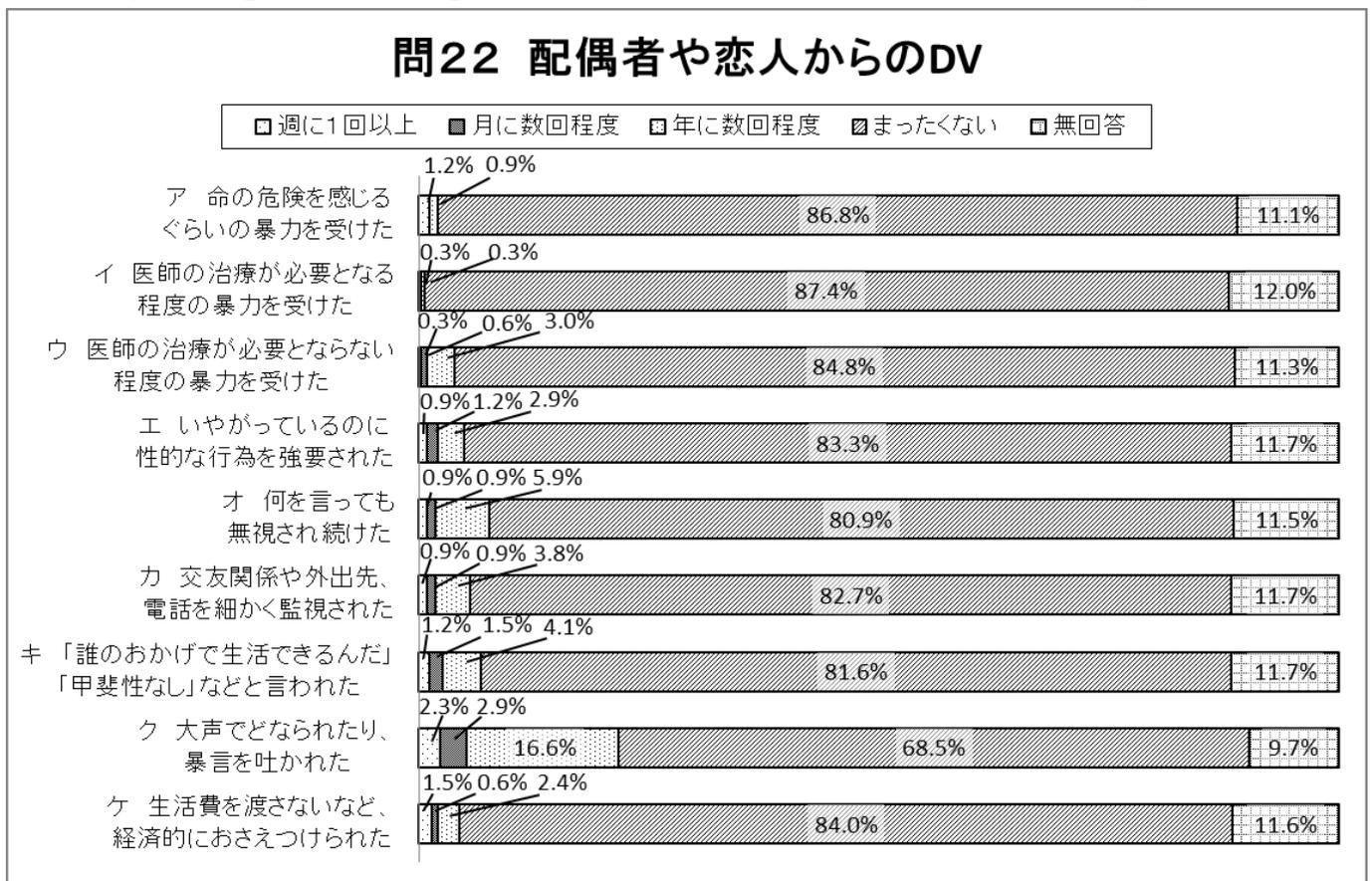
## 7. 人権について

### 問22. 配偶者や恋人からのDVについて

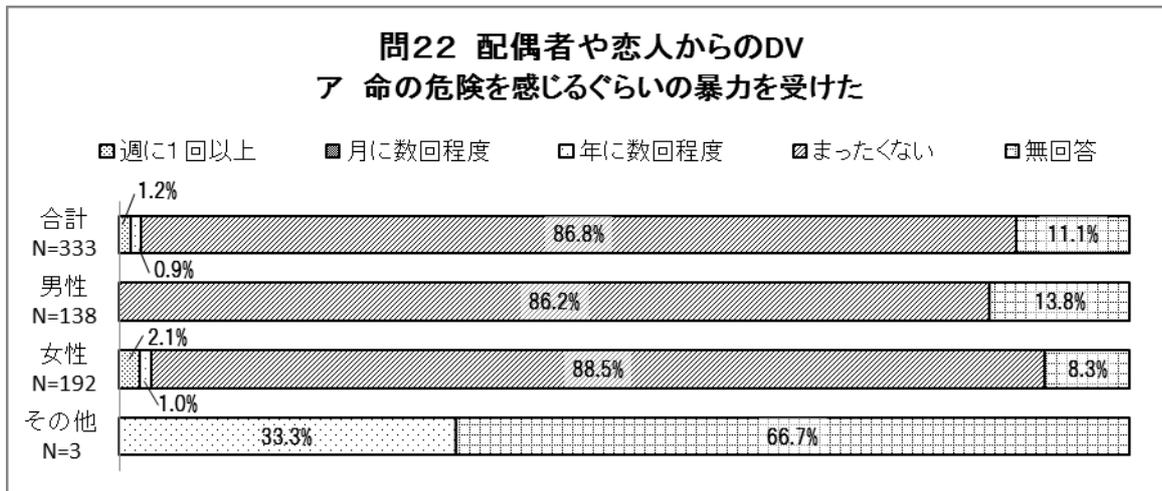
- ・配偶者や恋人からの暴力を受けた経験については、身体的暴力、性的暴力、精神的暴力、経済的暴力、全ての項目において「経験がある」という回答がみられた。
- ・いずれの項目においても、男性より女性の経験者が多く、特に「大声でどなられたり、暴言を吐かれた」はパートナーがいる3割以上の女性が経験者となっている。
- ・「週に1回以上」4人、「年に数回程度」3人が「命の危険を感じるぐらいの暴力を受けた」と回答しており深刻な事態が浮き彫りになった。

平成 28 年度調査 【各項目とりまとめ】

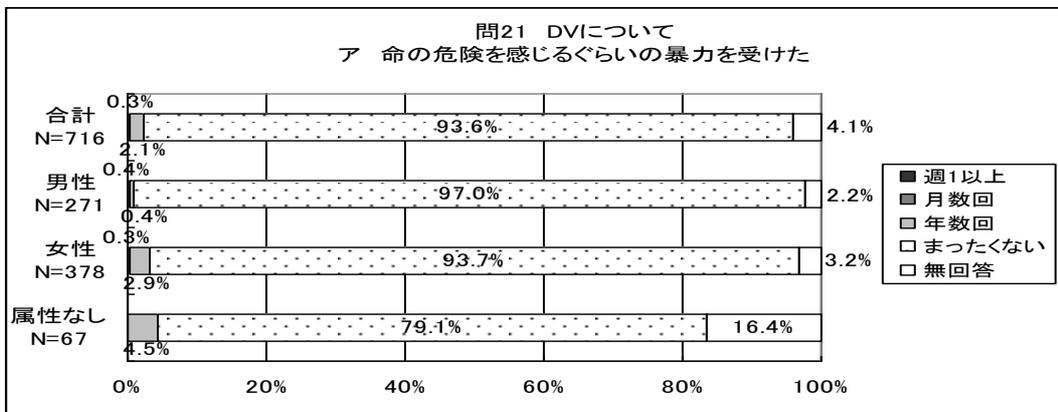
※非該当を外した数値



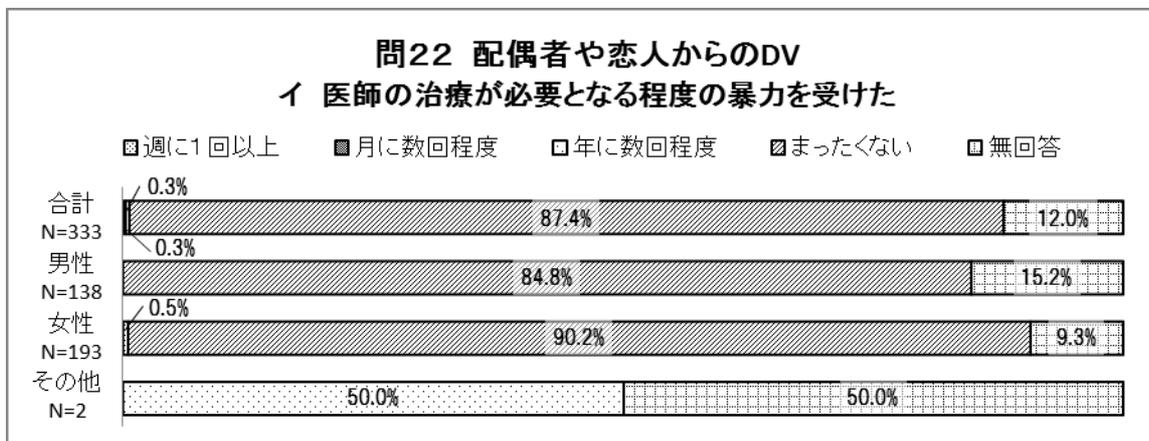
平成 28 年度調査



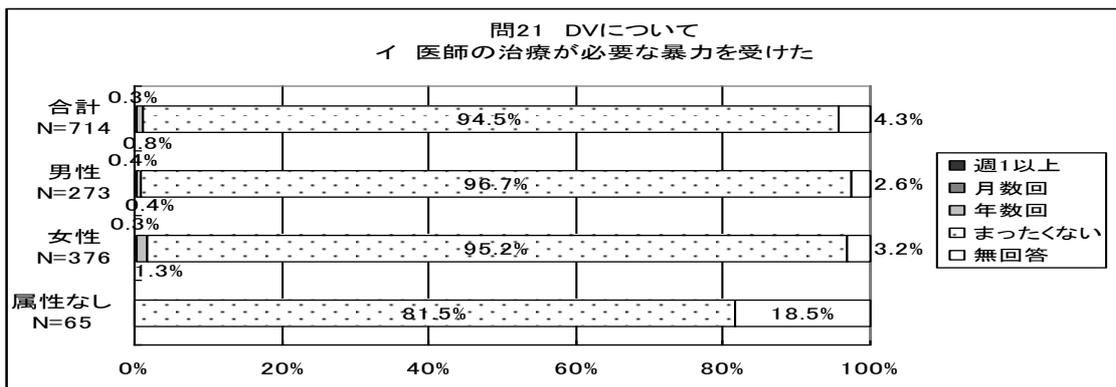
平成 23 年度調査



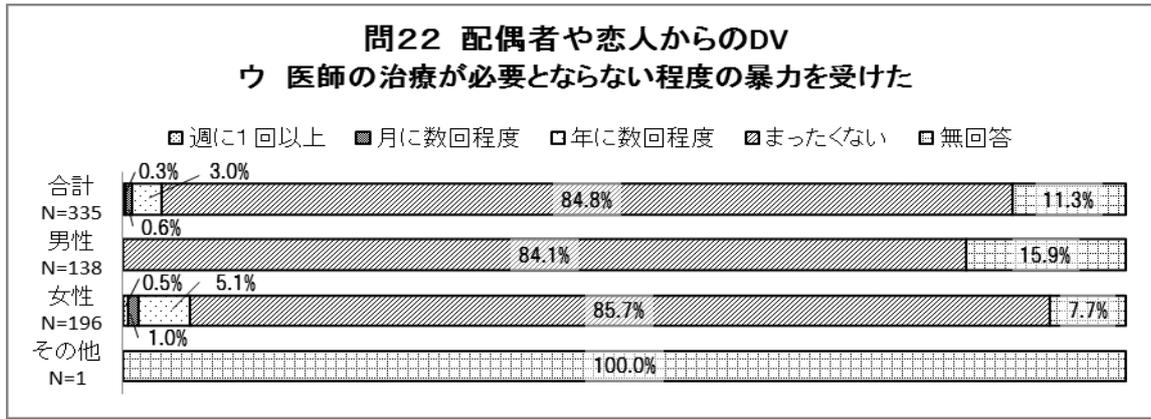
平成 28 年度調査



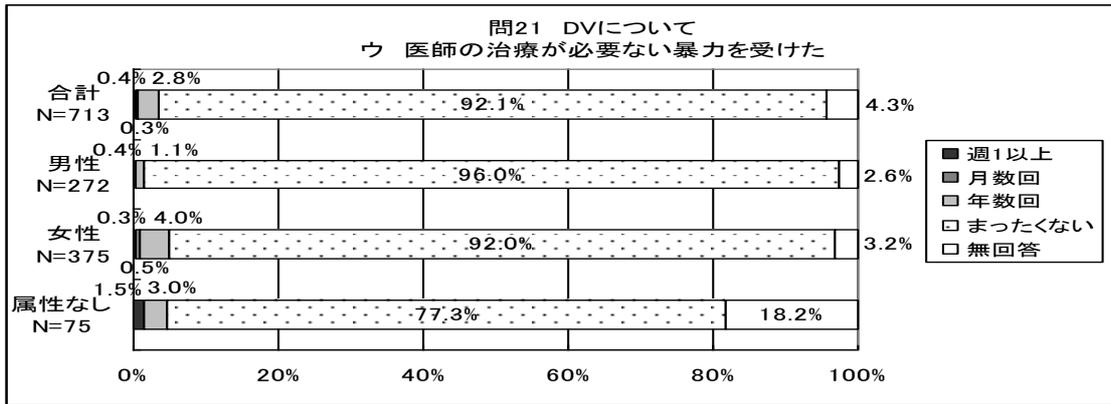
平成 23 年度調査



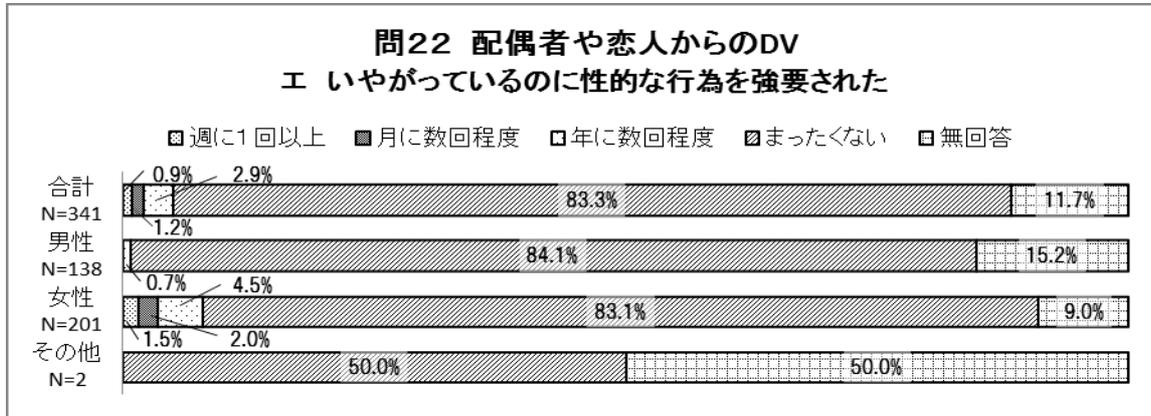
平成 28 年度調査



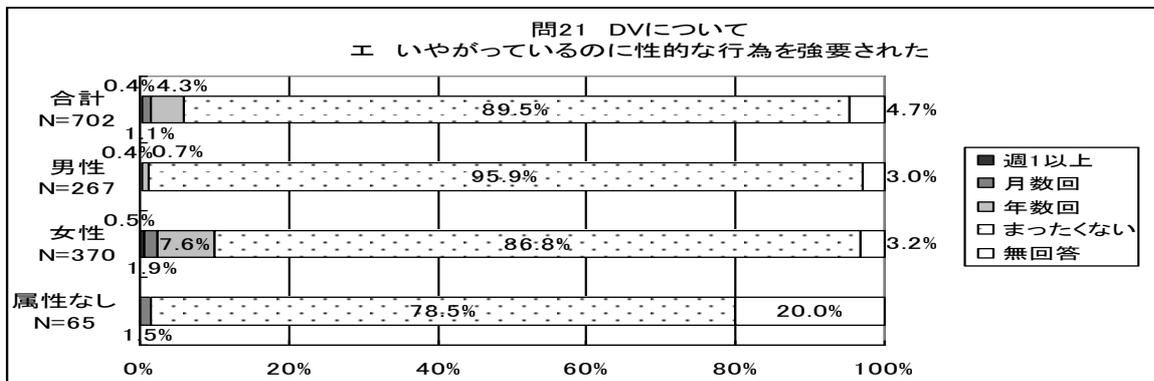
平成 23 年度調査



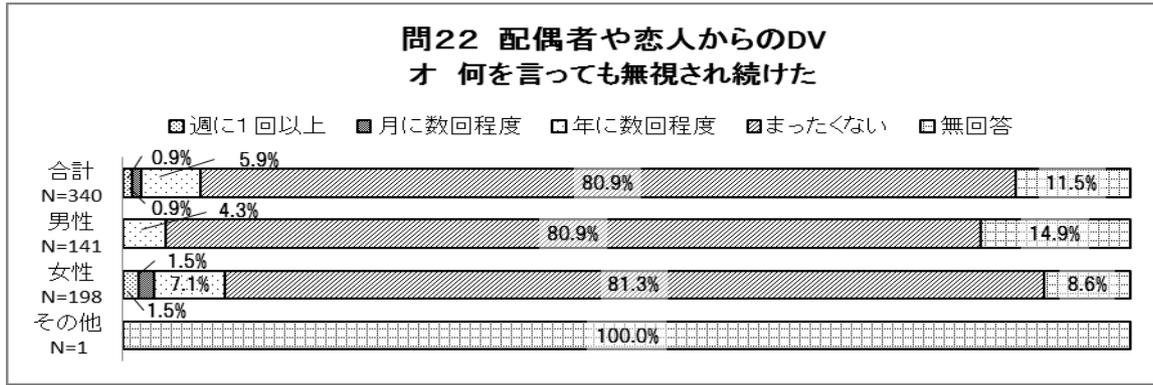
平成 28 年度調査



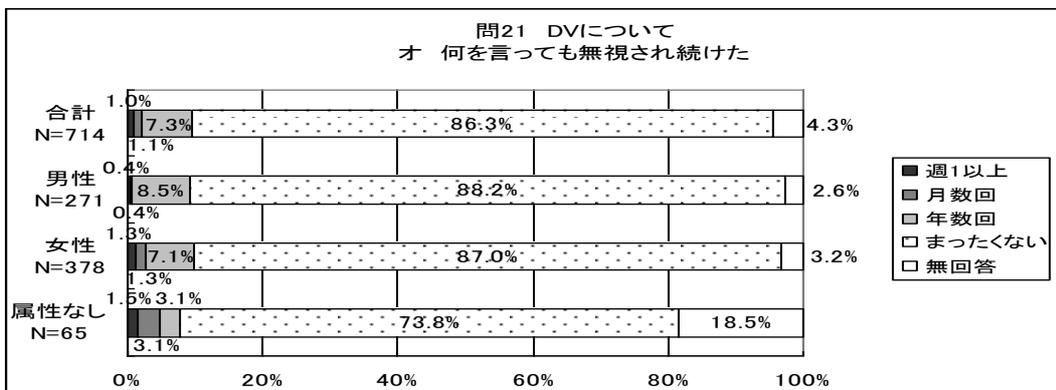
平成 23 年度調査



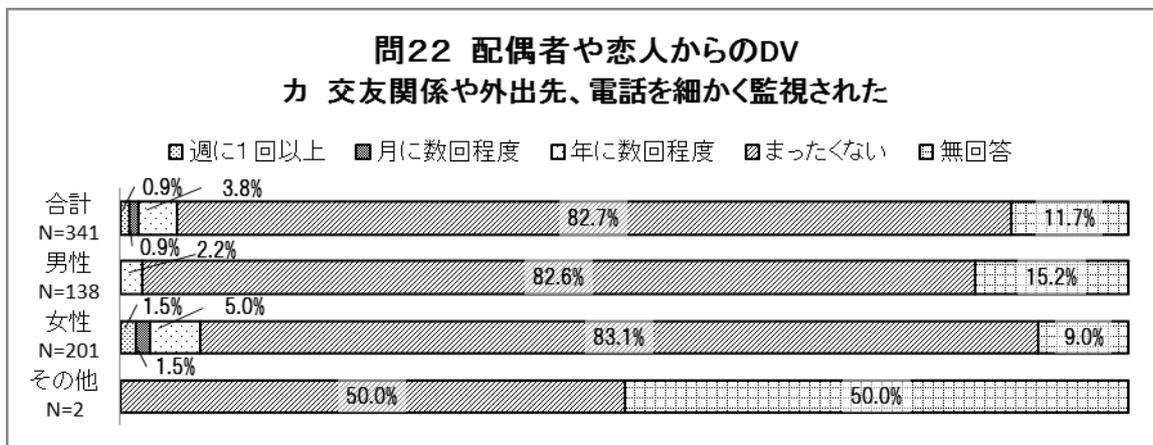
平成 28 年度調査



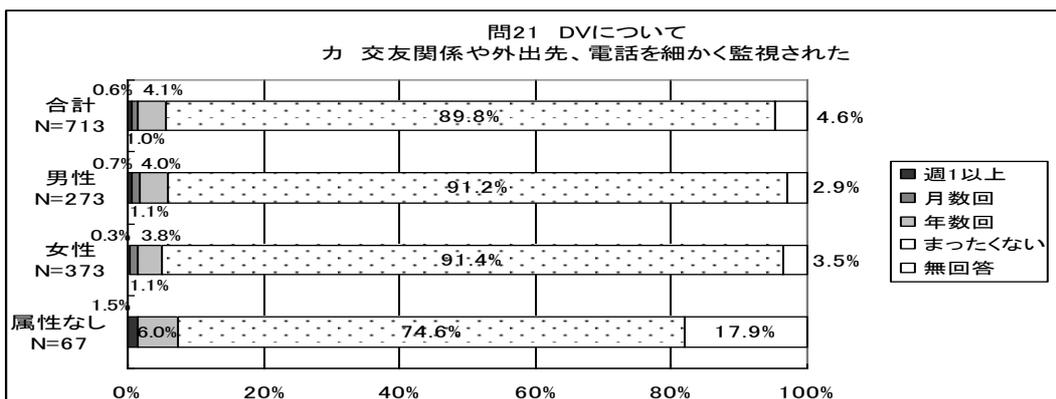
平成 23 年度調査



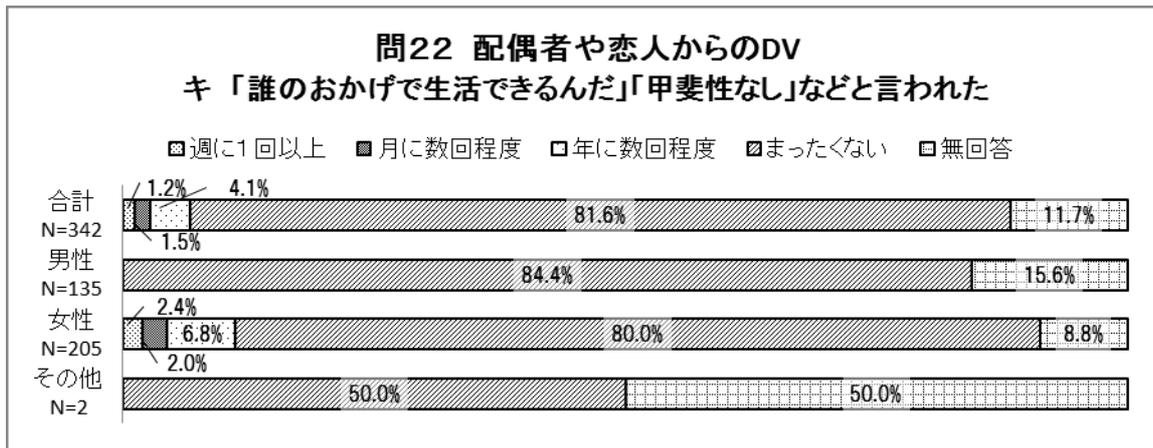
平成 28 年度調査



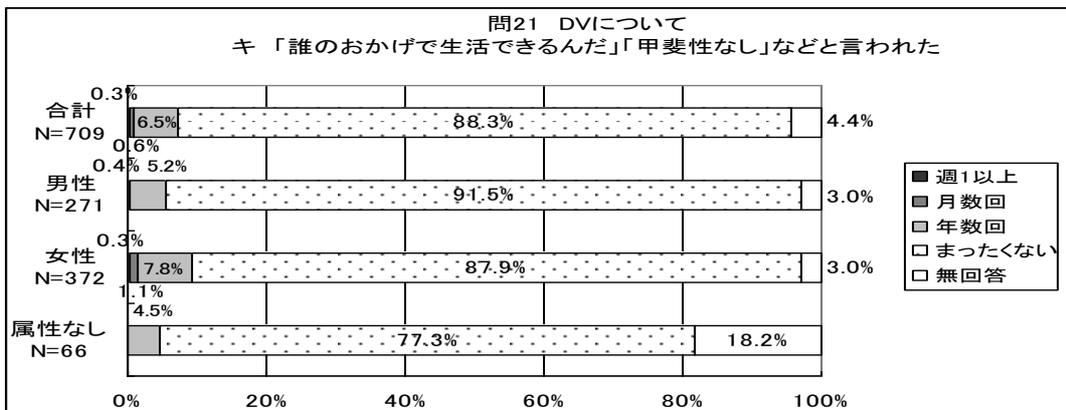
平成 23 年度調査



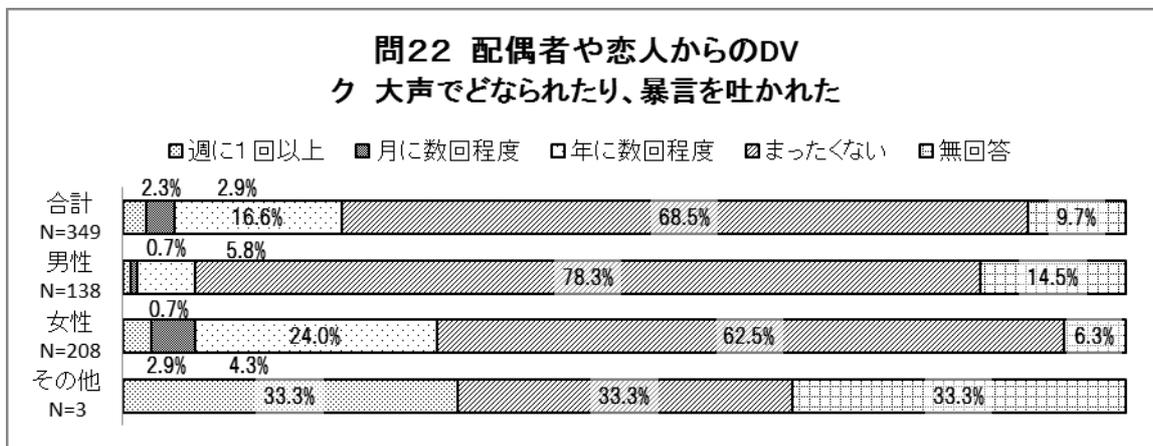
平成 28 年度調査



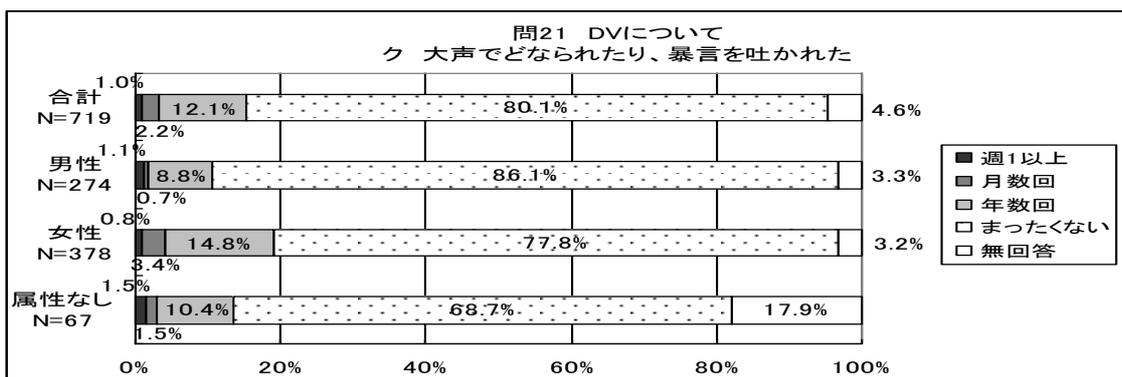
平成 23 年度調査



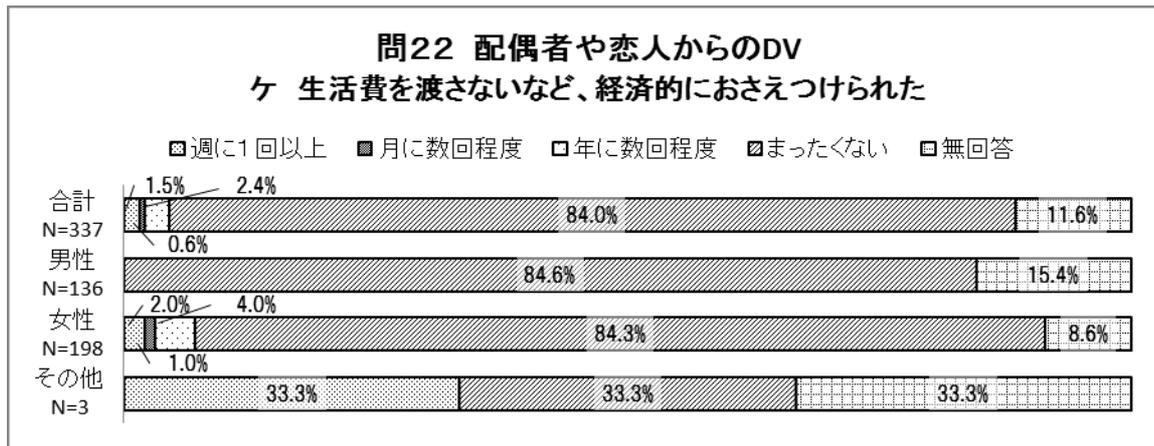
平成 28 年度調査



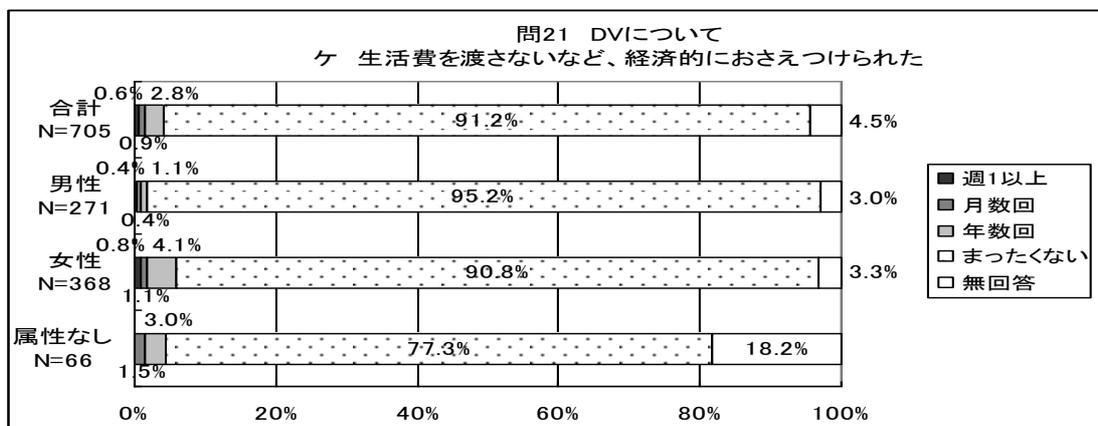
平成 23 年度調査



平成 28 年度調査



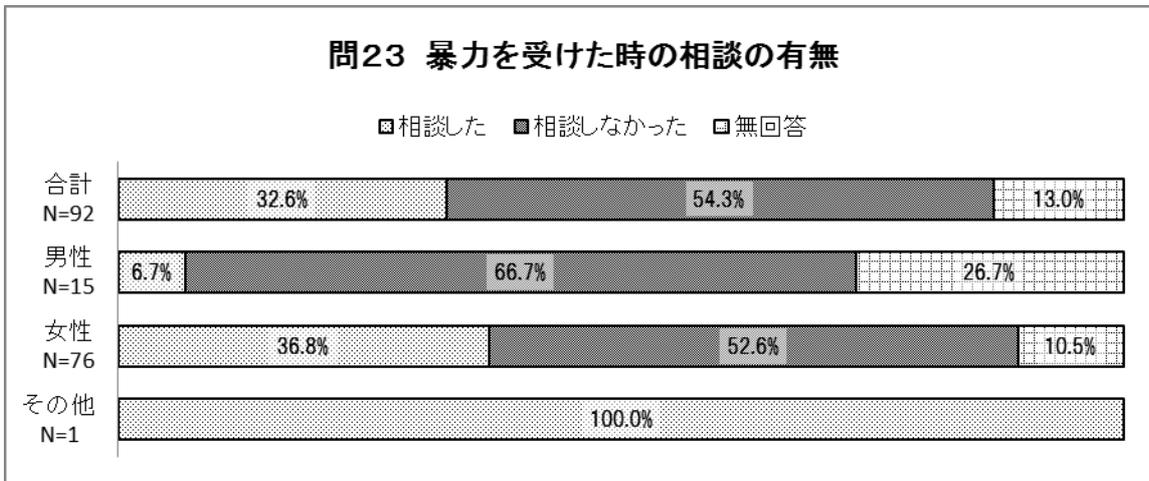
平成 23 年度調査



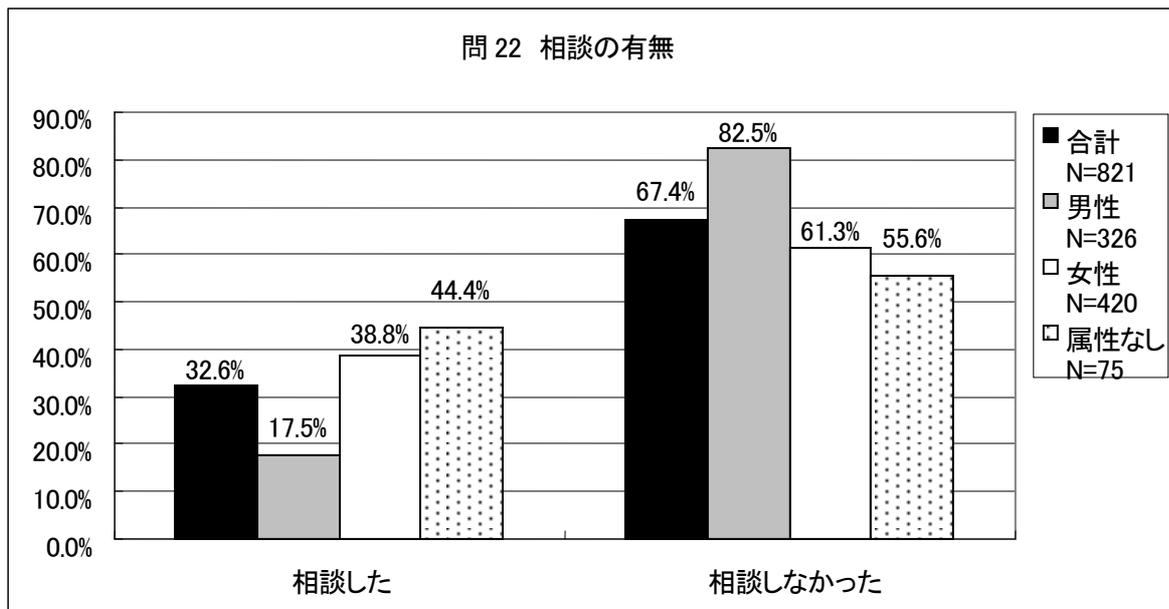
問23. 暴力を受けた時の相談の有無

- ・(暴力を受けたことがあると回答した内)「相談した」人は 32.6%、「相談しなかった」人は 54.3%。
- ・男性の 66.7%、女性の 52.6%が「相談しなかった」と回答している

平成 28 年度調査



平成 23 年度調査



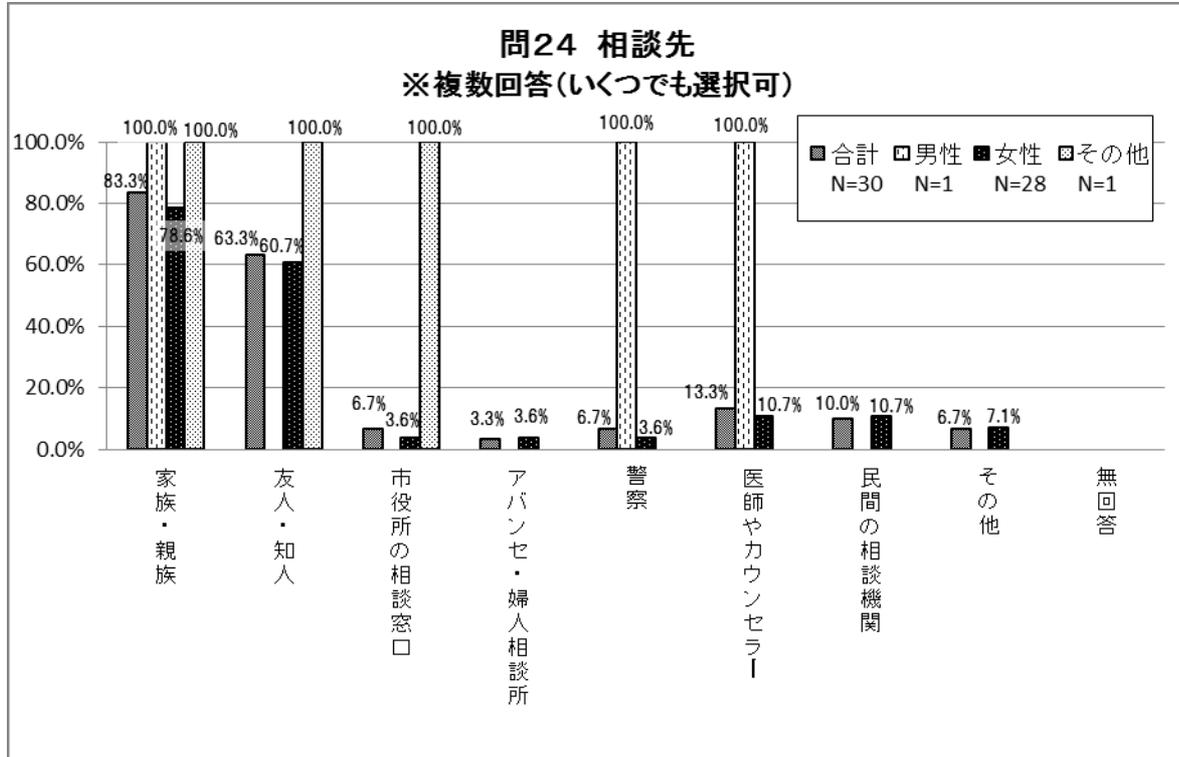
【市民会議の声】

- ・相談しない男性が依然として多いので、男性が相談できる対策が必要。

## 問24. 相談先

- ・「家族・親族」が83.3%、「友人・知人」63.3%となっている。
- ・「市役所の相談窓口」6.7%やと公的相談窓口に繋がっているケースはまだ少ないが、若干増加している。

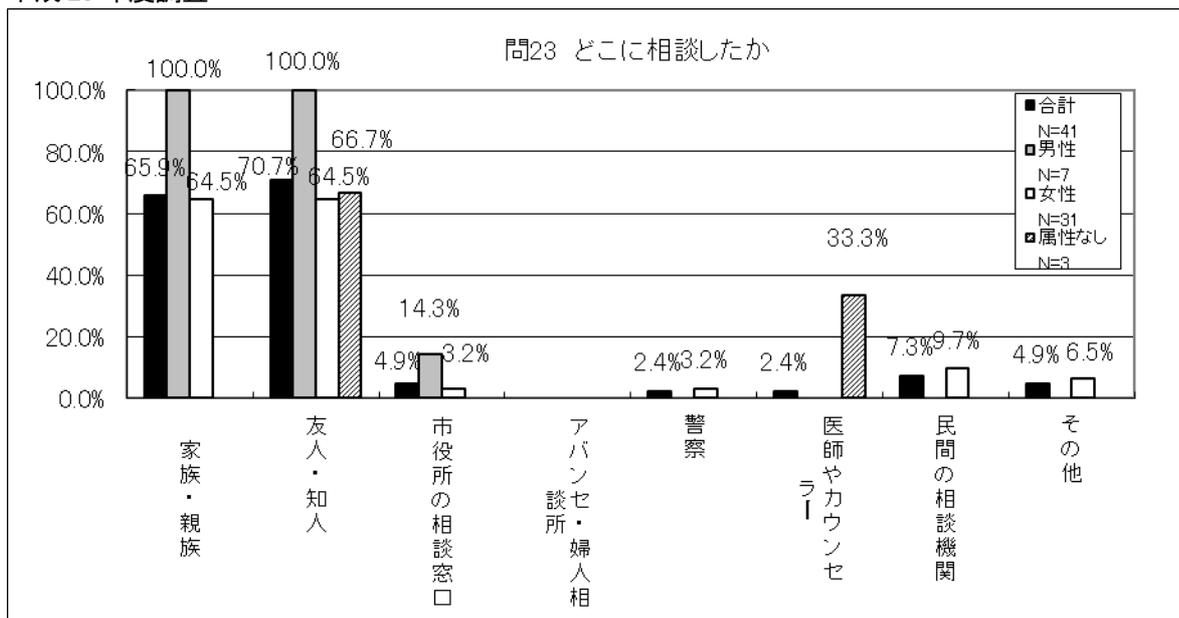
### 平成 28 年度調査



### 【その他 記載欄】

- ・上司
- ・「自分にも悪いところがある」「自分が我慢すれば何とかやっていけると思った」「相談したことが分かると仕返しが怖い」と思い、何十年とがまんをして、結果病院へ行くことになり、その結果、警察等へ相談することとなった。

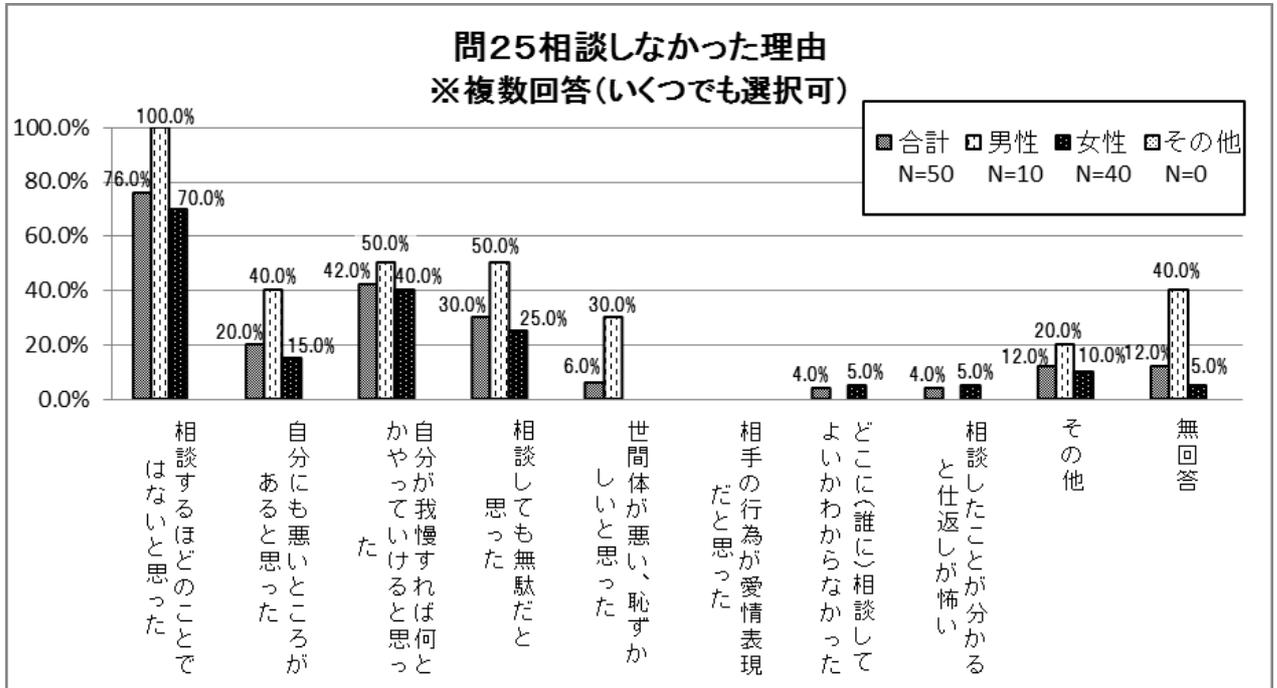
### 平成 23 年度調査



問25. 相談しなかった理由

・「相談するほどのことではないと思った」が 76.0%と最も高く、次いで「自分が我慢すれば何とかやっていると」42.0%、「相談しても無駄だと思った」30.0%と続いた。

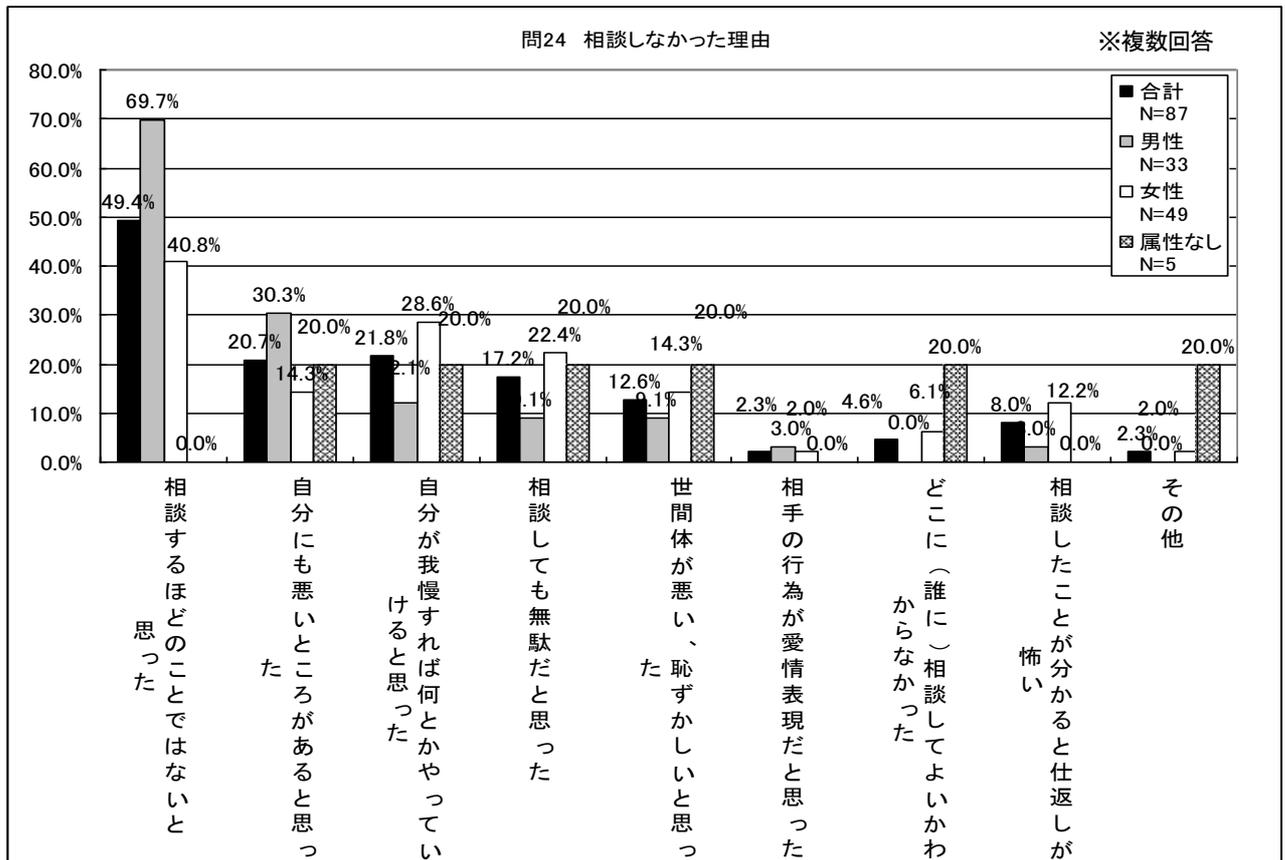
平成 28 年度調査



【その他 記載欄】

・夫婦間の意見のくい違いによるケンカなので、自分でどうにかしました

平成 23 年度調査

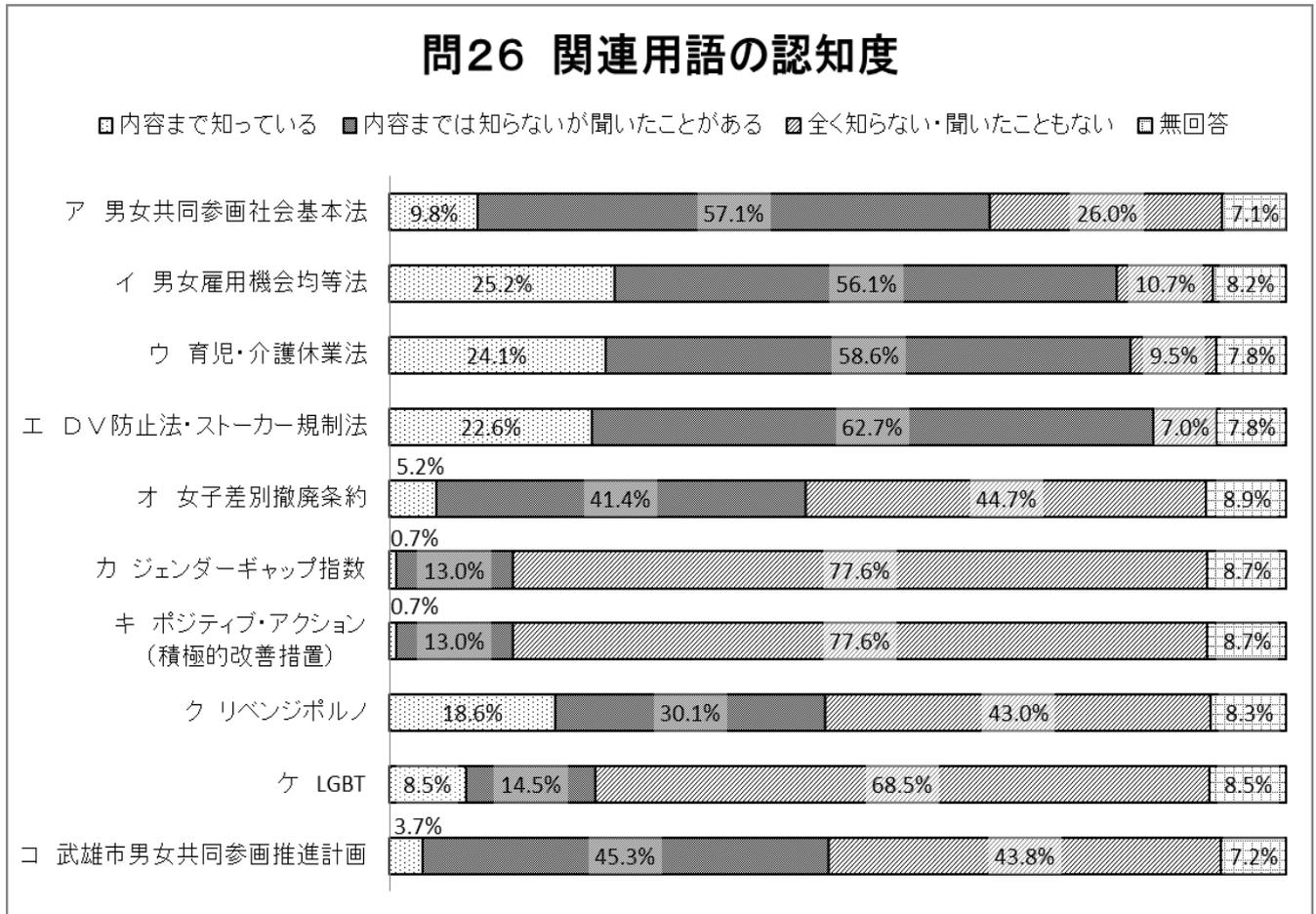


## 8. 男女共同参画社会について

### 問26. 男女共同参画社会の実現へ向けての関連用語の認知度

- ・認知度が高いのは、「DV防止法(配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律)」85.3%、「育児・介護休業法」82.7%、「男女雇用機会均等法」81.3%となっている。
- ・関連用語「ジェンダーギャップ指数」「ポジティブ・アクション(積極的改善措置)」「LGBT」については、4割以下の認知度となっている。
- ・「武雄市男女共同参画推進計画」については、認知度は49.0%だが、「内容まで知っている」は3.7%に留まっている。
- ・前回調査と比較すると、関連用語の認知度は若干ではあるが減少している。

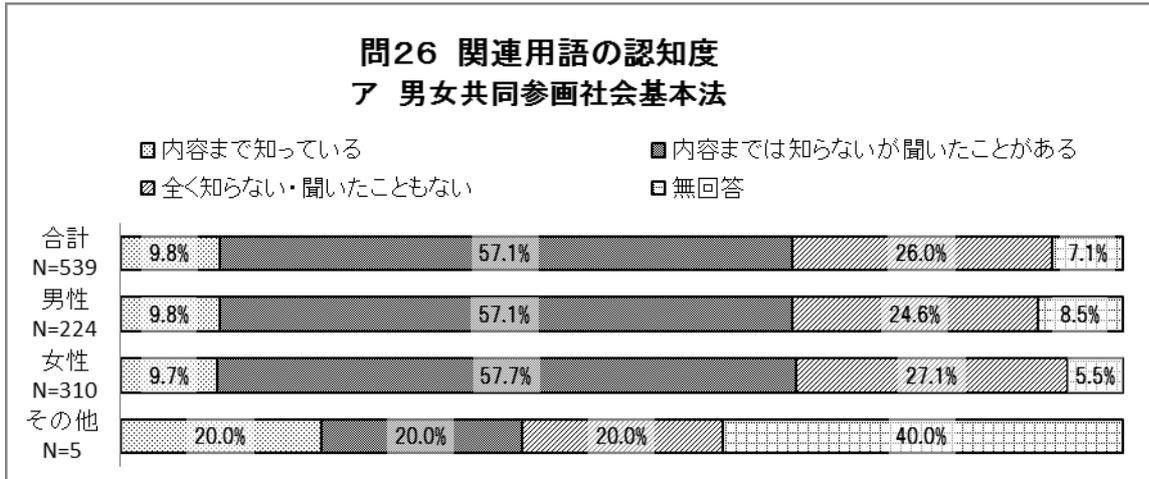
平成 28 年度調査



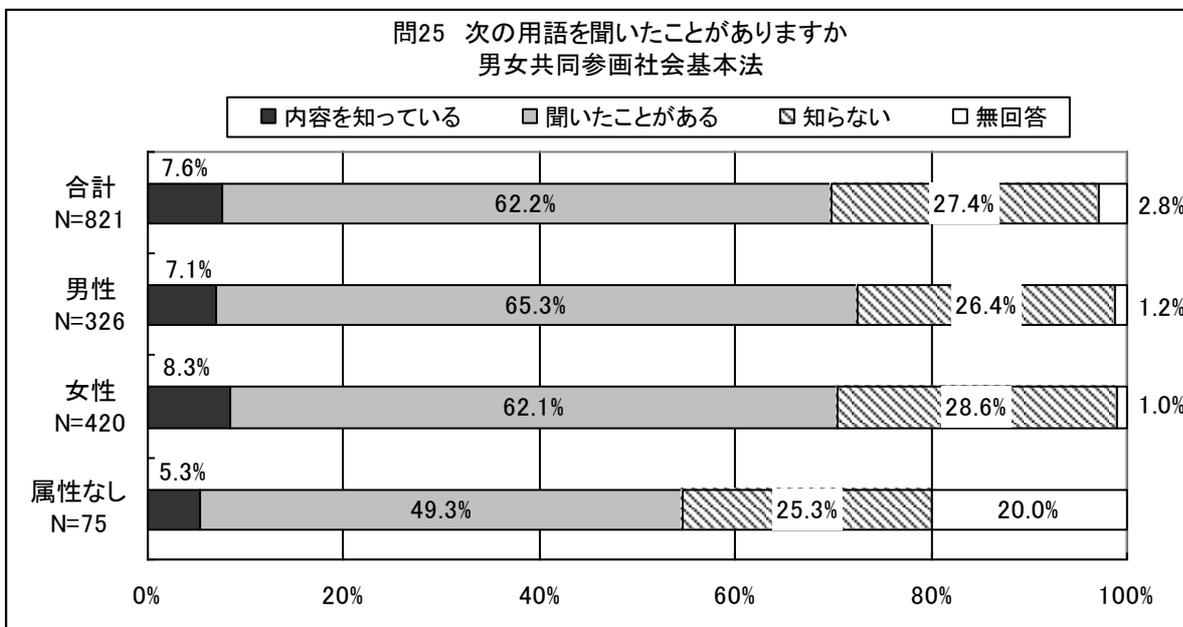
#### 【市民会議の声】

- ・関連用語の認知度の低さは、家庭内や友人間での会話不足からではないか。

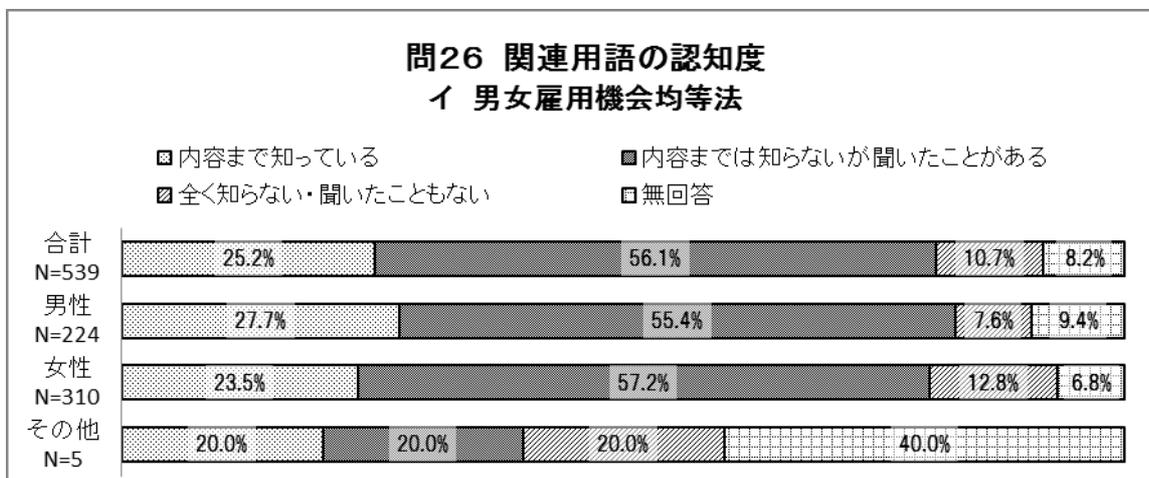
平成 28 年度調査



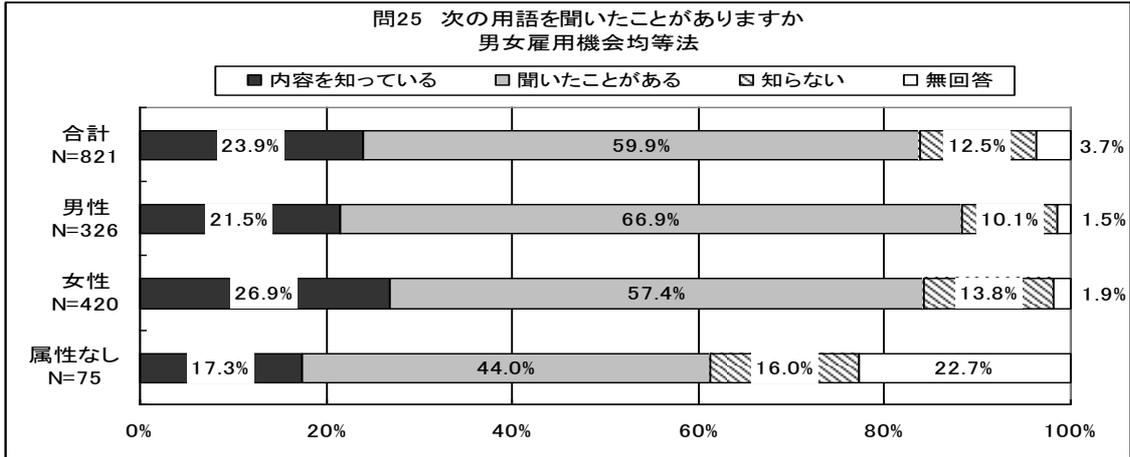
平成 23 年度調査



平成 28 年度調査

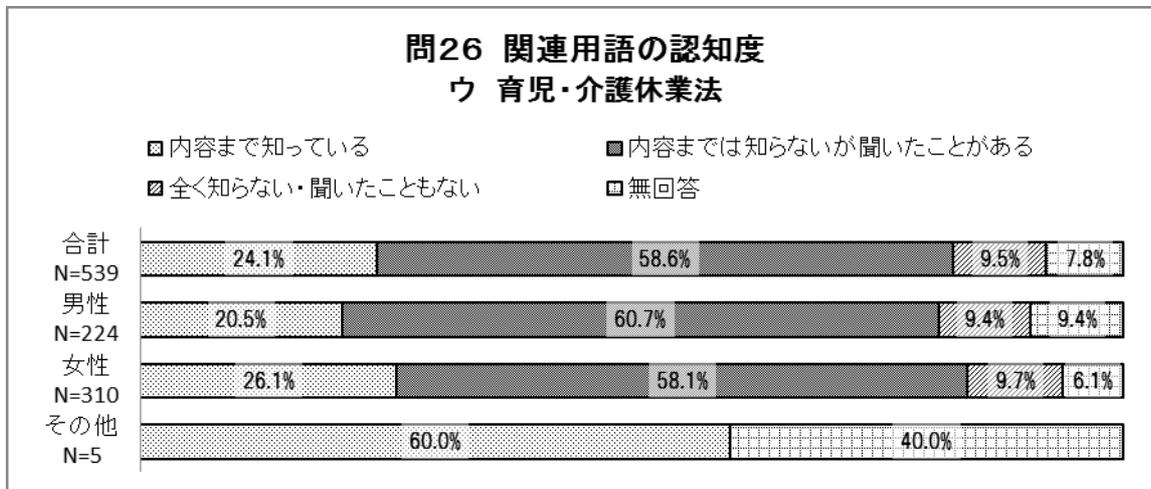


平成 23 年度調査

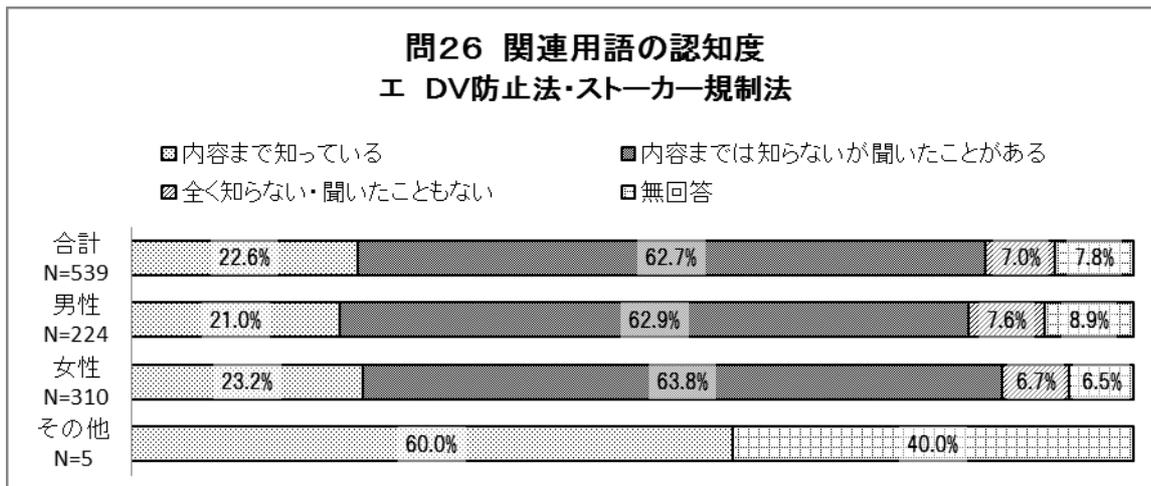


平成 28 年度調査

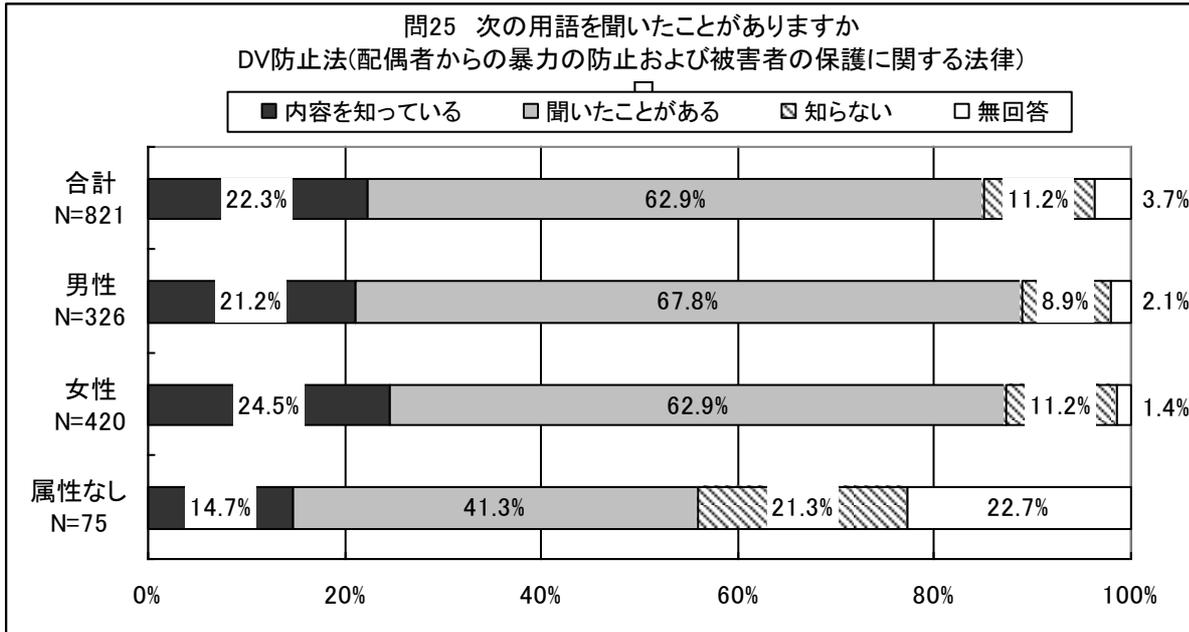
(新項目)



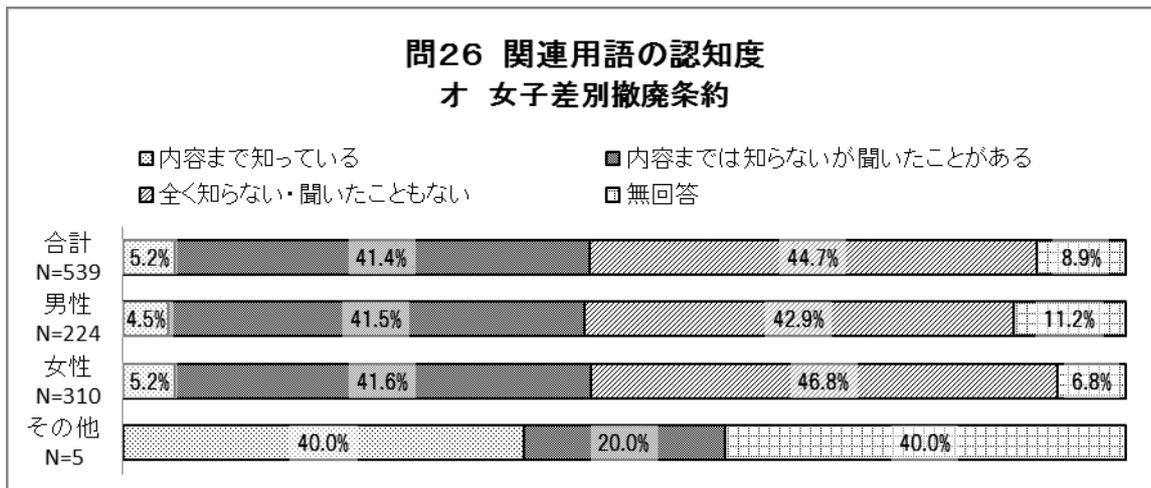
平成 28 年度調査



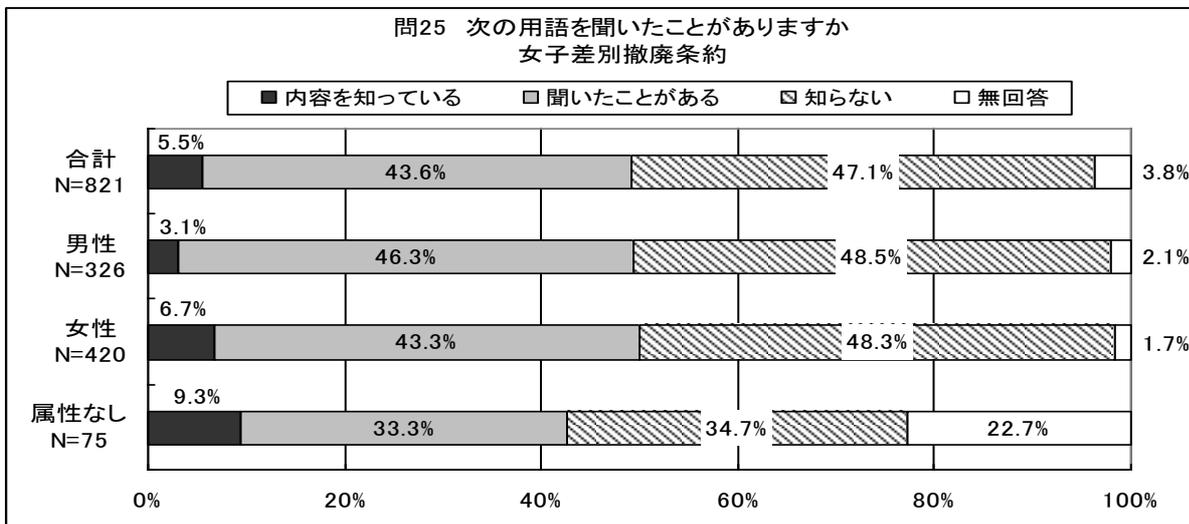
平成 23 年度調査

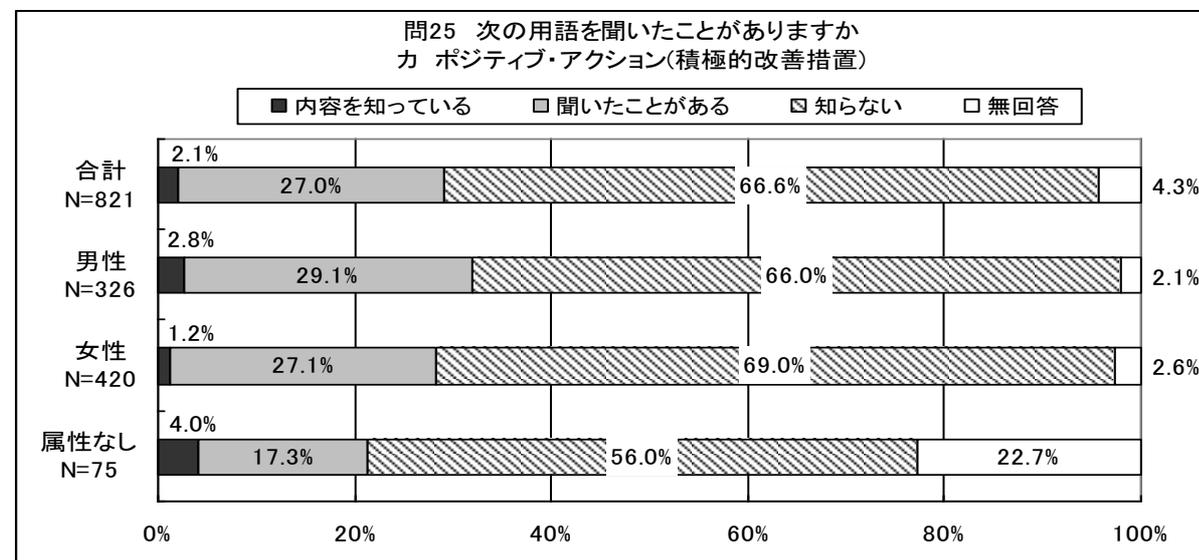
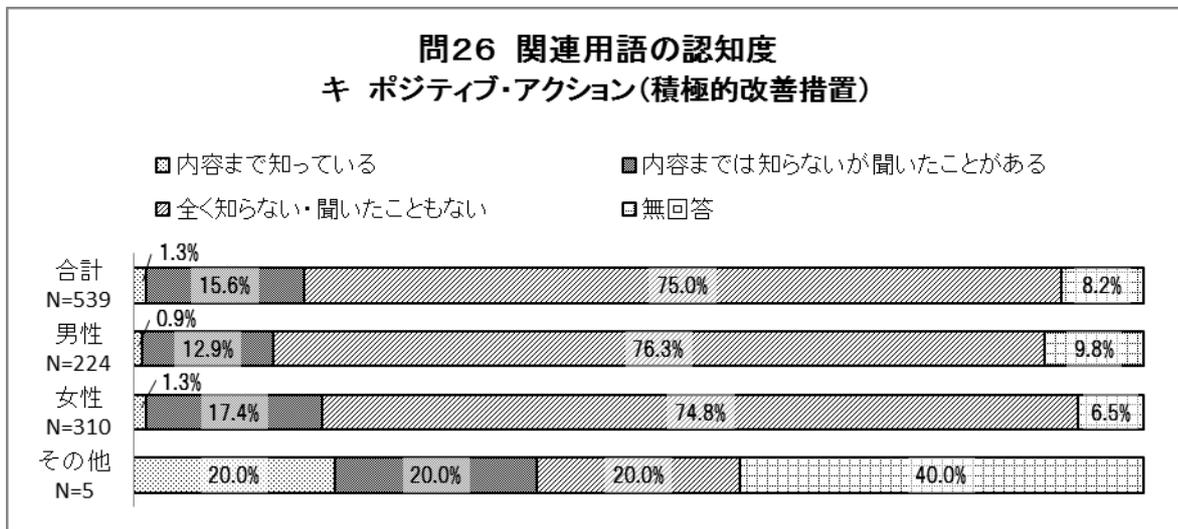
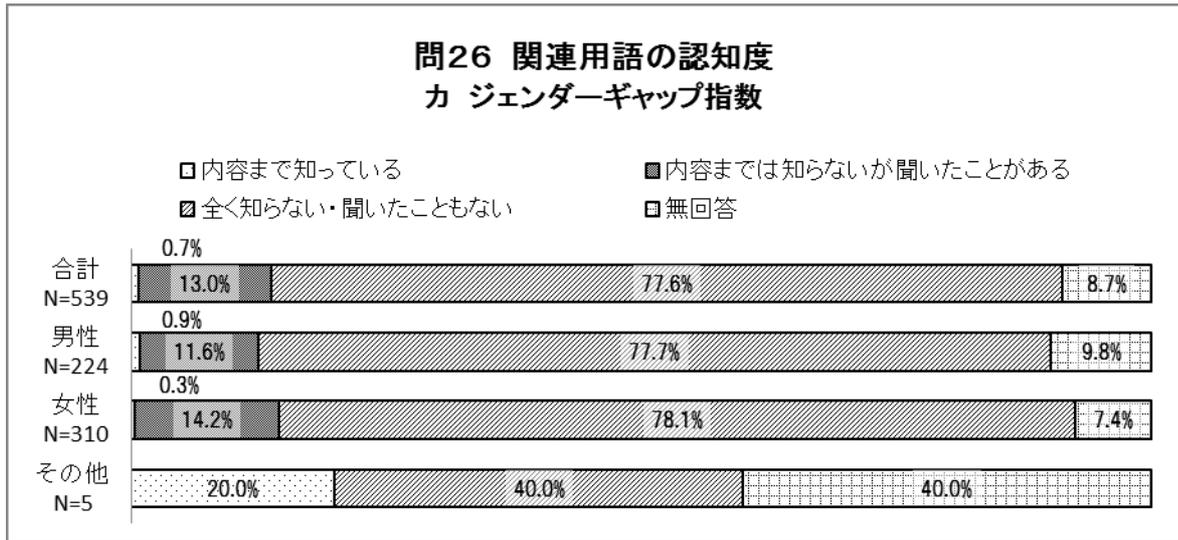


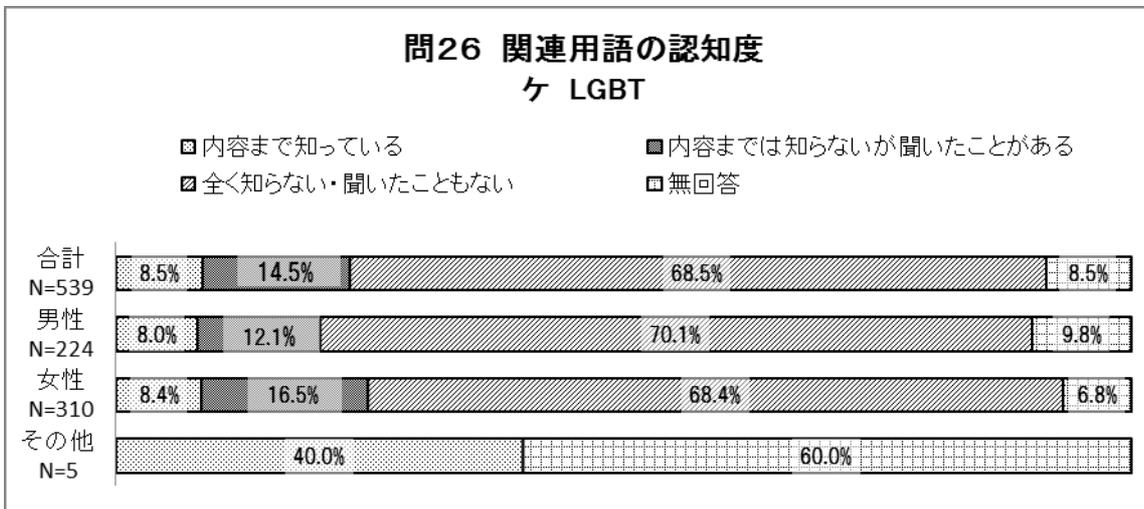
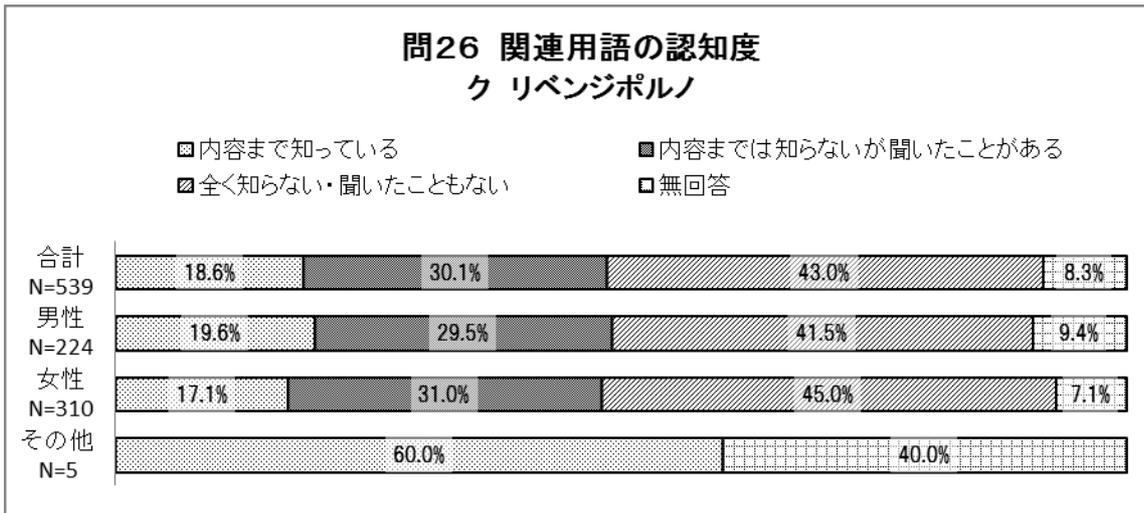
平成 28 年度調査



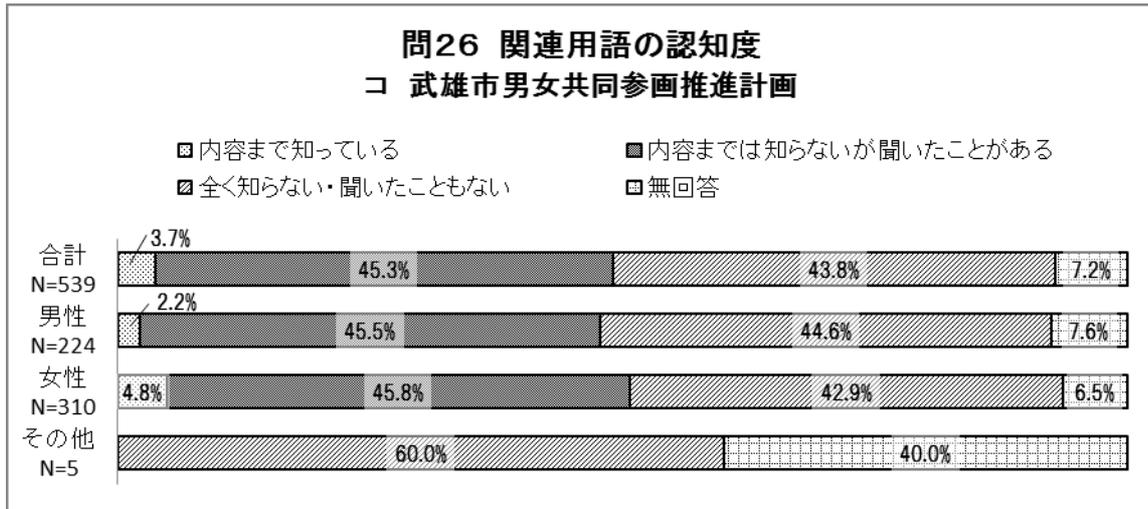
平成 23 年度調査



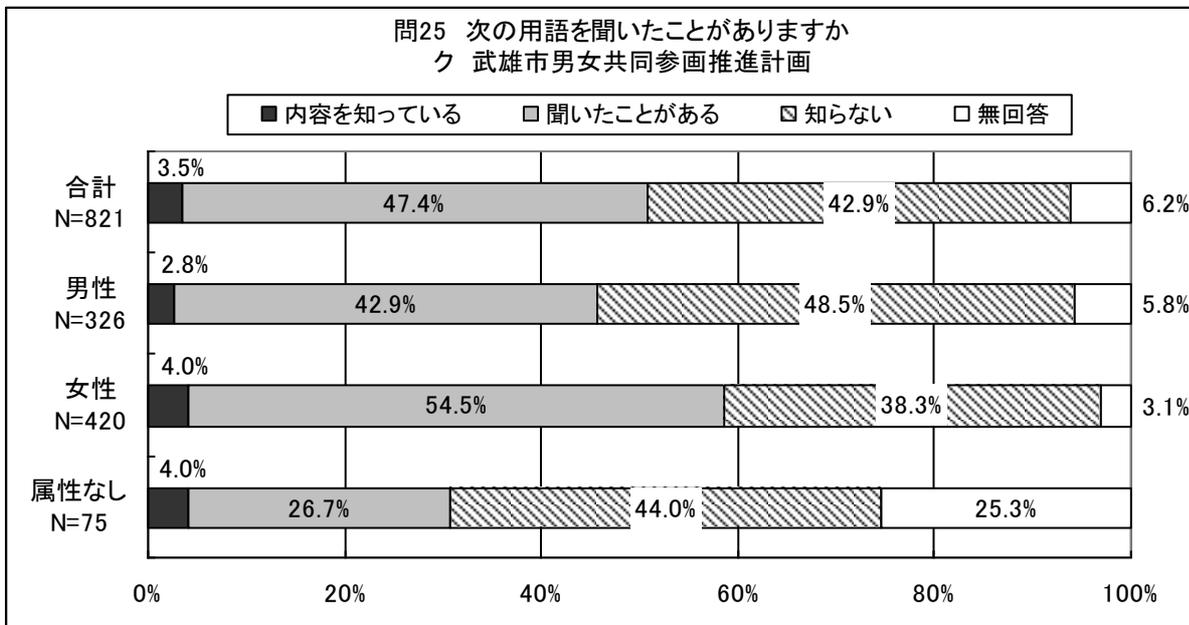




平成 28 年度調査



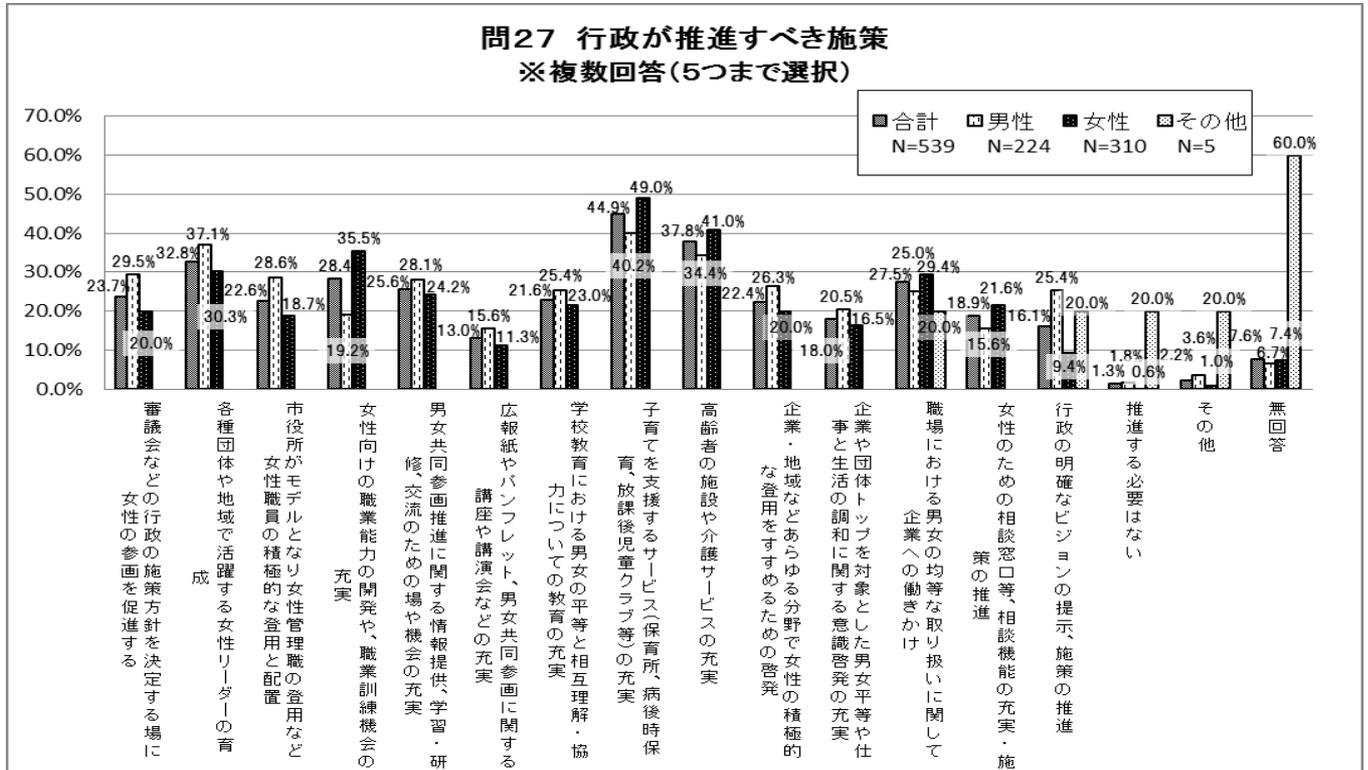
平成 23 年度調査



## 問27. 行政が推進すべき施策

「子育てを支援するサービス(保育所、病後時保育、放課後児童クラブ等)の充実」44.9%と最も多く、次いで「高齢者の施設や介護サービスの充実」37.8%、「各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成」32.8%となった。

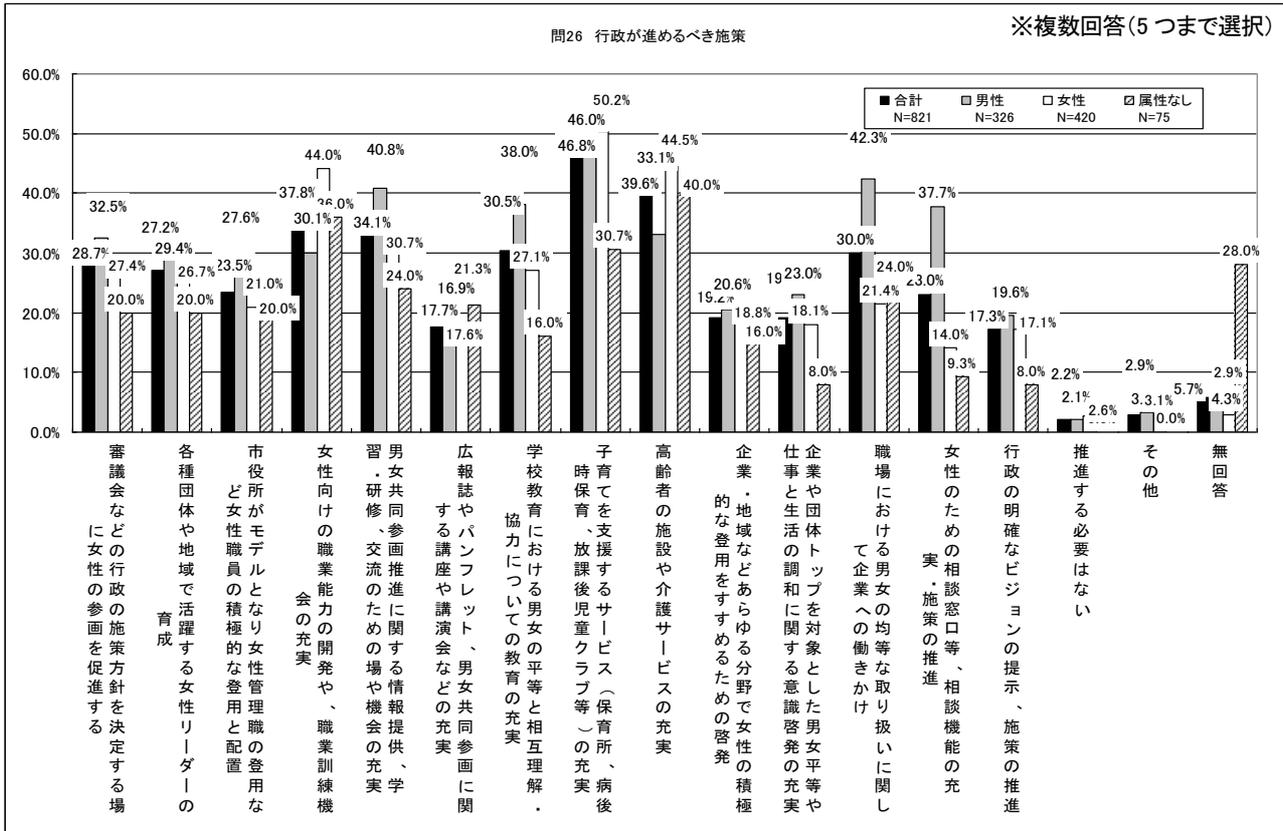
### 平成 28 年度調査



### 【その他 記載欄】

- ・女性だからという理由ではなく力量を適正に評価したうえでの登用が必要だと思う
- ・企業が利益の出る様、社会の体質を変える必要があると思います
- ・肉体的格差がある以上ある程度格差があって当たり前。行政が差別化している。
- ・女性は男性はと言っている事自体に偏見がある。
- ・すべてやって下さい。甘えないでください。
- ・区長などは家(世帯主)で名前が挙がり配偶者が挙がる事がないのが問題(統治能力の有無にかかわらず)
- ・まだよく理解できていない
- ・女性管理職の登用などは私たちにとっては他人事。まず家庭地域の内での意識をもたないといけない。子供に意識をもつ教育を充実させるのは重要だと思う
- ・女性の意識改革
- ・行政が無理に推進する必要はない。
- ・調査票 P10(用語説明)を市報と一緒に入れてほしい。
- ・市役所職員を男女半々にする事が大事

平成 23 年度調査



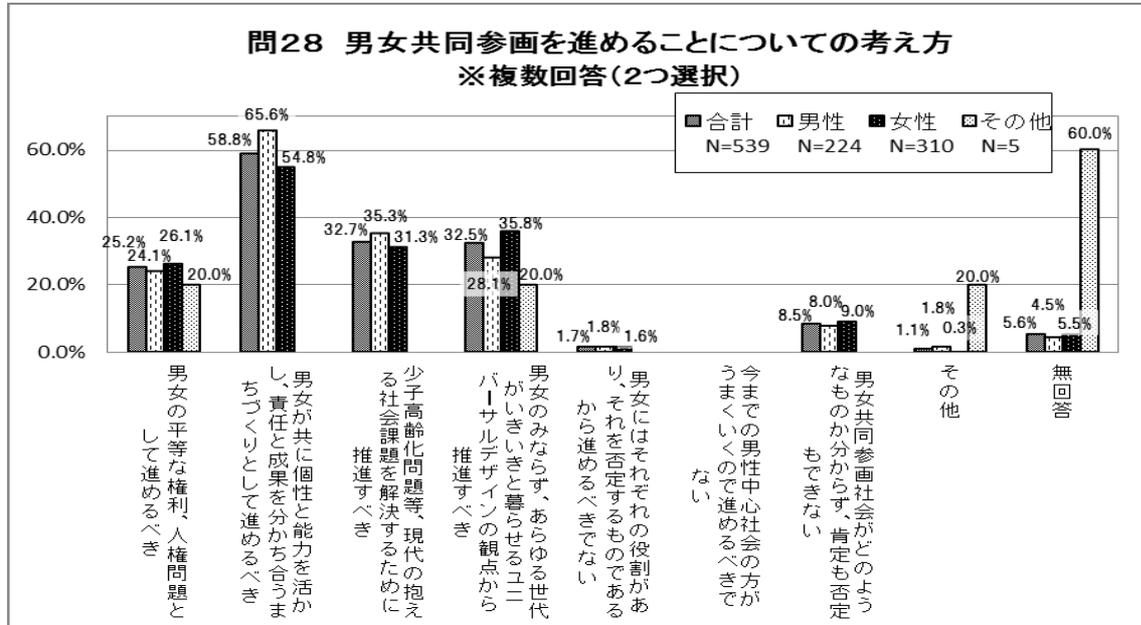
【市民会議の声】

- ・「家族を作る」という学びが戦後なくなったように思う。「地域コミュニティ」「働く」「預ける」意識も同様と考える。
- ・ポジティブアクションやクオーター制について考える必要があるのでは。
- ・男女平等ではなく男女参画とするならば、実際は《女性>男性》になるつもりでやらなければいけないのでは。
- ・男女共同参画は、果たして前進しているのだろうか。

## 問28. 男女共同参画社会を進めることについての考え方

- ・「男女が共に個性と能力を活かし、責任と成果を分かち合うまちづくりをすべき」58.8%と最も多く、次いで「少子高齢化問題等 現代の抱える社会課題を解決するために推進すべき」32.7%、「男女のみならず、あらゆる世代がいきいきと暮らせるユニバーサルデザインの観点から推進すべき」32.5%となった。
- ・「男女共同参画社会がどのようなものか分からず、肯定も否定もできない」は 8.5%、「男女にはそれぞれの役割があり、それを否定するものであるから進めるべきでない」という否定的意見も 1.7%あった。

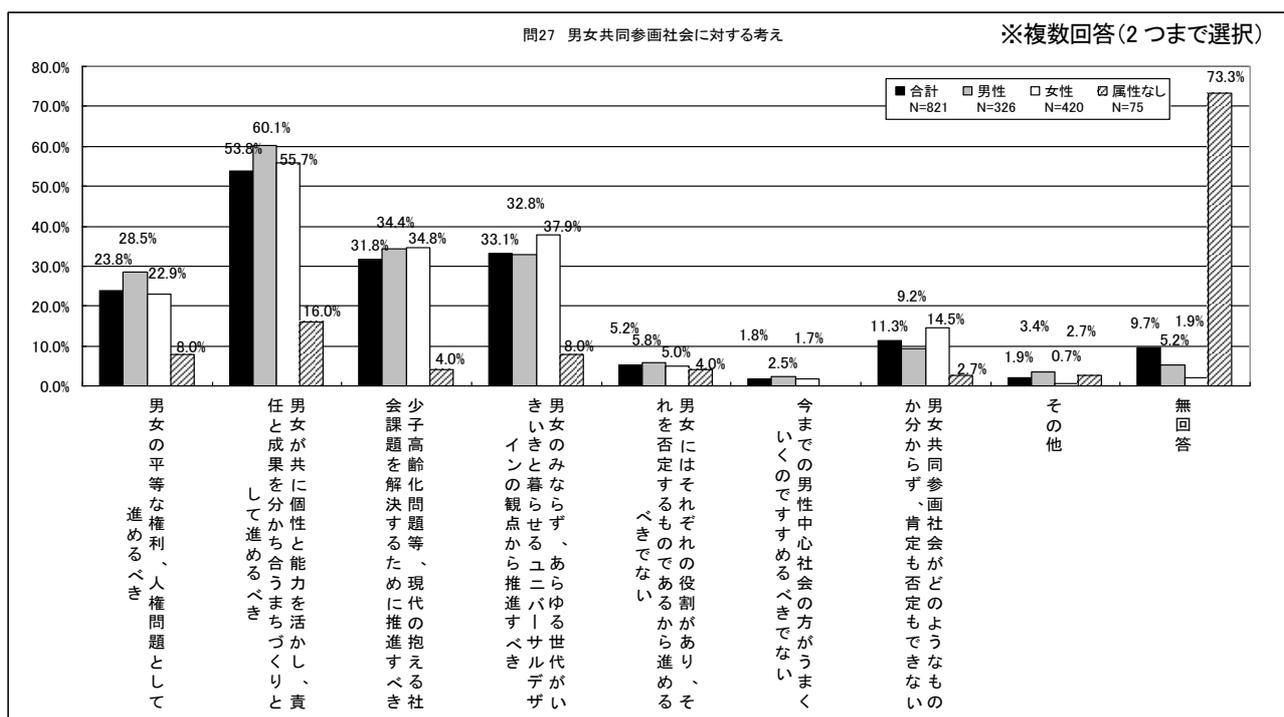
### 平成 28 年度調査



### 【その他 記載欄】

- ・法律的にも男女は平等とされているにも拘らずなぜ共同参画？女性禁止や男性禁止、etc の制約があれば別だけど
- ・長時間勤務をしないで利益が出て給与をもらえる様に社会の流れを変えないとできないと思う ・女性の積極性不足

### 平成 23 年度調査



## 第2部 武雄市内中学3年生の意識調査

---

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査目的

本調査は、男女共同参画社会実現を目指し、武雄市の男女共同参画の推進状況と中学生の意識を明らかにし、平成23年度に策定した「第2次武雄市男女共同参画推進計画」に基づいた意識や状況の変化と現状を把握することで、今後の施策に反映させていくためのものである。

### 2. 調査対象

武雄市内の中学3年生 449人（平成28年7月1日現在）

○ 有効回収数 418人

○ 有効回収率 93.1%

### 3. 調査内容

(1)家庭生活について

(2)男女平等意識について

(3)結婚について

(4)仕事について

(5)男女共同参画社会について

(6)男女共同参画関連用語の認知度について

### 4. 調査方法

教員による配布・回収 自記入法

### 5. 調査期間

平成28年7月7日～平成28年7月20日

### 6. 調査結果利用上の注意事項

(1)調査結果は、原則として標本数（図表ではNと表示）に対する百分率（%）で表示している。それ以外のときは、その都度単位で表記している。

(2)本文中の回答の表示については、小数点第2位を四捨五入しているため、それぞれの回収率の合計は100%にはならない。

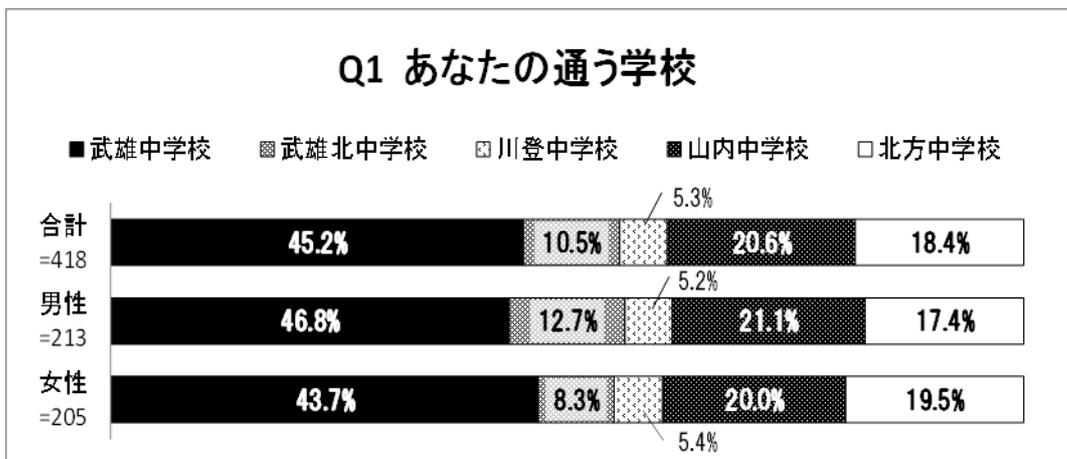
(3)複数回答の場合もパーセントの合計は原則として100%を超える。

(4)表中の空白はゼロを意味している。

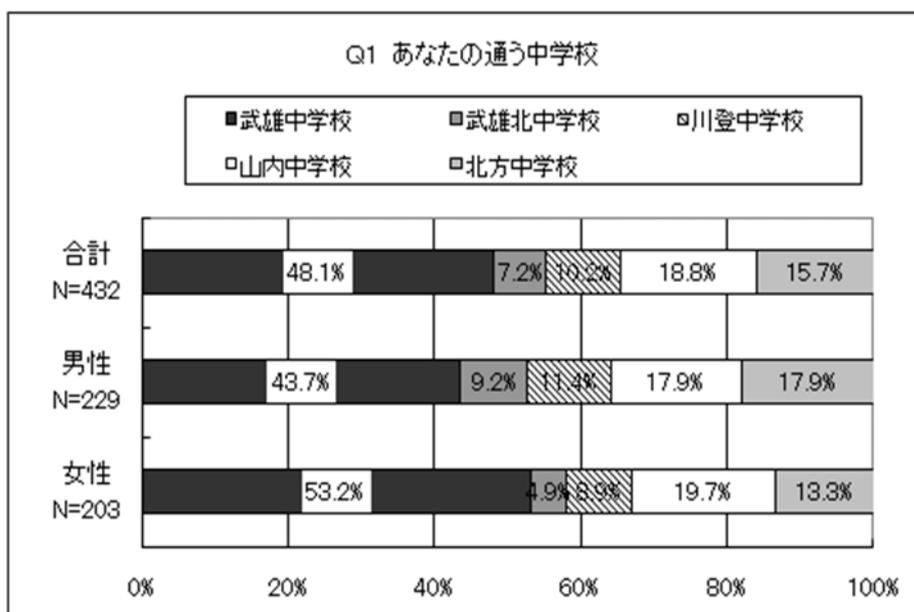
## 第2章 回答者の基本属性

### (1) 中学校

平成28年度調査



平成23年度調査



### (2) 性別

平成28年度調査

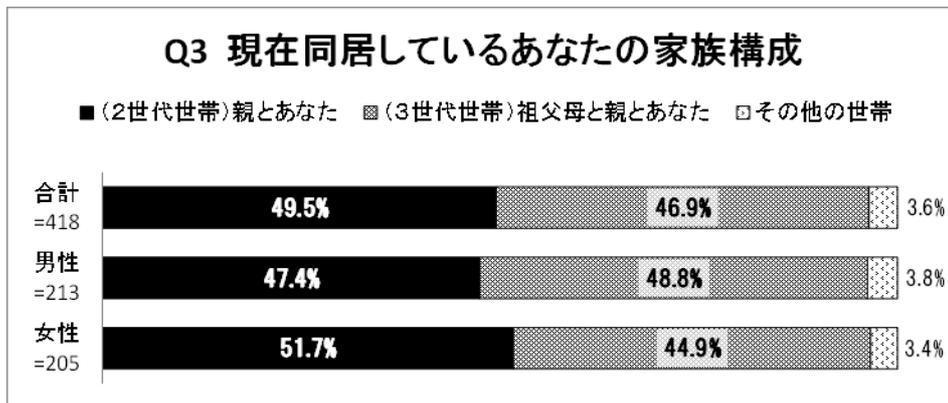
区分	男性	女性	無回答	合計
人数	213	205	0	418
%	51.0%	49.0%	0.0%	100.0%

平成23年度調査

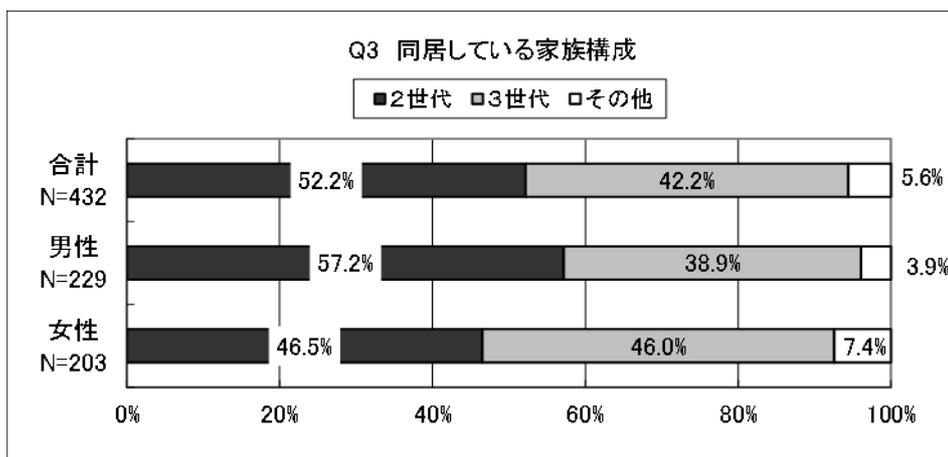
区分	男性	女性	無回答	合計
人数	229	203	0	432
%	53.0%	47.0%	0.0%	100.0%

(3) 家族構成

平成28年度  
調査



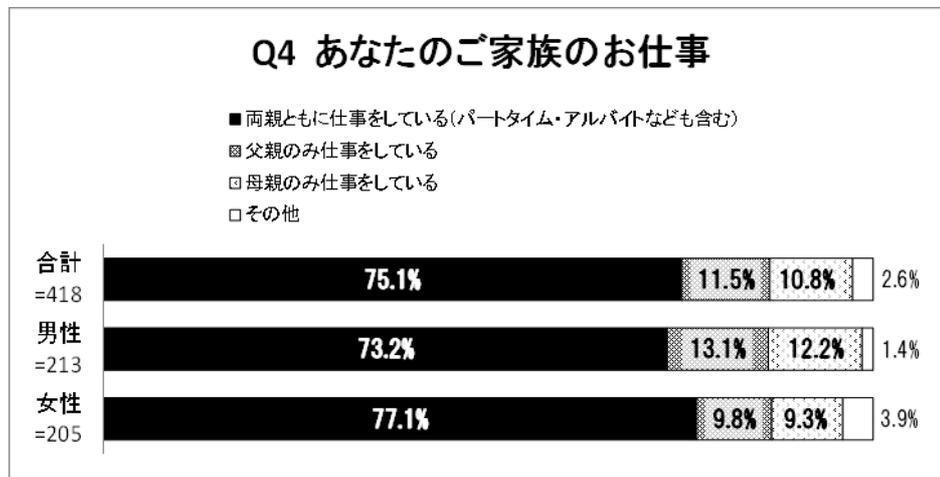
平成23年度  
調査



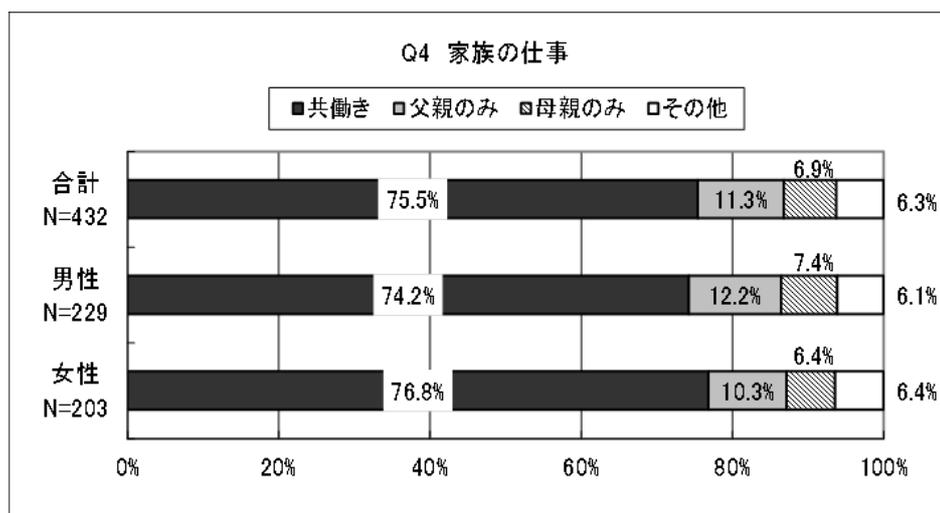
(4) 家族の仕事

共働きの世帯が75%以上を占めている。

平成28年度  
調査



平成23年度  
調査



### 第3章 調査結果

#### 1. 身の周りのことについて

問1. あなたの身の回りのことについて、次のア～オのそれぞれについてあてはまるものを1つ選んでください。

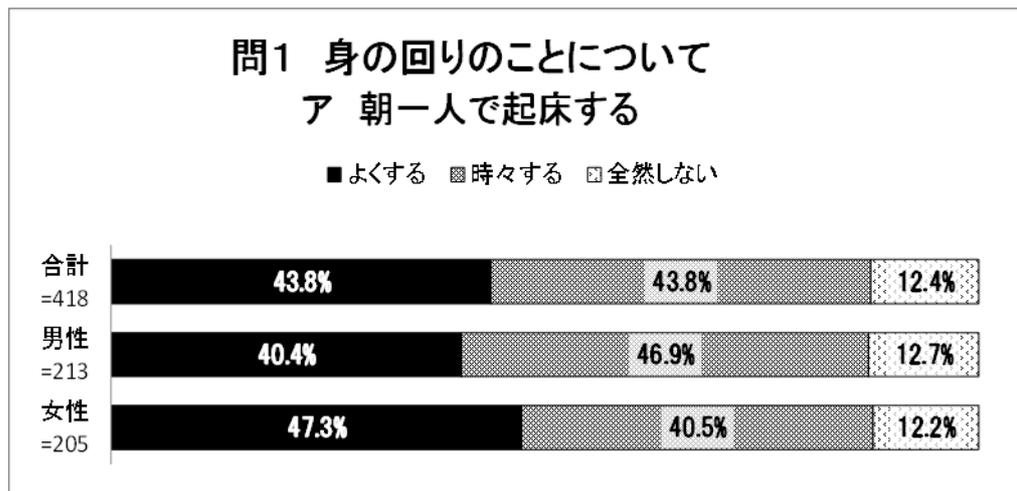
いずれの項目でも、「時々する」の割合が高く、「よくする」と合わせると大半を占めている。この中でも「よくする」の割合が高いものは、「エ 自分の小遣いを計画的に管理する」(46.2%)、「ア 朝一人で起床する」(43.8%)、「イ 自分の身の回りの整理や部屋を片付ける」(40.9%)となっている。

一方、「全然しない」の割合が高い項目は、「オ 町内会の催しやボランティア活動などに参加する」(30.6%)、「ウ 家事の手伝いをする」(18.4%)などであった。

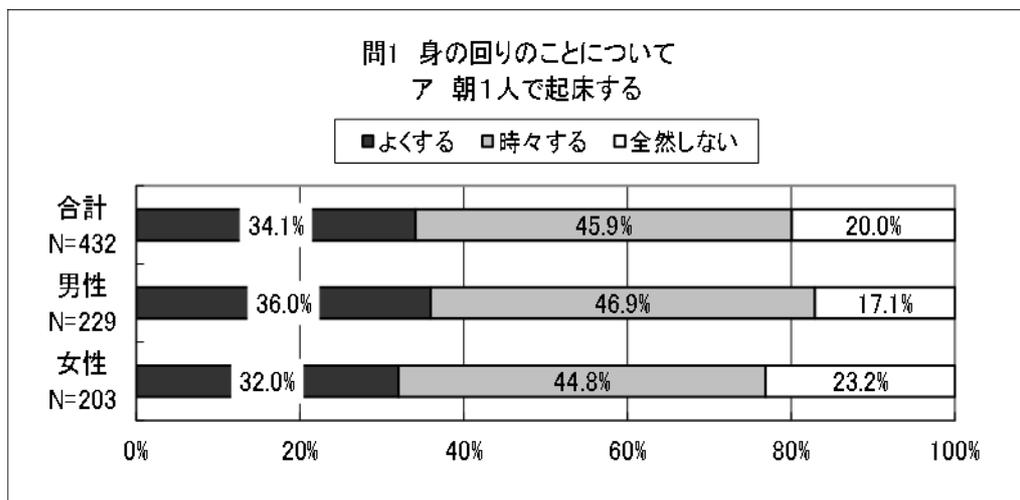
#### ア. 朝一人で起床する

「全然しない」が12.2%で前回調査と比較し、割合が7.6ポイント低くなっている。

#### 平成28年度調査



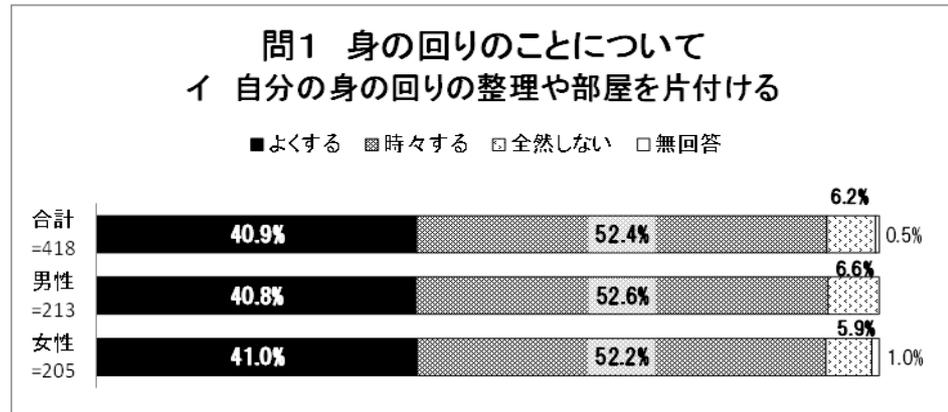
#### 平成23年度調査



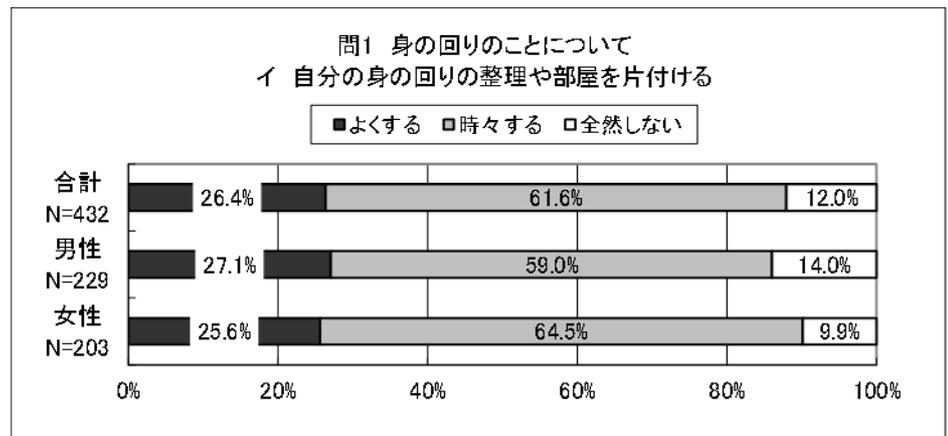
イ. 自分の身の回りの整理や部屋を片付ける

前回調査と比較すると「よくする」「時々する」の割合が高くなっている。男性と女性の回答は、ほぼ同じ割合である。

平成28年度  
調査



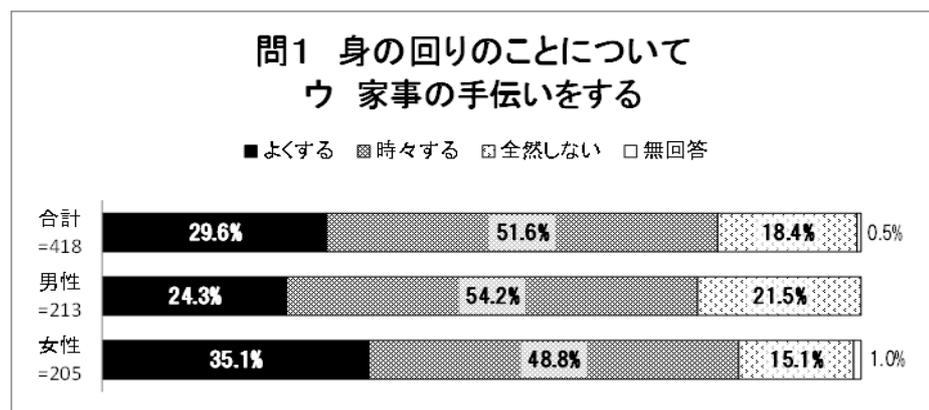
平成23年度  
調査



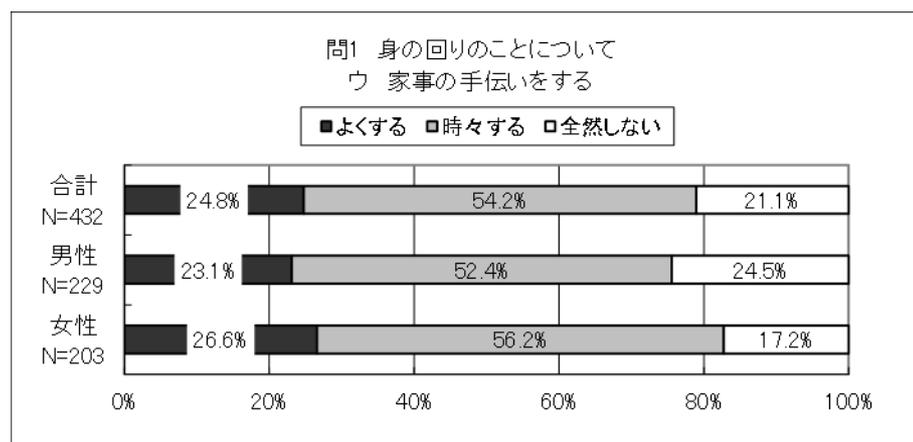
ウ. 家事の手伝いをする

前回調査と同様、男性に比べ、女性で「よくする」「時々する」の割合が高くなっており、男性の「全然しない」の割合が3ポイント低くなっている。

平成28年度  
調査



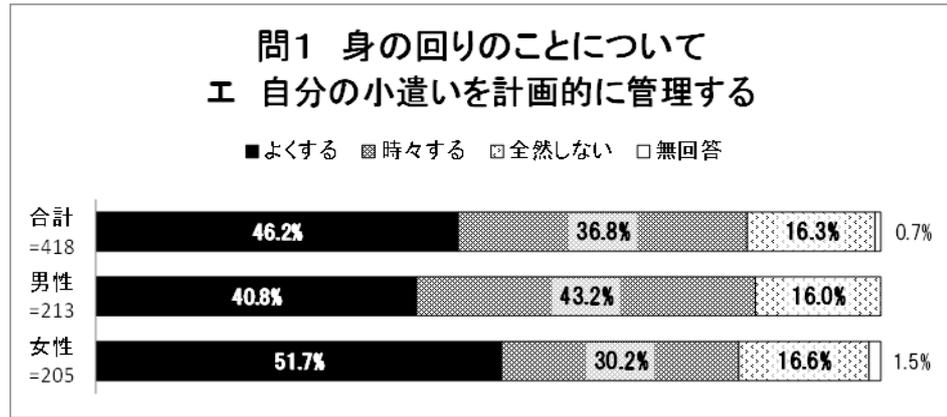
平成23年度  
調査



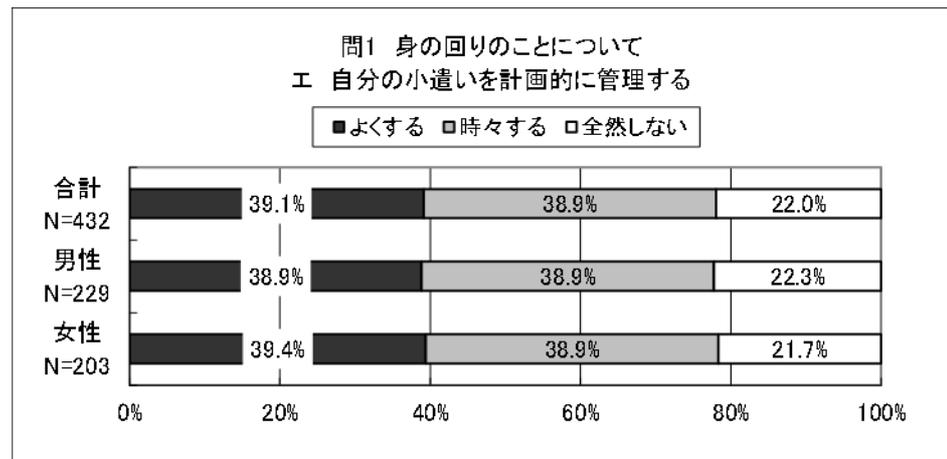
エ. 自分の小遣いを計画的に管理する

男性に比べ、女性の「よくする」の割合が高くなっている。

平成28年度  
調査



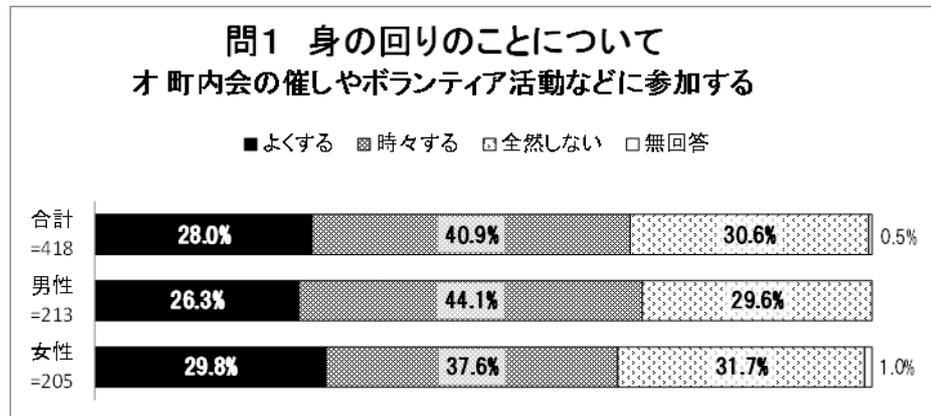
平成23年度  
調査



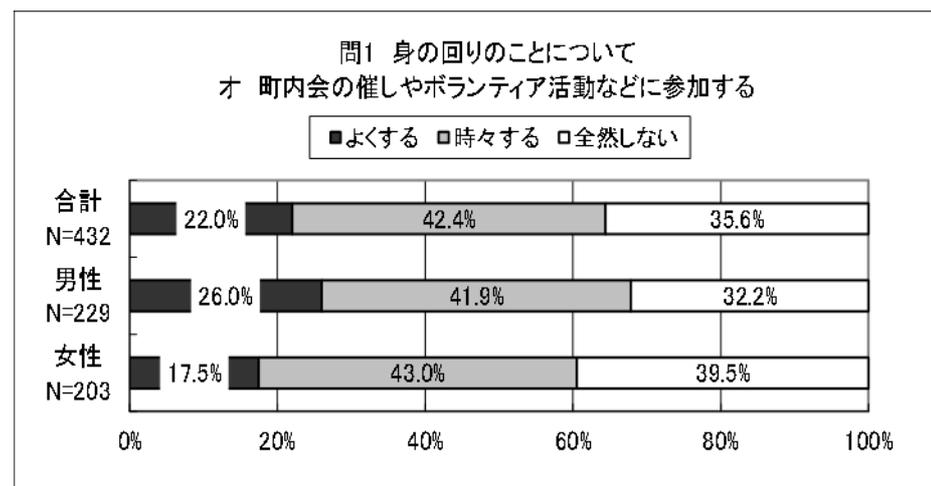
オ. 町内会の催しやボランティア活動などに参加する

前回調査に比べ、女性の「よくする」が12.3ポイント高くなっている。

平成28年度  
調査



平成23年度  
調査



## 2. 家庭内での役割分担

問2. あなたの家庭では、次にあげるような日常的な事柄を、主に誰が分担していますか。次のア～クについてあてはまるものを1つ選らんでください。

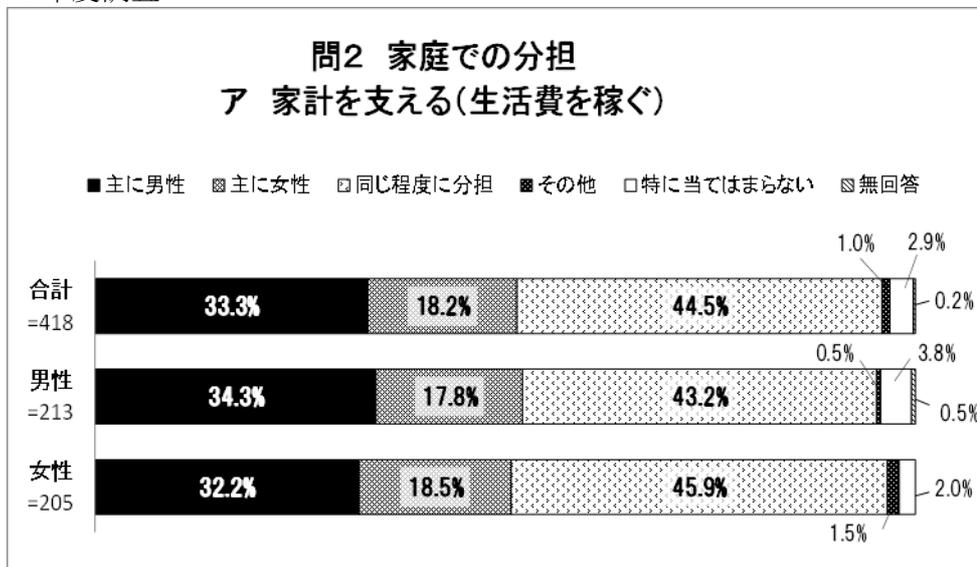
「主に女性」の回答が多くなっている項目は、「オ 食事のしたく」(85.9%)、「エ 洗濯」(81.8%)、「ウ 掃除」(74.9%)、「イ 日々の家計の管理」(71.1%)などである。

このほか、「ア 家計を支える(生活費を稼ぐ)」では「同じ程度に分担」(44.5%)の割合が高く、「カ 育児・子どもの世話」(35.6%)「ク 県下一斉美化活動などの地域活動」(33.3%)、「キ 家族の世話(介護)」(25.8%)などでも、「同じ程度に分担」が高くなっている。

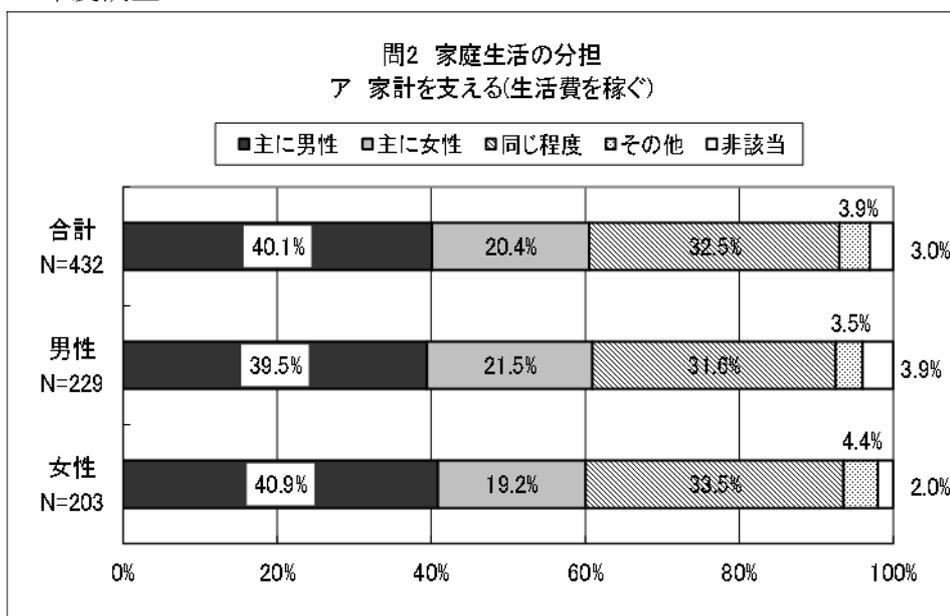
前回の調査結果と比較すると「エ 洗濯」を除くいずれの項目でも「同じ程度に分担」の回答割合が増えている。

### ア. 家庭を支える(生活費を稼ぐ)

平成28年度調査



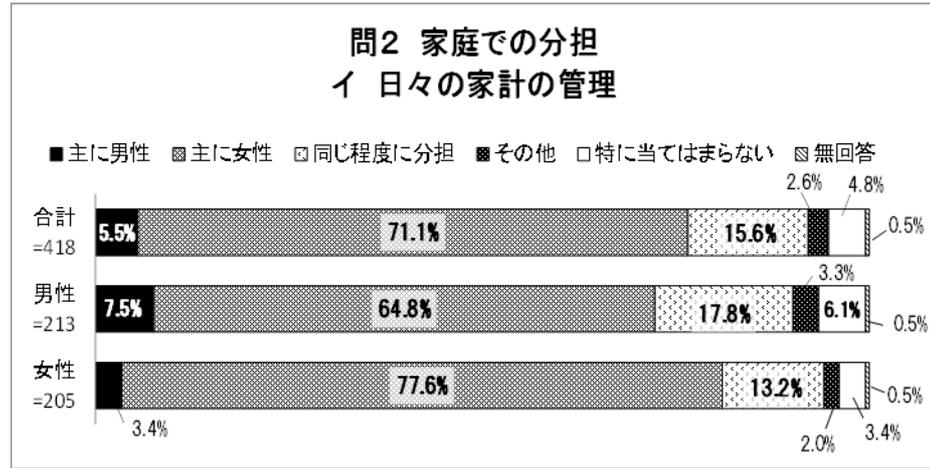
平成23年度調査



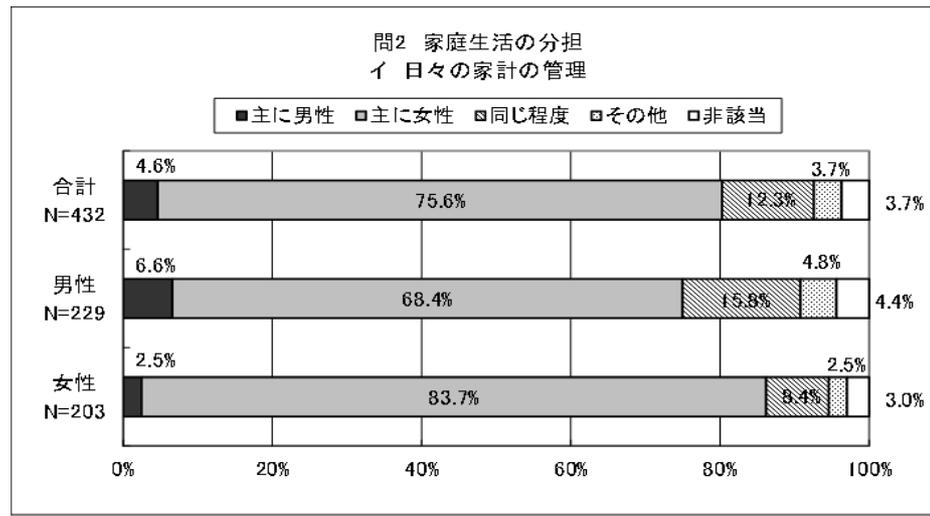
【市民会議の声】誰が家計を支えているのか実情を知らない中学生が多いのではないかと

イ. 日々の家計の管理

平成28年度  
調査

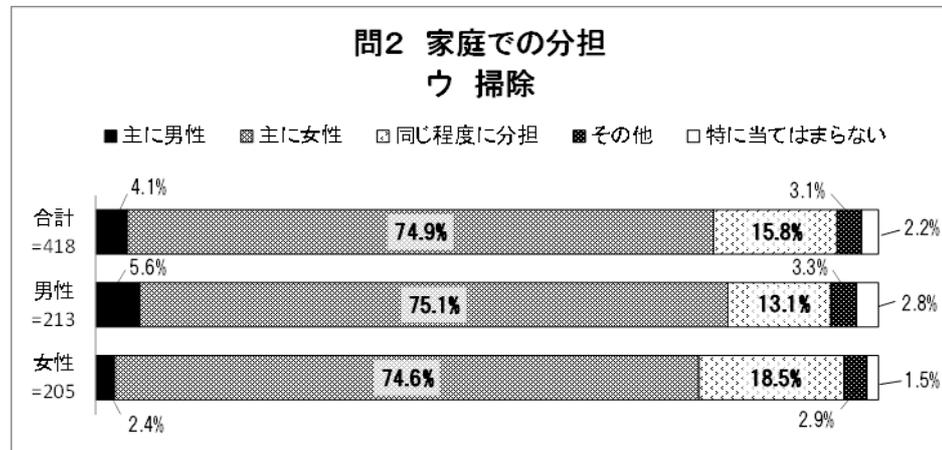


平成23年度  
調査

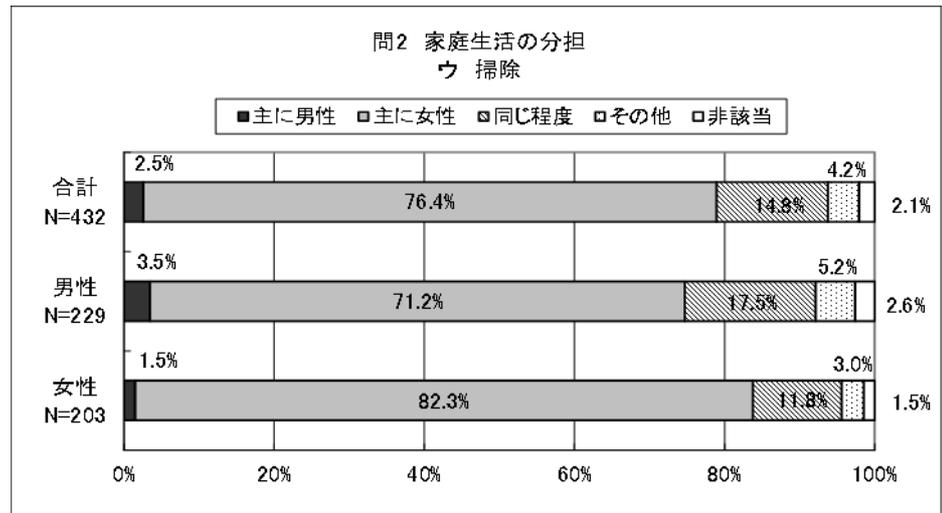


ウ. 掃除

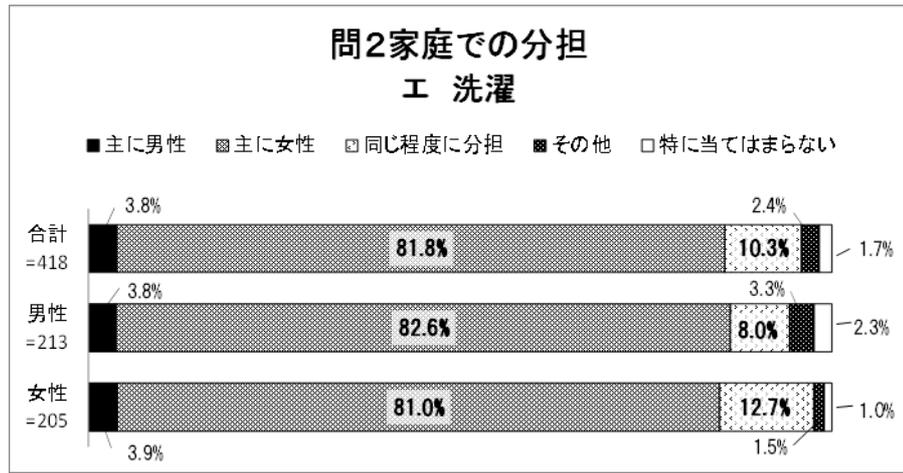
平成28年度  
調査



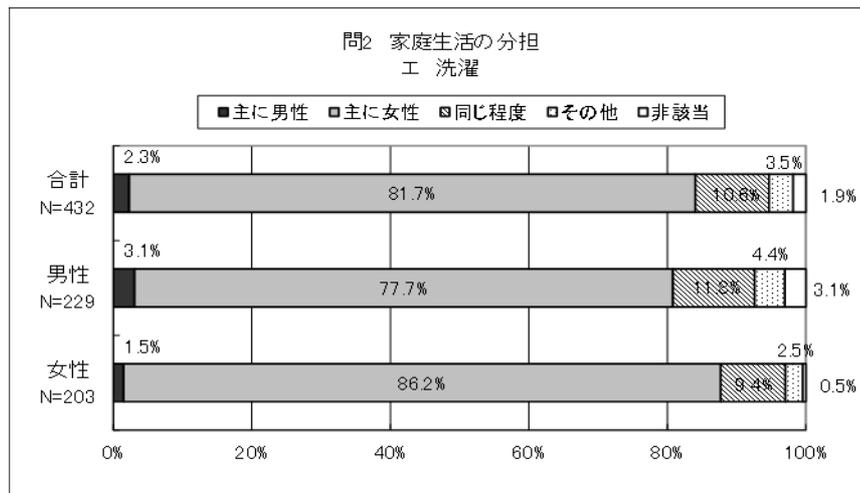
平成23年度  
調査



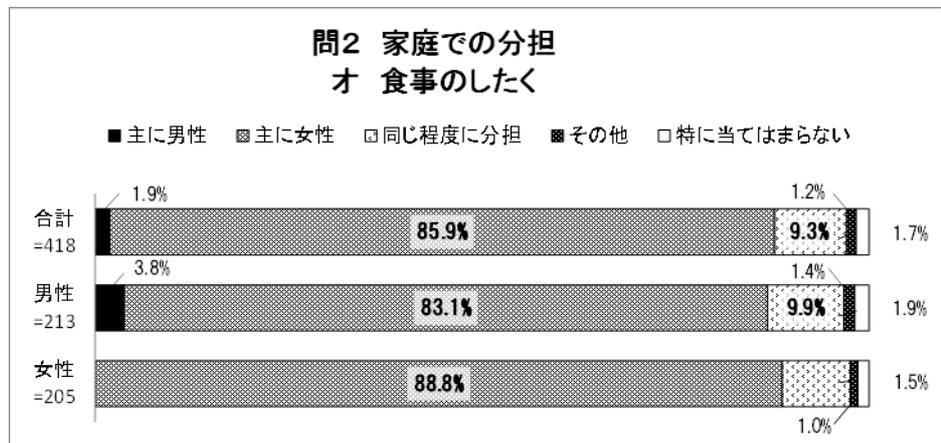
エ. 洗濯  
平成28年度  
調査



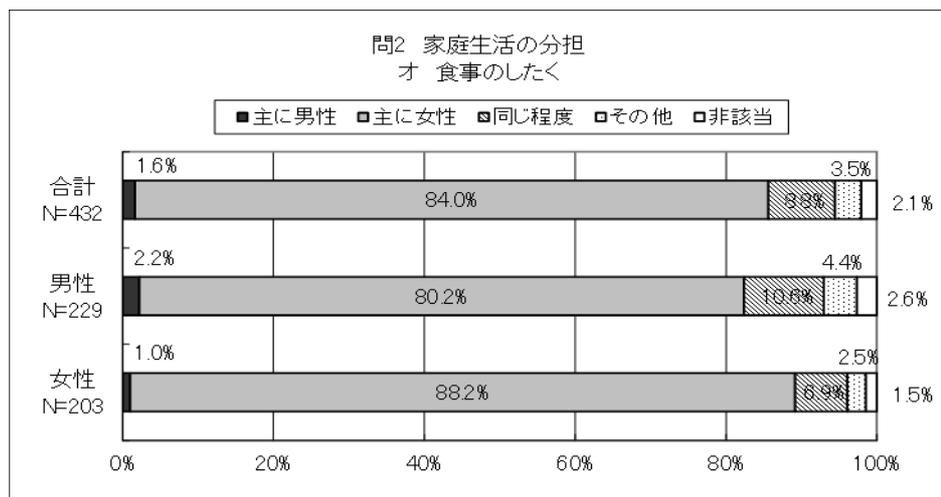
平成23年度  
調査



オ. 食事のしたく  
平成28年度  
調査

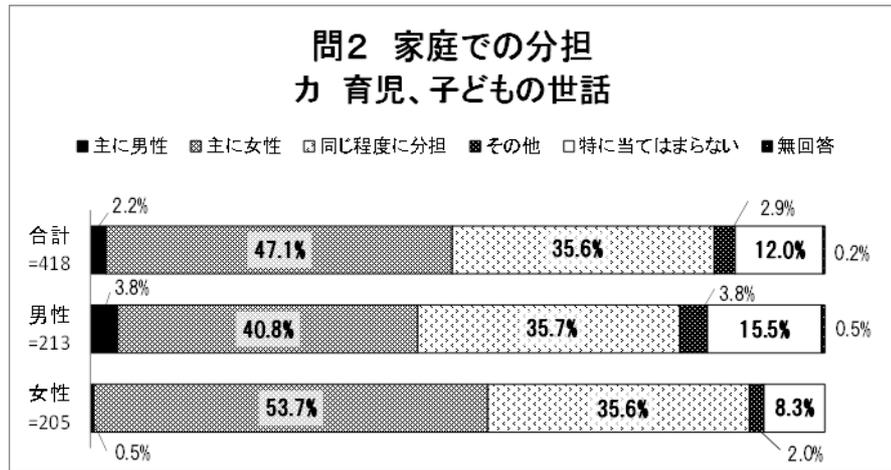


平成23年度  
調査

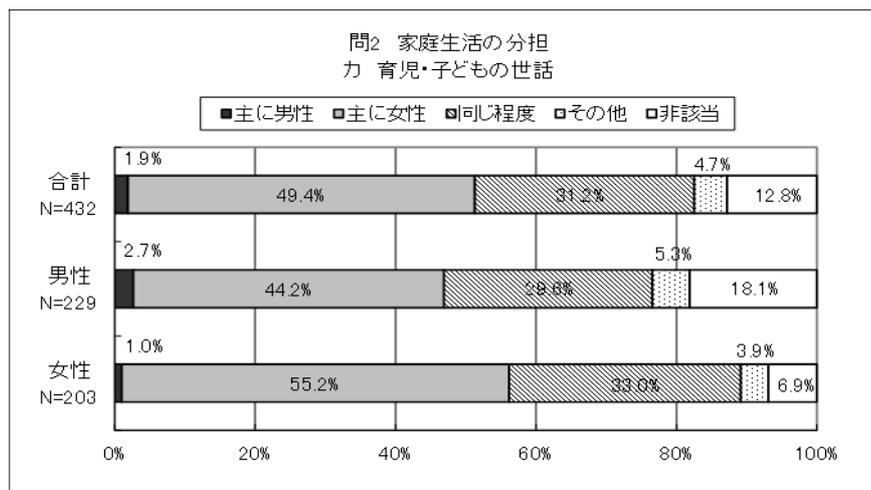


カ. 育児・子どもの世話

平成28年度  
調査

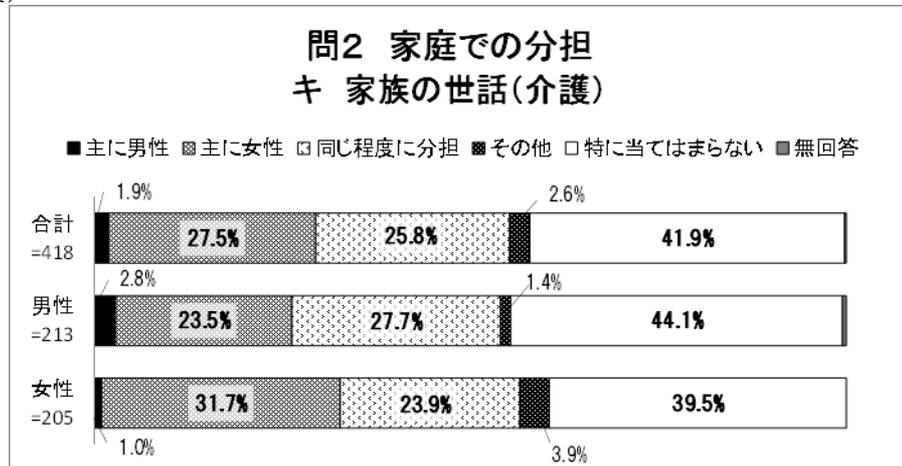


平成23年度  
調査

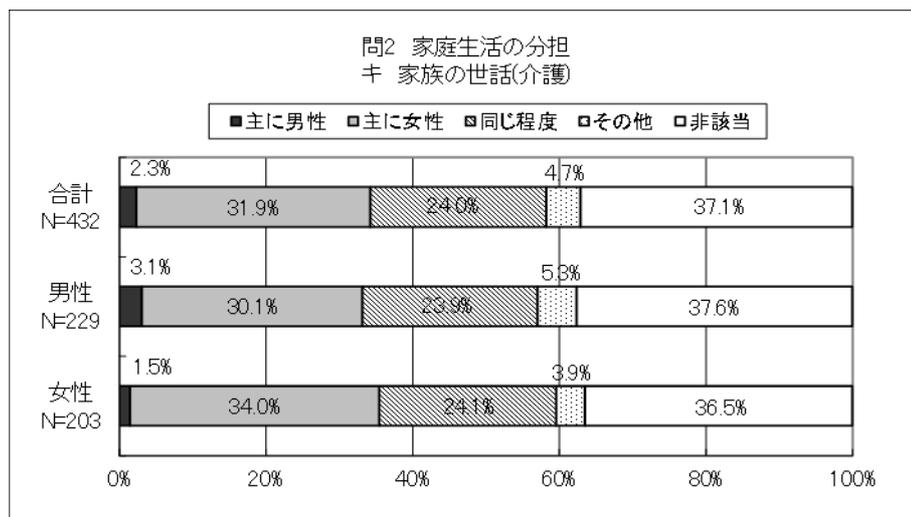


キ. 家族の世話（介護）

平成28年度  
調査

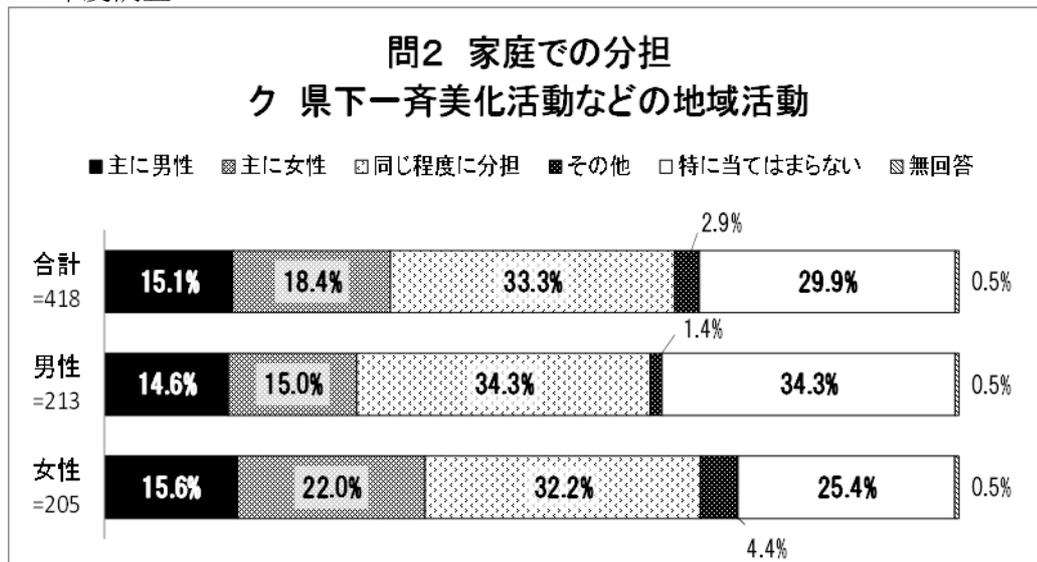


平成23年度  
調査

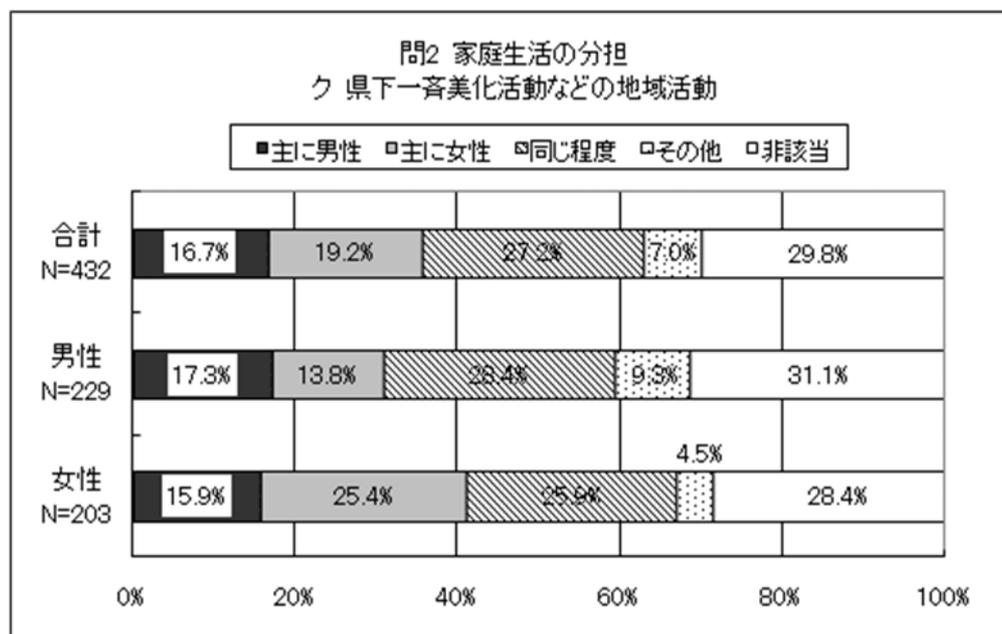


ク. 県下一斉美化活動などの地域活動

平成28年度調査



平成23年度調査



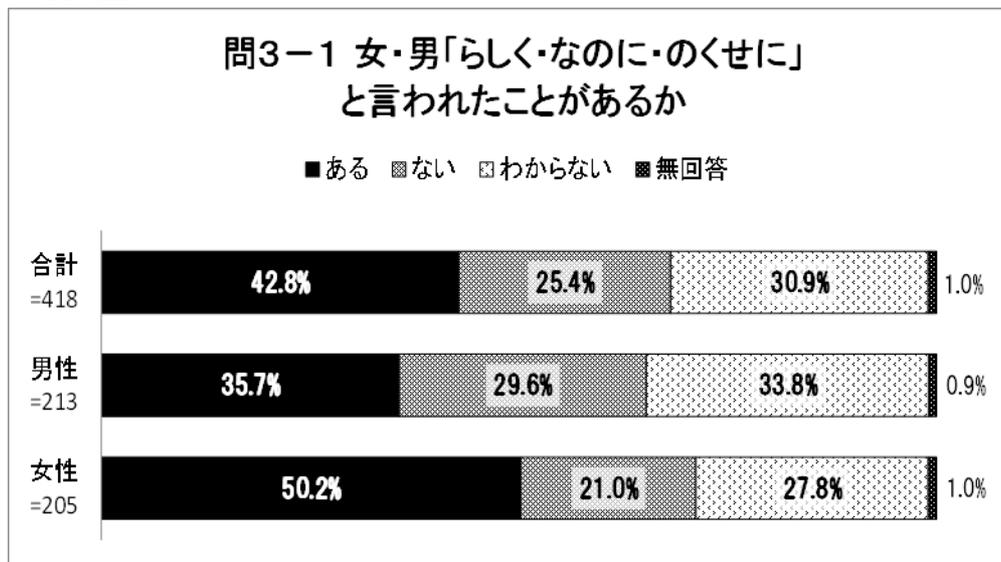
### 3. 男らしく・女らしく

#### (1) 男らしく・女らしくと言われた経験

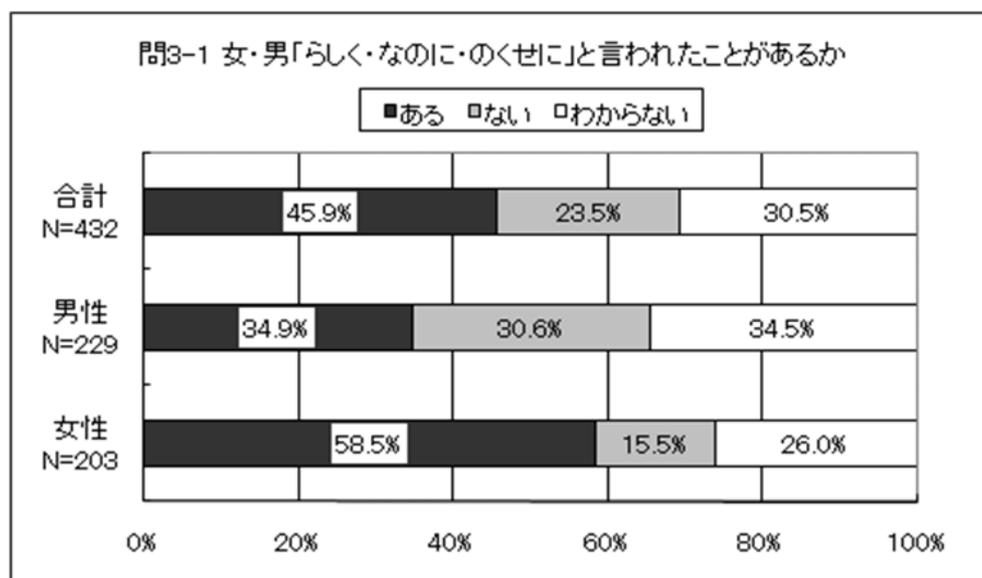
問3-1. あなたは女・男「らしく・なのに・のくせに」と言われたことがありますか。

男女別にみると、男性で「ある」（35.7%）と回答している割合と比べて、女性で「ある」（50.2%）と回答している割合が高くなっている。前回調査と比較し、女性で「ある」との回答が8.3%減少している。

#### 平成28年度調査



#### 平成23年度調査

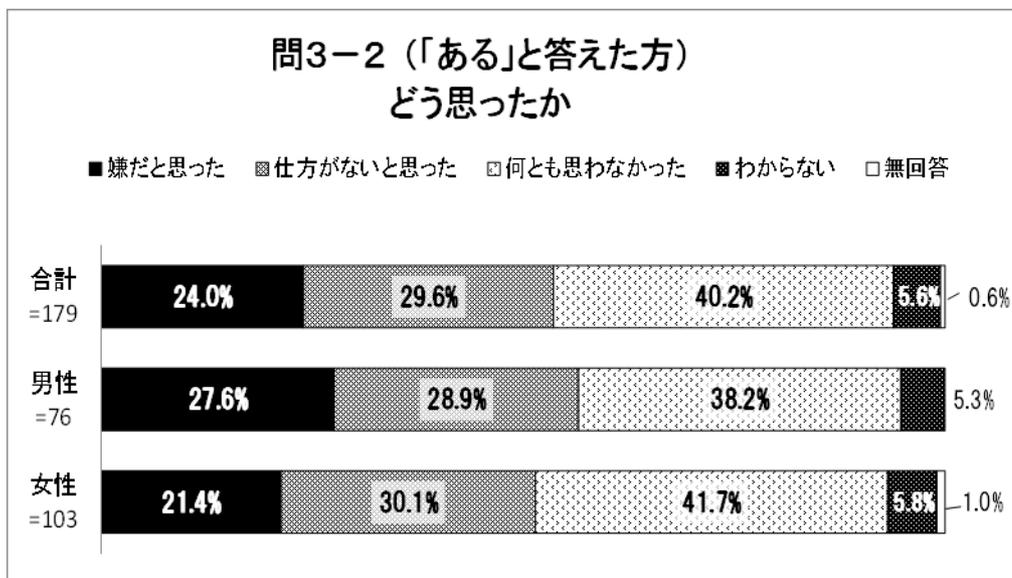


(2) 男らしく・女らしくと言われた時の気持ち

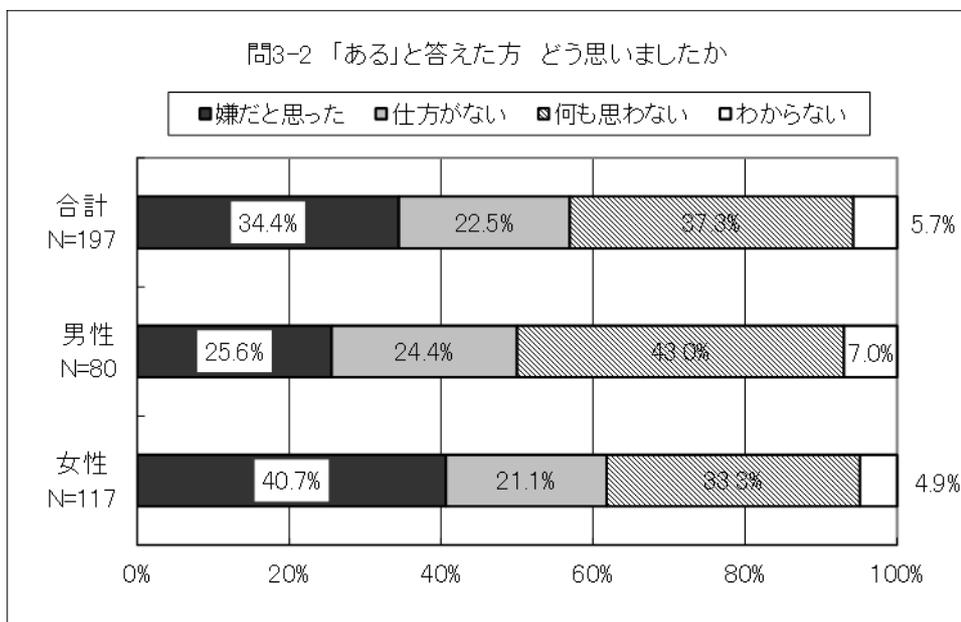
問3-2. (「ある」と答えた方に) そう言われた時どう思いましたか。

前回調査と比較すると、「いやだと思った」と回答している割合が、女性は19.3ポイント減少している。「仕方がないと思った」「何とも思わなかった」と回答が7割近くになっている。

平成28年度調査



平成23年度調査



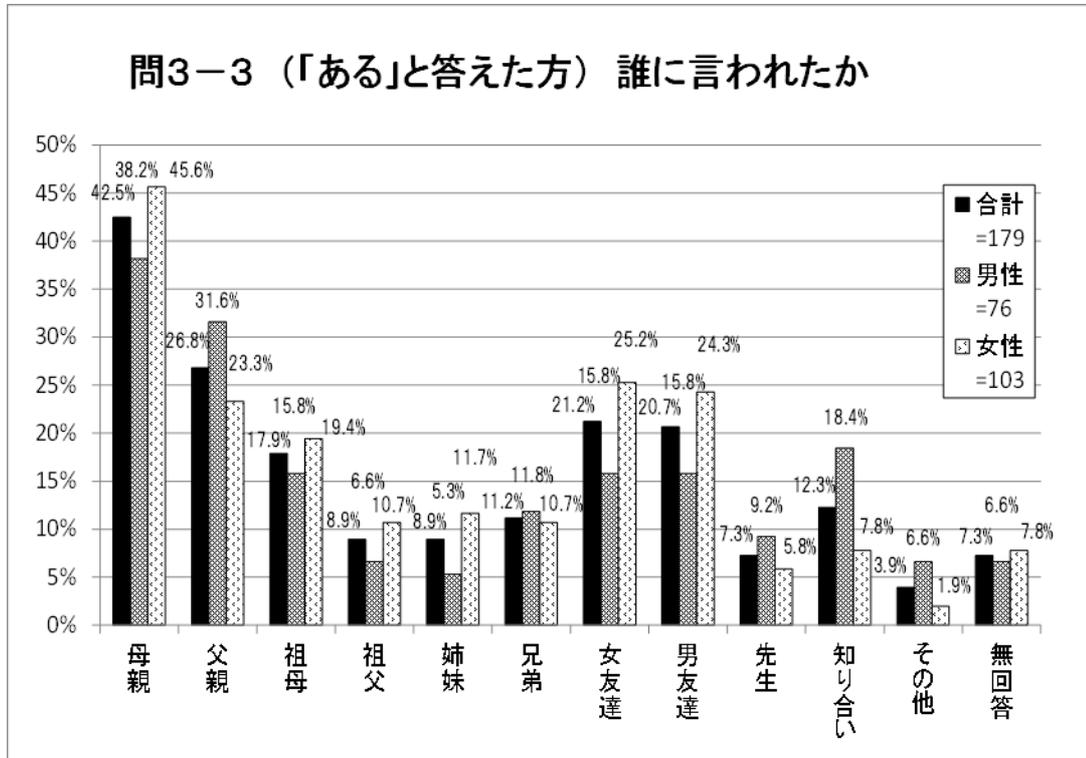
【市民会議の声】 「仕方がないと思った」「何とも思わなかった」と回答している割合が高いのが気になる。あきらめなのか関心がないのか。

(3) 男らしく・女らしくと言う人

問3-3. (「ある」と答えた方に) そう言う人は誰ですか。 (いくつでも可)

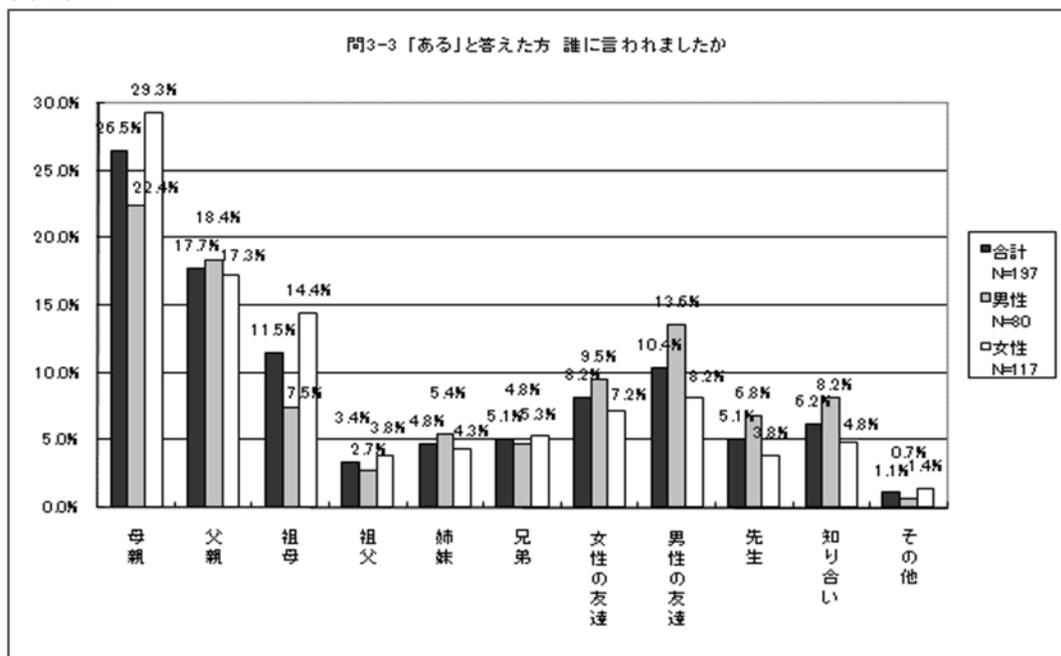
男女別に見ると、女性で「母親」と回答した割合 (45.6%) が男性の回答割合 (28.2%) より高く、男性で「父親」と回答した割合 (31.6%) が女性の回答割合 (23.3%) より高い。

平成28年度調査



【その他 記載欄】 習い事の関係者、友達の親、顧問の先生、社会体育のコーチ、他人

平成23年度調査



【市民会議の声】 母親の割合が高いのは、家庭での関わり具合もあるのではないか。

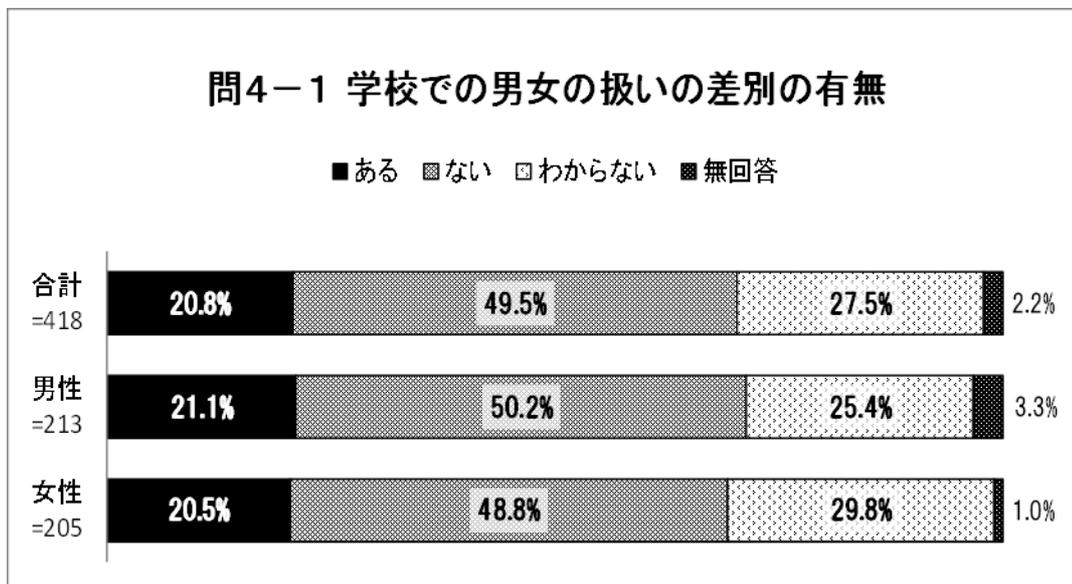
#### 4. 学校での男女差

##### (1) 学校での男女平等

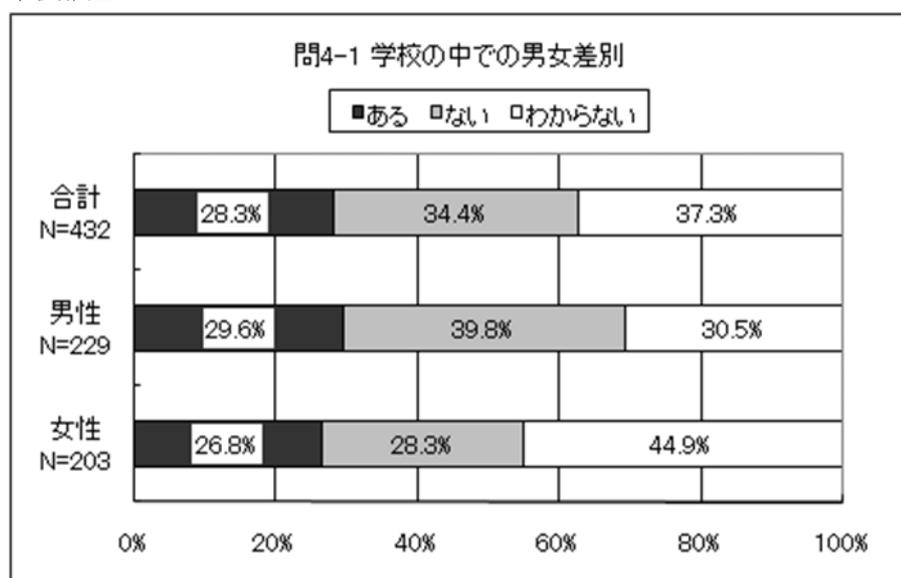
問4-1. 学校の中で男女間の扱いに差別を感じたことがありますか。

前回調査と比較すると「ある」(20.8%)と回答した割合が7.5ポイント減少している。

平成28年度調査



平成23年度調査

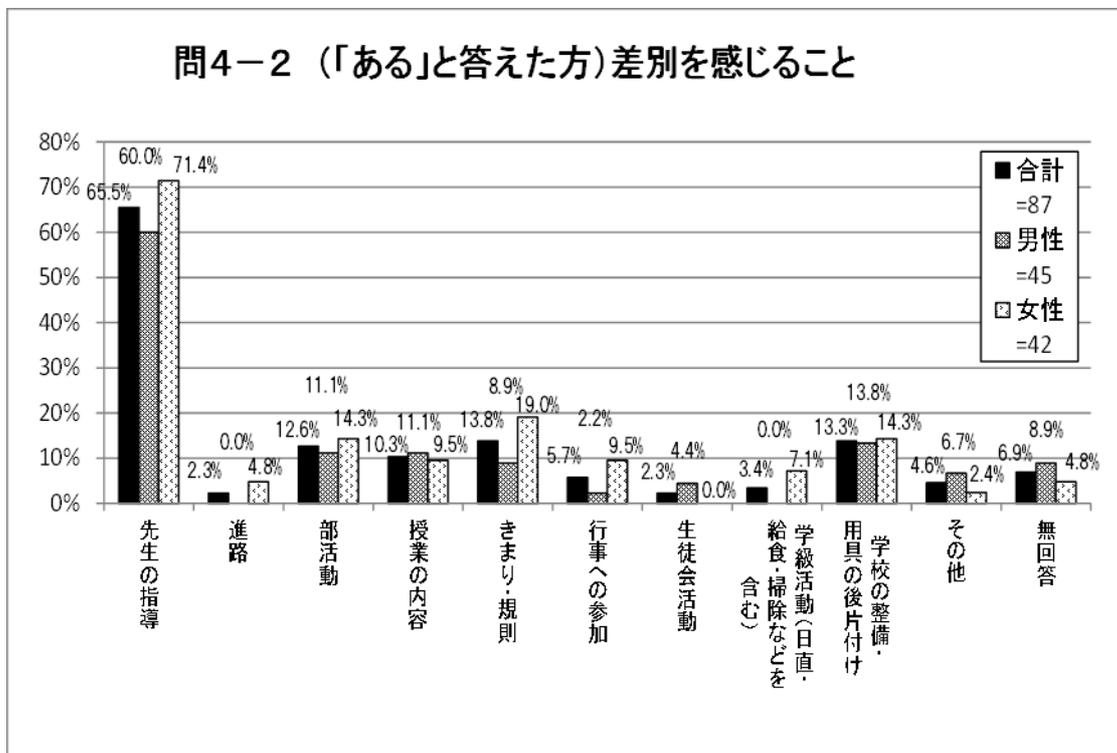


(2) 差別を感じた場

問4-2. それはどんなことですか。(いくつでも可)

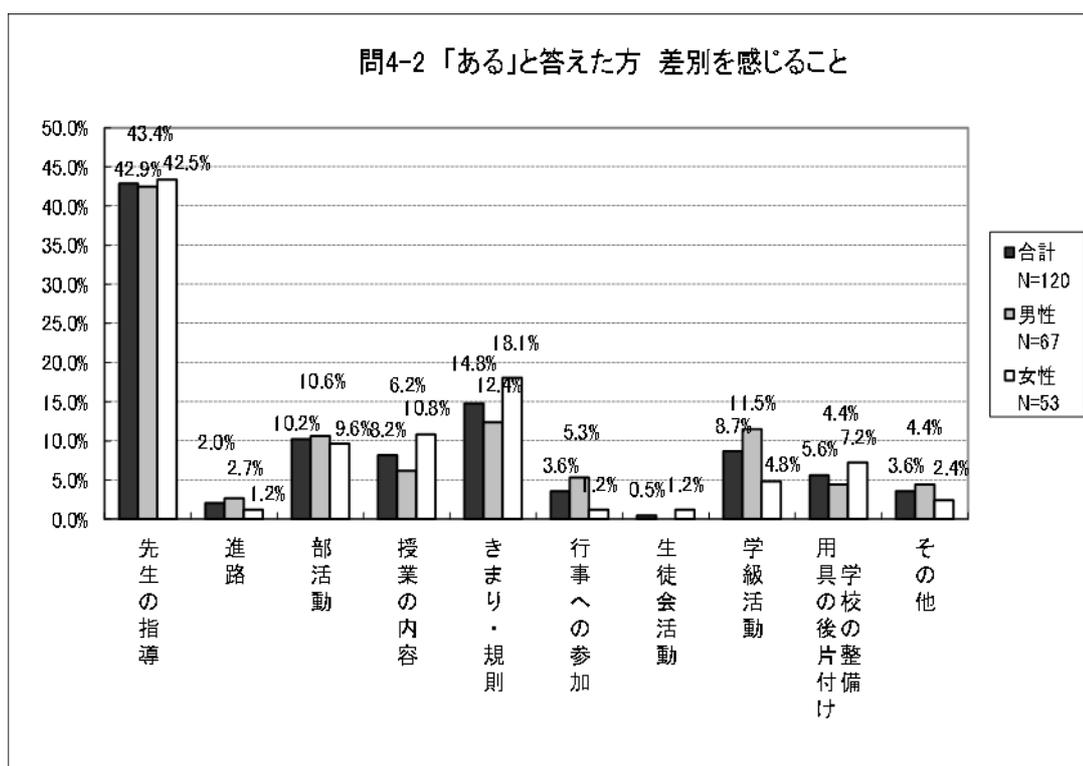
学校の中で男女間の扱いに差別を感じた内容では、「先生の指導」(65.5%)との回答が最も多くなっている。

平成28年度調査



【その他 記載欄】成績の差、男女の扱いとの差別というか男子は「男子」でまとめないでほしい。女子更衣室があるのに男子更衣室はない

平成23年度調査



## 5. 男女共同参画観

問5. 次のア～オのことについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

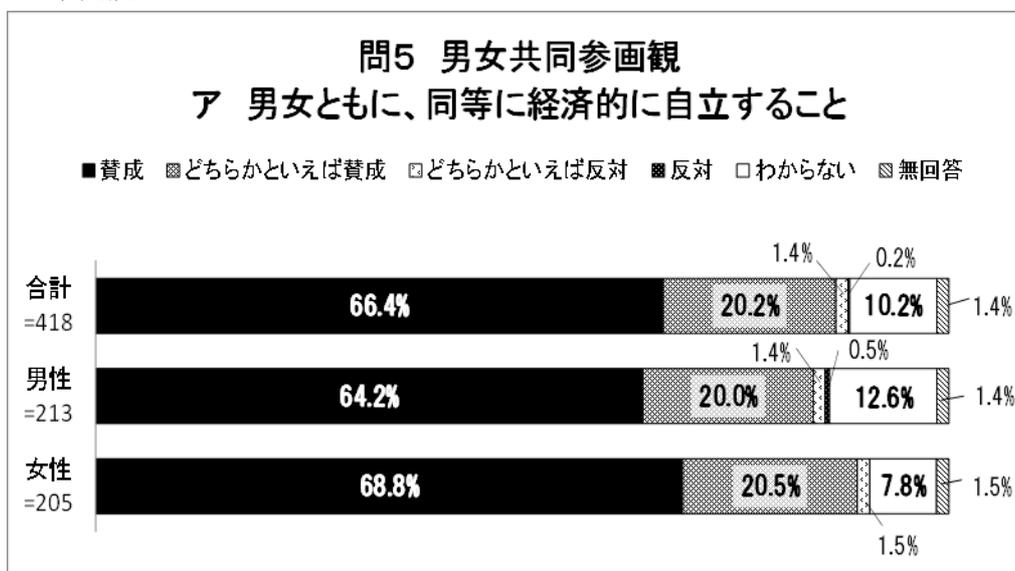
「ア. 男女ともに、同等に経済的に自立すること」、「イ. 男女ともに、炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけること」、「エ. 夫婦が協力して家事や育児をすること」などの男女共同参画に関する肯定的な項目では、「良いと思う」という賛成意見がいずれも8割以上を占めている。しかし、「オ. 男性が育児・介護休業をとること」については49.0%とやや割合が低くなっている。

一方、「ウ. 男性は外で働き、女性は家庭を守ること」という固定的な役割分担の考え方については、肯定派（「賛成」「どちらかといえば賛成」）（34.9%）、否定派（「反対」「どちらかといえば反対」）（35.1%）となり、ほぼ同じ割合となった。

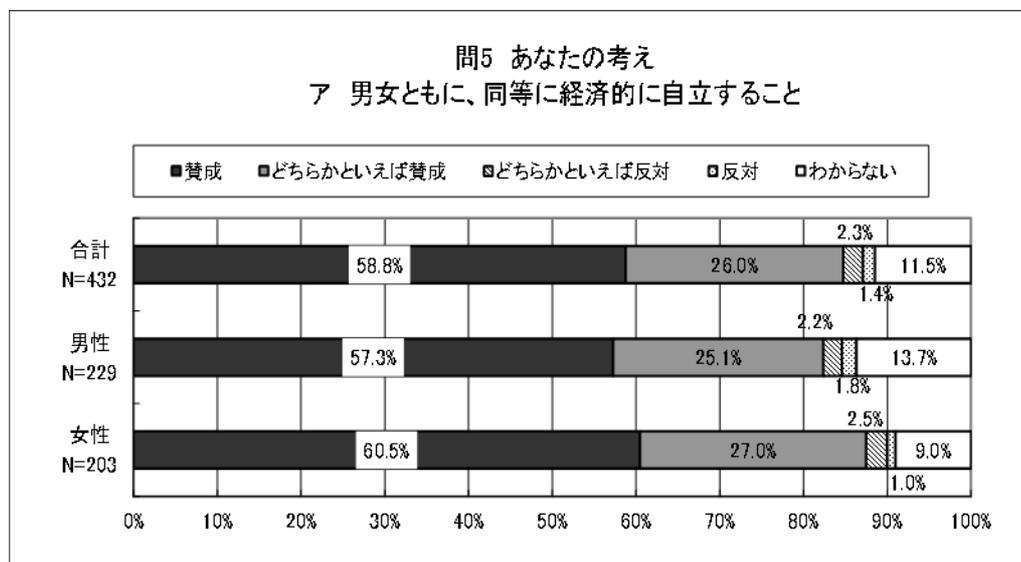
男女別にみると肯定派、男性（48.5%）に対して女性（31.2%）、否定派、男性（28.2%）に対して女性（42.5%）と男女の意識の差が顕著となった。

### ア. 男女ともに、同等に経済的に自立すること

平成28年度調査

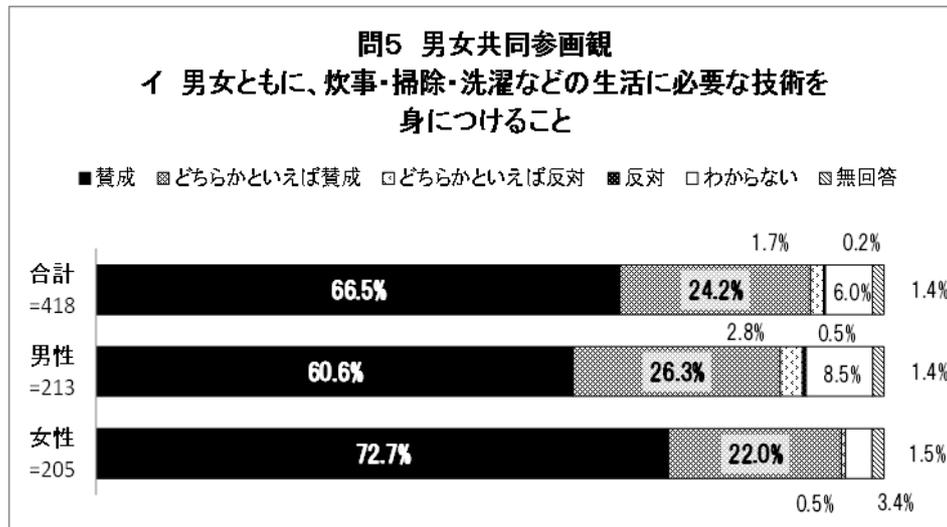


平成23年度調査

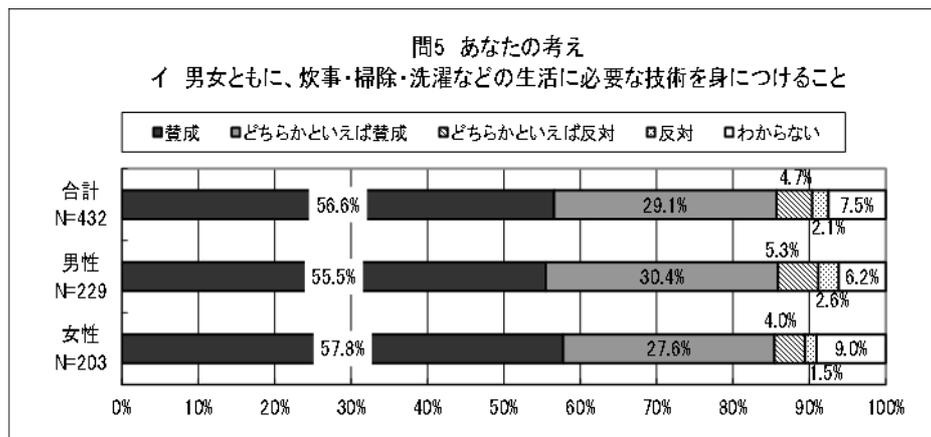


イ. 男女ともに、炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけること

平成28年度  
調査

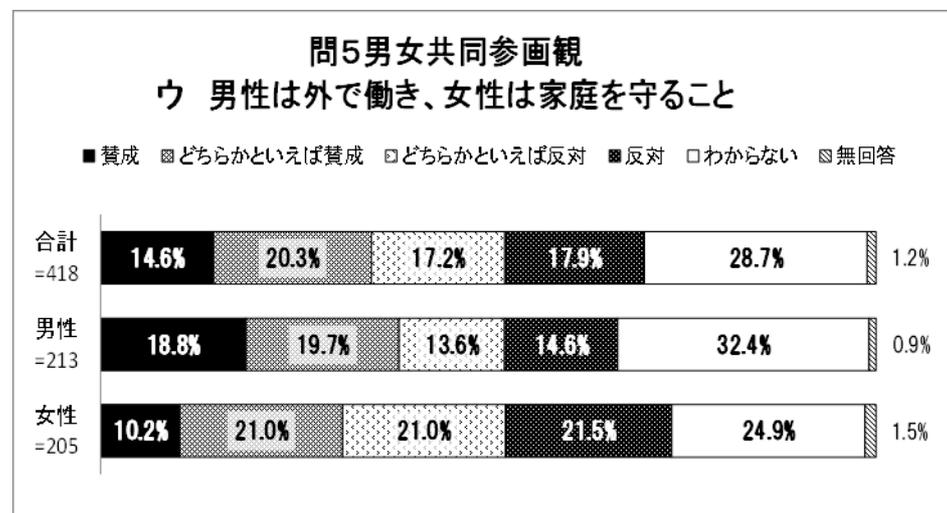


平成23年度  
調査

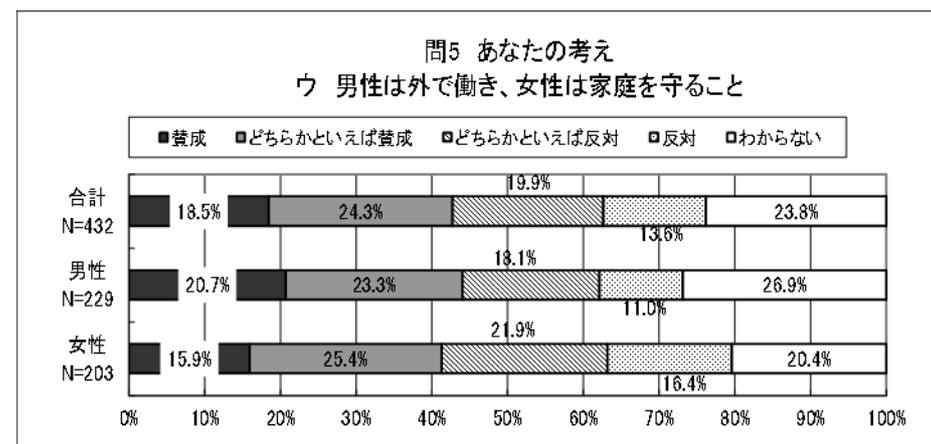


ウ. 男性は外で働き、女性は家庭を守ること

平成28年度  
調査

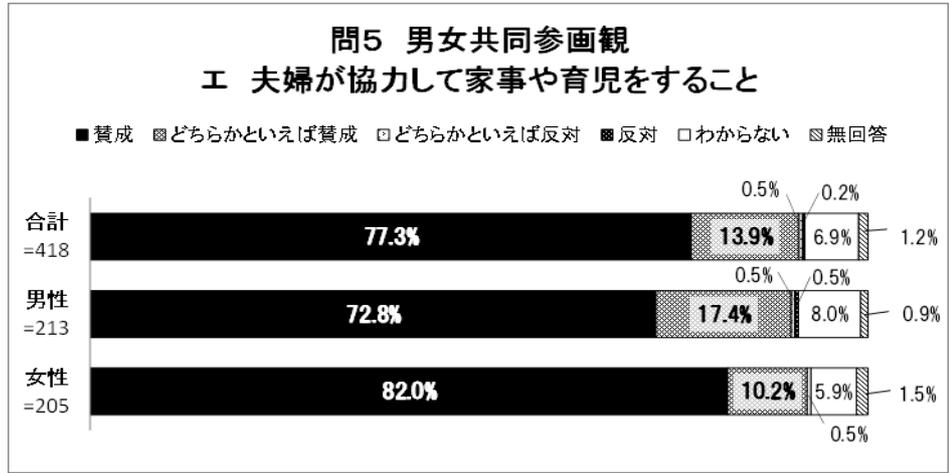


平成23年度  
調査

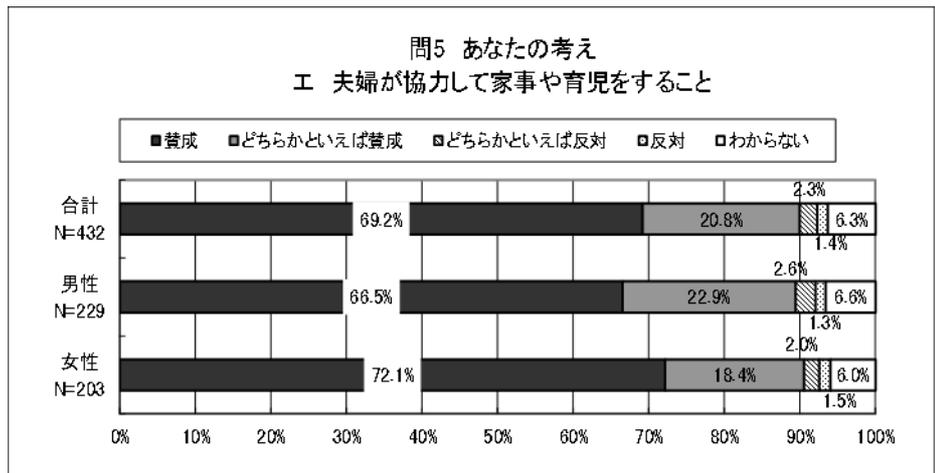


エ. 夫婦が協力して家事や育児をすること

平成28年度  
調査

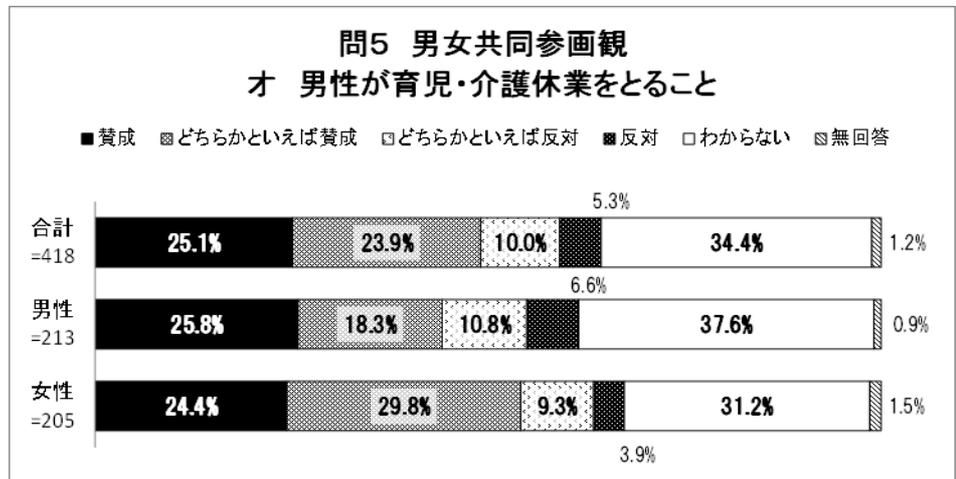


平成23年度  
調査

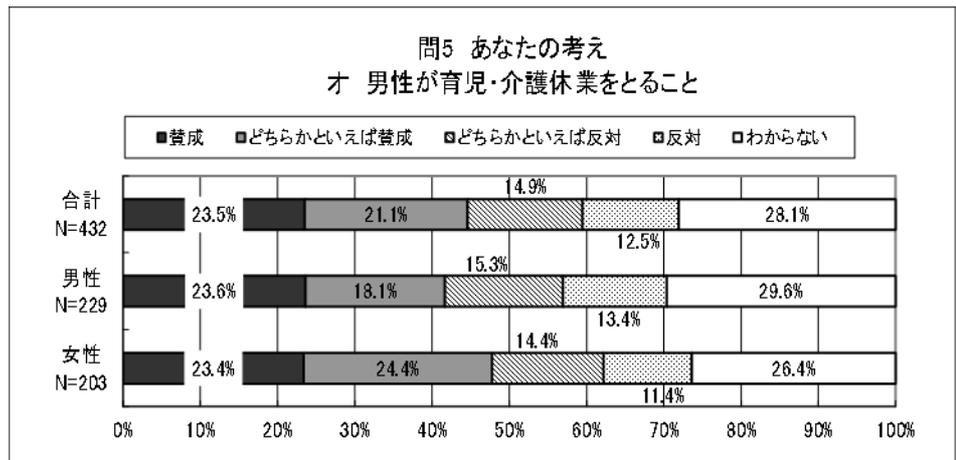


オ. 男性が育児・介護休業をとること

平成28年度  
調査



平成23年度  
調査

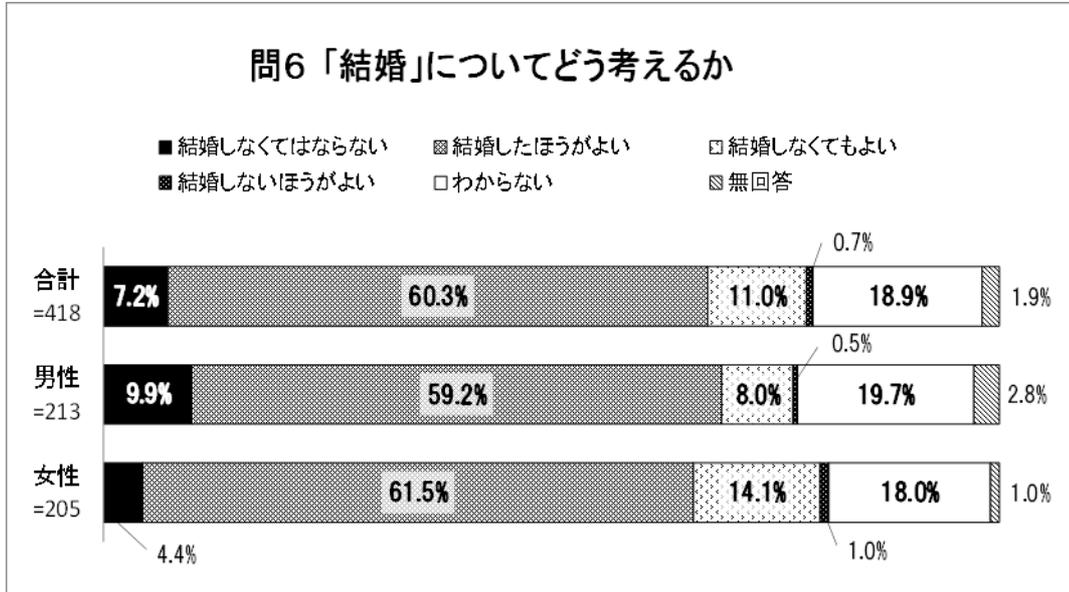


6. 結婚について

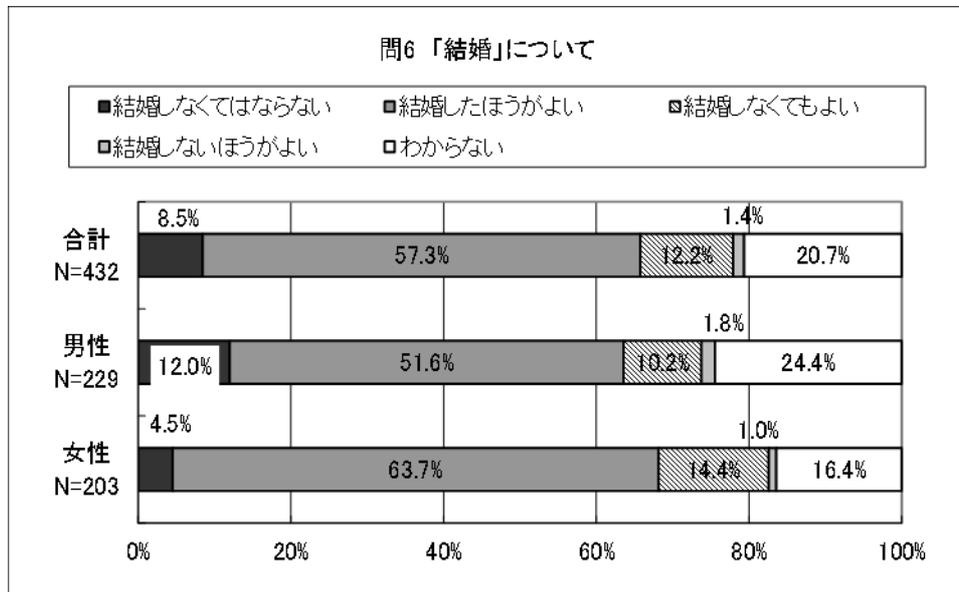
問6. あなたは、「結婚」についてどのように考えますか。

男性に比べ、女性で「結婚しなくてはならない」の回答割合が低く、「結婚しなくてもよい」の回答割合が高くなっている。

平成28年度調査



平成23年度調査



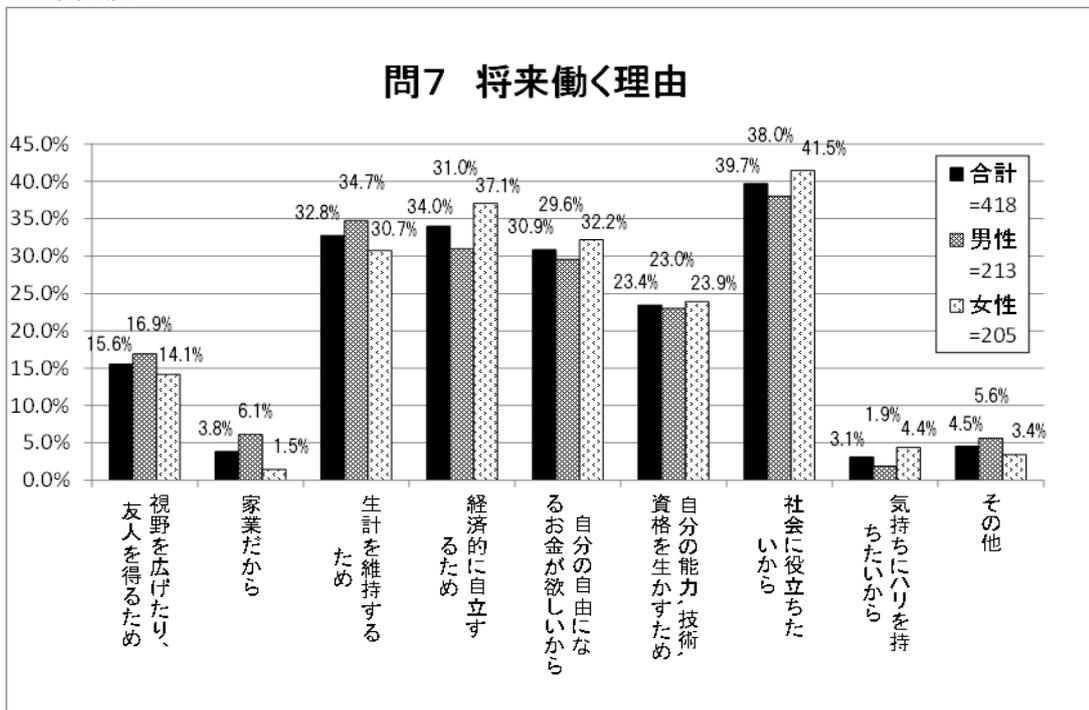
7. 就労について

(1) 将来、働く理由

問7. あなたが将来働く理由はどのようなことですか。(2つまで)

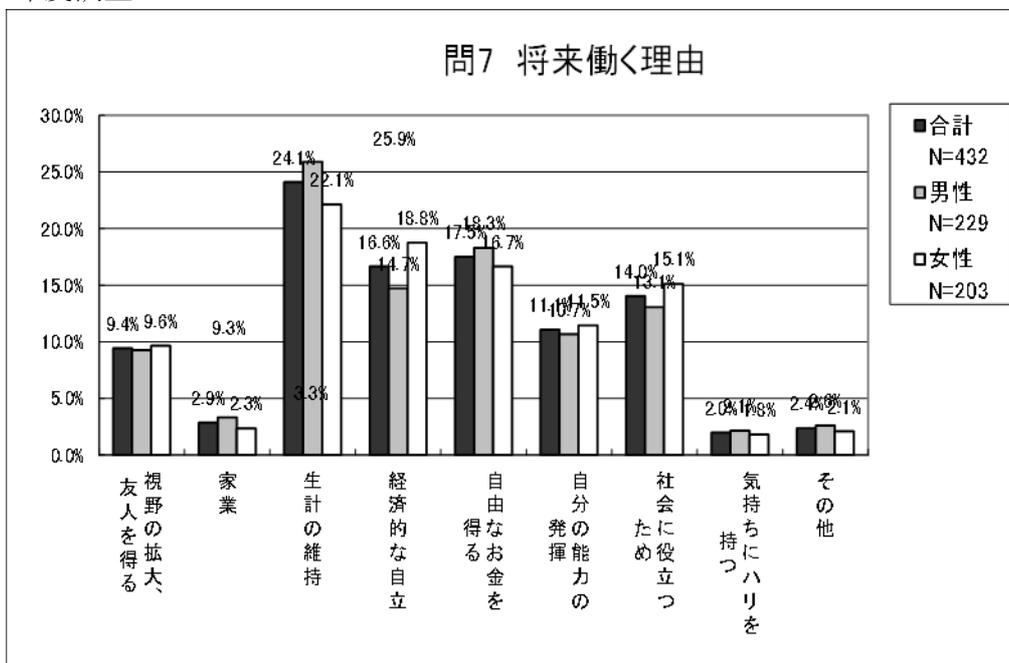
前回調査では経済的な理由が上位を占めていたが、「社会の役に立ちたいから」(39.7%)の回答が最も多く、次いで経済的な理由の回答が続いている。

平成28年度調査



- 【その他 記載欄】・充実した生活を送りたいから・好きな仕事だから・憧れだから・やりたいことをするため・人を助けるため・自分のことをめいっぱいやりたい・他の人と一緒にされたくない・個人の手を持つため・いろいろな人と触れたいから・母と父に恩返し・好きなことだから。生活に無理がないようにするため・家でずーとただならする大人になりたくないから・生きていくため

平成23年度調査

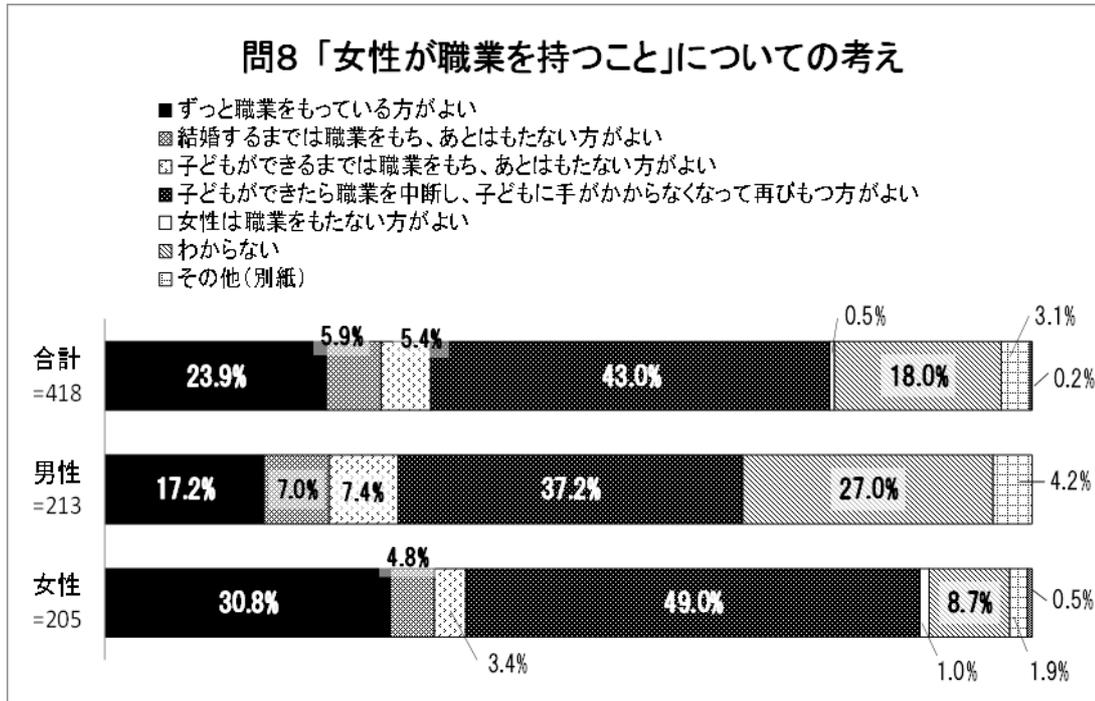


(2) 女性の就労について

問8. あなたは、「女性が職業をもつ」ことについて、どのように考えますか。

「子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再びもつ方がよい」(43.0%)の回答が最も多い。男性は「女性は職業を持たないほうがよい」(27.0%)の回答が女性に比べて高くなっており、女性は「ずっと職業をもっている方がよい」(30.8%)の回答が男性に比べて高くなっている。

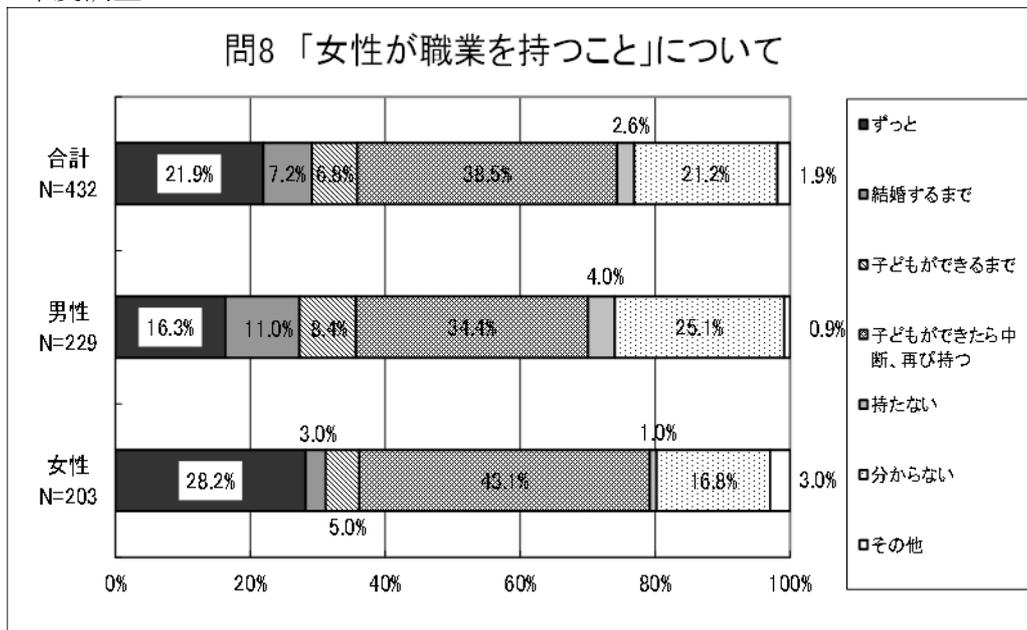
平成28年度調査



【その他 記載欄】

- ・ ついてもつかなくてもいい・女性が仕事を持つか持たないかはその人しだいだと思う
- ・ 自分がそろそろ働くのが疲れたな、と思うまで働きそれ以降は働かない。
- ・ どちらでもよい・したいときにすればいい

平成23年度調査

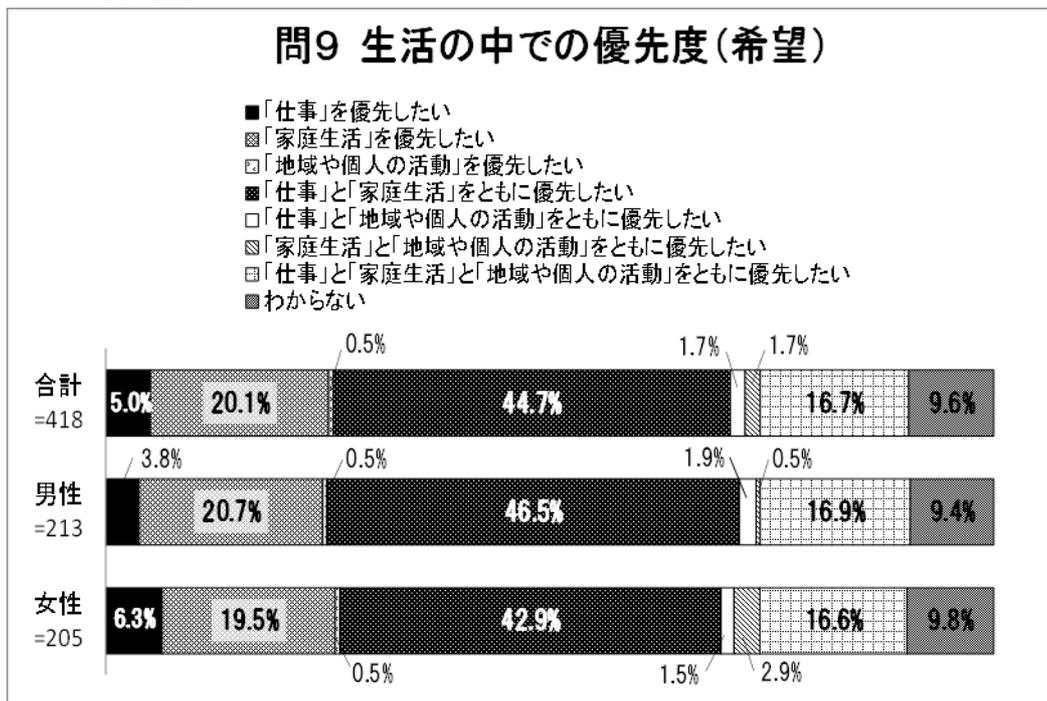


(3) ワーク・ライフ・バランスについて

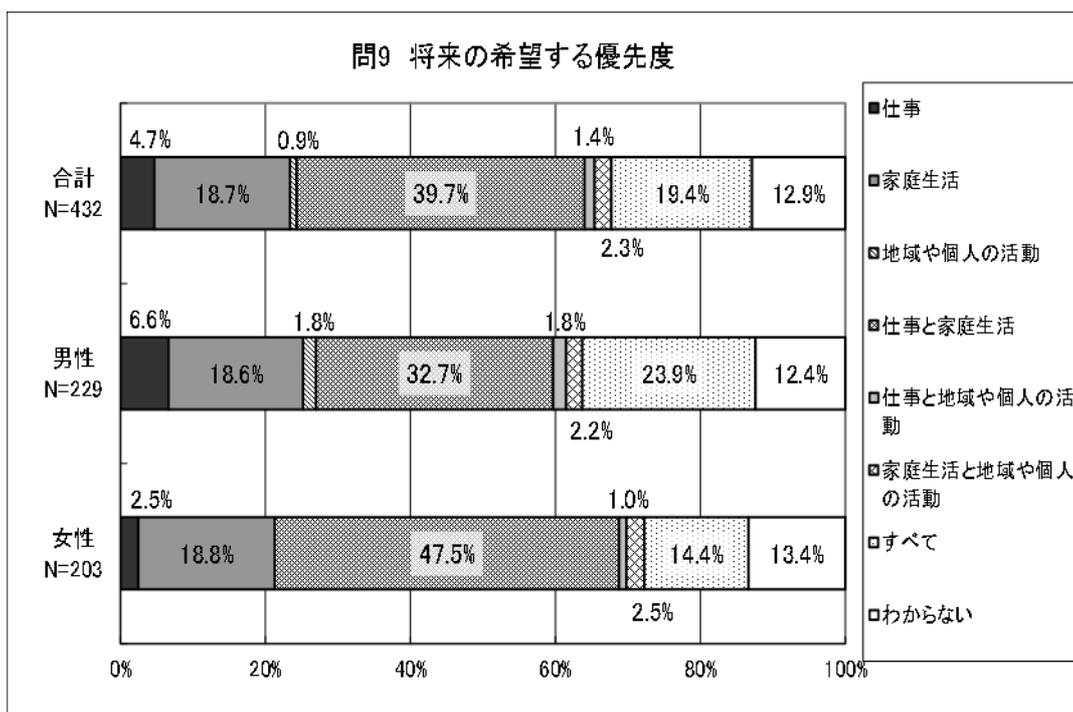
問9. 将来希望する「仕事」、「家庭生活」、「地域や個人の活動」の優先度について、あなたの考えにもっとも近いものを次の中から1つ選んでください。

前回の調査結果と比較すると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と答えた男性（46.5%）が13.8ポイント上回っている。男女別にみると「仕事」を優先したい」と回答した女性（6.3%）が男性（3.8%）を上回っている。

平成28年度調査



平成23年度調査



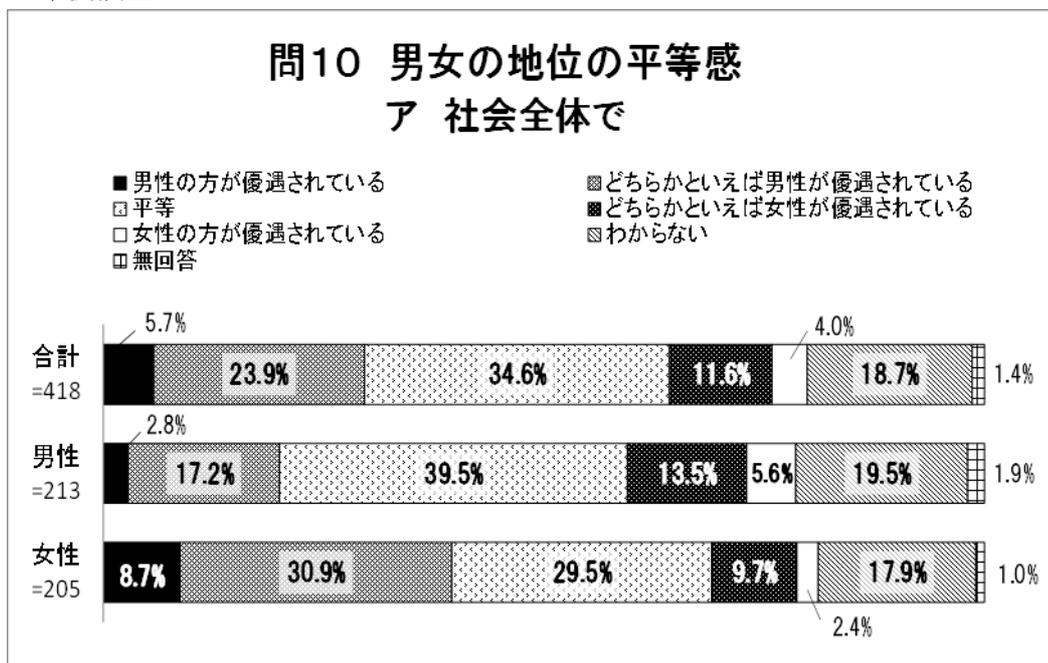
8. 男女の地位の平等感

問10. あなたは、次の分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目についてあなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

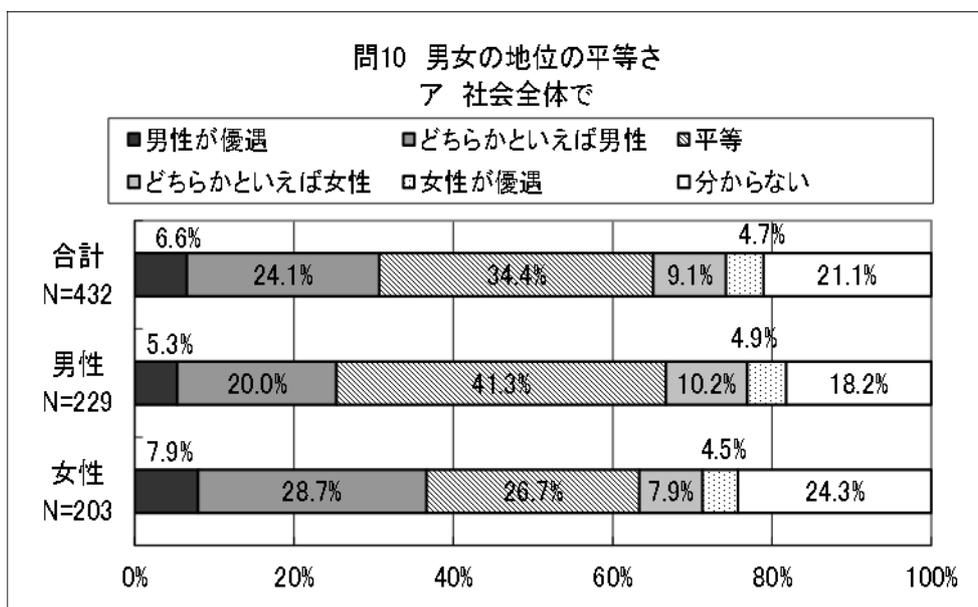
「男女の地位は平等である」の割合が高い項目は、「エ 学校教育の場」(61.2%)「オ 地域・社会活動の場」(58.7%)「キ 法律・制度」(54.3%)「カ 社会通念・慣習・しきたり」(49.5%)となっている。

男女別に見ると、すべての分野において「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答している割合は、女性が男性を上回っている。特に「ア 社会全体」(差19.6ポイント)「ウ 職場」(差10.0ポイント)ではその差が大きくなっている。

ア. 社会全体で  
平成28年度調査

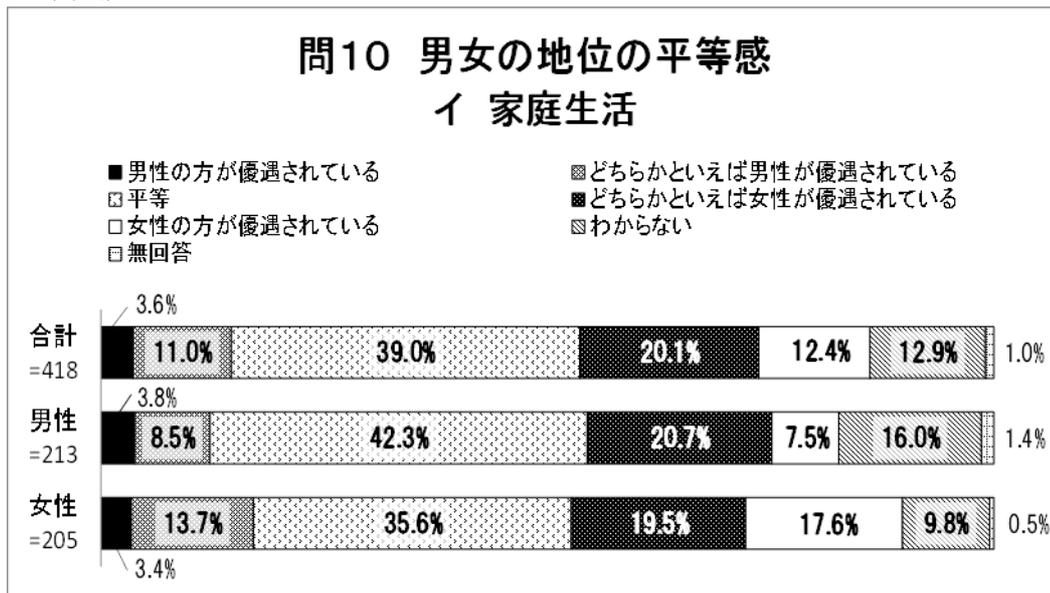


平成23年度調査

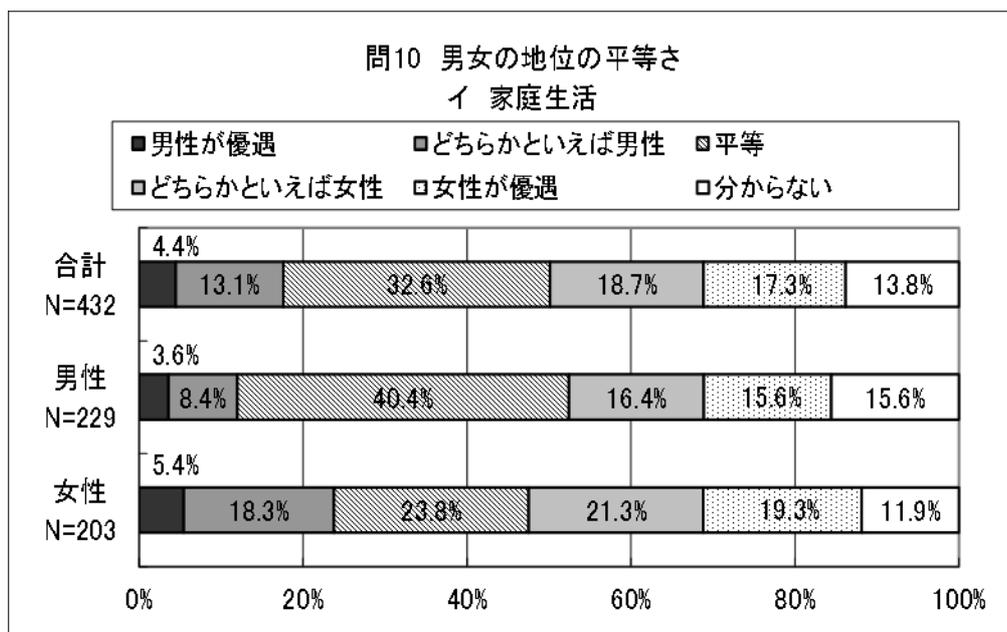


イ. 家庭生活

平成28年度調査

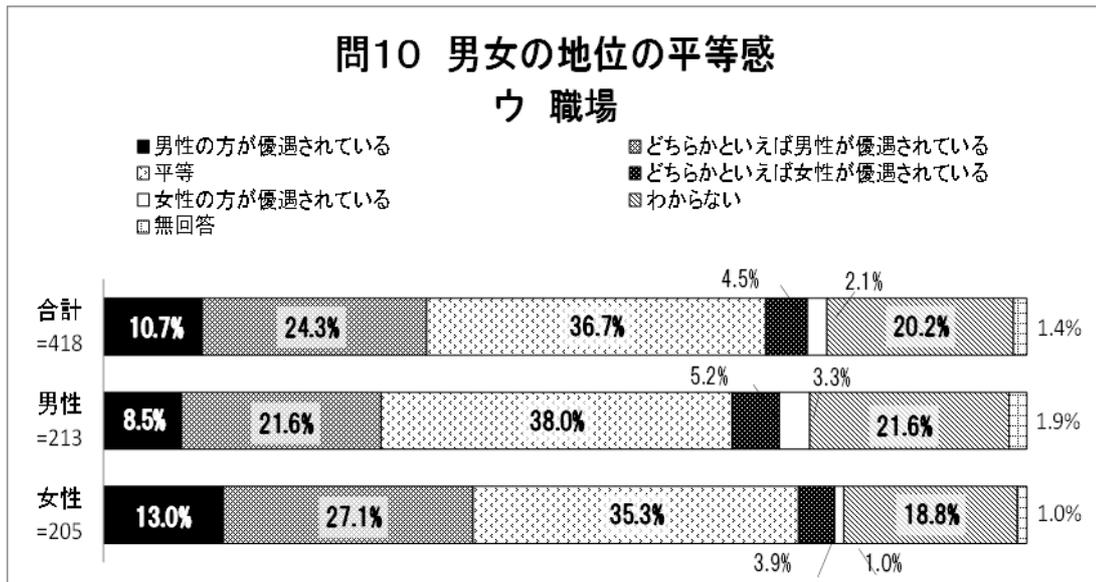


平成23年度調査

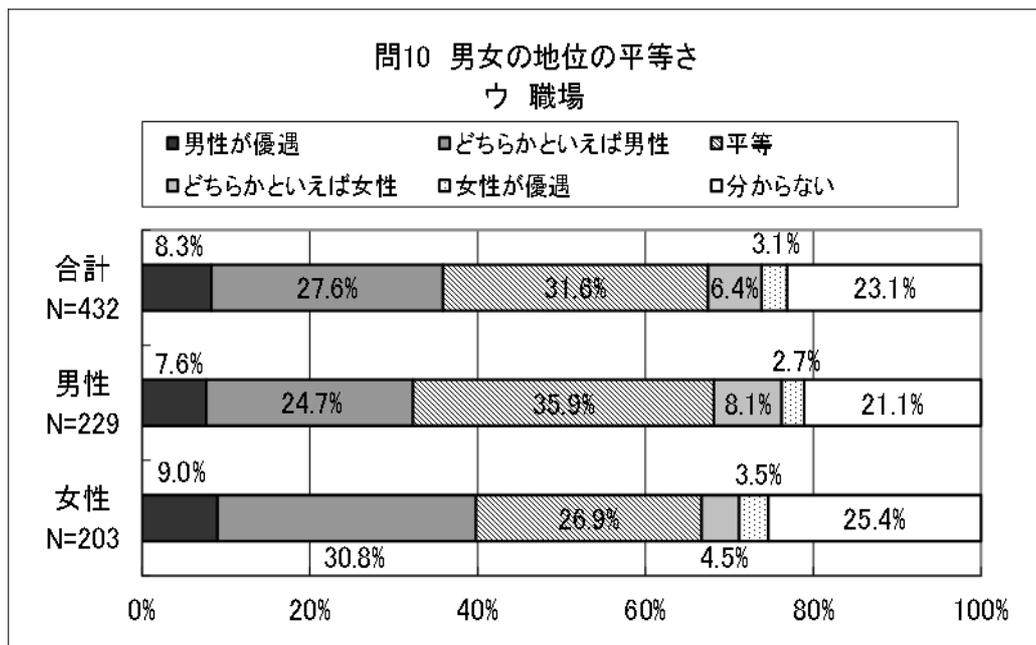


ウ. 職場

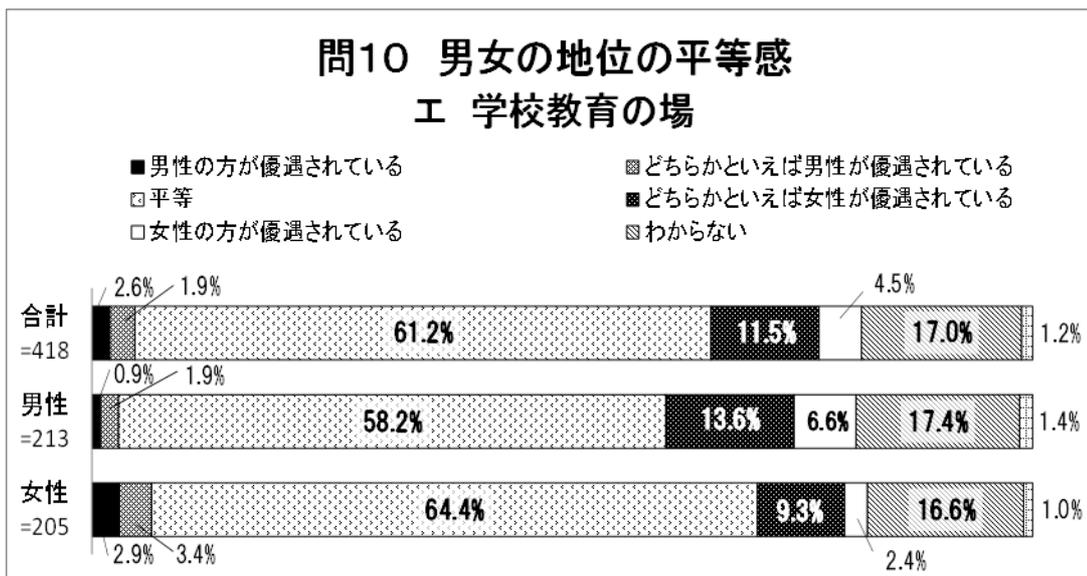
平成28年度調査



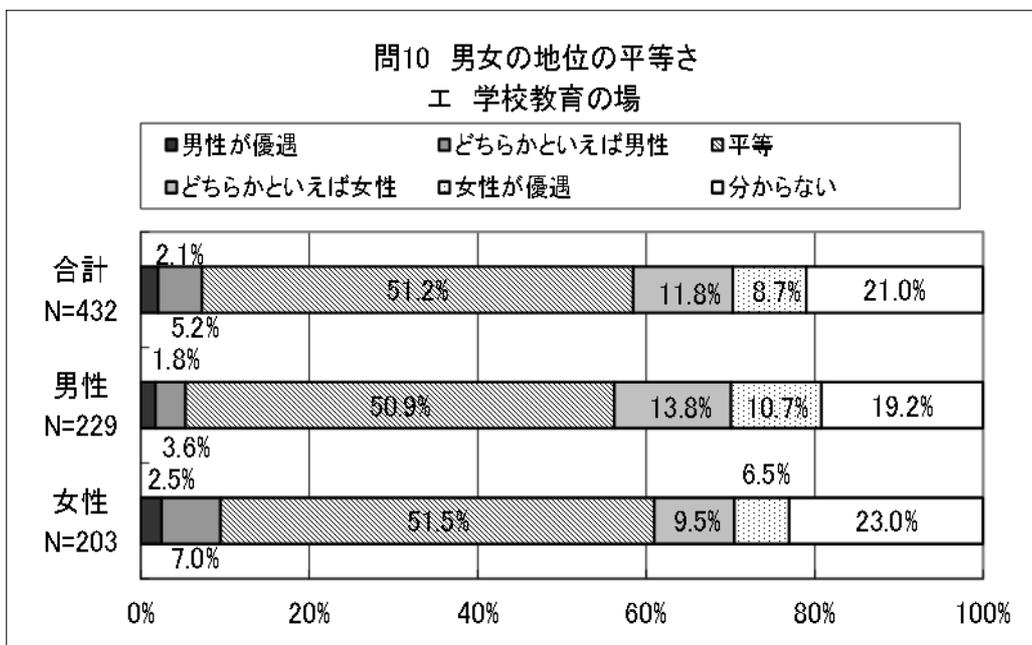
平成23年度調査



エ. 学校教育の場  
平成28年度調査

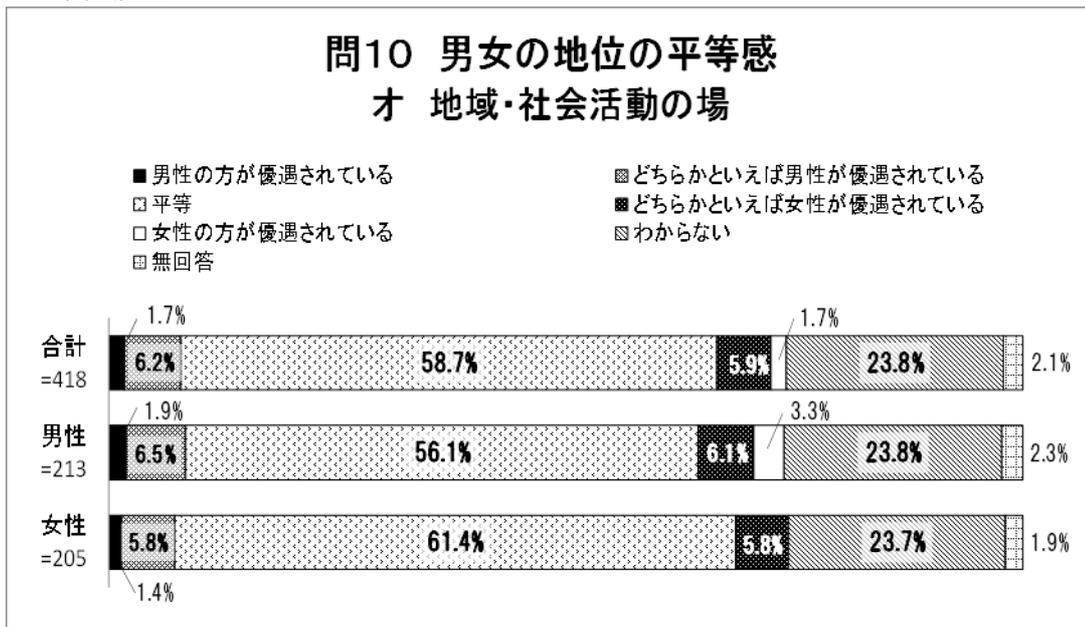


平成23年度調査

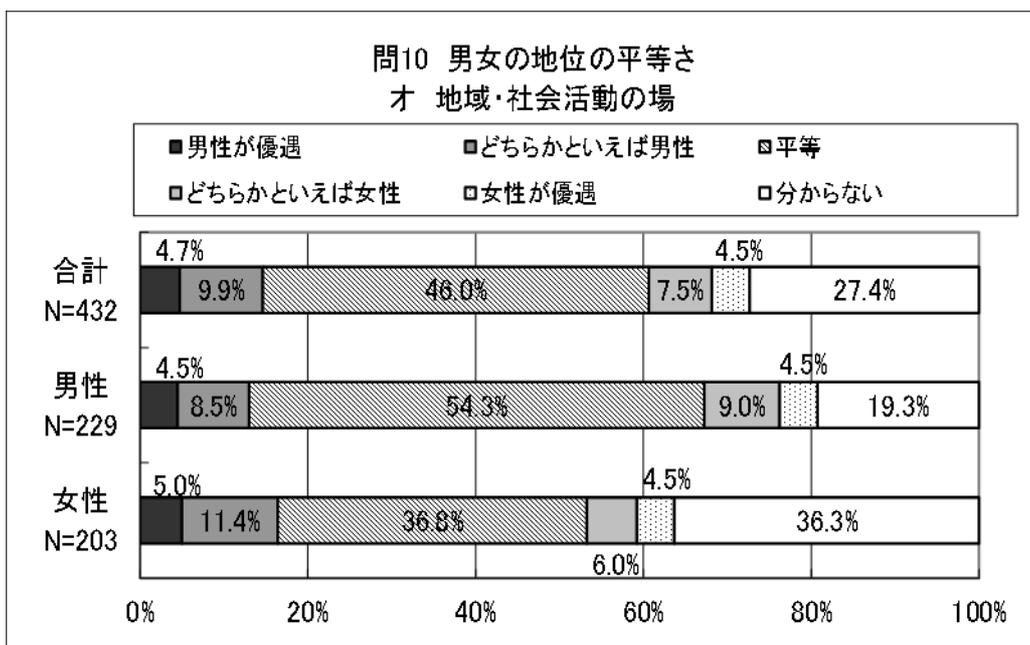


オ. 地域・社会活動の場

平成28年度調査

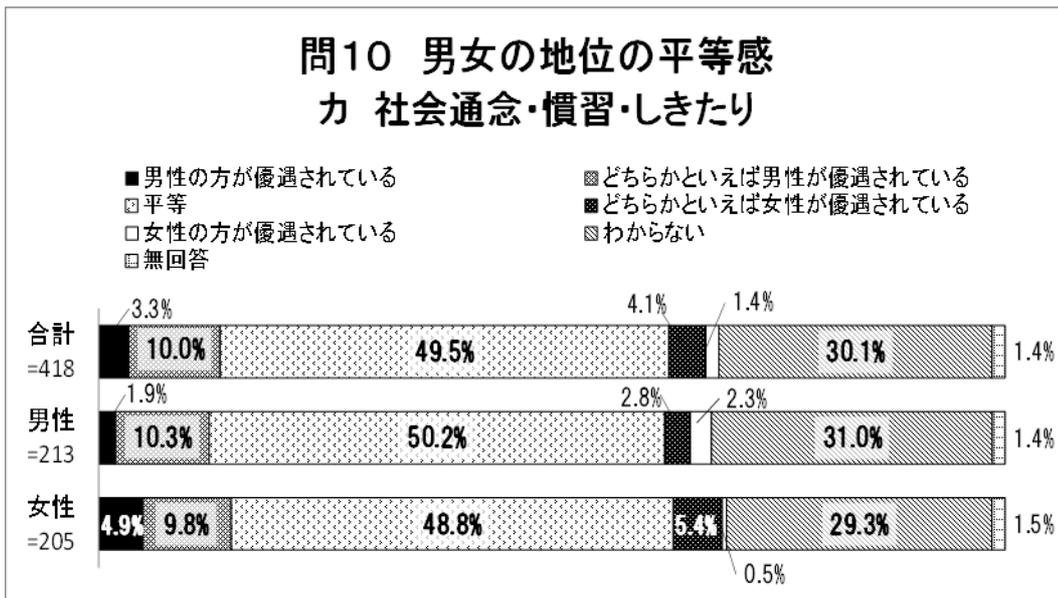


平成23年度調査

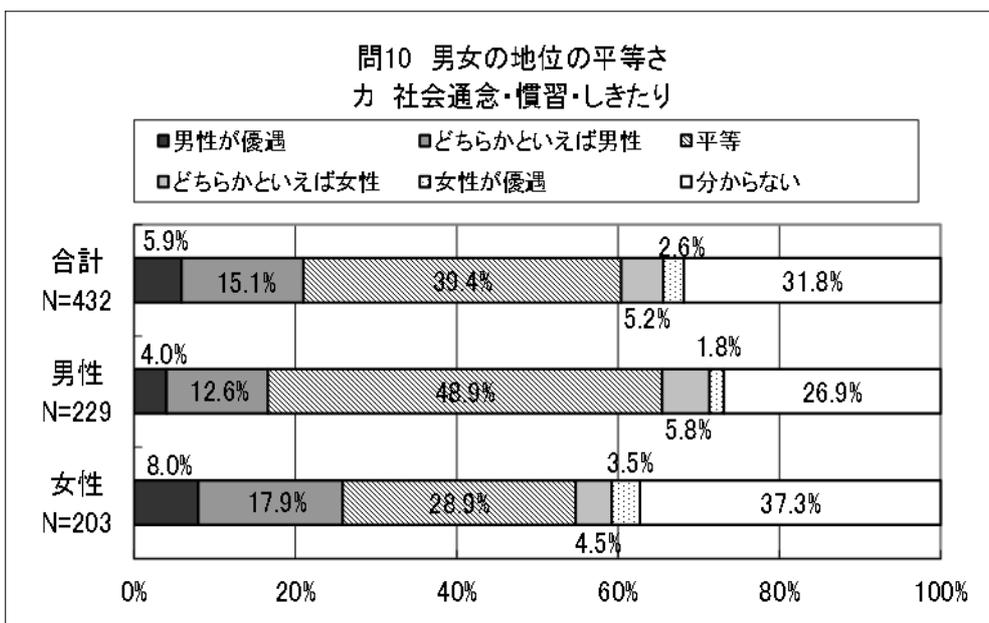


カ. 社会通念・慣習・しきたり

平成28年度調査

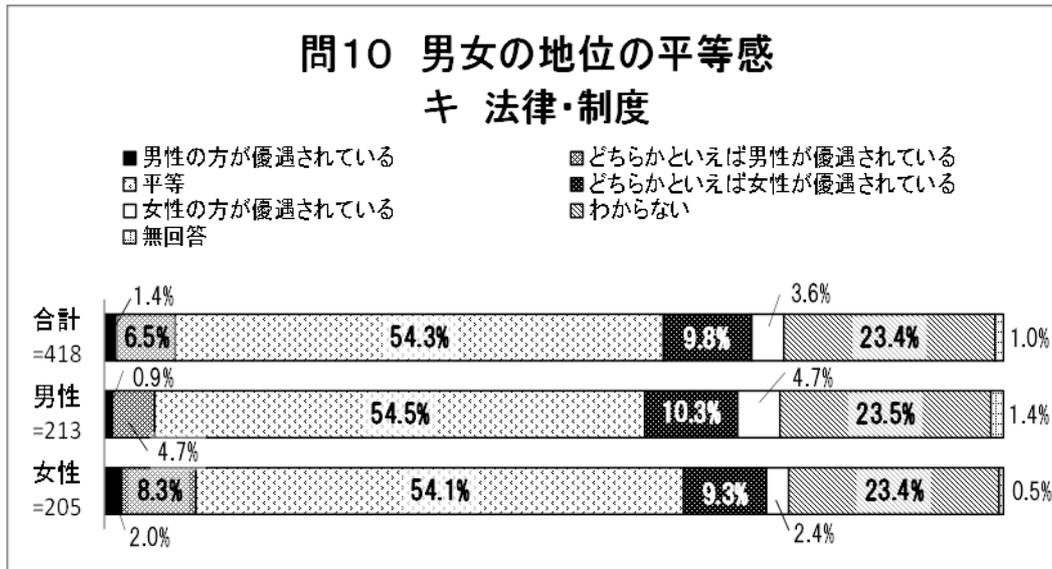


平成23年度調査

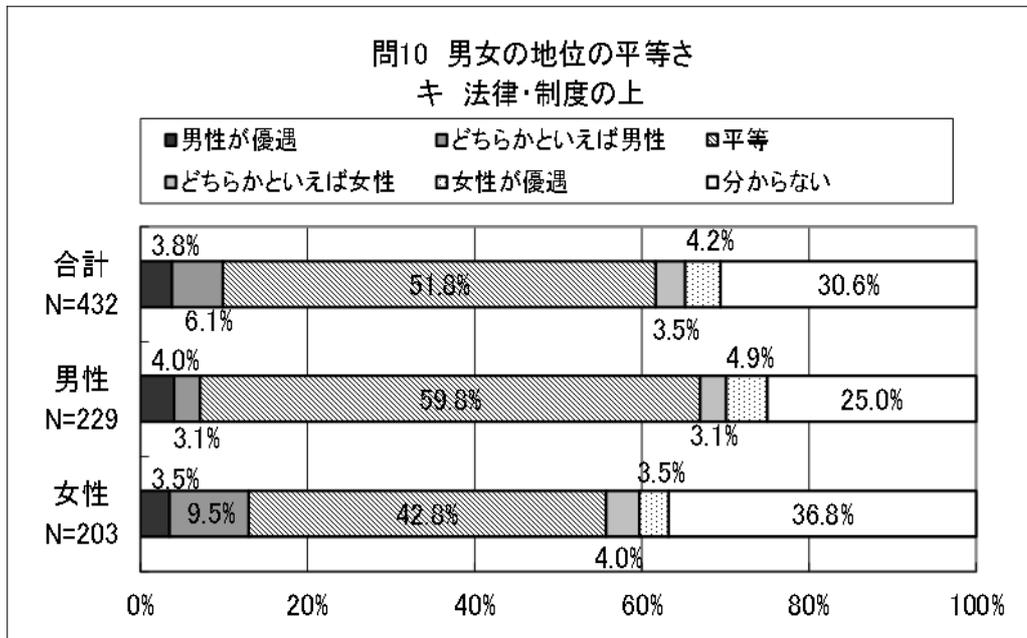


キ. 法律や制度

平成28年度調査



平成23年度調査



9. 男女共同参画社会に関する用語の認知度

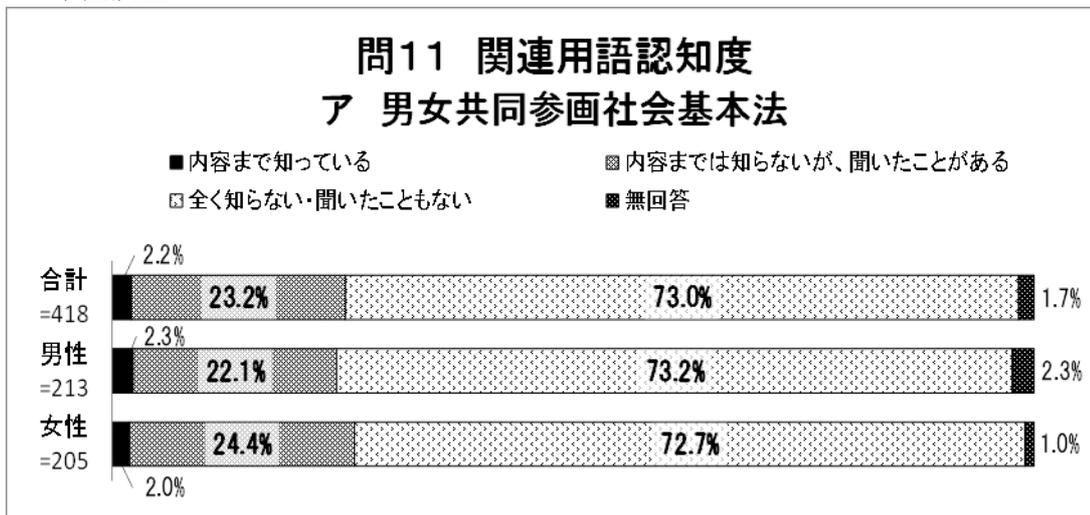
問1 1. あなたは、男女共同参画社会の実現へ向けての関連用語を聞いたことがありますか。次のア～クについて、あてはまる番号に○をつけてください。

「ウ 育児・介護休業法」「エ DV防止法・ストーカー規制法」を除くすべての項目で「内容まで知っている」もしくは「内容までは知らないが、聞いたことがある」と回答した割合が3割以下もしくは3割程度にとどまっている。

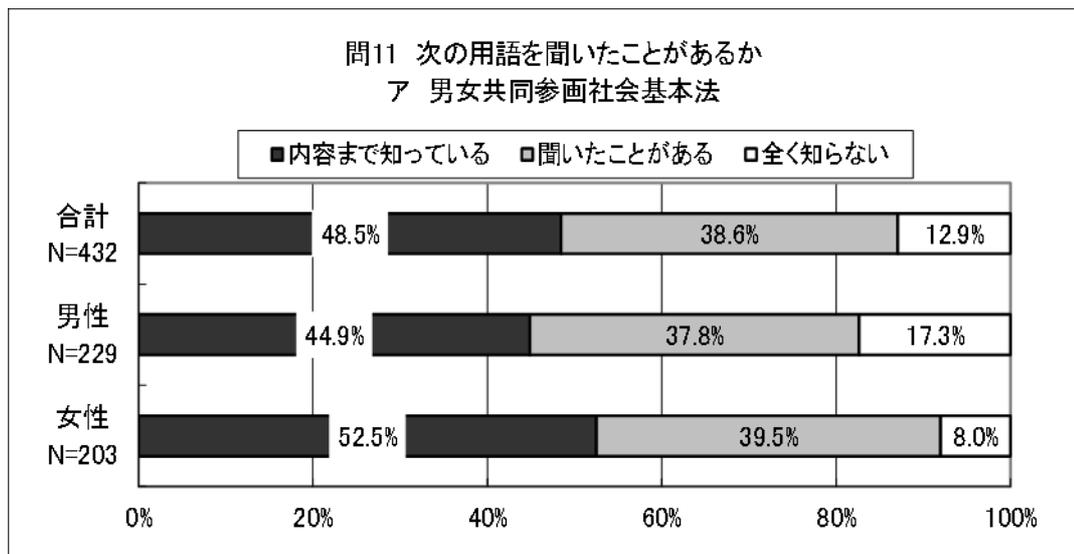
一方、前回調査結果と比較できる項目については、「エ DV防止法・ストーカー規制法」を除くと「全く知らない」と回答した割合が増加している、もしくはあまり変化がない。今年度から追加した項目について「ウ 育児・介護休業法」については「内容まで知っている」「内容まで知らないが、聞いたことがある」と回答している割合が6割程度であるが「カ ジェンダーギャップ指数」(7.9%)、「ク リベンジポルノ」(24.5%)、「ケ LGBT」(12.9%)については認知度が低いようである。

ア. 男女共同参画社会基本法

平成28年度調査

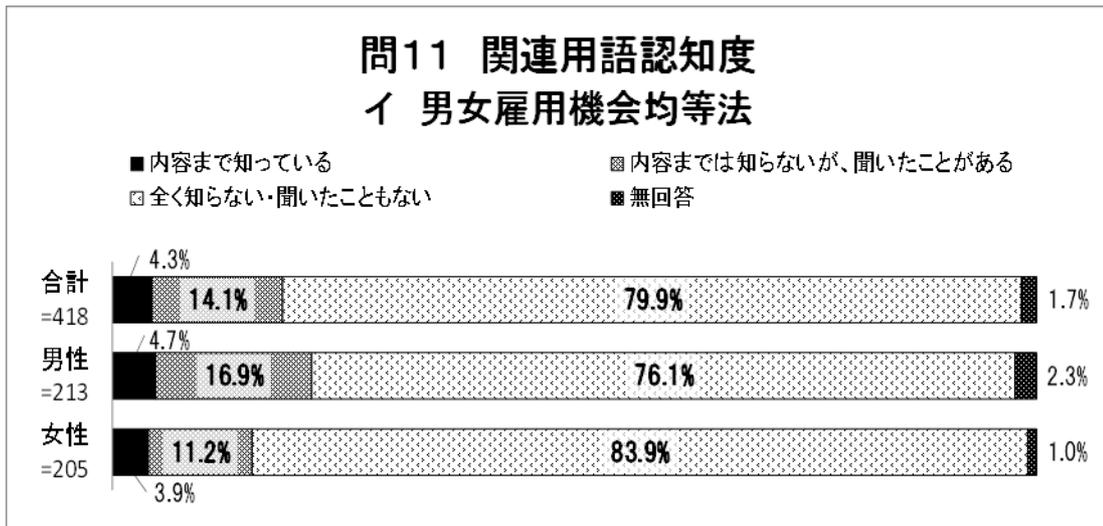


平成23年度調査

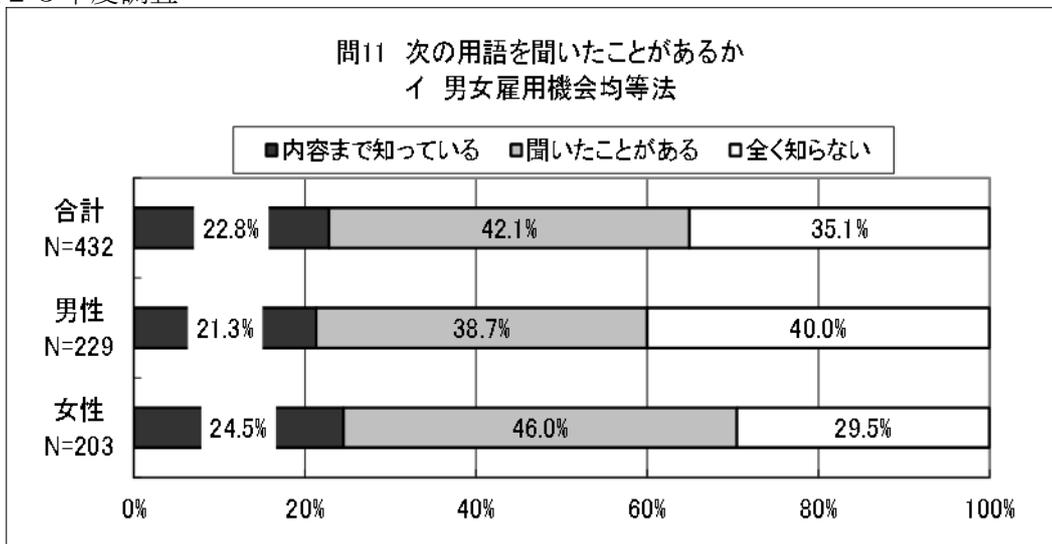


イ. 男女雇用機会均等法

平成28年度調査

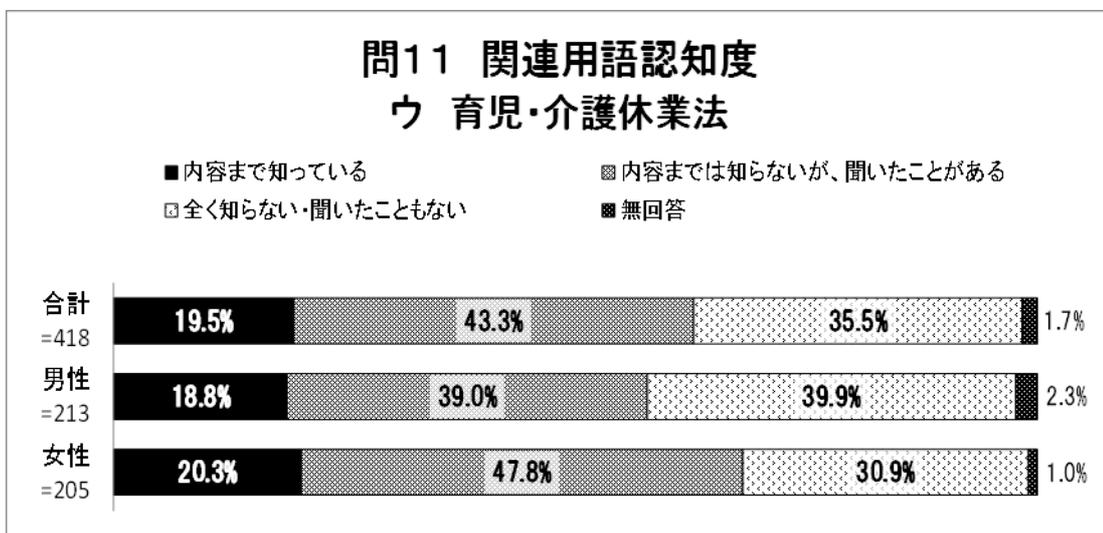


平成23年度調査



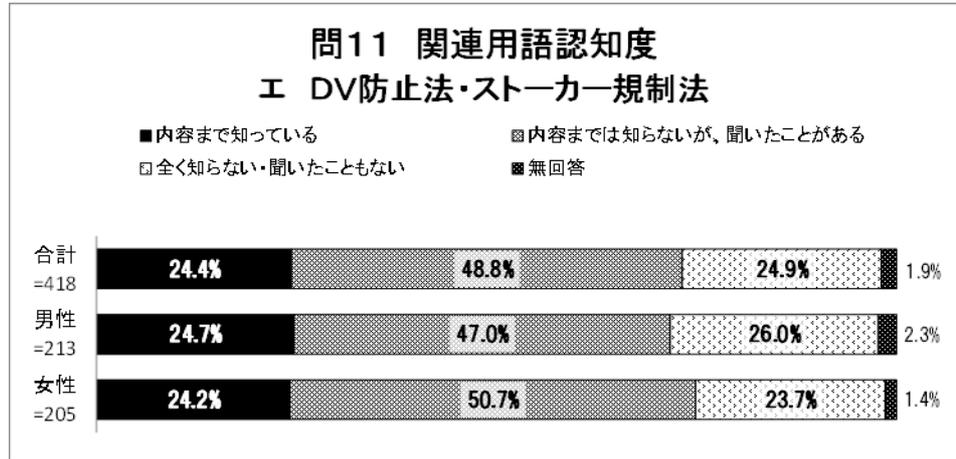
ウ. 育児・介護休業法 (新項目)

平成28年度調査

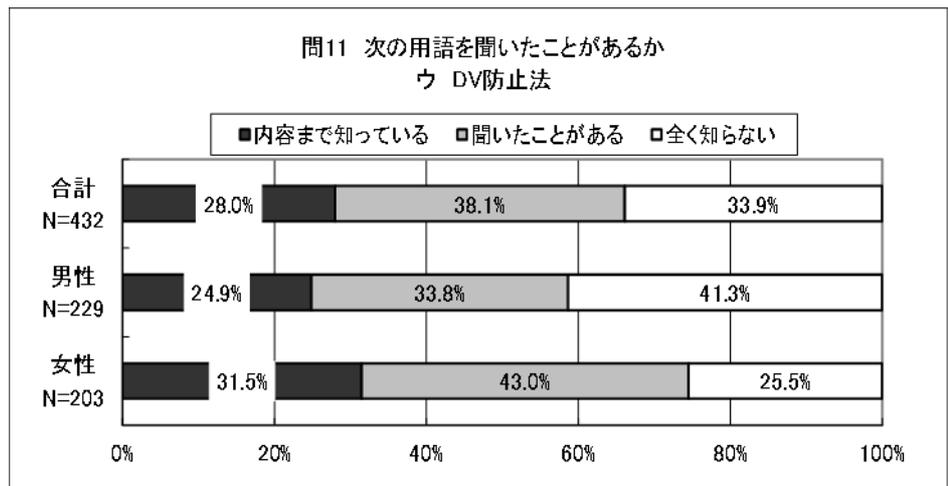


エ. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律

平成28年度調査

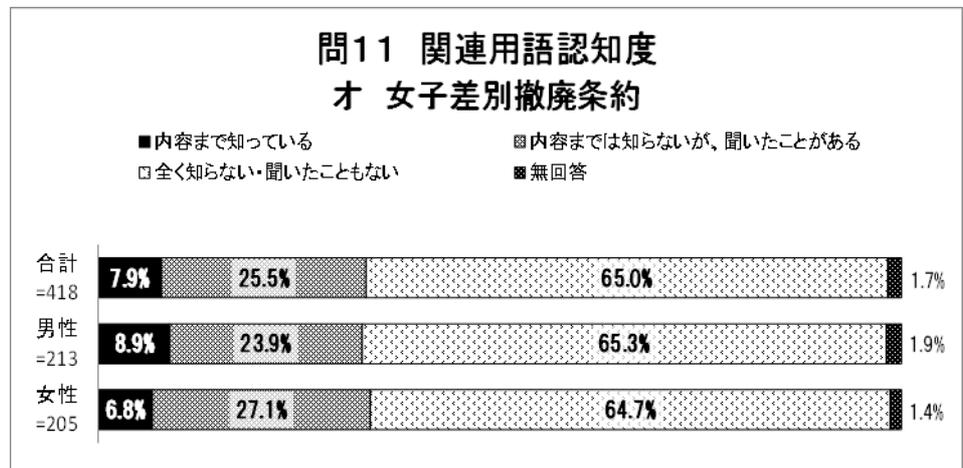


平成23年度調査

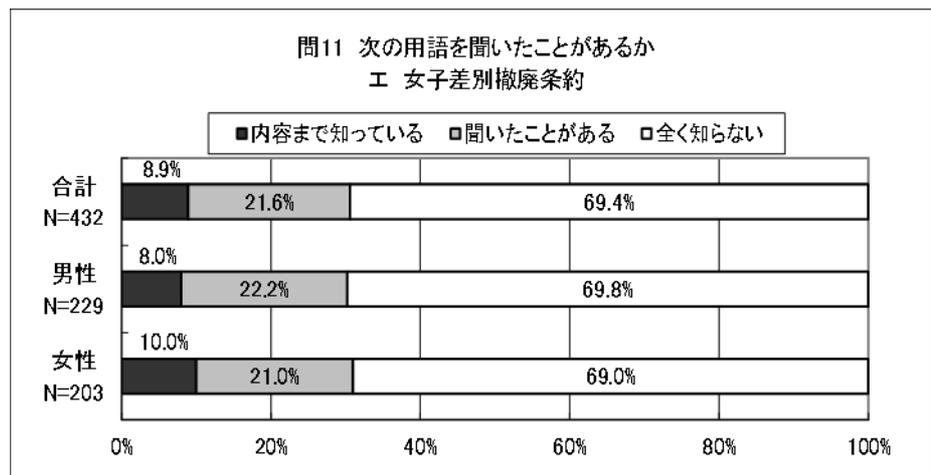


オ. 女子差別撤廃条約

平成28年度調査

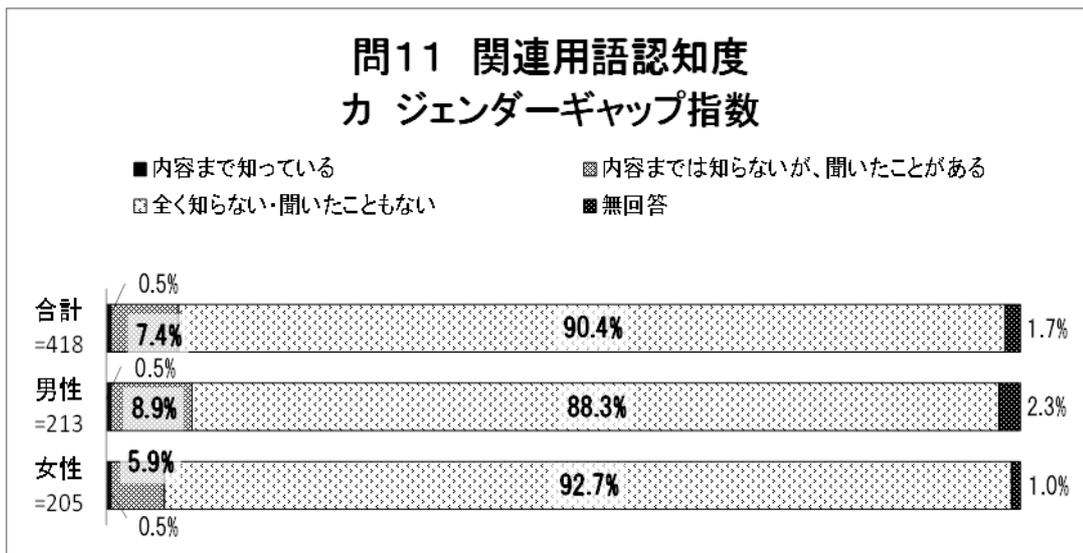


平成23年度調査



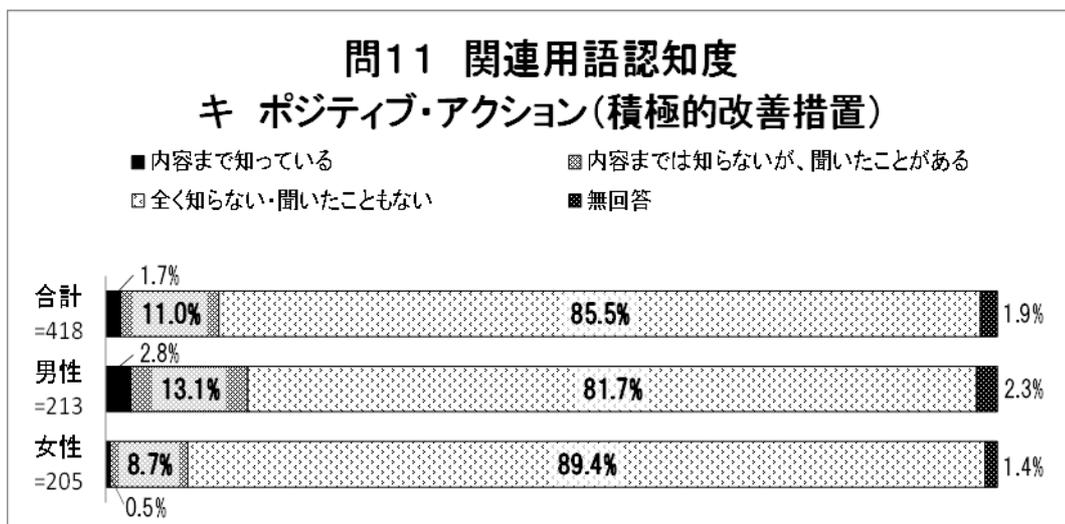
カ. ジェンダーギャップ指数（新項目）

平成28年度調査

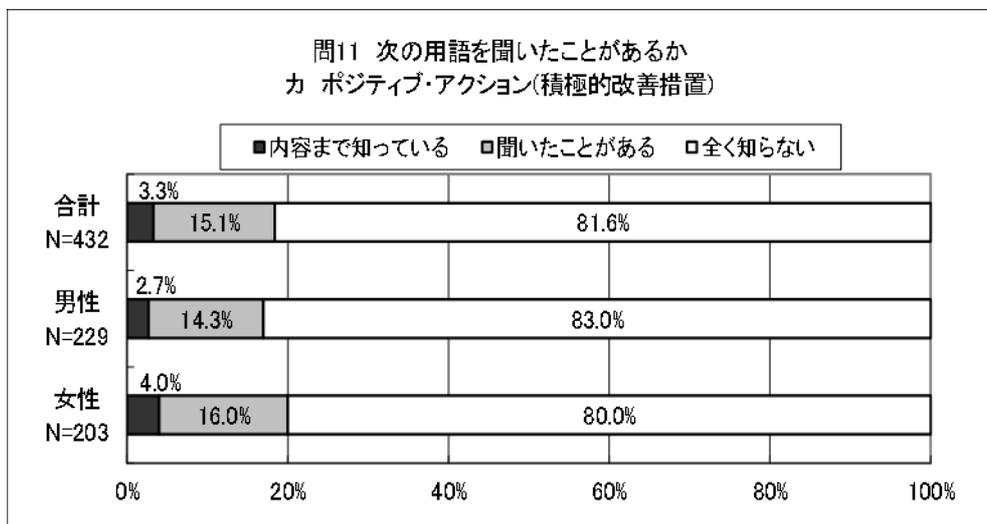


キ. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

平成28年度調査

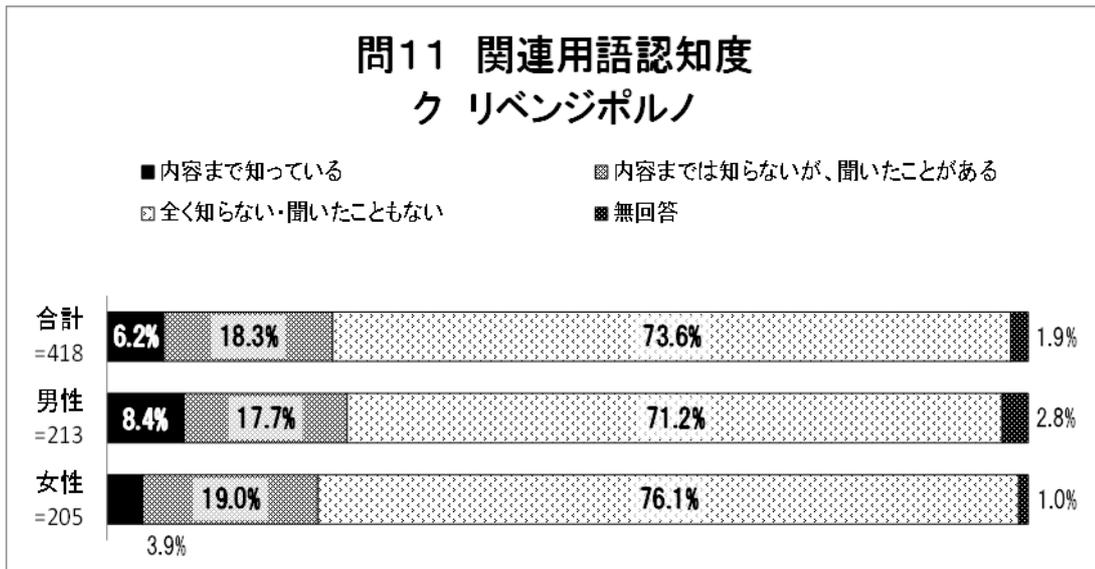


平成23年度調査



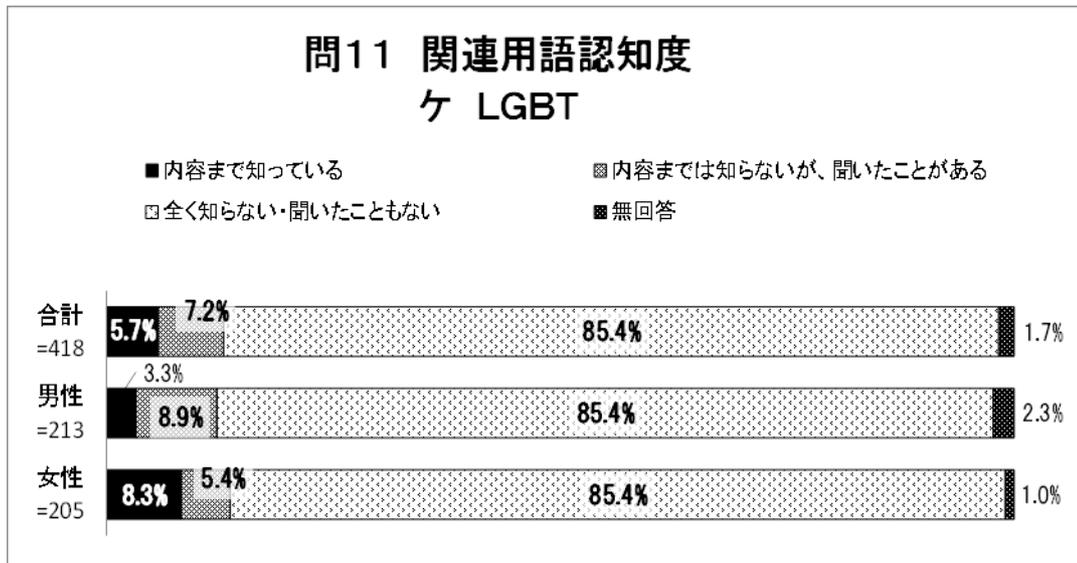
ク. リベンジポルノ (新項目)

平成28年度調査



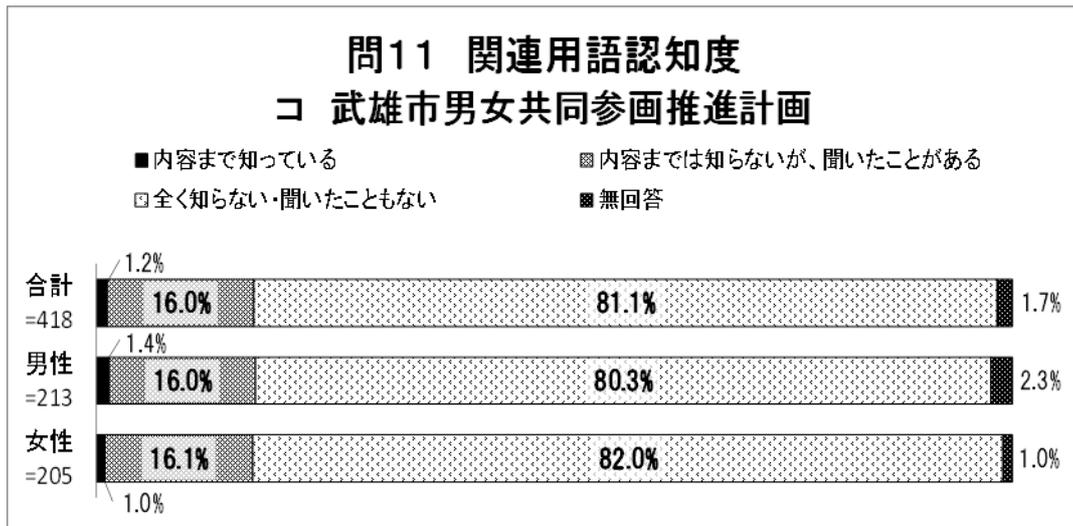
ケ. LGBT (新項目)

平成28年度調査

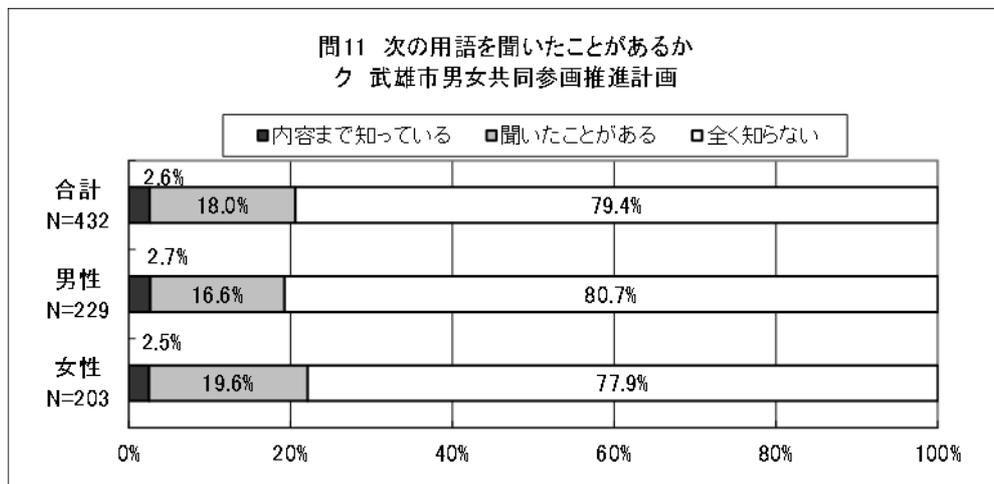


コ. 武雄市男女共同参画推進計画

平成28年度調査



平成23年度調査



## 第3部 武雄市内企業の男女共同参画 に関するアンケート調査結果

---

### 調査の概要

1. 調査目的 企業での男女共同参画推進状況の実態を調査検証するため
2. 調査対象 武雄市内の平成26年企業センサス基礎調査において常用雇用者規模20人以上と回答した企業
3. 調査時期 平成28年11月
4. 調査結果利用上の注意事項
  - (1) 調査結果は、原則として標本数に対する百分率(%)で表示している。本文中の回答の表示については小数点第2位を四捨五入しているため、それぞれの回収率の合計は100%にならない。
  - (2) 複数回答の場合もパーセントの合計は原則として100%を超える。
  - (3) 表中の空白はゼロを意味している。

※女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の施行を受け、女性の活躍に係るアンケート項目を追加している。

# 武雄市内企業の男女共同参画に関するアンケート調査結果

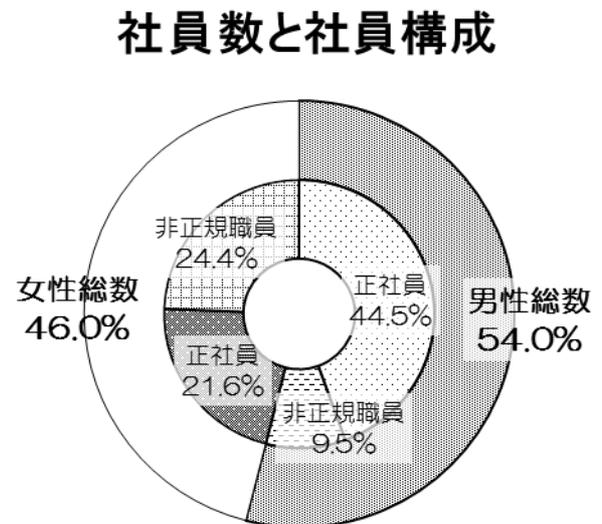
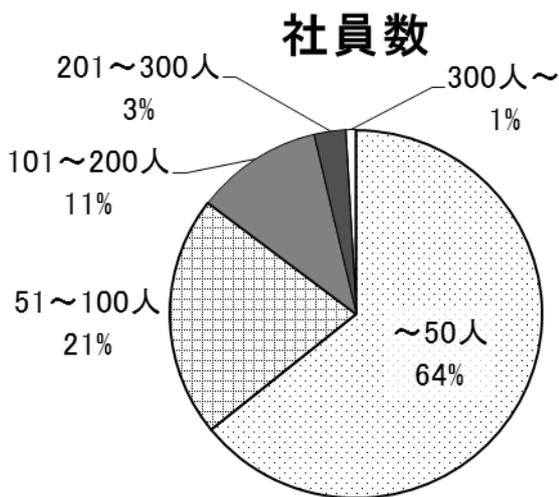
(平成28年11月実施)

回答企業数 : 109 (調査対象:197社 回収率 55.3%)

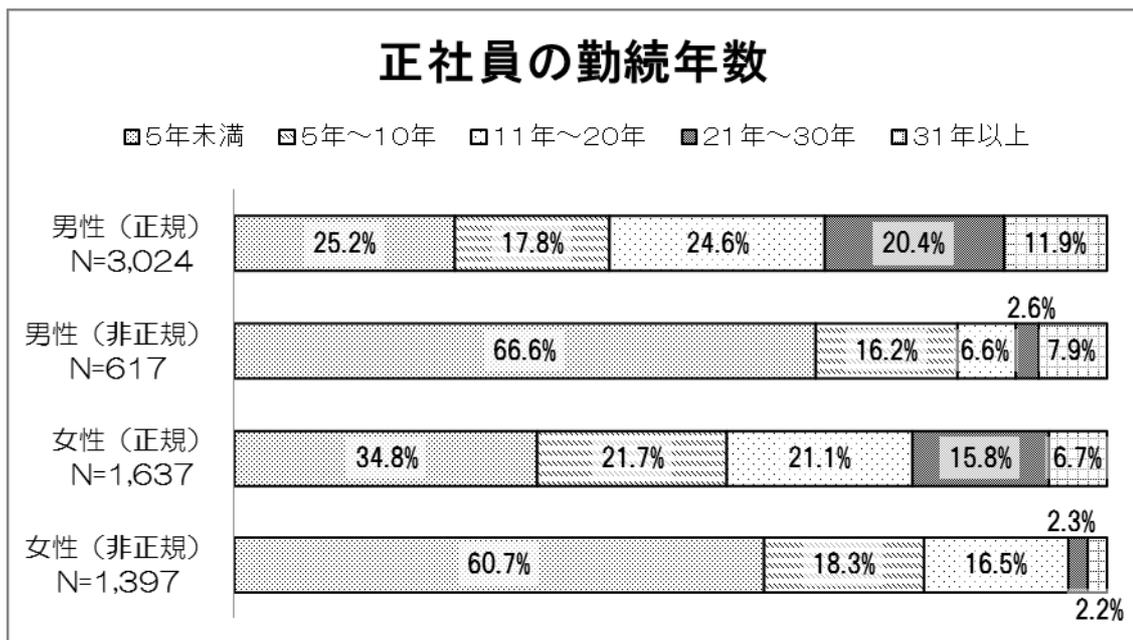
対象事業所 : 197 [平成26年経済センサス基礎調査において常用雇用者規模20人以上と回答した企業]  
 [官公庁・学校:23 (うち回答:16)、民間企業:174 (うち回答:93)]

実施期間 : 平成28年10月~11月

## 設問1. 社員数と社員構成

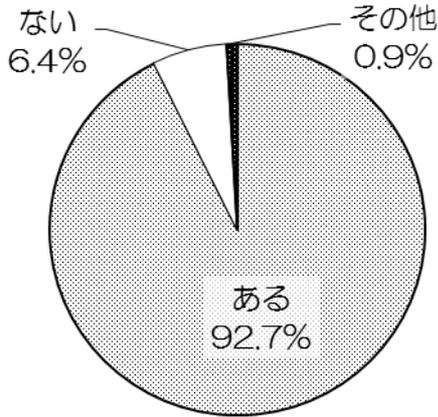


## 設問2. 社員の勤続年数

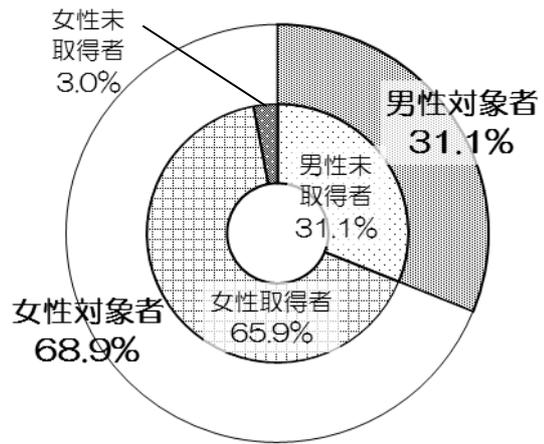


設問3. 育児休業について

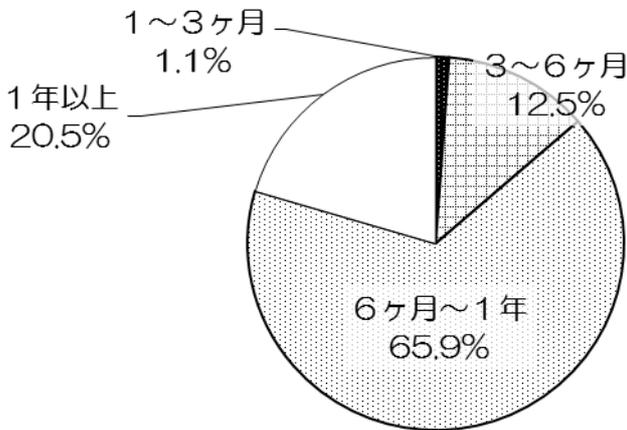
育児休業のとりきめ



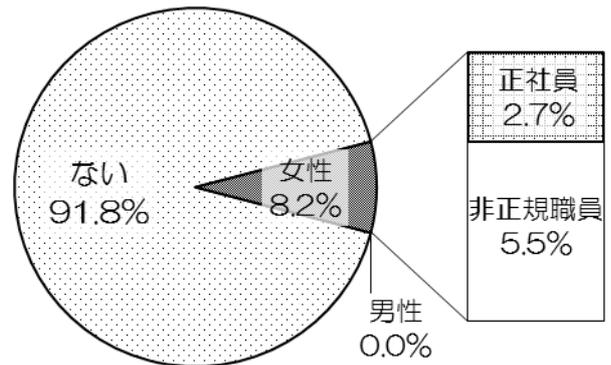
育児休業の取得



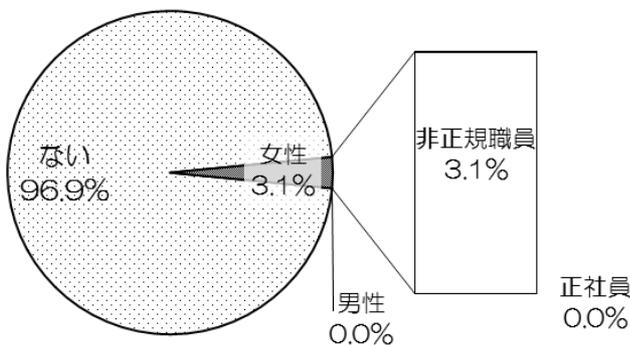
育児休業の取得期間



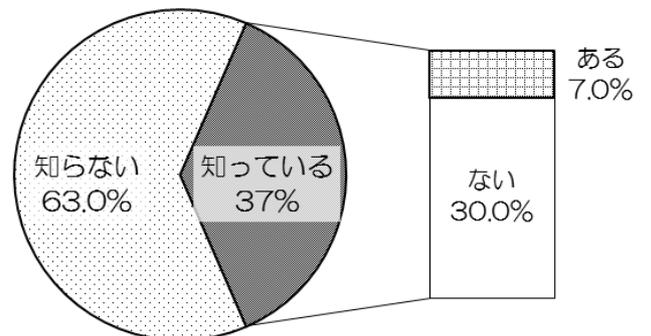
出産や介護を理由に退職した人の性別と雇用形態



出産や介護を理由に退職した後、再雇用した人の性別と雇用形態



国などの育児・介護にかかわる支援制度を使っているか。また、利用したことがあるか

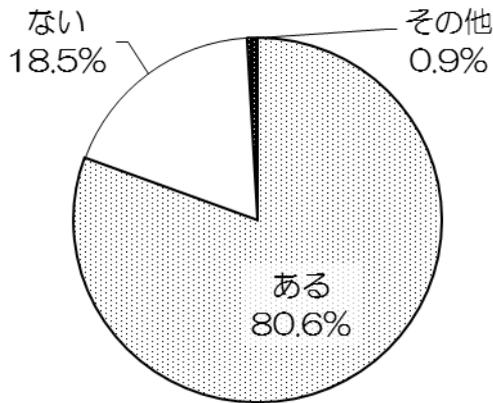


【利用したことがある制度】

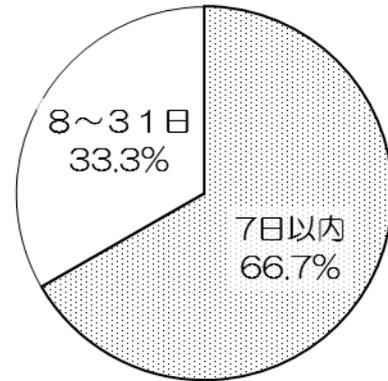
- ・中小企業両立支援助成金(代替要員確保コース)
- ・育児休業給付金
- ・育児、介護雇用安定等助成金制度

設問4-1. 介護休業について

社内規定で  
介護休業の取り決めがあるか

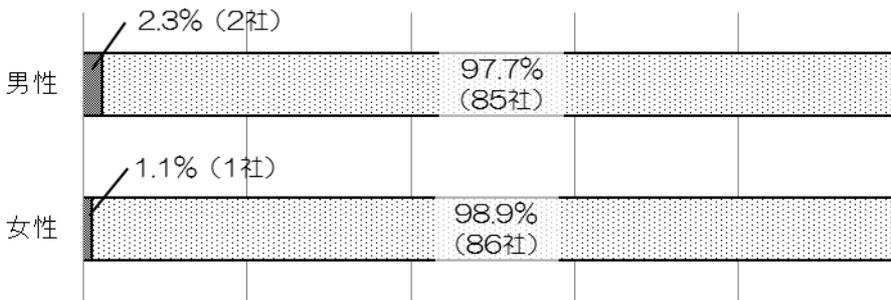


介護休業の取得期間



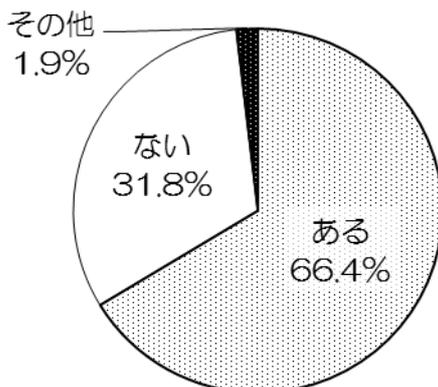
男女別介護休業をとった人数

■1人 □2~5人 ■6~10人 目11人以上 □とっていない

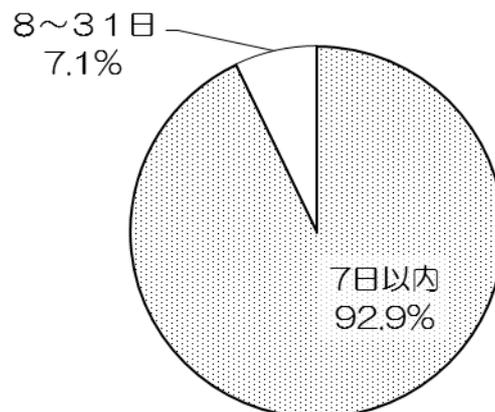


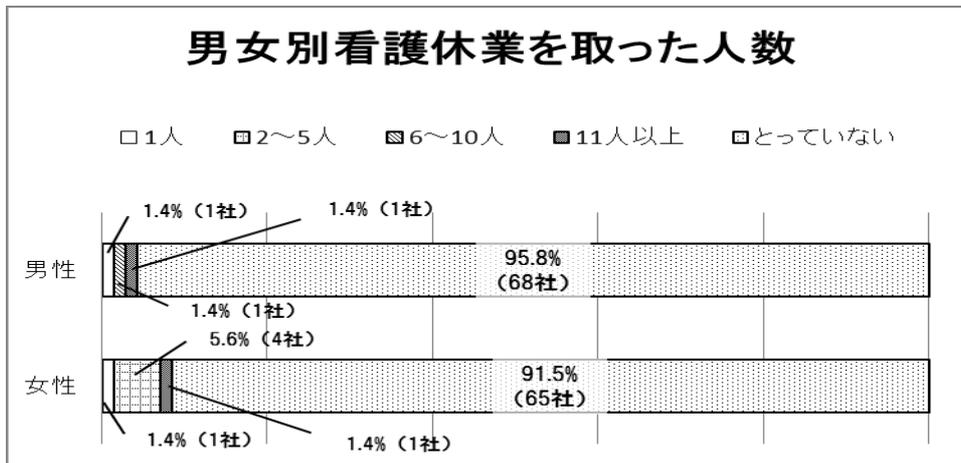
設問4-2. 看護休業について

社内規定で  
看護休業の取り決めがあるか

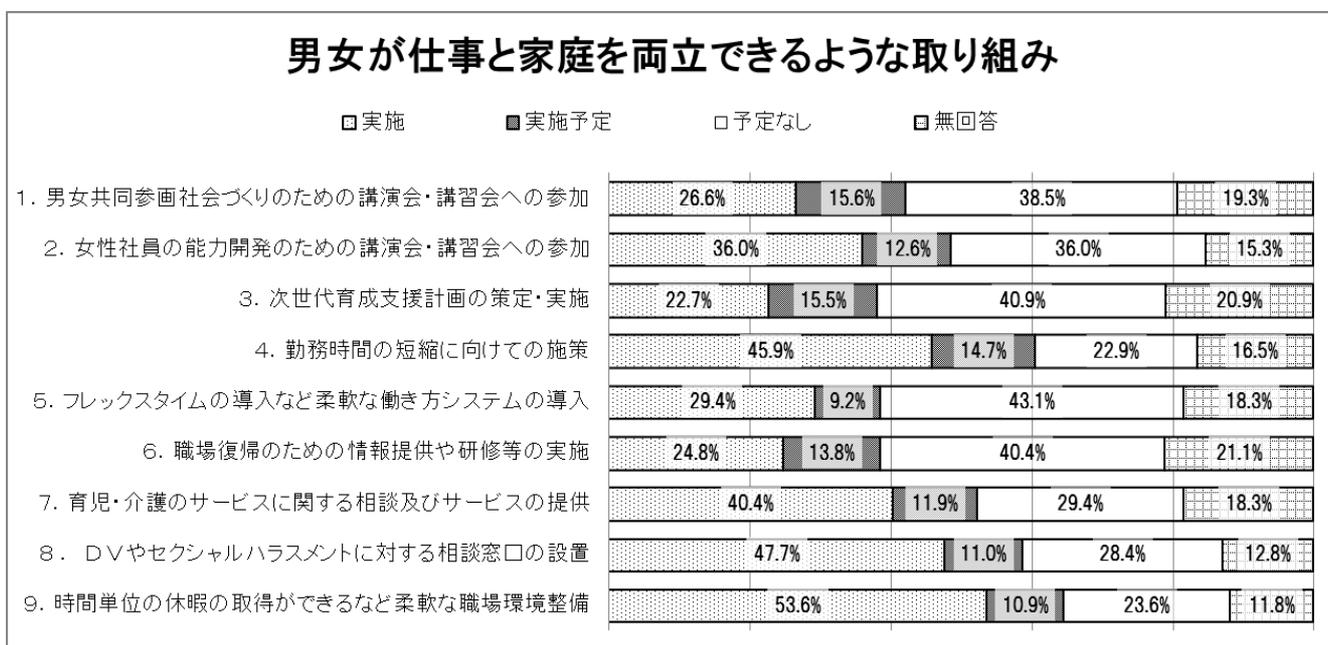


看護休暇の取得期間





## 設問5. 男女が共に仕事と家庭を両立できるような取り組みについて

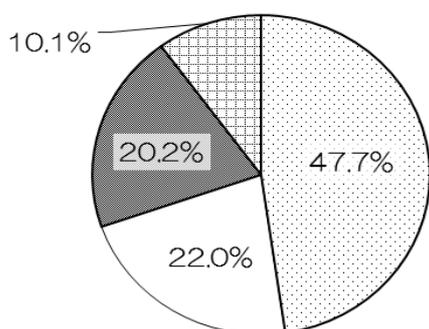


### 【市民会議の声】

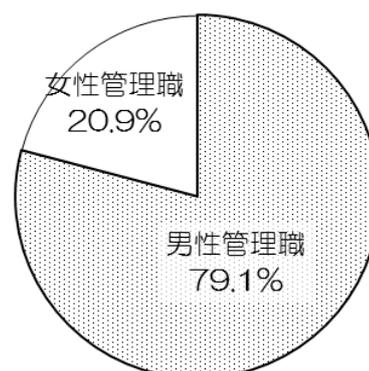
- ・武雄みたいに小企業の多い町で、育休・介護休がはたして取れるのか、現実をどう変えていったらいいのか。
- ・(経営者側より)育休・産休・介護休を就業規則に記載をしているが、育休、産休については、そのまま離職。介護休は取るのをためらう方がいる。

## 設問6 女性の活躍推進について

- 取り組んでいる    □ 今後取り組むこととしている  
 ■ 今のところ取り組む予定はない    □ 未回答

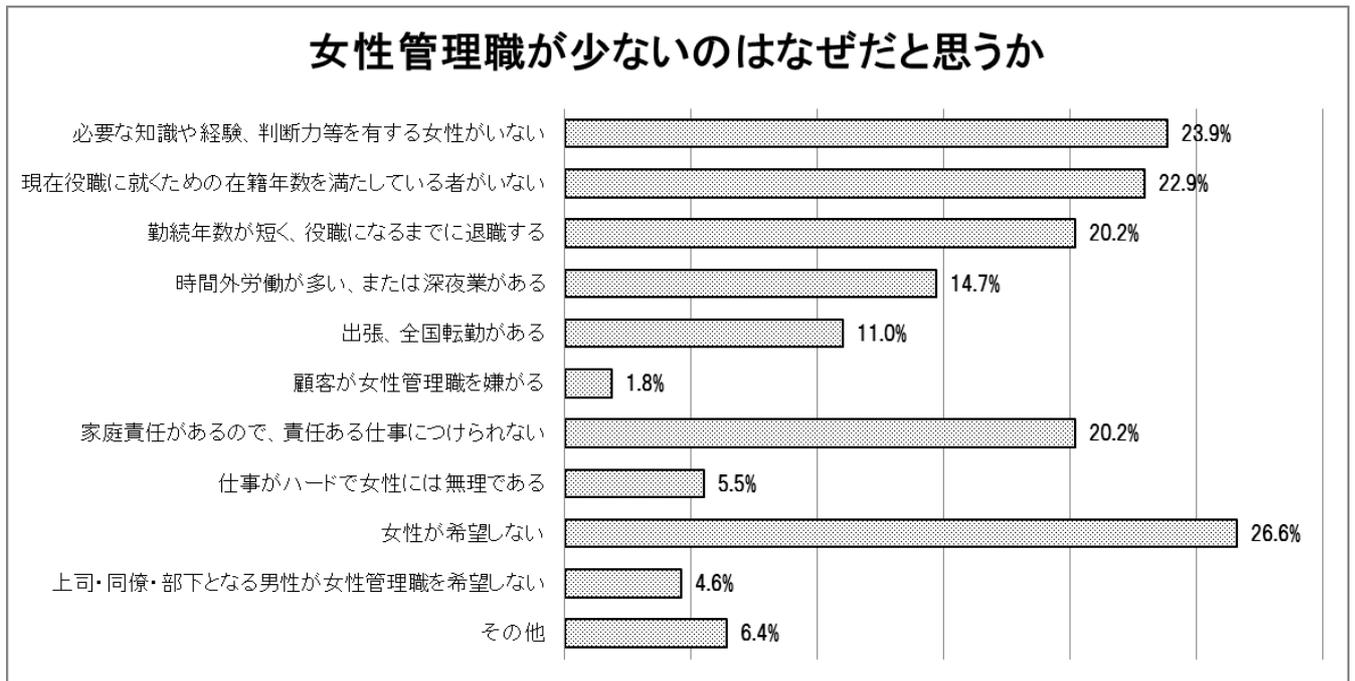


## 設問7 管理職の人数



※前回調査時：女性管理職の割合14%

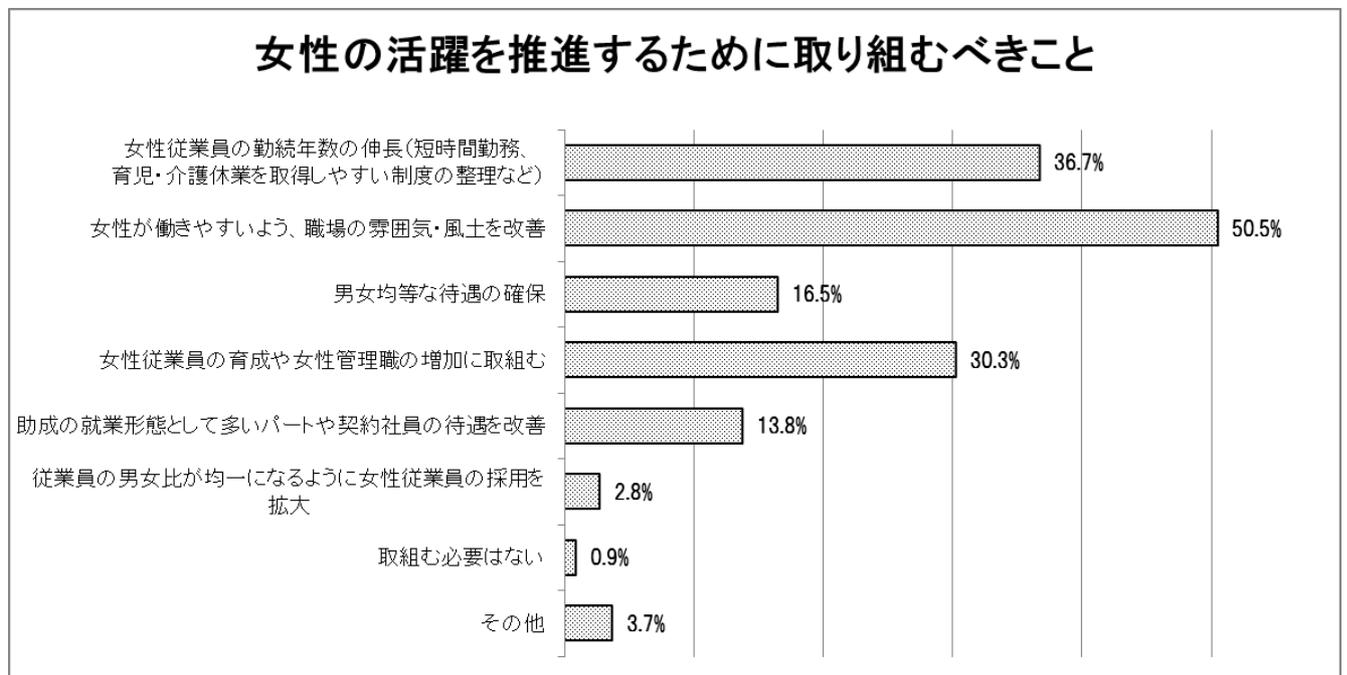
## 設問8. 女性管理職が少ないのはなぜか。(複数回答)



#### 【その他：自由記載】

- ・女性職員がいらない ・女性職員の人数が少ない
- ・事業規模・業種によっても異なる
- ・家庭と仕事の両立の難しさ(周りのサポート体制が十分に整っているかどうか)
- ・結婚・出産・家庭に入るなどキャリアが続かない、もしくは本人が望まない

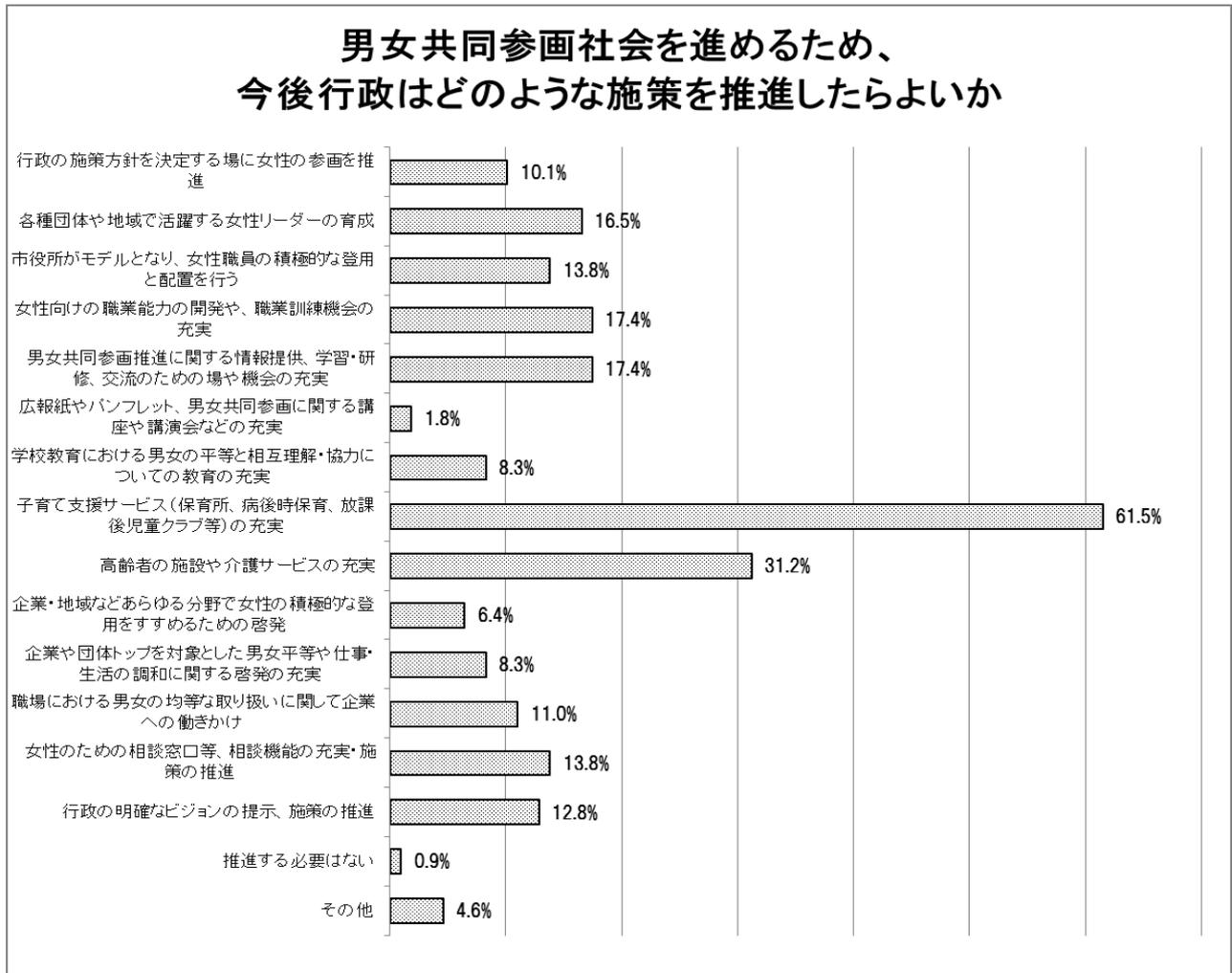
## 設問9. 女性の活躍を推進するために取り組むべきこと(2つまで)



#### 【その他：自由記載】

- ・時間外労働を減らす
- ・保育士確保のため、国や市の支援が必要。保育士がいないと預かりたくても預かれない現状
- ・育児中の主に育児に関わっている従業員のシフトに対応していくための制度

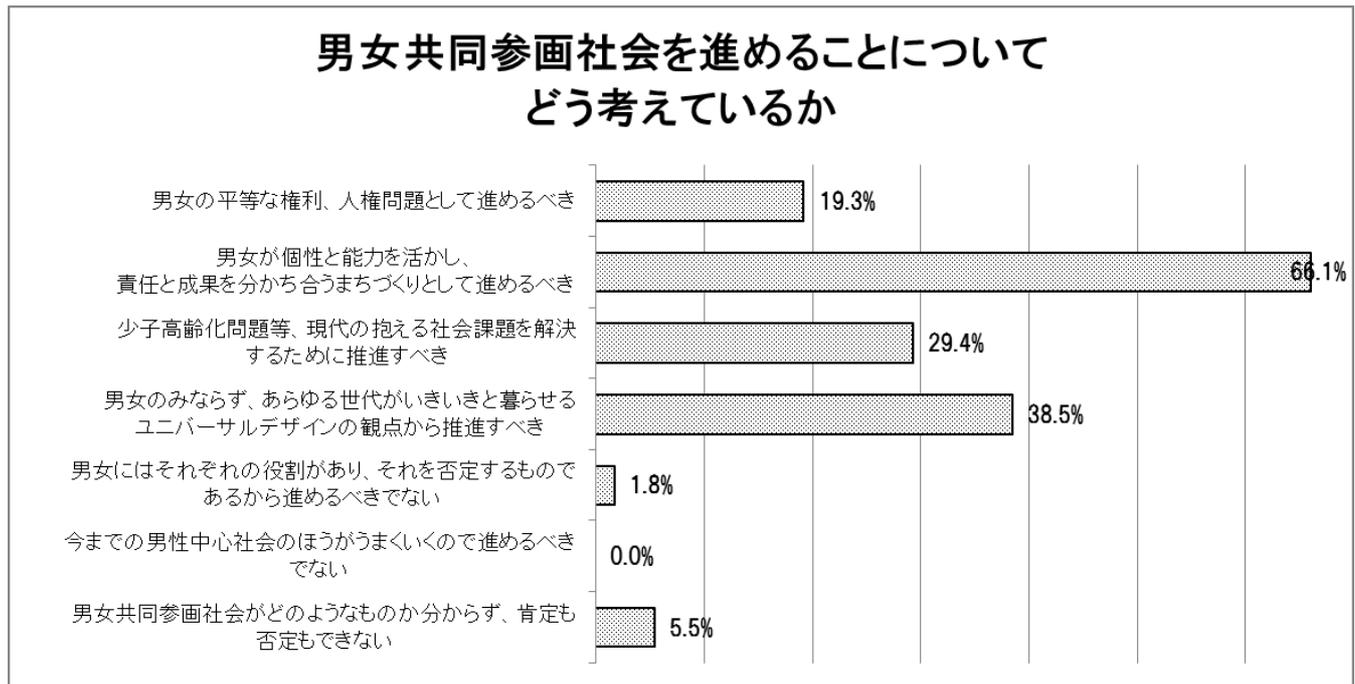
## 設問10. 今後、行政がすべき施策(3つまで)



### 【その他：自由記載】

- ・男女共同参画社会を進める会社への優遇等
- ・児童クラブも夜間対応してほしい
- ・共働きしなくても生活できる社会になれば、できれば家庭に専念したいと思っている方が多いと思う
- ・保育士育成、確保のための支援・援助が重要
- ・行政で働いている方の意識改革 ・個人の意見も必要である

設問11. 男女共同参画社会を進めることについて、貴事業所・貴社の考えに近いもの(2つまで)



【その他：自由記載】

- ・元々女性が多い職場なので、男女というより社会人としての人間性の成長を目標としている
- ・仕事に対する個人が望む意見を聞くことも必要

## 第4部 地域における男女共同参画実態調査

---

### 調査の概要

1. 調査目的 地域での男女共同参画意識を調査検証するため
2. 調査対象 武雄市内行政区
3. 調査時期 平成28年9月
4. 調査結果利用上の注意事項  
本文中の回答の表示については小数点第1位を四捨五入している。

# 地域での男女共同参画実態調査を実施しました

平成28年9月実施

武雄市での地域役員における女性の参画について、また、区で行なう共同作業への出不足金徴収についての調査を実施しました。

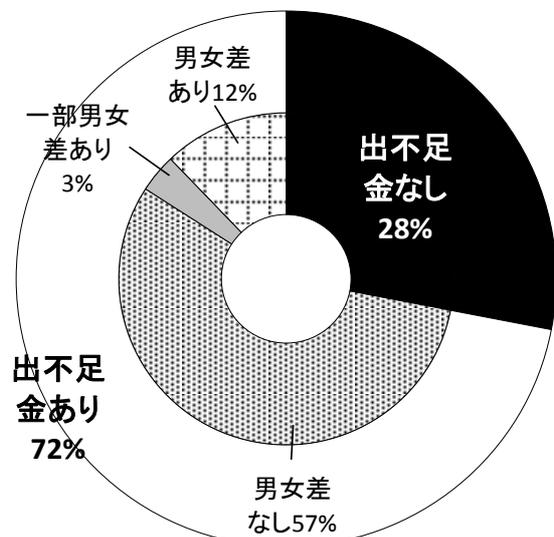
調査依頼先(回答者) : 市内行政区区長	回答数 107	回答率 100%
----------------------	---------	----------

## ◆地域の役職について

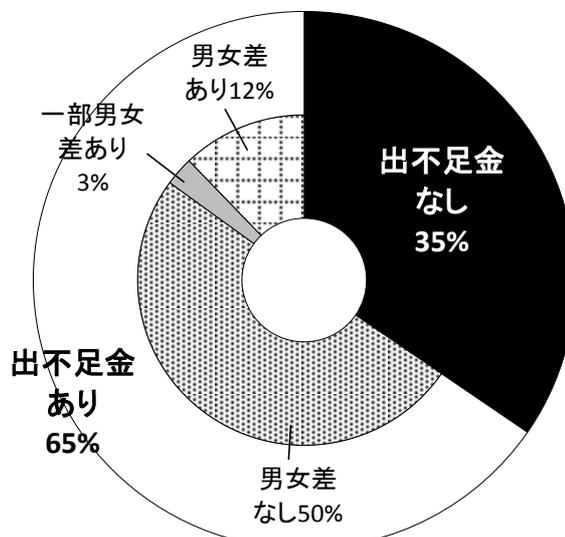
役職名	性別	昨年結果(107区)	選出方法(複数回答)			
区長	男性 106 女性 1	男性 106 女性 1	①選挙 51	②推薦・議決機関での話し合い 57	③他の役職と兼任 1	④その他 2
自治公民館長	男性 95 女性 0	男性 132 女性 1	①選挙 20	②推薦・議決機関での話し合い 48	③他の役職と兼任 34	④その他 5
副区長・区長代理	男性 94 女性 0	男性 96 女性 1	①選挙 13	②推薦・議決機関での話し合い 46	③他の役職と兼任 12	④その他 23
会計	男性 96 女性 6	男性 99 女性 4	①選挙 5	②推薦・議決機関での話し合い 46	③他の役職と兼任 35	④その他 16

## ◆出不足金がありますか？

H28年度調査



H27年度調査



## ＜出不足金についての意見＞（一部抜粋）

- ・ 市道、農道、林道等の総延長距離が長く区役が重労働になりつつあり、高齢化、人口減により益々男性の参加が必要で、差をなくすと女性の参加増が見込まれるため、やむえず差を継続している。
- ・ 草刈り作業等で男性は草刈り機を使って作業しているが、女性の方は作業軽減のため、刈った草の後片付けなどをしてもらっている。
- ・ 出不足金については代々区で決まっているので徴収しているが、今後見直したい。
- ・ 従前から区の慣習でもあり、又現在懸案事項でもある。今後「区費の徴収基準」の見直しを、共に男女が対等に参加できるよう検討していきたい。

## ＜地域活動で感じる男女共同参画についての意見＞（一部抜粋）

- ・ 地域の役職等は女性を積極的に活用している。
- ・ 地域活動では草刈などは男女の差があるが、会議等での差はないと思うので女性と共に話し合いをしていきたいと思う。
- ・ 区会では、男の役員さんが仕事で遅くなったりした時などは奥さんが来られるので、参加されるいいチャンスだと思う。
- ・ 一般的活動においては女性の参加が男性より多い。
- ・ 戸数が少なく範囲も広い為（草刈り等）大変だろうと、積極的に男女問わず参加してもらい助け合っている。
- ・ 地域役職（班長）等に女性を積極的に活用した地域活動においては、男女の役割分担がバランスよくできていると思われる。役員については、女性の進出がもっとあっても良いと思うが、女性の意識は消極的な面が強く感じられる。
- ・ 人手不足によって男女差をつける必要なく、女性で出来る作業もあると思う。

H27年調査時に出不足金を徴収する地区が7%増であったが、出不足金がある地区のうち、男女差がない地区は昨年に比べ7%増となった。一方、男女差がある地区及び一部の班のみ男女差があるとの回答は昨年と同じ比率となり、全体的にH27年調査時とさほど変化がなく推移している。

地域からの意見として、出不足金に男女差を設けるのは作業内容によってはやむを得ないという意見や、見直したいが地区の慣習等があり難しいと悩まれている地区もあるようだ。女性の登用については、役員を積極的に活動しているという肯定的な意見が多くみられる。しかし、女性が消極的であることも、女性の登用が進まない一因との意見も多い。

どの地区も少子化・高齢化の影響を受け、役員の成り手不足や地域活動の参加者減少が顕著となり、女性の活躍は欠かせないものとなっている。男女の特性を生かした地域の有り方や体制を見直していく地区が増えている。



## Ⅲ. 調査集計表・調査票

- ◇男女共同参画社会づくりのための武雄市民意識調査集計表  
(武雄市内16歳以上男女の意識調査)
- ◇男女共同参画社会づくりのための武雄市民意識調査票  
(武雄市内16歳以上男女の意識調査)
- ◇男女共同参画社会づくりのための武雄市民意識調査票  
(武雄市内中学校3年生の意識調査)
- ◇武雄市における男女共同参画に関するアンケート調査票  
(武雄市内事業所を対象としたアンケート調査)
- ◇地域での男女共同参画実態調査票  
(武雄市内行政区を対象とした調査)

◆あなたご自身やあなたのご家族のことについて

Q3-1 婚姻の有無

	結婚している (事実婚を含む)	結婚したが 離別・死別	結婚して いない	無回答	合計
女性	218	40	49	3	310
10代	0	0	15	0	15
20代	9	2	13	0	24
30代	39	1	7	1	48
40代	35	5	6	0	46
50代	46	5	3	0	54
60代	63	10	3	1	77
70代以上	26	17	2	1	46
男性	153	18	51	2	224
10代	0	0	10	0	10
20代	4	0	16	0	20
30代	19	1	9	0	29
40代	18	3	3	1	25
50代	30	4	8	0	42
60代	52	6	5	0	63
70代以上	30	4	0	1	35
その他	2	0	1	2	5
40代	0	0	1	0	1
70代以上	2	0	0	0	2
無回答	0	0	0	2	2
計	373	58	101	7	539

Q3-2 共働きの状況

	共働き (パート を含む)	共働きで ない	無回答	合計
女性	132	69	17	218
10代	0	0	0	0
20代	7	2	0	9
30代	32	7	0	39
40代	29	5	1	35
50代	35	10	1	46
60代	26	31	6	63
70代以上	3	14	9	26
男性	88	55	10	153
10代	0	0	0	0
20代	3	1	0	4
30代	12	7	0	19
40代	17	1	0	18
50代	27	3	0	30
60代	23	28	1	52
70代以上	6	15	9	30
その他	1	1	0	2
40代	0	0	0	0
70代以上	1	1	0	2
無回答	0	0	0	0
計	221	125	27	373

Q4 家族構成

	単身世帯 (65歳 未満)	単身世帯 (65歳以 上)	夫婦のみ の世帯	2世代世帯 (親と子 ども)	3世代世帯 (親と子 どもと孫)	その他の世帯	無回答	合計
女性	18	15	65	132	58	21	2	311
10代	0	0	0	6	8	1	0	15
20代	2	1	2	12	5	1	1	24
30代	5	0	5	30	4	4	0	48
40代	3	0	5	24	11	3	0	46
50代	4	1	14	26	7	2	0	54
60代	3	5	28	25	14	3	0	78
70代以上	1	8	11	9	9	7	1	46
男性	17	9	50	86	40	16	7	224
10代	0	0	0	6	2	2	0	10
20代	3	1	0	8	3	5	0	20
30代	4	1	5	15	4	0	0	29
40代	1	0	2	11	8	2	1	25
50代	4	1	7	16	8	3	3	42
60代	5	3	20	22	10	3	0	63
70代以上	0	3	16	7	5	1	3	35
その他	0	0	1	1	0	1	2	5
40代	0	0	0	1	0	0	0	1
70代以上	0	0	1	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	2	2
計	35	24	116	219	98	38	11	540

Q5 職業(本人)	会社役員 管理職	正社員		公務員	契約社員 派遣社員	常勤 パート	臨時 アルバイト	専業主婦 主夫	自営業			家族従事者			学生	無職	無回答	合計
		一般職	技術職						農林漁 業	商工サービ ス	その他	農林漁 業	商工サービ ス	その他				
女性	5	49	20	12	14	50	16	44	5	5	8	1	4	3	15	54	5	310
10代	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	15
20代	0	7	2	2	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	24
30代	1	13	5	3	4	10	1	6	0	1	2	0	0	0	0	2	0	48
40代	1	11	6	3	0	11	4	5	2	1	1	0	0	0	0	1	0	46
50代	1	14	4	3	5	11	1	7	0	0	4	0	2	1	0	1	0	54
60代	2	2	2	1	3	16	4	23	2	2	1	1	1	2	0	13	3	77
70代以上	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	1	0	0	36	2	46
男性	15	48	26	12	10	5	11	1	12	7	20	1	0	0	13	40	4	225
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1	0	10
20代	0	2	10	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	20
30代	3	13	6	3	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	29
40代	1	10	3	5	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	25
50代	5	15	3	3	4	0	0	0	3	2	5	0	0	0	0	3	0	43
60代	5	7	4	1	4	3	6	1	6	4	7	1	0	0	0	13	1	63
70代以上	1	1	0	0	0	0	1	0	3	0	5	0	0	0	0	22	2	35
その他	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	5
40代	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
70代以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	21	97	46	24	24	56	27	45	17	12	28	2	4	3	28	95	11	540

Q6 職業(配偶者)	会社役員 管理職	正社員		公務員	契約社員 派遣社員	常勤 パート	臨時 アルバイト	専業主婦 主夫	自営業			家族従事者			学生	無職	無回答	合計
		一般職	技術職						農林漁 業	商工サービ ス	その他	農林漁 業	商工サービ ス	その他				
女性	16	61	20	16	10	5	5	4	11	5	16	1	0	1	0	39	8	218
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	1	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	9
30代	3	22	7	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	39
40代	4	14	4	7	3	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	35
50代	3	18	4	5	1	3	0	0	1	1	7	0	0	0	0	3	0	46
60代	5	4	2	1	4	1	4	4	7	2	7	0	0	0	0	17	5	63
70代以上	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	19	2	26
男性	0	21	8	7	6	29	14	13	4	3	7	1	0	1	0	32	7	153
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
30代	0	2	0	0	4	5	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	19
40代	0	9	1	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	18
50代	0	5	4	2	2	9	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	30
60代	0	3	2	1	0	11	6	7	2	2	3	0	0	1	0	12	2	52
70代以上	0	1	0	0	0	1	3	2	2	0	3	0	0	0	0	15	3	30
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
70代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16	82	28	24	16	34	19	17	15	8	23	2	0	2	0	72	15	373

問1 男女の地位の平等感  
ア 社会全体で

	女性の方が 優遇されている	どちらかといえば 女性が優遇	平等	どちらかといえば 男性が優遇	男性の方が 優遇されている	わからない	無回答	合計
女性	4	24	29	148	60	32	13	310
10代	0	2	3	7	0	3	0	15
20代	0	2	4	10	6	2	0	24
30代	0	5	5	21	8	7	2	48
40代	2	6	7	17	9	4	1	46
50代	1	1	3	34	11	2	2	54
60代	0	4	3	41	19	5	5	77
70代以上	1	4	4	18	7	9	3	46
男性	2	23	44	101	33	12	9	224
10代	0	0	4	4	0	2	0	10
20代	0	4	5	9	1	1	0	20
30代	0	3	5	10	7	3	1	29
40代	0	2	2	16	4	0	1	25
50代	1	5	5	20	8	1	2	42
60代	0	8	14	26	9	4	2	63
70代以上	1	1	9	16	4	1	3	35
その他	0	0	0	2	0	2	1	5
40代	0	0	0	1	0	0	0	1
70代以上	0	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	0	1	0	0	1	2
計	6	47	73	251	93	46	23	539

イ 家庭生活

	女性の方が 優遇されている	どちらかといえば 女性が優遇	平等	どちらかといえば 男性が優遇	男性の方が 優遇されている	わからない	無回答	合計
女性	4	20	79	108	66	20	13	310
10代	0	3	4	5	1	2	0	15
20代	1	1	13	4	4	1	0	24
30代	0	4	15	15	8	3	3	48
40代	0	1	12	18	11	4	0	46
50代	1	3	8	26	12	3	1	54
60代	1	4	18	27	22	1	4	77
70代以上	1	4	9	13	8	6	5	46
男性	1	17	72	80	28	14	12	224
10代	0	1	3	3	1	2	0	10
20代	1	4	7	5	0	2	1	20
30代	0	3	9	11	2	3	1	29
40代	0	3	7	9	4	1	1	25
50代	0	0	8	18	11	3	2	42
60代	0	5	26	24	5	2	1	63
70代以上	0	1	12	10	5	1	6	35
その他	0	0	2	0	2	0	1	5
40代	0	0	1	0	0	0	0	1
70代以上	0	0	1	0	1	0	0	2
無回答	0	0	0	0	1	0	1	2
計	5	37	153	188	96	34	26	539

ウ 職場

	女性の方が 優遇されている	どちらかといえば 女性が優遇	平等	どちらかといえば 男性が優遇	男性の方が 優遇されている	わからない	無回答	合計
女性	0	15	73	107	65	39	11	310
10代	0	0	6	3	2	4	0	15
20代	0	1	7	8	3	5	0	24
30代	0	3	13	16	11	3	2	48
40代	0	1	17	16	8	3	1	46
50代	0	5	9	23	13	3	1	54
60代	0	3	16	29	17	8	4	77
70代以上	0	2	5	12	11	13	3	46
男性	0	23	57	74	38	19	14	225
10代	0	0	3	3	0	4	0	10
20代	0	3	7	7	2	0	1	20
30代	0	5	7	10	4	2	1	29
40代	0	5	6	9	3	1	1	25
50代	0	3	12	10	12	2	4	43
60代	0	6	16	25	11	3	2	63
70代以上	0	1	6	10	6	7	5	35
その他	0	0	1	0	2	1	1	5
40代	0	0	1	0	0	0	0	1
70代以上	0	0	0	0	1	1	0	2
無回答	0	0	0	0	1	0	1	2
計	0	38	131	181	105	59	26	540

エ 学校教育の場

	女性の方が 優遇されている	どちらかといえば 女性が優遇	平等	どちらかといえば 男性が優遇	男性の方が 優遇されている	わからない	無回答	合計
女性	0	9	151	43	15	74	18	310
10代	0	3	9	1	0	2	0	15
20代	0	0	15	3	0	6	0	24
30代	0	0	26	7	0	13	2	48
40代	0	1	35	4	1	5	0	46
50代	0	0	26	11	5	10	2	54
60代	0	5	26	10	5	23	8	77
70代以上	0	0	14	7	4	15	6	46
男性	1	9	120	23	4	55	12	224
10代	0	0	8	1	0	1	0	10
20代	0	2	10	4	0	3	1	20
30代	0	2	17	1	0	9	0	29
40代	0	2	16	3	0	3	1	25
50代	0	1	29	4	1	4	3	42
60代	1	2	25	7	3	23	2	63
70代以上	0	0	15	3	0	12	5	35
その他	0	0	0	0	2	2	1	5
40代	0	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	1	1	0	2
無回答	0	0	0	0	1	0	1	2
計	1	18	271	66	21	131	31	539

オ 地域・社会活動の場

	女性の方が 優遇されている	どちらかといえば 女性が優遇	平等	どちらかといえば 男性が優遇	男性の方が 優遇されている	わからない	無回答	合計
女性	0	9	81	129	43	35	15	312
10代	0	0	9	3	0	3	0	15
20代	0	1	9	8	2	5	0	25
30代	0	1	14	17	4	10	2	48
40代	0	2	12	23	4	5	0	46
50代	0	1	10	28	11	3	1	54
60代	0	3	13	36	15	4	6	77
70代以上	0	1	14	14	7	5	6	47
男性	0	13	74	80	19	22	16	224
10代	0	0	6	1	0	3	0	10
20代	0	2	10	4	0	3	1	20
30代	0	2	9	10	1	5	2	29
40代	0	1	7	9	4	2	2	25
50代	0	3	15	13	4	3	4	42
60代	0	3	17	27	8	5	3	63
70代以上	0	2	10	16	2	1	4	35
その他	0	0	0	0	1	2	2	5
40代	0	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	0	1	1	2
無回答	0	0	0	0	1	0	1	2
計	0	22	155	209	63	59	33	541

カ 社会通念・習慣・しきたり

	女性の方が 優遇されている	どちらかといえば 女性が優遇	平等	どちらかといえば 男性が優遇	男性の方が 優遇されている	わからない	無回答	合計
女性	1	6	38	127	85	38	15	310
10代	1	2	4	4	1	3	0	15
20代	0	0	0	13	6	4	1	24
30代	0	0	6	18	12	10	2	48
40代	0	1	8	21	13	3	0	46
50代	0	1	5	22	20	5	1	54
60代	0	1	6	35	23	7	5	77
70代以上	0	1	9	14	10	6	6	46
男性	1	5	33	96	56	21	12	224
10代	0	0	2	4	2	2	0	10
20代	1	2	6	3	2	5	1	20
30代	0	1	4	11	8	4	1	29
40代	0	0	4	11	8	1	1	25
50代	0	0	4	21	12	2	3	42
60代	0	2	8	31	15	5	2	63
70代以上	0	0	5	15	9	2	4	35
その他	0	0	0	0	2	2	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	0	1
70代以上	0	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	0	0	1	0	1	2
計	2	11	71	223	143	61	28	539

キ 法律・制度

	女性の方が 優遇されている	どちらかといえば 女性が優遇	平等	どちらかといえば 男性が優遇	男性の方が 優遇されている	わからない	無回答	合計
女性	1	14	87	87	34	71	16	310
10代	1	1	7	4	0	2	0	15
20代	0	0	7	8	3	6	0	24
30代	0	0	12	14	5	15	2	48
40代	0	4	16	10	6	9	1	46
50代	0	5	15	19	6	8	1	54
60代	0	3	18	26	10	14	6	77
70代以上	0	1	12	6	4	17	6	46
男性	5	20	105	35	16	30	13	224
10代	1	0	6	1	0	2	0	10
20代	2	4	7	3	0	3	1	20
30代	1	8	11	2	2	4	1	29
40代	1	2	13	2	2	4	1	25
50代	0	2	20	11	4	2	3	42
60代	0	3	31	10	7	9	3	63
70代以上	0	1	17	6	1	6	4	35
その他	0	0	0	0	3	1	1	5
10代	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0	0	0	0
40代	0	0	0	0	1	0	0	1
50代	0	0	0	0	0	0	0	0
60代	0	0	0	0	0	0	0	0
70代以上	0	0	0	0	1	1	0	2
無回答	0	0	0	0	1	0	1	2
計	0	0	0	0	3	1	1	5

問2 結婚観

	結婚しなくては ならない	結婚したほうが よい	結婚しなくても よい	結婚しない ほうがよい	わからない	無回答	合計
女性	10	200	61	2	28	9	310
10代	0	10	4	0	1	0	15
20代	1	15	7	0	1	0	24
30代	0	29	11	0	6	2	48
40代	0	26	12	1	7	0	46
50代	2	38	9	0	4	1	54
60代	3	54	10	1	6	3	77
70代以上	4	28	8	0	3	3	46
男性	9	160	21	4	18	12	224
10代	0	4	1	0	4	1	10
20代	0	13	4	0	2	1	20
30代	2	22	4	0	1	0	29
40代	0	18	3	1	2	1	25
50代	1	31	3	2	2	3	42
60代	4	47	4	1	4	3	63
70代以上	2	25	2	0	3	3	35
その他	0	1	1	0	1	2	5
40代	0	0	1	0	0	0	1
70代以上	0	1	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	0	0	2	2
計	19	361	83	6	47	23	539

問3 夫婦・結婚・家庭に関する考え方

ア 夫は外で働き、妻は家庭を守るほうがよい

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない	無回答	合計
女性	29	66	44	153	10	8	310
10代	0	0	0	15	0	0	15
20代	4	6	3	11	0	0	24
30代	0	10	6	28	2	2	48
40代	2	11	4	27	2	0	46
50代	4	14	11	21	3	1	54
60代	7	14	15	37	1	3	77
70代以上	12	11	5	14	2	2	46
男性	17	62	29	101	7	9	225
10代	1	1	4	2	2	0	10
20代	0	6	5	9	0	0	20
30代	2	4	4	17	2	0	29
40代	2	4	4	14	0	1	25
50代	4	12	4	19	1	2	42
60代	5	19	5	32	1	2	64
70代以上	3	16	3	8	1	4	35
その他	0	0	0	1	2	2	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	1	1	2
無回答	0	0	0	1	0	1	2
計	46	128	73	255	19	19	540

イ 重要な決定をする時夫婦の意見が違ったら、夫の意見に従ったほうがよい

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない	無回答	合計
女性	16	55	57	159	16	7	310
10代	0	0	1	14	0	0	15
20代	0	1	4	16	3	0	24
30代	0	8	5	29	4	2	48
40代	2	7	7	29	1	0	46
50代	1	17	9	23	3	1	54
60代	7	12	19	35	2	2	77
70代以上	6	10	12	13	3	2	46
男性	11	42	40	101	17	13	224
10代	0	2	1	4	3	0	10
20代	1	1	5	10	3	0	20
30代	0	6	3	16	2	2	29
40代	0	5	4	13	2	1	25
50代	2	5	5	23	4	3	42
60代	4	14	12	29	2	2	63
70代以上	4	9	10	6	1	5	35
その他	0	0	0	1	2	2	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	1	1	2
無回答	0	0	0	1	0	1	2
計	27	97	97	261	35	22	539

ウ 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない	無回答	合計
女性	17	100	74	94	17	8	310
10代	1	2	6	3	3	0	15
20代	1	6	7	8	2	0	24
30代	2	18	12	11	3	2	48
40代	1	9	13	21	2	0	46
50代	1	20	11	17	4	1	54
60代	5	28	18	21	2	3	77
70代以上	6	17	7	13	1	2	46
男性	16	58	42	89	8	11	224
10代	1	4	1	2	2	0	10
20代	1	5	4	9	1	0	20
30代	0	4	4	17	2	2	29
40代	0	5	10	9	0	1	25
50代	5	5	8	20	2	2	42
60代	5	21	12	23	0	2	63
70代以上	4	14	3	9	1	4	35
その他	1	0	0	1	2	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	1	0	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	1	0	1	2
計	34	158	116	184	27	20	539

エ 結婚してもうまくいかなければ、離婚してやり直す方がよい

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない	無回答	合計
女性	53	108	33	53	58	5	310
10代	4	6	2	1	2	0	15
20代	5	8	1	3	7	0	24
30代	6	23	4	5	8	2	48
40代	10	13	7	6	10	0	46
50代	12	16	7	8	11	0	54
60代	10	27	9	16	13	2	77
70代以上	6	15	3	14	7	1	46
男性	39	60	36	47	31	11	224
10代	1	1	0	3	5	0	10
20代	1	5	6	5	3	0	20
30代	0	8	4	10	6	1	29
40代	6	8	2	3	5	1	25
50代	9	15	6	7	2	3	42
60代	13	17	12	13	7	1	63
70代以上	9	6	6	6	3	5	35
その他	1	0	0	0	2	2	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	1	1	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	93	168	69	100	91	18	539

問4 家事の分担

ア 家計を支える

	主に女性	同じ程度に 分担	主に男性	その他	該当しない	無回答	合計
女性	42	89	144	15	8	12	310
10代	4	4	7	0	0	0	15
20代	3	9	12	0	0	0	24
30代	4	14	24	2	1	3	48
40代	6	14	25	1	0	0	46
50代	7	14	30	3	0	0	54
60代	12	22	33	4	1	5	77
70代以上	6	12	13	5	6	4	46
男性	23	57	123	6	3	12	224
10代	2	3	5	0	0	0	10
20代	3	7	10	0	0	0	20
30代	6	5	16	0	2	0	29
40代	2	8	12	1	1	1	25
50代	0	13	23	1	0	5	42
60代	7	12	38	3	0	3	63
70代以上	3	9	19	1	0	3	35
その他	1	2	0	0	0	2	5
40代	0	1	0	0	0	0	1
70代以上	0	1	0	0	0	1	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	66	148	267	21	11	26	539

イ 日々の家計の管理

	主に女性	同じ程度に 分担	主に男性	その他	該当しない	無回答	合計
女性	211	46	27	13	6	7	310
10代	12	3	0	0	0	0	15
20代	20	3	1	0	0	0	24
30代	32	7	4	2	1	2	48
40代	34	5	5	2	0	0	46
50代	37	8	6	3	0	0	54
60代	48	16	7	3	1	2	77
70代以上	28	4	4	3	4	3	46
男性	139	38	22	5	6	14	224
10代	6	3	0	1	0	0	10
20代	14	6	0	0	0	0	20
30代	20	5	2	0	2	0	29
40代	14	4	4	0	1	2	25
50代	23	7	5	0	2	5	42
60代	40	10	6	3	1	3	63
70代以上	22	3	5	1	0	4	35
その他	3	1	0	0	0	1	5
40代	1	0	0	0	0	0	1
70代以上	1	1	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	353	85	49	18	12	22	539

ウ 掃除

	主に女性	同じ程度に 分担	主に男性	その他	該当しない	無回答	合計
女性	227	55	2	12	5	9	310
10代	12	3	0	0	0	0	15
20代	18	4	0	1	1	0	24
30代	33	11	1	1	0	2	48
40代	35	9	0	1	0	1	46
50代	38	12	0	4	0	0	54
60代	60	12	0	2	0	3	77
70代以上	31	4	1	3	4	3	46
男性	133	56	10	9	3	13	224
10代	6	3	0	0	1	0	10
20代	13	7	0	0	0	0	20
30代	21	6	0	0	2	0	29
40代	13	8	2	1	0	1	25
50代	25	8	3	2	0	4	42
60代	33	16	5	5	0	4	63
70代以上	22	8	0	1	0	4	35
その他	2	2	0	0	0	1	5
40代	0	1	0	0	0	0	1
70代以上	1	1	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	362	113	12	21	8	23	539

エ 洗濯

	主に女性	同じ程度に 分担	主に男性	その他	該当しない	無回答	合計
女性	248	40	3	7	5	7	310
10代	12	3	0	0	0	0	15
20代	19	4	0	0	1	0	24
30代	34	10	1	1	0	2	48
40代	35	8	2	1	0	0	46
50代	47	4	0	3	0	0	54
60代	68	7	0	0	0	2	77
70代以上	33	4	0	2	4	3	46
男性	161	34	8	5	4	12	224
10代	8	2	0	0	0	0	10
20代	15	5	0	0	0	0	20
30代	20	6	1	0	2	0	29
40代	15	6	2	1	0	1	25
50代	27	6	2	1	2	4	42
60代	49	4	3	3	0	4	63
70代以上	27	5	0	0	0	3	35
その他	3	1	0	0	0	1	5
40代	1	0	0	0	0	0	1
70代以上	1	1	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	412	75	11	12	9	20	539

オ 食事のしたく、後片付け

	主に女性	同じ程度に 分担	主に男性	その他	該当しない	無回答	合計
女性	253	34	1	7	5	10	310
10代	13	1	1	0	0	0	15
20代	20	3	0	0	1	0	24
30代	39	6	0	1	0	2	48
40代	40	5	0	1	0	0	46
50代	43	7	0	3	0	1	54
60代	63	9	0	1	0	4	77
70代以上	35	3	0	1	4	3	46
男性	154	44	7	6	3	10	224
10代	7	3	0	0	0	0	10
20代	14	6	0	0	0	0	20
30代	22	5	0	0	2	0	29
40代	11	10	2	1	0	1	25
50代	26	9	2	2	0	3	42
60代	46	7	3	3	1	3	63
70代以上	28	4	0	0	0	3	35
その他	3	1	0	0	0	1	5
40代	1	0	0	0	0	0	1
70代以上	1	1	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	410	79	8	13	8	21	539

カ 育児、子どもの世話

	主に女性	同じ程度に 分担	主に男性	その他	該当しない	無回答	合計
女性	162	65	3	5	61	15	311
10代	9	5	0	0	1	0	15
20代	11	5	0	0	8	1	25
30代	30	9	0	0	7	2	48
40代	25	13	0	1	7	0	46
50代	29	14	0	1	9	1	54
60代	41	14	1	1	15	5	77
70代以上	17	5	2	2	14	6	46
男性	94	56	4	2	55	14	225
10代	4	5	0	0	1	0	10
20代	11	7	0	0	2	0	20
30代	9	11	0	0	9	0	29
40代	9	7	4	0	3	2	25
50代	20	8	0	0	9	5	42
60代	26	14	0	1	20	3	64
70代以上	15	4	0	1	11	4	35
その他	1	0	0	0	3	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	2	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	257	121	7	7	119	30	541

キ 家族の世話(介護)

	主に女性	同じ程度に 分担	主に男性	その他	該当しない	無回答	合計
女性	109	58	1	13	112	17	310
10代	3	2	0	0	10	0	15
20代	8	7	0	1	7	1	24
30代	16	4	0	0	26	2	48
40代	17	11	0	3	15	0	46
50代	16	15	0	2	19	2	54
60代	31	15	1	2	22	6	77
70代以上	18	4	0	5	13	6	46
男性	55	65	7	5	78	14	224
10代	2	4	0	0	4	0	10
20代	5	8	0	0	7	0	20
30代	8	8	0	0	13	0	29
40代	7	7	4	1	5	1	25
50代	8	12	2	1	15	4	42
60代	17	17	1	2	22	4	63
70代以上	8	9	0	1	12	5	35
その他	1	0	0	0	3	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	2	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	165	123	8	18	193	32	539

ク 県下一斉美化活動などの地域活動

	主に女性	同じ程度に 分担	主に男性	その他	該当しない	無回答	合計
女性	75	105	79	20	21	10	310
10代	1	9	4	0	1	0	15
20代	5	8	6	2	3	0	24
30代	10	15	11	3	7	2	48
40代	11	22	10	1	2	0	46
50代	18	16	15	4	1	0	54
60代	20	21	27	4	1	4	77
70代以上	10	14	6	6	6	4	46
男性	26	94	78	7	9	10	224
10代	2	4	2	0	2	0	10
20代	6	11	3	0	0	0	20
30代	4	9	13	0	3	0	29
40代	0	12	10	1	1	1	25
50代	7	22	6	1	2	4	42
60代	2	24	30	5	0	2	63
70代以上	5	12	14	0	1	3	35
その他	2	1	0	1	0	1	5
40代	0	1	0	0	0	0	1
70代以上	1	0	0	1	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	103	200	157	28	30	21	539

問5 こどもの教育に対する考え方

ア 男女ともに、同等に経済的に自立できるように育てた方がよい

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	合計
女性	212	78	2	0	11	7	310
10代	14	1	0	0	0	0	15
20代	18	4	1	0	1	0	24
30代	27	16	0	0	3	2	48
40代	32	10	1	0	3	0	46
50代	39	13	0	0	2	0	54
60代	55	20	0	0	0	2	77
70代以上	27	14	0	0	2	3	46
男性	141	59	4	1	11	8	224
10代	6	3	0	0	1	0	10
20代	13	4	1	0	2	0	20
30代	16	8	0	1	4	0	29
40代	16	5	0	0	2	2	25
50代	27	10	3	0	0	2	42
60代	42	20	0	0	0	1	63
70代以上	21	9	0	0	2	3	35
その他	2	1	0	0	1	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	1	1	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	355	138	6	1	23	16	539

イ 男女ともに、炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけるように育てた方がよい

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	合計
女性	208	88	2	0	6	7	311
10代	13	2	0	0	0	0	15
20代	20	4	0	0	0	0	24
30代	33	12	0	0	1	2	48
40代	34	11	0	0	1	0	46
50代	39	15	0	0	0	0	54
60代	48	25	0	0	2	2	77
70代以上	21	19	2	0	2	3	47
男性	119	80	7	0	7	11	224
10代	4	4	1	0	1	0	10
20代	15	3	0	0	2	0	20
30代	21	6	1	0	1	0	29
40代	16	7	0	0	0	2	25
50代	22	16	1	0	0	3	42
60代	29	30	2	0	0	2	63
70代以上	12	14	2	0	3	4	35
その他	2	1	0	0	1	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	1	1	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	329	169	9	0	14	19	540

ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	合計
女性	72	132	31	16	51	8	310
10代	1	6	4	1	3	0	15
20代	4	7	4	4	5	0	24
30代	9	17	7	3	10	2	48
40代	9	15	5	4	13	0	46
50代	16	26	4	2	6	0	54
60代	19	42	3	2	9	2	77
70代以上	14	19	4	0	5	4	46
男性	83	81	15	3	30	12	224
10代	3	4	0	0	3	0	10
20代	5	8	3	0	4	0	20
30代	9	8	3	0	9	0	29
40代	7	10	3	1	2	2	25
50代	18	15	1	1	3	4	42
60代	27	23	4	1	6	2	63
70代以上	14	13	1	0	3	4	35
その他	1	0	0	1	2	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	1	0	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	1	0	1	2
計	156	213	46	20	83	21	539

エ 男女ともに同じ程度の学歴を持たせた方がよい

	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらかといえ ば反対	反対	わからない	無回答	合計
女性	142	102	14	2	42	8	310
10代	7	6	0	0	2	0	15
20代	11	4	1	2	6	0	24
30代	19	13	2	0	11	3	48
40代	22	12	3	0	9	0	46
50代	28	20	2	0	4	0	54
60代	36	29	3	0	7	2	77
70代以上	19	18	3	0	3	3	46
男性	117	65	8	5	19	10	224
10代	5	3	0	0	2	0	10
20代	10	6	2	0	2	0	20
30代	16	6	1	1	5	0	29
40代	14	7	1	1	0	2	25
50代	25	11	2	0	1	3	42
60代	30	23	2	2	4	2	63
70代以上	17	9	0	1	5	3	35
その他	2	0	0	0	2	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	1	0	0	0	1	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	261	167	22	7	63	19	539

問6 少子化傾向の理由(2つまで)

	女性の社 会進出が 進んだか ら	晩婚傾向に あり、子ども 間が短くな っているから	結婚をしな い人が増え ているから	雇用状況が 不安定にな ったから	出産・子育て での負担とな り、仕事と の両立が困 難だから	子育てでの 経済的負担 が大きいから	わが国の将 来を考えると、子ども の将来について 明るい見込みが ないから	親が子育て よりも自分の 生活を楽しみたい から	子育てを サポートする サービスが不十分 だから	育児休業法 に基づく子育て 支援制度が活用し づらいから	少なく産ん で大切に育 いたいと思う人 が多いから	その他	わからない	無回答	合計
女性	39	98	124	51	74	86	16	30	30	19	14	3	12	10	606
10代	1	6	8	1	1	8	0	1	2	1	1	0	0	0	30
20代	3	5	8	6	5	9	2	1	2	5	1	0	1	0	48
30代	7	14	13	10	20	15	2	1	10	4	1	1	0	0	98
40代	3	18	15	7	11	10	1	10	6	1	1	1	2	2	88
50代	4	20	21	11	15	18	2	8	5	1	2	0	1	0	108
60代	12	24	37	13	17	19	7	6	5	5	5	1	2	1	154
70代以上	9	11	22	3	5	7	2	3	0	2	3	0	6	7	80
男性	42	64	109	41	35	65	11	21	17	12	11	3	7	4	442
10代	1	4	6	0	2	2	0	1	2	1	0	0	0	0	19
20代	2	6	9	6	4	6	1	1	2	2	0	0	1	0	40
30代	3	10	21	7	7	8	2	2	3	1	0	0	1	0	62
40代	4	9	10	7	2	11	1	1	1	0	1	0	0	1	49
50代	10	13	22	6	5	12	2	5	3	0	1	3	0	1	83
60代	14	15	27	9	12	18	2	6	5	4	5	0	3	1	121
70代以上	8	7	14	6	6	8	3	5	1	3	4	0	2	1	68
その他	1	2	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9
40代	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
70代以上	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
計	82	164	235	94	109	151	28	51	47	31	25	6	19	15	1,057

問7 職業の有無

	持っている	持っていない	無回答	合計
女性	192	112	6	310
10代	6	9	0	15
20代	20	4	0	24
30代	40	8	0	48
40代	38	6	2	46
50代	45	9	0	54
60代	40	37	0	77
70代以上	3	39	4	46
男性	161	60	3	224
10代	3	7	0	10
20代	16	4	0	20
30代	28	1	0	29
40代	23	1	1	25
50代	38	3	1	42
60代	47	16	0	63
70代以上	6	28	1	35
その他	4	0	1	5
40代	1	0	0	1
70代以上	2	0	0	2
無回答	1	0	1	2
計	357	172	10	539

問8 職業をもっている主な理由(2つまで)											
	家業だから	生計を維持するため	家計を補助するため	経済的に自立するため	自分の自由に なるお金が欲しいから	自分の能力、 技術、資格を生かすため	社会に役立ちたいから	気持ちにハッキリ 持ちたいから	その他	無回答	合計
女性	19	83	85	20	35	35	21	41	2	0	341
10代	0	0	2	1	4	0	1	1	0	0	9
20代	0	8	6	4	9	2	4	2	0	0	35
30代	4	20	19	4	6	9	4	6	0	0	72
40代	1	19	16	6	5	11	4	4	1	0	67
50代	5	20	26	1	5	7	5	10	0	0	79
60代	8	16	15	4	6	6	2	17	0	0	74
70代以上	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5
男性	19	121	31	33	21	16	22	19	5	0	287
10代	0	0	1	2	1	0	2	0	0	0	6
20代	0	7	6	5	7	2	2	0	0	0	29
30代	1	23	23	6	5	3	4	1	0	0	46
40代	1	21	3	5	3	0	6	2	0	0	41
50代	4	35	5	6	4	5	3	4	2	0	68
60代	11	34	7	8	3	4	5	10	3	0	85
70代以上	2	1	3	2	0	2	0	2	2	0	12
その他	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	6
40代	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
70代以上	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
無回答	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	38	207	117	53	56	51	43	60	9	0	634

問9 職業を持っていない主な理由(2つまで)											
	働く場所や仕事がないから	自分の健康状態が思わしくないから	自分自身、家庭にいるのがよいから	家事も立派な職業だから	家事・育児との両立が困難だから	病人や老親などの世話(介護)があるから	自分に適した仕事がないから	特に理由はなし	その他	無回答	合計
女性	11	23	14	18	5	13	9	17	38	7	155
10代	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	9
20代	0	1	0	0	0	1	1	0	3	0	5
30代	3	2	0	0	3	1	2	0	3	0	14
40代	1	1	4	1	1	0	1	1	0	0	10
50代	1	5	1	2	0	2	0	2	1	1	15
60代	5	5	5	8	1	6	3	8	10	2	53
70代以上	1	9	4	7	0	4	2	5	13	4	49
男性	9	12	21	0	0	3	6	15	34	1	82
10代	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	7
20代	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	4
30代	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
40代	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50代	1	2	0	0	0	3	0	0	7	0	6
60代	3	3	1	0	0	0	4	6	18	1	26
70代以上	3	4	1	0	0	0	1	8	1	0	36
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	35	16	18	5	16	15	32	72	8	237

問10 「女性が職業を持つことについて、どのように考えますか」									
	ずっと職業を もっている方 がよい	結婚するまで は職業をも ち、あとはも たない方がよ い	子どもがで きるまでは職 業をもたない方 がよい	子どもがで きたら職業を中 断し、子ども に手がかかって再 びもつ方がよ い	女性は職業を もたない方が よい	その他	わからない	無回答	合計
女性	143	2	4	128	0	13	15	6	311
10代	7	0	0	7	0	0	1	0	15
20代	8	0	0	11	0	3	2	0	24
30代	28	0	2	14	0	4	0	0	48
40代	24	0	0	15	0	2	3	2	46
50代	27	0	0	26	0	0	1	0	54
60代	32	0	2	36	0	4	3	1	78
70代以上	17	2	0	19	0	0	5	3	46
男性	82	3	12	107	0	3	14	3	224
10代	3	0	0	7	0	0	0	0	10
20代	5	0	0	11	0	1	3	0	20
30代	12	0	2	12	0	1	2	0	29
40代	13	0	1	10	0	0	0	1	25
50代	21	0	3	15	0	1	1	1	42
60代	19	2	3	33	0	0	6	0	63
70代以上	9	1	3	19	0	0	2	1	35
その他	3	0	0	0	0	0	1	1	5
40代	0	0	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	2	0	0	0	0	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	2
計	228	5	16	235	0	16	30	10	540

問11 「仕事」、「家庭生活」、「地域や個人の活動」の優先度(理想)										
	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域や個人の活動」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域や個人の活動」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先したい	わからない	無回答	合計
女性	17	72	2	110	4	25	51	21	4	8
10代	2	1	1	3	0	1	3	4	1	0
20代	3	6	0	7	0	3	4	1	0	0
30代	1	16	0	26	0	1	4	0	0	0
40代	3	7	0	18	0	2	12	2	2	46
50代	0	13	0	29	2	0	9	1	0	54
60代	8	17	0	23	1	9	14	5	7	77
70代以上	0	12	1	4	1	9	5	8	6	46
男性	16	44	5	72	11	22	41	10	10	225
10代	1	2	1	1	1	1	2	1	0	10
20代	0	6	0	7	1	1	2	3	0	20
30代	2	9	0	14	1	2	1	0	0	29
40代	3	3	0	6	1	2	9	0	0	25
50代	3	8	0	15	2	1	11	0	2	42
60代	6	8	2	26	3	4	12	2	0	63
70代以上	1	8	2	3	2	11	4	4	1	36
その他	0	2	0	2	0	0	0	0	0	5
40代	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
70代以上	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
計	33	118	7	184	15	47	92	31	13	540

問12 「仕事」、「家庭生活」、「地域や個人の活動」の優先度(現状)										
	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域や個人の活動」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域や個人の活動」をともに優先している	「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先している	わからない	無回答	合計
女性	47	91	4	84	5	26	23	18	12	310
10代	2	3	0	3	1	0	0	6	0	15
20代	5	6	2	6	2	1	2	0	0	24
30代	8	17	0	20	0	0	7	2	0	48
40代	10	7	0	16	0	3	7	1	2	46
50代	14	17	0	16	0	0	6	1	0	54
60代	8	23	0	20	1	12	6	4	3	77
70代以上	0	18	2	3	1	10	1	4	7	46
男性	53	38	4	46	17	17	29	16	4	224
10代	2	1	0	1	1	0	1	4	0	10
20代	6	3	0	7	0	1	0	3	0	20
30代	9	4	0	11	1	1	1	2	0	29
40代	9	5	0	3	3	0	4	0	1	25
50代	14	6	0	7	4	0	8	1	2	42
60代	13	10	3	14	5	5	11	2	0	63
70代以上	0	9	1	3	3	10	4	4	1	35
その他	0	2	0	2	0	0	0	0	0	5
40代	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
70代以上	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
無回答	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
計	100	131	8	132	22	43	52	34	17	539

問13 男女が共に仕事と生活の調和を実現していくためには、どのような条件が必要か(3つまで)														
	給与等の男女間格差の解消	長時間労働の解消	育児休業・介護休業制度を職場環境づくり	育児休業中の賃金その他の充実	育児休業・介護休業中の充実	子育てを支援するサービス(保育所、病後児保育、放課後児童クラブ等)の向上	出産・育児・介護等の理由でいったん退職した職員の再雇用制度の導入	在宅勤務やフレックスタイム制度(時間差出勤)など、柔軟な勤務制度の導入	職場で男女が同様にスキルアップ(技術等の向上)で活躍できる環境づくり	女性が働くことへの家族や職場の理解と協力	その他	わからない	無回答	合計
女性	88	105	120	65	87	95	65	41	155	3	16	4	844	
10代	7	3	5	3	2	8	2	8	3	0	1	0	42	
20代	7	6	13	11	6	6	8	2	6	0	1	0	66	
30代	10	20	17	12	19	10	15	5	25	1	1	0	135	
40代	18	12	13	12	11	15	12	9	20	1	1	0	124	
50代	16	18	22	19	19	15	12	6	30	0	0	0	157	
60代	22	26	36	7	22	33	9	8	46	1	2	2	214	
70代以上	8	20	14	1	8	8	7	3	25	0	10	2	106	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
男性	61	86	86	54	81	69	46	27	71	2	13	5	601	
10代	1	2	4	4	3	4	1	1	2	0	2	0	24	
20代	6	11	6	4	8	1	6	2	6	0	3	0	53	
30代	10	13	7	4	10	7	6	4	7	1	2	0	76	
40代	7	8	9	9	7	9	6	3	8	0	1	0	67	
50代	13	21	13	10	15	12	11	8	10	0	1	1	115	
60代	19	22	30	13	29	22	9	6	27	1	1	0	179	
70代以上	5	9	17	5	9	14	7	3	11	0	3	4	87	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	2	2	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	10	
40代	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
70代以上	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	4	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	4	
計	151	193	206	120	169	164	111	68	227	6	30	10	1,453	

問14 男性が育児休業をとることについてどう思いますか

	父親として当然である	父親自身の成長のためにも、とることが望ましい	職場環境を考えるとりにくい	休業補償が十分でないのとれない	育児は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない	男性がとるのは抵抗がある	その他	無回答	合計
女性	25	84	105	37	22	26	5	6	310
10代	3	8	2	2	0	0	0	0	15
20代	2	7	10	4	1	0	0	0	24
30代	3	9	25	4	3	4	0	0	48
40代	5	10	17	6	2	4	2	0	46
50代	5	15	17	9	4	4	0	0	54
60代	4	24	22	7	5	10	2	3	77
70代以上	3	11	12	5	7	4	1	3	46
男性	28	40	99	16	14	21	2	5	225
10代	1	5	2	0	0	2	0	0	10
20代	6	5	6	2	1	0	0	0	20
30代	6	3	13	3	3	1	0	0	29
40代	4	6	12	2	0	0	1	0	25
50代	2	7	18	4	2	8	0	1	42
60代	5	9	30	4	4	9	1	1	63
70代以上	4	5	18	1	4	1	0	3	36
その他	2	0	0	0	1	0	1	1	5
40代	0	0	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	1	0	0	0	1	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	2
計	55	124	204	53	37	47	8	12	540

問15 男性が介護休業をとることについてどう思いますか

	家族として当然である	他に介護する者がいない場合は、とることもやむを得ない	職場環境を考えるとりにくい	休業補償が十分でないのとれない	介護は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない	男性がとるのは抵抗がある	その他	無回答	合計
女性	54	161	47	35	2	5	3	4	311
10代	4	8	1	2	0	0	0	0	15
20代	5	11	2	4	0	1	1	0	24
30代	6	22	15	3	0	1	1	0	48
40代	11	19	8	7	0	1	1	0	47
50代	9	33	5	6	0	1	0	0	54
60代	12	41	13	10	0	0	0	1	77
70代以上	7	27	3	3	2	1	0	3	46
男性	42	104	44	16	4	10	2	2	224
10代	2	7	1	0	0	0	0	0	10
20代	7	8	4	0	0	0	1	0	20
30代	7	12	8	1	1	0	0	0	29
40代	7	11	4	2	0	0	0	1	25
50代	6	17	9	5	0	5	0	0	42
60代	7	36	9	6	1	4	0	0	63
70代以上	6	13	9	2	2	1	1	1	35
その他	2	1	0	0	1	0	0	1	5
40代	0	1	0	0	0	0	0	0	1
70代以上	1	0	0	0	1	0	0	0	2
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	2
計	98	266	91	51	7	15	5	7	540

問16 地域活動の参加状況

	している	していない	無回答	合計
女性	118	190	2	310
10代	1	14	0	15
20代	3	21	0	24
30代	14	34	0	48
40代	26	20	0	46
50代	22	32	0	54
60代	32	43	2	77
70代以上	20	26	0	46
男性	118	101	5	224
10代	2	8	0	10
20代	4	16	0	20
30代	12	17	0	29
40代	13	11	1	25
50代	22	20	0	42
60代	42	21	0	63
70代以上	23	8	4	35
その他	2	2	1	5
40代	0	1	0	1
70代以上	2	0	0	2
無回答	0	1	1	2
計	238	293	8	539

問17 地域活動に参加している理由(2つまで)

	活動に参加すると楽しい	友達ができる	自分の専門や能力を活かせる	人や世の中、地域に役立つ	自分を成長させたい	行政や他人任せではない	役目が順番制なので、やむを得ず	その他	無回答	合計
女性	43	32	8	40	13	8	45	4	0	193
10代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20代	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4
30代	5	5	0	5	0	2	6	1	0	24
40代	8	5	3	10	3	3	10	1	0	43
50代	5	5	2	8	2	2	12	1	0	37
60代	12	4	2	12	5	1	13	1	0	50
70代以上	10	12	1	4	3	0	4	0	0	34
男性	27	25	12	64	14	9	38	3	1	193
10代	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3
20代	2	2	2	0	2	0	0	0	0	8
30代	1	5	0	3	2	1	6	1	0	19
40代	4	2	1	10	1	0	3	0	0	21
50代	5	0	1	14	3	3	7	1	0	34
60代	6	7	4	27	3	5	15	0	1	68
70代以上	9	8	4	9	2	0	7	1	0	40
その他	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70代以上	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	70	57	20	104	27	17	85	7	1	388

問18 地域活動に参加していない理由(2つまで)

	仕事が忙しく両立が難しい	家事・育児等との両立が難しい	どういった団体があるか分からない	一緒にやる仲間がいない	特にしたいと思う活動がない	団体に所属して活動することを好まない	したくてもできない(健康上の理由等)	その他	無回答	合計
女性	65	24	45	11	63	30	23	14	5	280
10代	5	0	6	1	4	0	0	1	0	17
20代	6	4	7	2	10	4	2	0	0	35
30代	15	15	10	1	8	7	2	1	1	60
40代	8	0	6	1	6	3	1	1	1	27
50代	17	0	8	2	11	5	4	2	0	49
60代	12	3	8	4	20	7	4	3	2	63
70代以上	2	2	0	0	4	4	10	6	1	29
男性	41	4	19	10	34	15	8	10	2	143
10代	2	0	1	0	3	0	1	3	0	10
20代	9	2	5	1	4	1	0	3	0	25
30代	4	0	3	2	8	2	0	1	0	20
40代	8	1	2	0	2	3	0	0	0	16
50代	8	0	2	3	6	5	1	1	1	27
60代	10	1	5	3	9	2	3	1	0	34
70代以上	0	0	1	1	2	2	3	1	1	11
その他	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3
40代	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
70代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	107	28	64	21	98	45	31	25	7	426

問19 地域に女性リーダーが少ない理由											
	女性は家事や仕事で忙しいから	組織をまとめていくことは、女性には向いていないから(男性の方が適しているから)	これまでの習慣で、リーダーには男性が就任してきたから	女性がリーダーになることに反発する雰囲気があるから	女性は責任のあたる役を引き受けたがらないから	男性中心の組織運営になっていくから(役職や仕事分担、活動時間など)	家族の理解や協力が得られないから	その他	わからない	無回答	合計
女性	107	27	132	55	45	114	34	6	30	5	555
10代	4	0	6	3	2	5	0	1	3	0	24
20代	11	1	10	2	2	11	2	0	2	0	41
30代	23	4	17	9	9	23	2	2	2	0	91
40代	13	4	19	11	10	18	4	0	3	1	83
50代	21	3	32	10	7	20	9	0	3	0	105
60代	19	11	36	15	5	28	13	2	8	2	139
70代以上	16	4	12	5	10	9	4	1	9	2	72
男性	48	22	117	26	60	88	14	6	24	2	407
10代	4	1	3	0	1	3	1	1	2	0	16
20代	9	0	10	3	2	6	1	0	4	0	35
30代	10	1	15	3	3	12	1	1	5	0	51
40代	4	2	18	4	5	10	2	1	1	0	47
50代	8	4	20	8	12	18	1	1	2	1	75
60代	8	9	36	6	21	31	6	0	5	0	122
70代以上	5	5	15	2	16	8	2	2	5	1	61
その他	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	6
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
計	156	49	250	81	106	202	48	13	55	8	968

**問20 老後の生活について不安**

	ある	ない	無回答	合計
女性	274	32	4	310
10代	11	4	0	15
20代	22	2	0	24
30代	41	7	0	48
40代	43	3	0	46
50代	51	3	0	54
60代	65	9	3	77
70代以上	41	4	1	46
男性	181	39	4	224
10代	3	7	0	10
20代	14	5	1	20
30代	26	3	0	29
40代	24	0	1	25
50代	36	6	0	42
60代	50	11	2	63
70代以上	28	7	0	35
その他	3	1	1	5
40代	1	0	0	1
70代以上	1	1	0	2
無回答	1	0	1	2
計	458	72	9	539

**問21 不安がある主な理由(2つまで)**

	生活費の不安	年金制度への不安	安心して住める家や老人ホームがない	働きたくても仕事がない	自分が寝たきりや認知症になるかもしれない不安	医療など福祉制度への不安	話相手や相談相手がない	一人暮らしになるのではという不安	適当な趣味がない	その他	無回答	合計
女性	147	153	11	10	116	54	4	26	5	4	1	531
10代	5	6	0	0	5	2	0	1	0	1	0	20
20代	10	17	2	0	7	3	0	4	0	0	0	43
30代	28	27	0	3	13	6	1	1	1	0	1	81
40代	26	27	2	2	15	8	1	1	0	0	0	82
50代	36	22	4	3	16	10	0	8	2	0	0	101
60代	30	33	2	1	34	14	2	5	2	2	0	125
70代以上	12	21	1	1	26	11	0	6	0	1	0	79
男性	99	119	4	9	54	40	1	18	2	1	1	348
10代	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	6
20代	8	13	0	1	1	2	0	1	1	0	0	27
30代	19	17	0	2	4	3	0	3	0	0	0	48
40代	18	15	1	1	6	5	0	1	0	0	0	47
50代	18	25	0	2	12	5	0	4	0	1	1	68
60代	26	33	2	2	15	16	0	3	1	0	0	98
70代以上	9	14	1	0	15	8	1	6	0	0	0	54
その他	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
40代	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
70代以上	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	248	275	15	19	170	94	5	45	7	5	2	885

問22 配偶者や恋人からのDV  
ア 命の危険を感じるぐらいの暴力を受けた

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	4	0	2	170	118	16	310
10代	0	0	0	6	8	1	15
20代	0	0	0	9	14	1	24
30代	0	0	1	26	21	0	48
40代	2	0	1	22	21	0	46
50代	1	0	0	33	19	1	54
60代	1	0	0	49	21	6	77
70代以上	0	0	0	25	14	7	46
男性	0	0	0	119	86	19	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	0	7	12	1	20
30代	0	0	0	16	13	0	29
40代	0	0	0	16	7	2	25
50代	0	0	0	19	20	3	42
60代	0	0	0	40	18	5	63
70代以上	0	0	0	20	7	8	35
その他	0	0	1	0	2	2	5
40代	0	0	0	0	0	1	1
70代以上	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	1	0	0	1	2
計	4	0	3	289	206	37	539

イ 医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	1	0	0	174	117	18	310
10代	0	0	0	6	8	1	15
20代	0	0	0	9	14	1	24
30代	0	0	0	27	21	0	48
40代	0	0	0	23	22	1	46
50代	1	0	0	32	20	1	54
60代	0	0	0	52	19	6	77
70代以上	0	0	0	25	13	8	46
男性	0	0	0	117	86	21	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	0	7	12	1	20
30代	0	0	0	16	13	0	29
40代	0	0	0	16	7	2	25
50代	0	0	0	19	19	4	42
60代	0	0	0	40	18	5	63
70代以上	0	0	0	18	8	9	35
その他	0	0	1	0	3	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	1	0	0	1	2
計	1	0	1	291	206	40	539

ウ 医師の治療が必要とされない程度の暴力を受けた

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	1	2	10	168	114	15	310
10代	0	0	0	7	8	0	15
20代	0	0	0	9	14	1	24
30代	0	0	2	28	18	0	48
40代	0	0	4	22	19	1	46
50代	1	0	2	29	21	1	54
60代	0	1	1	48	21	6	77
70代以上	0	1	1	25	13	6	46
男性	0	0	0	116	86	22	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	0	7	12	1	20
30代	0	0	0	15	14	0	29
40代	0	0	0	16	7	2	25
50代	0	0	0	19	19	4	42
60代	0	0	0	41	17	5	63
70代以上	0	0	0	17	8	10	35
その他	0	0	0	0	4	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	0	0	1	1	2
計	1	2	10	284	204	38	539

**エ いやがっているのに性的な行為を強要された**

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	3	4	9	167	109	18	310
10代	0	0	0	6	9	0	15
20代	0	0	2	8	13	1	24
30代	1	0	0	27	20	0	48
40代	1	2	2	23	17	1	46
50代	0	1	2	31	18	2	54
60代	1	1	1	48	20	6	77
70代以上	0	0	2	24	12	8	46
男性	0	0	1	116	86	21	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	0	7	12	1	20
30代	0	0	1	15	13	0	29
40代	0	0	0	16	7	2	25
50代	0	0	0	19	19	4	42
60代	0	0	0	41	17	5	63
70代以上	0	0	0	17	9	9	35
その他	0	0	0	1	3	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	1	1	0	2
無回答	0	0	0	0	1	1	2
計	3	4	10	284	198	40	539

**オ 何を言っても無視され続けた**

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	3	3	14	161	112	17	310
10代	0	0	0	6	9	0	15
20代	0	1	0	8	14	1	24
30代	1	0	2	26	19	0	48
40代	1	1	3	20	20	1	46
50代	0	1	4	28	19	2	54
60代	1	0	4	47	20	5	77
70代以上	0	0	1	26	11	8	46
男性	0	0	6	114	83	21	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	0	7	12	1	20
30代	0	0	0	15	14	0	29
40代	0	0	1	15	7	2	25
50代	0	0	2	17	19	4	42
60代	0	0	2	41	15	5	63
70代以上	0	0	1	18	7	9	35
その他	0	0	0	0	4	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	0	2	0	2
無回答	0	0	0	0	1	1	2
計	3	3	20	275	199	39	539

**カ 交友関係や外出先、電話を細かく監視された**

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	3	3	10	167	109	18	310
10代	0	0	0	7	8	0	15
20代	1	0	1	8	13	1	24
30代	1	0	2	27	18	0	48
40代	1	3	3	19	19	1	46
50代	0	0	0	33	19	2	54
60代	0	0	3	48	20	6	77
70代以上	0	0	1	25	12	8	46
男性	0	0	3	114	86	21	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	0	7	12	1	20
30代	0	0	2	14	13	0	29
40代	0	0	0	15	8	2	25
50代	0	0	0	19	19	4	42
60代	0	0	1	40	17	5	63
70代以上	0	0	0	18	8	9	35
その他	0	0	0	1	3	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	1	1	0	2
無回答	0	0	0	0	1	1	2
計	3	3	13	282	198	40	539

キ 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」と言われた

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	4	5	14	164	105	18	310
10代	0	0	0	7	7	1	15
20代	0	1	0	10	12	1	24
30代	1	0	3	26	18	0	48
40代	1	2	2	20	20	1	46
50代	1	0	4	31	17	1	54
60代	1	2	3	46	19	6	77
70代以上	0	0	2	24	12	8	46
男性	0	0	0	114	89	21	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	0	6	13	1	20
30代	0	0	0	14	15	0	29
40代	0	0	0	15	8	2	25
50代	0	0	0	19	19	4	42
60代	0	0	0	40	18	5	63
70代以上	0	0	0	19	7	9	35
その他	0	0	0	1	3	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	1	1	0	2
無回答	0	0	0	0	1	1	2
計	4	5	14	279	197	40	539

ク 大声でどなられたり、暴言を吐かれた

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	6	9	50	130	102	13	310
10代	0	0	1	6	8	0	15
20代	0	3	2	8	11	0	24
30代	1	1	8	22	16	0	48
40代	2	1	10	16	16	1	46
50代	1	2	10	21	19	1	54
60代	2	2	12	38	19	4	77
70代以上	0	0	7	19	13	7	46
男性	1	1	8	108	86	20	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	1	6	12	1	20
30代	0	0	1	15	13	0	29
40代	1	0	2	13	7	2	25
50代	0	0	2	17	19	4	42
60代	0	1	2	38	18	4	63
70代以上	0	0	0	18	8	9	35
その他	1	0	0	1	2	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	1	1	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	8	10	58	239	190	34	539

ケ 生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられた

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない	無回答	合計
女性	4	2	8	167	112	17	310
10代	0	0	0	6	9	0	15
20代	0	0	0	10	12	2	24
30代	0	0	2	27	19	0	48
40代	1	1	1	22	20	1	46
50代	1	0	1	31	20	1	54
60代	2	1	3	45	21	5	77
70代以上	0	0	1	26	11	8	46
男性	0	0	0	115	88	21	224
10代	0	0	0	1	9	0	10
20代	0	0	0	7	12	1	20
30代	0	0	0	15	14	0	29
40代	0	0	0	15	8	2	25
50代	0	0	0	19	19	4	42
60代	0	0	0	41	17	5	63
70代以上	0	0	0	17	9	9	35
その他	1	0	0	1	2	1	5
40代	0	0	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	0	1	1	0	2
無回答	1	0	0	0	0	1	2
計	5	2	8	283	202	39	539

問23 暴力を受けた時の相談の有無

	相談した	相談しなかった	無回答	合計
女性	28	40	8	76
10代	0	1	0	1
20代	3	3	1	7
30代	5	6	0	11
40代	6	10	0	16
50代	6	5	3	14
60代	5	11	3	19
70代以上	3	4	1	8
男性	1	10	4	15
10代	0	0	0	0
20代	0	1	0	1
30代	0	3	0	3
40代	0	2	1	3
50代	0	1	1	2
60代	1	3	1	5
70代以上	0	0	1	1
その他	1	0	0	1
40代	0	0	0	0
70代以上	0	0	0	0
無回答	1	0	0	1
計	30	50	12	92

問24 相談先(いくつでも可)

	家族・親族	友人・知人	市役所の相談窓口	アバンセ・婦人相談所	警察	医師やカウンセラー	民間の相談機関	その他	無回答	合計
女性	22	17	1	1	1	3	3	2	0	50
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	2	3	1	0	0	0	0	0	0	6
30代	4	1	0	0	1	2	1	0	0	9
40代	6	5	0	1	0	1	1	0	0	14
50代	3	3	0	0	0	0	0	1	0	7
60代	3	4	0	0	0	0	1	0	0	8
70代以上	4	1	0	0	0	0	0	1	0	6
男性	2	1	0	0	1	1	0	0	0	5
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50代	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
60代	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
70代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
計	25	19	2	1	2	4	3	2	0	58

問25 相談しなかった理由(いくつでも可)

	相談するほどのことではないと思った	自分にも悪いところがあると思った	自分が我慢すれば何とかやっていたらと思った	相談しても無駄だと思った	世間体が悪い、恥ずかしいと思った	相手の行為が愛情表現だと思った	どこに(誰に)相談してよいかわからなかった	相談したことが分かるかと仕返しが怖い	その他	無回答	合計
女性	28	6	16	10	0	0	2	2	4	2	70
10代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20代	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	4
30代	5	0	2	1	0	0	1	0	1	0	10
40代	4	0	3	3	0	0	1	1	0	1	13
50代	2	2	3	2	0	0	0	0	1	0	10
60代	7	3	5	2	0	0	0	1	1	1	20
70代以上	8	0	2	2	0	0	0	0	0	0	12
男性	10	4	5	5	3	0	0	2	4	4	33
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
20代	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
30代	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
40代	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	10
50代	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
60代	3	1	1	2	1	0	0	0	0	1	9
70代以上	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	6
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	38	10	21	15	3	0	2	2	6	6	103

問26 男女共同参画社会の実現へ向けての関連用語の認知度

ア 男女共同参画社会基本法

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	30	179	84	17	310
10代	4	9	2	0	15
20代	6	17	1	0	24
30代	2	29	16	1	48
40代	5	27	13	1	46
50代	5	27	21	1	54
60代	5	48	18	6	77
70代以上	3	22	13	8	46
男性	22	128	55	19	224
10代	4	2	4	0	10
20代	3	11	5	1	20
30代	3	9	17	0	29
40代	2	18	3	2	25
50代	2	25	12	3	42
60代	6	40	12	5	63
70代以上	2	23	2	8	35
その他	1	1	1	2	5
40代	0	0	1	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	0	1	0	1	2
計	53	308	140	38	539

イ 男女雇用機会均等法

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	73	179	40	21	313
10代	5	9	1	0	15
20代	8	14	2	0	24
30代	18	26	3	1	48
40代	12	30	3	1	46
50代	11	39	5	1	55
60代	11	45	17	5	78
70代以上	8	16	19	13	47
男性	62	124	17	21	224
10代	5	4	1	0	10
20代	5	12	2	1	20
30代	9	15	5	0	29
40代	8	14	1	2	25
50代	13	21	4	4	42
60代	18	39	2	4	63
70代以上	4	19	2	10	35
その他	1	1	1	2	5
40代	0	0	1	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	0	1	0	1	2
計	136	304	58	44	542

ウ 育児・介護休業法

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	81	180	30	19	310
10代	6	7	2	0	15
20代	11	12	1	0	24
30代	21	23	4	0	48
40代	16	23	5	2	46
50代	9	40	4	1	54
60代	10	57	7	3	77
70代以上	8	18	7	13	46
男性	46	136	21	21	224
10代	2	5	3	0	10
20代	4	14	1	1	20
30代	8	16	5	0	29
40代	7	16	0	2	25
50代	9	24	6	3	42
60代	14	39	5	5	63
70代以上	2	22	1	10	35
その他	3	0	0	2	5
40代	1	0	0	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	1	0	0	1	2
計	130	316	51	42	539

エ DV防止法・ストーカー規制法

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	72	199	21	20	312
10代	5	8	2	0	15
20代	8	14	2	0	24
30代	16	31	1	0	48
40代	11	34	1	0	46
50代	13	37	2	2	54
60代	13	51	7	6	77
70代以上	6	24	6	12	48
男性	47	141	17	20	225
10代	2	7	1	0	10
20代	3	14	2	1	20
30代	9	16	4	0	29
40代	6	16	1	2	25
50代	7	30	3	2	42
60代	15	41	3	5	64
70代以上	5	17	3	10	35
その他	3	0	0	2	5
40代	1	0	0	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	1	0	0	1	2
計	122	340	38	42	542

オ 女子差別撤廃条約

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	16	129	146	21	312
10代	2	6	7	0	15
20代	3	14	7	0	24
30代	5	23	21	0	49
40代	2	21	22	1	46
50代	1	19	33	1	54
60代	2	29	41	5	77
70代以上	1	17	15	14	47
男性	10	93	96	25	224
10代	2	2	6	0	10
20代	2	13	4	1	20
30代	3	7	19	0	29
40代	1	11	11	2	25
50代	0	17	21	4	42
60代	1	29	26	7	63
70代以上	1	14	9	11	35
その他	2	1	0	2	5
40代	0	1	0	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	1	0	0	1	2
計	28	223	242	48	541

カ ジェンダーギャップ指数

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	1	44	242	23	310
10代	0	3	12	0	15
20代	0	7	17	0	24
30代	0	7	41	0	48
40代	0	10	35	1	46
50代	1	4	48	1	54
60代	0	8	64	5	77
70代以上	0	5	25	16	46
男性	2	26	174	22	224
10代	1	2	7	0	10
20代	1	3	15	1	20
30代	0	2	27	0	29
40代	0	6	17	2	25
50代	0	4	34	4	42
60代	0	4	54	5	63
70代以上	0	5	20	10	35
その他	1	0	2	2	5
40代	0	0	1	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	0	0	1	1	2
計	4	70	418	47	539

キ ポジティブ・アクション(積極的改善措置)

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	4	54	232	20	310
10代	0	4	11	0	15
20代	0	6	18	0	24
30代	0	7	41	0	48
40代	2	9	34	1	46
50代	1	6	46	1	54
60代	0	14	59	4	77
70代以上	1	8	23	14	46
男性	2	29	171	22	224
10代	1	1	8	0	10
20代	1	4	14	1	20
30代	0	4	25	0	29
40代	0	5	18	2	25
50代	0	3	35	4	42
60代	0	7	51	5	63
70代以上	0	5	20	10	35
その他	1	1	1	2	5
40代	0	0	1	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	0	1	0	1	2
計	7	84	404	44	539

ク リベンジポルノ

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	53	96	140	22	311
10代	1	5	9	0	15
20代	8	9	7	0	24
30代	17	16	14	1	48
40代	12	20	14	1	47
50代	9	20	24	1	54
60代	6	21	45	5	77
70代以上	0	5	27	14	46
男性	44	66	93	21	224
10代	2	3	5	0	10
20代	5	8	6	1	20
30代	12	7	10	0	29
40代	8	8	7	2	25
50代	9	15	14	4	42
60代	7	17	34	5	63
70代以上	1	8	17	9	35
その他	3	0	0	2	5
40代	1	0	0	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	1	0	0	1	2
計	100	162	233	45	540

ケ LGBT

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	26	51	212	21	310
10代	1	3	11	0	15
20代	3	7	14	0	24
30代	8	8	32	0	48
40代	5	8	31	2	46
50代	4	8	41	1	54
60代	4	12	56	5	77
70代以上	1	5	27	13	46
男性	18	27	157	22	224
10代	1	1	8	0	10
20代	2	5	12	1	20
30代	5	2	22	0	29
40代	2	5	16	2	25
50代	4	5	29	4	42
60代	3	5	50	5	63
70代以上	1	4	20	10	35
その他	2	0	0	3	5
40代	1	0	0	0	1
70代以上	1	0	0	1	2
無回答	0	0	0	2	2
計	46	78	369	46	539

コ 武雄市男女共同参画推進計画

	内容まで知っている	内容までは知らない が聞いたことがある	全く知らない・聞いた こともない	無回答	合計
女性	15	142	133	20	310
10代	0	3	12	0	15
20代	1	12	11	0	24
30代	3	14	31	0	48
40代	4	27	14	1	46
50代	1	27	25	1	54
60代	3	42	28	4	77
70代以上	3	17	12	14	46
男性	5	102	100	17	224
10代	1	3	6	0	10
20代	0	6	13	1	20
30代	0	10	19	0	29
40代	1	12	10	2	25
50代	0	21	18	3	42
60代	2	31	27	3	63
70代以上	1	19	7	8	35
その他	0	0	3	2	5
40代	0	0	1	0	1
70代以上	0	0	1	1	2
無回答	0	0	1	1	2
計	20	244	236	39	539

問27 行政が推進すべき施策(5つまで)

	女性 10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	その他	40代	70代以上	無回答	計						
行政が推進すべき施策(5つまで)	62	94	58	110	75	35	67	152	127	62	51	91	67	29	2	3	23	1,108
市役所が女性職員の積極的な配置と	3	3	6	13	4	0	5	6	4	3	1	6	1	1	0	0	1	44
モデラな管理職の女性積極的な配置	2	3	6	13	4	0	4	17	6	3	3	3	7	4	0	0	1	83
各種団体で活躍する女性リーダーの育成	5	8	14	20	8	3	9	34	16	12	7	21	14	4	0	0	1	174
女性向け職業訓練の充実	6	12	6	23	11	5	14	21	19	9	9	19	12	4	0	0	2	165
女性向け職業訓練の充実	8	10	10	23	16	9	14	30	24	14	10	14	14	8	0	0	2	215
女性向け職業訓練の充実	17	28	12	29	19	10	20	33	36	17	15	26	15	6	1	2	4	290
男女共同参画推進に関する研修・交流の場の充実	16	14	7	10	12	7	6	11	22	4	6	2	4	2	1	0	13	37
男性向け職業訓練の充実	66	83	64	43	63	35	57	90	77	59	46	56	35	57	4	8	15	858
女性向け職業訓練の充実	2	4	2	2	3	1	2	5	4	2	3	3	3	2	0	1	0	39
女性向け職業訓練の充実	7	7	3	5	4	1	5	10	7	6	4	6	4	6	0	2	0	77
女性向け職業訓練の充実	6	4	7	8	4	1	7	16	7	4	4	7	4	9	2	2	1	96
女性向け職業訓練の充実	7	9	11	6	5	6	8	9	9	3	5	6	3	7	0	0	1	95
女性向け職業訓練の充実	10	18	13	8	11	4	12	18	13	14	11	10	8	11	1	1	2	165
女性向け職業訓練の充実	22	25	16	8	22	16	16	26	25	22	9	16	11	16	0	2	3	256
女性向け職業訓練の充実	12	16	12	6	14	6	7	6	12	8	5	8	4	6	0	0	8	130
女性向け職業訓練の充実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	3	7
女性向け職業訓練の充実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	2
女性向け職業訓練の充実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
女性向け職業訓練の充実	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
女性向け職業訓練の充実	128	177	122	153	138	70	124	242	204	121	97	148	102	87	7	12	41	1,973

問28 男女共同参画を進めるについての考え方(2つ選択)										
	男女の平等な権利、人権問題として進めるべき	男女が共に個性と能力を活かし、責任と成果を分かち合うとして進めるべき	少子高齢化問題の課題を解決するために推進すべき	男女のみならず、あらゆる世代がいきいきと暮らせるユニバーサルデザインから推進すべき	男女にはそれぞれの役割があり、それから進めるべきでない	今までの男性中心社会の方向で進めるべきでない	男女共同参画社会がどのようから進めるべきでない	その他	無回答	合計
女性	81	170	97	111	5	0	28	1	17	510
10代	6	9	4	2	0	0	1	0	1	23
20代	7	14	8	12	0	0	1	0	0	42
30代	13	32	14	20	0	0	1	0	1	81
40代	12	23	13	16	0	0	9	0	2	75
50代	14	33	15	21	0	0	6	0	1	90
60代	16	42	30	26	3	0	6	1	4	128
70代以上	13	17	13	14	2	0	4	0	8	71
男性	54	147	79	63	4	0	18	4	10	379
10代	3	5	5	3	0	0	0	1	0	17
20代	6	16	8	6	1	0	0	0	0	37
30代	8	17	2	7	1	0	4	0	1	40
40代	5	19	8	10	0	0	1	0	0	43
50代	10	27	18	14	2	0	3	0	1	75
60代	16	44	24	14	0	0	8	1	2	109
70代以上	6	19	14	9	0	0	2	2	6	58
その他	1	0	0	1	0	0	0	1	3	6
40代	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
70代以上	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
計	136	317	176	175	9	0	46	6	30	895

# 男女共同参画社会づくりのための武雄市民意識調査

## 武雄市民の皆さんへ

武雄市では、男女共同参画社会（男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会）の実現を目指して取り組みを進めているところです。

男女共同参画社会は市だけでなく市民の皆さまと共に取り組んで始めて実現できるものです。この調査は、男女共同参画に関するいろいろな問題について、市民の皆様の率直なお考えや現状などをうかがい、今後よりよい男女共同参画を推進するための基礎資料とするものです。

そこで、武雄市内にお住まいの16歳以上の方の中から、無作為に1,000名を抽出した結果、あなた様にこの調査をお願いすることになりました。

お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人の回答が発表されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

ご多用な折とは存じますが、今回のアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年 8月



### <ご記入にあたってのお願い>

1. 回答は、当てはまる番号に〇をつけて、8月19日（金）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。切手を貼っていただく必要はありません。
2. 選択する回答の数は「1つ」「いくつでも」等の指示に従って記入してください。
3. アンケートについて、不明な点やご質問がありましたら、お問い合わせください。

#### 【お問合せ】

武雄市 男女参画課 ☎ 0954 (23) 9141

## 1. 男女平等意識についておたずねします

問1 あなたは次の分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。次のア～キについてあなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

	女性の方が 優遇されている	どちらかといえば女 性が優遇されている	平等	どちらかといえば男 性が優遇されている	男性の方が 優遇されている	わからない
ア 社会全体で	1	2	3	4	5	6
イ 家庭生活	1	2	3	4	5	6
ウ 職場	1	2	3	4	5	6
エ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
オ 地域・社会活動の場	1	2	3	4	5	6
カ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
キ 法律・制度	1	2	3	4	5	6

## 2. 結婚・家庭生活についておたずねします

問2 あなたは「結婚」についてどのように考えますか。次の中から1つ選び、番号に○をつけてください。

- |               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| 1 結婚しなくてはならない | 2 結婚したほうがよい | 3 結婚しなくてもよい |
| 4 結婚しないほうがよい  | 5 わからない     |             |

問3 あなたは次のような考え方についてどのように考えますか。次のア～エについてあなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえ ば そう思う	どちらかといえ ば そう思わない	そう思わない	わからない
ア 夫は外で働き、妻は家庭を守るほうがよい	1	2	3	4	5
イ 重要な決定をする時夫婦の意見が違ったら、夫の意見に従ったほうがよい	1	2	3	4	5
ウ 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい	1	2	3	4	5
エ 結婚してもうまくいかなければ、離婚してやり直すほうがよい	1	2	3	4	5

問4 あなたのご家庭では、次にあげるような日常的な事柄を主にだれが分担していますか。次のア～クについてあてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

	親・娘・孫・息子の 配偶者を含む)	主に女性(妻・母 親・娘・孫・息子の 配偶者を含む)	同じ程度に分担	主に男性(夫・父 親・息子・孫・娘の 配偶者を含む)	その他	該当しない
ア 家計を支える	1	2	3	4	5	
イ 日々の家計の管理	1	2	3	4	5	
ウ 掃除	1	2	3	4	5	
エ 洗濯	1	2	3	4	5	
オ 食事のしたく、後片付け	1	2	3	4	5	
カ 育児、子どもの世話	1	2	3	4	5	
キ 家族の世話(介護)	1	2	3	4	5	
ク 県下一斉美化活動などの地域活動	1	2	3	4	5	

### 3. 教育・子育てについておたずねします

問5 あなたは子どもの教育について、どのような考えをお持ちですか。次のア～エについて、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。  
子どものいない方も、あなたがどう思われるかでお答えください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
ア 男女ともに、同等に経済的に自立できるように育てた方がよい	1	2	3	4	5
イ 男女ともに、炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけるように育てた方がよい	1	2	3	4	5
ウ 女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい	1	2	3	4	5
エ 男女ともに同じ程度の学歴を持たせた方がよい	1	2	3	4	5

**問 6** 日本では近年少子化が進んでいますが、その理由は何だと思えますか。次の中から、あなたの考えに近いものを2つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 女性の社会進出が進んだから
- 2 晩婚傾向にあり、子どもを産む期間が短くなっているから
- 3 結婚をしない人が増えているから
- 4 雇用状況が不安定になったから
- 5 出産・子育てが女性だけの負担となっており、仕事との両立が困難だから
- 6 子育てのための経済的負担が大きいから
- 7 わが国の将来を考えると、子どもにとって明るい将来とは言えないから
- 8 親が子育てよりも自分達の生活を楽しまたいと考えているから
- 9 子育てを支援するサービス（保育所、放課後児童クラブ、病後時保育等）が不十分だから
- 10 育児休業法に基づく子育て支援制度が活用しづらく、定着していないから
- 11 少なく産んで大切に育てた方がよいと思う人が多いから
- 12 その他（回答用紙にご記入ください： \_\_\_\_\_）
- 13 わからない

#### 4. 仕事についておたずねします

**問 7** あなたは現在職業をお持ちですか。次のどちらかの番号を選び、番号に○をつけてください。

1 持っている  
（自営業・パート・アルバイトを含む）



**問 8** 職業を持っている主な理由を次の中から2つまで選んで、番号に○をつけてください。

- 1 家業だから
- 2 生計を維持するため
- 3 家計を補助するため
- 4 経済的に自立するため
- 5 自分の自由になるお金が欲しいから
- 6 自分の能力、技術、資格を生かすため
- 7 社会に役立ちたいから
- 8 気持ちにハリを持ちたいから
- 9 その他

( \_\_\_\_\_ )

2 持っていない



**問 9** 職業を持っていない主な理由を次の中から2つまで選んで、番号に○をつけてください。

- 1 働く場所や仕事がないから
- 2 自分の健康状態が思わしくないから
- 3 自分自身、家庭にいるのがよいから  
（主婦・主夫）
- 4 家事も立派な職業だから
- 5 家事・育児との両立が困難だから
- 6 病人や老親などの世話（介護）があるから
- 7 自分に適した仕事がないから
- 8 特に理由はない
- 9 その他

( \_\_\_\_\_ )

問 1 0 あなたは「女性が職業を持つこと」について、どのように考えますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

- 1 ずっと職業をもっている方がよい
- 2 結婚するまでは職業をもち、あとはもたない方がよい
- 3 子どもができるまでは職業をもち、あとはもたない方がよい
- 4 子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再びもつ方がよい
- 5 女性は職業をもたない方がよい
- 6 その他 ( )
- 7 わからない

問 1 1 あなたの今の生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域や個人の活動」の優先度について、次の中から、あなたの考え方に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域や個人の活動」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域や個人の活動」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先したい
- 8 わからない

問 1 2 あなたの現状に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域や個人の活動」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域や個人の活動」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先している
- 8 わからない

問 1 3 男女が共に仕事と生活の調和を実現していくためには、どのような条件が必要だと思いますか。次の中から、主なものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 給与等の男女間格差の解消
- 2 長時間労働の解消
- 3 育児休業・介護休業制度を利用できる職場環境づくり
- 4 育児休業・介護休業中の賃金その他の充実
- 5 子育てを支援するサービス（保育所、病後時保育、放課後児童クラブ等）の向上
- 6 出産・育児・介護等の理由でいったん退職した職員の再雇用制度の導入
- 7 在宅勤務やフレックスタイム制度（時間差出勤）など、柔軟な勤務制度の導入
- 8 職場で男女が同様にスキルアップ（技術等の向上）できる環境づくり
- 9 女性が働くことへの家族や職場の理解と協力
- 10 その他（ )
- 11 わからない

問 1 4 あなたは、男性が育児休業をとることについてどう思いますか。次の中から、あなたの考え方に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 父親として当然である
- 2 父親自身の成長のためにも、とることが望ましい
- 3 職場環境を考えるととりにくい
- 4 休業補償が十分でないのとれない
- 5 育児は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない
- 6 男性がとるのは抵抗がある
- 7 その他（ )

問 1 5 あなたは、男性が介護休業をとることについてどう思いますか。次の中から、あなたの考え方に最も近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

- 1 家族として当然である
- 2 他に介護する者がいない場合は、とることもやむを得ない
- 3 職場環境を考えるととりにくい
- 4 休業補償が十分でないのとれない
- 5 介護は女性が適していると思うので、男性がとる必要はない
- 6 男性がとるのは抵抗がある
- 7 その他（ )

## 5. 地域活動についておたずねします

問 1 6 あなたは地域において、何か活動をしていますか。あてはまる方の番号に○をつけてください。(例：ボランティア、自治会、PTA、子ども会、婦人会、老人会など)

1 している

問 1 7 活動に参加している理由を次の中から2つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 活動に参加すると楽しい
- 2 友達ができる
- 3 自分の専門や能力を活かせる
- 4 人や世の中、地域に役立つ
- 5 自分を成長させたい
- 6 行政や他人任せではいけない
- 7 役目が順番制なので、やむを得ず
- 8 その他

( )

2 していない

問 1 8 活動に参加していない理由を次の中から2つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 仕事が忙しく両立が難しい
- 2 家事・育児等との両立が難しい
- 3 どういった団体があるか分からない
- 4 一緒にやる仲間がいない
- 5 特にしたいと思う活動がない
- 6 団体に所属して活動することを好まない
- 7 したくてもできない(健康上の理由等)
- 8 その他

( )

問 1 9 武雄市では、107 区の区長さんにおける女性の割合は 0.9% となっています(平成 27 年 10 月 男女共同参画地域実態調査)。あなたは、地域に女性リーダーが少ない理由は何だと思えますか。あなたの考えに最も近いものを 2 つまで選び、番号に○をつけてください。

- 1 女性は家事や仕事で忙しいから
- 2 組織をまとめていくことは、女性には向いていないから(男性の方が適しているから)
- 3 これまでの習慣で、リーダーには男性が就任してきたから
- 4 女性がリーダーになることに反発する雰囲気があるから
- 5 女性は責任のある役を引き受けたがらないから
- 6 男性中心の組織運営になっているから(役職や仕事分担、活動時間など)
- 7 家族の理解や協力が得られないから
- 8 その他 ( )
- 9 わからない

## 6. 健康・福祉についておたずねします

問 2 0 あなたは、老後の生活について不安はありますか。どちらかあてはまる方の番号に○をつけてください。

1 ある

2 ない

問 2 1 問20で「1 ある」と答えた方に 不安がある主な理由を次の中から2つまで選び、番号に○をつけてください。

1	生活費の不安
2	年金制度への不安
3	安心して住める家や老人ホームがない
4	働きたくても仕事がない
5	自分が寝たきりや認知症になるかもしれないという不安
6	医療など福祉制度への不安
7	話相手や相談相手がいない
8	一人暮らしになるのではという不安
9	適当な趣味がない
10	その他 ( )

## 7. DV (親密な関係にある者から振るわれる、身体・言葉・態度などによる暴力) についておたずねします

問 2 2 あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。次のア～ケについて、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	週に1回以上	月に数回程度	年に数回程度	まったくない	該当しない
ア 命の危険を感じるぐらいの暴力を受けた -	1	2	3	4	5
イ 医師の治療が必要となる程度の暴力を受けた -	1	2	3	4	5
ウ 医師の治療が必要とならない程度の暴力を受けた	1	2	3	4	5
エ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3	4	5
オ 何を言っても無視され続けた	1	2	3	4	5
カ 交友関係や外出先、電話を細かく監視された	1	2	3	4	5
キ 「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などと言われた	1	2	3	4	5
ク 大声でどなられたり、暴言を吐かれた	1	2	3	4	5
ケ 生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられた	1	2	3	4	5

**問 2 3** 問22で「まったくない」「該当しない」以外と答えた方に そのとき誰かに相談しましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1 相談した

2 相談しなかった

**問 2 4** その時の相談先はどちらでしたか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。(いくつでも可)

**問 2 5** 相談しなかった理由は次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。(いくつでも可)

- 1 家族・親族
  - 2 友人・知人
  - 3 市役所の相談窓口
  - 4 アバンセ・婦人相談所
  - 5 警察
  - 6 医師やカウンセラー
  - 7 民間の相談機関
  - 8 その他
- 

- 1 相談するほどのことではないと思った
  - 2 自分にも悪いところがあると思った
  - 3 自分が我慢すれば何とかやっていたと思った
  - 4 相談しても無駄だと思った
  - 5 世間体が悪い、恥ずかしいと思った
  - 6 相手の行為が愛情表現だと思った
  - 7 どこに（誰に）相談してよいかわからなかった
  - 8 相談したことが分かったと仕返しが怖い
  - 9 その他
- 

## 8. 男女共同参画社会についておたずねします

**問 2 6** あなたは、下記の言葉(用語)を聞いたことがありますか。

次のア～コについて、あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	内容まで 知っている	聞いたこと がある	知らないが 内容までは	全く知らない こともない
ア 男女共同参画社会基本法	1	2	3	
イ 男女雇用機会均等法	1	2	3	
ウ 育児・介護休業法	1	2	3	
エ DV防止法・ストーカー規制法	1	2	3	
オ 女子差別撤廃条約	1	2	3	
カ ジェンダーギャップ指数	1	2	3	
キ ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3	
ク リベンジポルノ	1	2	3	
ケ LGBT	1	2	3	
コ 武雄市男女共同参画推進計画	1	2	3	

## ア. 男女共同参画社会基本法

→男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することが出来る社会の実現のために、平成 11 年に作られた法律。

## イ. 男女雇用機会均等法

→職場における男女の差別を禁止し、募集・採用・昇給・昇進・教育訓練・定年・退職・解雇などの面で男女とも平等に扱うことを定めた法律。その後一部改正され、女性保護を目的として設けられていた時間外や休日労働、深夜業務などの規制を撤廃。さらにセクシャル・ハラスメント防止のため、事業主に対して雇用上の管理を義務づけている。

## ウ. 育児・介護休業法

→労働者の仕事と育児や介護を両立できるように支援するための法律。支給額は育児休業取得から 180 日までは給与の 67%、それ以降の期間(1 年以内)は給与の 50%。介護休業は最大 3 ヶ月取得可。

## エ. DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）

→パートナーからの暴力の防止、及び被害者の保護・支援を目的として作られた法律。

## ストーカー規制法（ストーカー行為等の規制等に関する法律）

→つきまとい等のストーカー行為を規制し、被害者に対する援助措置を定めた法律。

## オ. 女子差別撤廃条約

→女子に対するあらゆる差別を撤廃することを目的とした条約。「女子に対する差別」を定義し、締約国に対し、政治的及び公的活動、並びに経済的及び社会的活動における差別の撤廃のために適当な措置をとることを求めている。

## カ. ジェンダーギャップ指数

→各国の社会進出における男女格差を示す指標。経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出され、日本は 145 か国中 101 位。国会議員・官僚・企業管理職などで格差が大きい。

## キ. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

→働く事や仕事に対する意欲の高い女性を積極的に登用し、能力を發揮してもらおうという企業の自主的な取り組み、それら制度のこと。優秀な人材の確保や女性の活躍による業績の向上も期待されている。

## ク. リベンジポルノ

→別れた恋人や配偶者に対する報復として、交際時に撮影した相手方のわいせつな写真や映像を、インターネットなどで不特定多数に配布・公開する嫌がらせ行為及びその画像。近年深刻化しており、内容によって加害者には脅迫罪、強要罪、名誉毀損罪などが適用される。

## ケ. LGBT

→同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー（性同一性障害を含む性別越境者）など

## コ. 武雄市男女共同参画推進計画（H25～29 は第 2 次）

→現状を理解し目標を明確にするために、武雄市が市民協働で独自に作成した計画。

問27 男女共同参画社会を進めるために、今後、行政はどのような施策を推進していったらよいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを選び番号に○をつけてください。

(5つまで)

- 1 審議会などの行政の施策方針を決定する場に女性の参画を促進する
- 2 各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成
- 3 市役所がモデルとなり女性管理職の登用など女性職員の積極的な登用と配置
- 4 女性向けの職業能力の開発や、職業訓練機会の充実
- 5 男女共同参画推進に関する情報提供、学習・研修、交流のための場や機会の充実
- 6 広報紙やパンフレット、男女共同参画に関する講座や講演会などの充実
- 7 学校教育における男女の平等と相互理解・協力についての教育の充実
- 8 子育てを支援するサービス（保育所、病後時保育、放課後児童クラブ等）の充実
- 9 高齢者の施設や介護サービスの充実
- 10 企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的な登用をすすめるための啓発
- 11 企業や団体トップを対象とした男女平等や仕事と生活の調和に関する意識啓発の充実
- 12 職場における男女の均等な取り扱いに関して企業への働きかけ
- 13 女性のための相談窓口等、相談機能の充実・施策の推進
- 14 行政の明確なビジョンの提示、施策の推進
- 15 推進する必要はない
- 16 その他（回答用紙にご記入ください： )

問28 男女共同参画社会を進めることについて、あなたはどのように考えますか。あなたの考えに近いものを選び、番号に○をつけてください。(2つまで)

- 1 男女の平等な権利、人権問題として進めるべき
- 2 男女が共に個性と能力を活かし、責任と成果を分かち合うまちづくりとして進めるべき
- 3 少子高齢化問題等、現代の抱える社会課題を解決するために推進すべき
- 4 男女のみならず、あらゆる世代がいきいきと暮らせるユニバーサルデザイン ※の観点から推進すべき  
※年齢、性別、身体的状況などの違いに関係なく、すべての人が使いこなすことのできる製品や環境などのデザインを旨とする概念。
- 5 男女にはそれぞれの役割があり、それを否定するものであるから進めるべきでない
- 6 今までの男性中心社会の方がうまくいくので進めるべきでない
- 7 男女共同参画社会がどのようなものか分からず、肯定も否定もできない
- 8 その他（回答用紙にご記入ください： )

◆あなたご自身やあなたのご家族のことについておたずねします

次の設問についてあてはまる番号に○をつけてください。

Q 1 あなたの性別をお答えください

1. 女性      2. 男性      3. その他

Q 2 あなたの年代をお答えください

1. 10代    2. 20代    3. 30代    4. 40代    5. 50代    6. 60代    7. 70代以上

Q 3-1 あなたは結婚されていますか？

1. 結婚している(事実婚を含む)    2. 結婚したが離別・死別    3. 結婚していない

Q 3-2 1. 結婚している(事実婚を含む)の方に 共働きの状況についてお尋ねします。

1. 共働きである(パートを含む)      2. 共働きでない

Q 4 現在同居しているあなたの家族構成をお答えください

1. 単身世帯(65歳未満)    2. 単身世帯(65歳以上)    3. 夫婦のみの世帯  
4. 2世代世帯(親と子ども)    5. 3世代世帯(親と子どもと孫)  
6. その他の世帯

Q 5 あなたの職業(出産休暇、育児休業中の方も職業をもっているとみなします)(1つ)

1	会社役員・管理職	9	自営業 農林漁業
2	正社員(一般職)	10	自営業 商工サービス業
3	正社員(技術職)	11	自営業 その他
4	公務員	12	家族従事者 農林漁業
5	契約社員、派遣社員	13	家族従事者 商工サービス業
6	常勤パートタイマー	14	家族従事者 その他
7	臨時・アルバイト	15	学生
8	専業主婦・主夫	16	無職

Q 6 Q 3-2 「1. 結婚している(事実婚を含む)」と回答された方に伺います

あなたの配偶者(パートナー)の職業(出産休暇、育児休業中の方も職業をもっているとみなします)(1つ)

1	会社役員・管理職	9	自営業 農林漁業
2	正社員(一般職)	10	自営業 商工サービス業
3	正社員(技術職)	11	自営業 その他
4	公務員	12	家族従事者 農林漁業
5	契約社員、派遣社員	13	家族従事者 商工サービス業
6	常勤パートタイマー	14	家族従事者 その他
7	臨時・アルバイト	15	学生
8	専業主婦・主夫	16	無職

ご協力ありがとうございました。

# 男女共同参画社会づくりのための武雄市民意識調査

## 中学生（3年生）の皆さんへ

平成11年6月「男女共同参画社会基本法」という法律が制定されました。武雄市でも、男女共同参画社会（男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会）の実現を目指して取り組みを進めているところです。

このアンケート調査は、男女共同参画に関するいろいろな問題について、皆さん自身の考え方や将来のことについておたずねするものです。調査の結果は、今後よりよい社会実現ための基礎資料とさせていただきます。

なお、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、個人の回答が発表されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することはありませんので、素直な意見をお聞かせください。ご協力をお願いします。



平成28年 7月  
武雄市 男女参画課

【次の設問のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください】

◆ あなた自身のことについてお尋ねします。

Q 1 あなたの通う学校

- |          |           |          |          |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 武雄中学校 | 2. 武雄北中学校 | 3. 川登中学校 | 4. 山内中学校 |
| 5. 北方中学校 |           |          |          |

Q 2 あなたの性別

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 女性 | 2. 男性 |
|-------|-------|

Q 3 現在同居しているあなたの家族構成

- |                      |
|----------------------|
| 1. (2世代世帯) 親とあなた     |
| 2. (3世代世帯) 祖父母と親とあなた |
| 3. その他の世帯            |

Q 4 あなたのご家族のお仕事

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 両親ともに仕事をしている（パートタイム・アルバイトなども含む） |
| 2. 父親のみ仕事をしている                     |
| 3. 母親のみ仕事をしている                     |
| 4. その他                             |

問1 あなたの身の回りのことについて、次のア～オのそれぞれについてあてはまるものを1つ選んでください。



	よくする	時々する	全然しない
ア 朝一人で起床する	1	2	3
イ 自分の身の回りの整理や部屋を片付ける	1	2	3
ウ 家事の手伝いをする	1	2	3
エ 自分の小遣いを計画的に管理する	1	2	3
オ 町内会の催しやボランティア活動などに参加する	1	2	3

問2 あなたの家庭では、次にあげるような日常的な事柄を、主にだれが分担していますか。次のア～クについてあてはまるものを1つ選んでください。

	主に女性	分担 同じ程度に	主に男性	その他	特に当てはまらない
ア 家計を支える（生活費を稼ぐ）	1	2	3	4	5
イ 日々の家計の管理	1	2	3	4	5
ウ 掃除	1	2	3	4	5
エ 洗濯	1	2	3	4	5
オ 食事のしたく	1	2	3	4	5
カ 育児、子どもの世話	1	2	3	4	5
キ 家族の世話（介護）	1	2	3	4	5
ク 県下一斉美化活動などの地域活動	1	2	3	4	5

問3-1 あなたは女・男「らしく・なのに・のくせに」と言われたことがありますか。

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

問3-2 問3-1で「1 ある」と答えた方に そう言われた時どう思いましたか。(1つ)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 嫌だと思った    | 2 仕方がないと思った |
| 3 何とも思わなかった | 4 わからない     |

問3-3 問3-1で「1 ある」と答えた方に そう言う人は誰ですか。(いくつでも可)

- |       |      |         |                 |      |      |       |
|-------|------|---------|-----------------|------|------|-------|
| 1 母親  | 2 父親 | 3 祖母    | 4 祖父            | 5 姉妹 | 6 兄弟 | 7 女友達 |
| 8 男友達 | 9 先生 | 10 知り合い | 11 その他 (具体的に: ) |      |      |       |

問4-1 学校の中で男女の扱いに差別を感じたことがありますか。(1つ)

- |      |      |         |
|------|------|---------|
| 1 ある | 2 ない | 3 わからない |
|------|------|---------|

問4-2 問4-1で「1 ある」と答えた方に それはどんなことですか。(いくつでも可)

- |                 |            |                        |         |          |
|-----------------|------------|------------------------|---------|----------|
| 1 先生の指導         | 2 進路       | 3 部活動                  | 4 授業の内容 | 5 きまり・規則 |
| 6 行事への参加        | 7 生徒会活動    | 8 学級活動 (日直・給食・掃除などを含む) |         |          |
| 9 学校の整備・用具の後片付け | 10 その他 ( ) |                        |         |          |

問5 次のア～オについて、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んでください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
ア 男女ともに、同等に経済的に自立すること	1	2	3	4	5
イ 男女ともに、炊事・掃除・洗濯などの生活に必要な技術を身につけること	1	2	3	4	5
ウ 男性は外で働き、女性は家庭を守ること	1	2	3	4	5
エ 夫婦が協力して家事や育児をすること	1	2	3	4	5
オ 男性が育児・介護休業をとること	1	2	3	4	5

問6 あなたは「結婚」についてどのように考えますか。(1つ)

- |               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| 1 結婚しなくてはならない | 2 結婚したほうがよい | 3 結婚しなくてもよい |
| 4 結婚しないほうがよい  | 5 わからない     |             |

問7 あなたが将来働く理由はどのようなことですか。(2つまで)

- 1 視野を広げたり、友人を得るため
- 2 家業だから
- 3 生計を維持するため
- 4 経済的に自立するため
- 5 自分の自由になるお金が欲しいから
- 6 自分の能力、技術、資格を生かすため
- 7 社会に役立ちたいから
- 8 気持ちにハリを持ちたいから
- 9 その他 ( )



問8 あなたは「女性が職業を持つこと」について、どのように考えますか。(1つ)

- 1 ずっと職業をもっている方がよい
- 2 結婚するまでは職業をもち、あとはもたない方がよい
- 3 子どもができるまでは職業をもち、あとはもたない方がよい
- 4 子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再びもつ方がよい
- 5 女性は職業をもたない方がよい
- 6 わからない
- 7 その他 ( )

問9 将来希望する「仕事」、「家庭生活」、「地域や個人の活動」の優先度について、あなたの考え方に最も近いものを次の中から1つ選んでください。

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域や個人の活動」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域や個人の活動」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域や個人の活動」をともに優先したい
- 8 わからない



問10 あなたは、次の分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。次のア～キについてあなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選んでください。

	女性の方が優遇されている	どちらかといえば女性が優遇されている	平等	どちらかといえば男性が優遇されている	男性の方が優遇されている	わからない
ア 社会全体で	1	2	3	4	5	6
イ 家庭生活	1	2	3	4	5	6
ウ 職場	1	2	3	4	5	6
エ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
オ 地域・社会活動の場	1	2	3	4	5	6
カ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6
キ 法律・制度	1	2	3	4	5	6

問11 あなたは、下記の言葉（用語）を聞いたことがありますか。  
次のア～コについて、あてはまるものを1つ選んでください。

	内容まで知っている	内容までは知らないが、聞いたことがある	全く知らない・聞いたこともない
ア 男女共同参画社会基本法	1	2	3
イ 男女雇用機会均等法	1	2	3
ウ 育児・介護休業法	1	2	3
エ DV防止法・ストーカー規制法	1	2	3
オ 女子差別撤廃条約	1	2	3
カ ジェンダーギャップ指数	1	2	3
キ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3
ク リベンジポルノ	1	2	3
ケ LGBT	1	2	3
コ 武雄市男女共同参画推進計画	1	2	3

※アからコまでの用語の説明は次のページです

## ア. 男女共同参画社会基本法

→男女が互いにその人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することが出来る社会の実現のために、平成11年に作られた法律。

## イ. 男女雇用機会均等法

→職場における男女の差別を禁止し、募集・採用・昇給・昇進・教育訓練・定年・退職・解雇などの面で男女とも平等に扱うことを定めた法律。その後一部改正され、女性保護を目的として設けられていた時間外や休日労働、深夜業務などの規制を撤廃。さらにセクシャル・ハラスメント防止のため、事業主に対して雇用上の管理を義務づけている。

## ウ. 育児・介護休業法

→労働者の仕事と育児や介護を両立できるように支援するための法律。支給額は育児休業取得から180日までは給与の67%、それ以降の期間(1年以内)は給与の50%。介護休業は最大3ヶ月取得可。

## エ. DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）

→パートナーからの暴力の防止、及び被害者の保護・支援を目的として作られた法律。

**ストーカー規制法**（ストーカー行為等の規制等に関する法律）

→つきまとい等のストーカー行為を規制し、被害者に対する援助措置を定めた法律。

## オ. 女子差別撤廃条約

→女子に対するあらゆる差別を撤廃することを目的とした条約。「女子に対する差別」を定義し、締約国に対し、政治的及び公的活動、並びに経済的及び社会的活動における差別の撤廃のために適当な措置をとることを求めている。

## カ. ジェンダーギャップ指数

→各国の社会進出における男女格差を示す指標。経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出され、日本は145か国中101位。国会議員・官僚・企業管理職などで格差が大きい。

## キ. ポジティブ・アクション

→働く事や仕事に対する意欲の高い女性を積極的に登用し、能力を発揮してもらおうという企業の自主的な取り組み、それら制度のこと。優秀な人材の確保や女性の活躍による業績の向上も期待されている。

## ク. リベンジポルノ

→別れた恋人や配偶者に対する報復として、交際時に撮影した相手方のわいせつな写真や映像を、インターネットなどで不特定多数に配布・公開する嫌がらせ行為及びその画像。近年深刻化しており、内容によって加害者には脅迫罪、強要罪、名誉毀損罪などが適用される。

## ケ. LGBT

→L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダー。日本語で言うと、順番に、女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、性同一性障害など心と体の性が一致しない人。

## コ. 武雄市男女共同参画推進計画（H25～29は第2次）

→現状を理解し目標を明確にするために、武雄市が市民協働で独自に作成した計画。

ご協力ありがとうございました。

## 武雄市における男女共同参画に関するアンケート調査票

◇貴事業所・貴社についてお尋ねします。平成28年 4月 1日現在でご記入ください。

### 設問1. 社員数と社員構成について人数をご記入ください。

	正 規 社 員	非正規社員 (臨時・パート・嘱託・派遣)	合 計
男 性	人	人	人
女 性	人	人	人
総 数	人	人	人

### 設問2. 社員の勤続年数について、人数をご記入ください。

勤続年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	計
男性正規社員	人	人	人	人	人	人
女性正規社員	人	人	人	人	人	人
男性非正規社員	人	人	人	人	人	人
女性非正規社員	人	人	人	人	人	人

### 設問3. 育児休業について、○印及び人数をご記入ください。

- 1) 社内規則に育児休業についての取り決めがありますか？  
 [①ある                      ②ない                      ③その他 (                      )]
- 2) 平成27年4月1日から平成28年3月31日までに本人または配偶者が出産し、育児休業を取った人の数をご記入ください。  
 [①男性社員 (対象者 \_\_\_\_\_ 人中 \_\_\_\_\_ 人取得)   ②女性社員 (対象者 \_\_\_\_\_ 人中 \_\_\_\_\_ 人取得)   ③いない ]
- 3) 2)で育児休業を取った人について、該当する取得期間に人数をご記入ください。(男女共で可)  
 [①1ヶ月未満 \_\_\_\_\_ 人   ②1～3ヶ月未満 \_\_\_\_\_ 人   ③3～6ヶ月未満 \_\_\_\_\_ 人   ④6ヶ月～1年未満 \_\_\_\_\_ 人   ⑤1年以上 \_\_\_\_\_ 人 ]
- 4) -1 平成27年4月1日から平成28年3月31日までに出産や介護等を理由に退職されたケースがありますか？  
 あった場合、その雇用形態をご記入ください。  
 [①ある(女性 \_\_\_\_\_ 人・男性 \_\_\_\_\_ 人)   ②ない ] ⇒ ①の場合 (正社員( \_\_\_\_\_ 人)・パート・臨時職員( \_\_\_\_\_ 人)・その他( \_\_\_\_\_ 人))
- 4) -2 出産や介護等を理由に退職された方を、平成27年4月1日から平成28年3月31日までに再雇用されたケースがありますか？  
 あった場合、その雇用形態をご記入ください。  
 [①ある(女性 \_\_\_\_\_ 人・男性 \_\_\_\_\_ 人)   ②ない ] ⇒ ①の場合 (正社員( \_\_\_\_\_ 人)・パート・臨時職員( \_\_\_\_\_ 人)・その他( \_\_\_\_\_ 人))
- 5) 国や21世紀職業財団等の育児・介護にかかわる支援制度をご存知ですか？  
 [①知っている   ②知らない]  
 ⇒ ①の場合 利用したことがありますか？ [①ある   ②ない]  
 ⇒ ①「ある」の場合 その制度についてご記入下さい[ \_\_\_\_\_ ]

### 設問4. 介護休業・看護休業について、○印及び人数をご記入ください。

- 1) 社内規則に介護休業・看護休業についての取り決めがありますか？  
 介護休業[①ある                      ②ない                      ③その他 (                      ) ]  
 看護休業[①ある                      ②ない                      ③その他 (                      ) ]
- 2) 平成27年4月1日から平成28年3月31日までに介護休業・看護休業を取った人の数をご記入ください  
 介護休業[①男性社員 \_\_\_\_\_ 人                      ②女性社員 \_\_\_\_\_ 人                      ③いない                      ]  
 看護休業[①男性社員 \_\_\_\_\_ 人                      ②女性社員 \_\_\_\_\_ 人                      ③いない                      ]
- 3) 2)で介護休業・看護休業を取った人について、該当する取得期間(通年)に人数をご記入ください。(男女共で可)  
 介護休業[①7日以内 \_\_\_\_\_ 人   ②8日～31日 \_\_\_\_\_ 人   ③32日～93日 \_\_\_\_\_ 人   ④94日以上 \_\_\_\_\_ 人 ]  
 看護休業[①7日以内 \_\_\_\_\_ 人   ②8日～31日 \_\_\_\_\_ 人   ③32日～93日 \_\_\_\_\_ 人   ④94日以上 \_\_\_\_\_ 人 ]

### 設問5. 男女が共に仕事と家庭を両立できるような取り組みについて、該当する項目に○印をご記入ください。

内 容	実施している	今後実施予定	実施予定なし
1 男女共同参画社会づくりのための講演会・講習会への参加			
2 女性社員の能力開発のための講演会・講習会への参加			
3 次世代育成支援計画の策定・実施			
4 勤務時間の短縮に向けての施策			
5 フレックスタイムの導入など柔軟な働き方システムの導入			
6 職場復帰のための情報提供や研修等の実施			
7 育児・介護のサービスに関する相談及び情報提供			
8 DVやセクシャルハラスメントに対する相談窓口の設置			
9 時間単位の休暇の取得ができるなど柔軟な職場環境整備			
10 その他(                      )			

※裏面もあります

設問6. 平成27年9月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が施行されましたが、女性の活躍推進について

該当する項目に○印をご記入ください。

- ①取り組んでいる ②今後取り組むこととしている ③今のところ取り組む予定はない

設問7. 管理職の人数を教えてください。

- ①男性 \_\_\_\_\_ 人 ②女性 \_\_\_\_\_ 人

設問8. 前回の調査で女性の管理職の人数は全体の14%でした。女性管理職が少ないのはなぜだと思いますか。

該当する番号に○印をご記入ください。(2つまで)

- 1 必要な知識や経験、判断力等を有する女性がいらない
- 2 将来就く可能性のある女性はいるが、現在、役職に就くための在職年数を満たしている者はいない
- 3 勤続年数が短く、役職者になるまでに退職する
- 4 時間外労働が多い、または深夜業がある
- 5 出張、全国転勤がある
- 6 顧客が女性管理職を嫌がる
- 7 家庭責任があるので責任ある仕事に付けられない
- 8 仕事がハードで女性には無理である
- 9 女性が希望しない
- 10 上司・同僚・部下となる男性が、女性管理職を希望しない
- 11 その他( )

設問9. 女性の活躍を推進するために取り組むべき番号に○印をご記入ください。(2つまで)

- 1 女性従業員の勤続年数の伸長(短時間勤務、育児・介護休業を取得しやすい制度を整備するなど)
- 2 女性が働きやすいように、職場の雰囲気・風土を改善する
- 3 男女均等な待遇の確保
- 4 女性従業員の育成や女性管理職の増加に取り組む
- 5 女性の就業形態として多いパートや契約社員の待遇を改善する
- 6 従業員の男女比が均一になるように女性従業員の採用を拡大する
- 7 取り組む必要はない
- 8 その他( )

設問10. 男女共同参画社会を進めるために、今後、行政はどのような施策を推進していったらよいと思いますか。

次の中から貴事業所・貴社の考えに近いものの番号に○をつけてください。(3つまで)

- 1 審議会などの行政の施策方針を決定する場に女性の参画を促進する
- 2 各種団体や地域で活躍する女性リーダーの育成
- 3 市役所がモデルとなり女性管理職の登用など女性職員の積極的な登用と配置
- 4 女性向けの職業能力の開発や、職業訓練機会の充実
- 5 男女共同参画推進に関する情報提供、学習・研修、交流のための場や機会の充実
- 6 広報紙やパンフレット、男女共同参画に関する講座や講演会などの充実
- 7 学校教育における男女の平等と相互理解・協力についての教育の充実
- 8 子育てを支援するサービス(保育所、病後時保育、放課後児童クラブ等)の充実
- 9 高齢者の施設や介護サービスの充実
- 10 企業・地域などあらゆる分野で女性の積極的な登用をすすめるための啓発
- 11 企業や団体トップを対象とした男女平等や仕事と生活の調和に関する意識啓発の充実
- 12 職場における男女の均等な取り扱いに関して企業への働きかけ
- 13 女性のための相談窓口等、相談機能の充実・施策の推進
- 14 行政の明確なビジョンの提示、施策の推進
- 15 推進する必要はない
- 16 その他(具体的に: )

設問11. 男女共同参画社会を進めることについて、貴事業所・貴社はどのようにお考えですか。

貴事業所・貴社の考えに近いものの番号に○をつけてください。(2つまで)

- 1 男女の平等な権利、人権問題として進めるべき
- 2 男女が共に個性と能力を活かし、責任と成果を分かち合うまちづくりとして進めるべき
- 3 少子高齢化問題等、現代の抱える社会課題を解決するために推進すべき
- 4 男女のみならず、あらゆる世代がいきいきと暮らせるユニバーサルデザインの観点から推進すべき
- 5 男女にはそれぞれの役割があり、それを否定するものであるから進めるべきでない
- 6 今までの男性中心社会の方がうまくいくので進めるべきでない
- 7 男女共同参画社会がどのようなものか分からず、肯定も否定もできない
- 8 その他(具体的に: )

事業所名	
担当部署	
記入者	
連絡先(電話)	

## 地域での男女共同参画実態調査(平成28年度)

地域の男女共同参画推進状況を把握し、男女共同参画推進及び男女共同参画推進計画策定のための資料にさせていただきます。

ご多用中恐縮に存じますが、趣旨ご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

行政区名:

区

区長名(記載者):

### 1. 貴区の役職者について伺います

(各役職について、該当する性別・選出方法に○を付けてください。)

役職名	性別	選出方法の番号、 もしくは、その他選出方法
区 長	男・女	
副 区 長 ・ 区 長 代 理	男・女	
会 計	男・女	
自治公民館長	男・女	

※該当する番号を選び  
記入してください。

番号	選出方法
1	選挙
2	推薦・議決機関での話合い
3	ほかの役職と兼任(※1)
4	その他(※2)

(※1)「3. ほかの役職と兼任」の場合は、何の役職の方が担われるのか記入してください。

【例】・自治公民館長は区長が兼務すると決まっている場合  
⇒自治公民館長の欄に「3. (区長と兼務)」と記載

・会計は区長代理が兼務すると決まっている場合  
⇒会計の欄に「3. 区長代理と兼務」と記載 など

(※2)「4. その他」の場合は、選出方法を記入してください。

【例】・区長が指名する、  
・前区長が区長代理をする など

※裏面もあります

